

甲賀市市政に関する意識調査報告書

令和6年12月
甲賀市

目 次

I 調査の実施概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査票の配布・回収の状況	1
4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項.....	1
5 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて.....	3
II 回答者の属性	4
III 調査結果	9
1 市政全体に関する満足度について	9
（1） 甲賀市の住みやすさ	9
（2） 暮らしの「満足度」と「重要度」	11
（3） 現在の暮らしに幸せを感じるか	103
（4） 甲賀市への愛着	108
（5） 甲賀市の魅力を自慢できるか	110
（6） 定住意向.....	112
（7） 市政への関心	114
2 防災対策について	116
（1） 甲賀市防災マップを見た経験	116
（2） 自宅（地域）の災害リスク	118
（3） 「マイ・タイムライン」の作成有無	120
（4） 非常用持出品や家庭内備蓄の用意	122
（5） 家庭内備蓄は何日間過ごせる	124
（6） 感震ブレーカの設置状況	126
3 市の情報発信について	128
4 スポーツについて	168
（1） 1回30分以上の運動頻度	168
（2） パラスポーツ（障がい者スポーツ）の関心度	170
（3） スポーツボランティア活動の参加意向	172

資料：アンケート調査票

I 調査の実施概要

1 調査の目的

市民の市政についての意見や評価を、意識調査により統計的に把握し、今後の市政を推進するための基礎資料とすることを目的に調査を実施した。

2 調査の設計

- 調査地域：甲賀市全域
- 調査対象：市内在住の18歳以上の男女
- 調査標本数：3,000人
- 調査抽出法：層化二段無作為抽出法（抽出台帳：住民基本台帳、旧町5地域別）
- 調査方法：郵送配布・郵送回収、またはインターネットによる回答
- 調査時期：令和6年7月15日～7月31日

3 調査票の配布・回収の状況

- 配布数：3,000件
 - 回収件数（率）：1,100件（36.7%）
 - 有効回答数（率）：1,098件（36.6%）
- うち郵送回収：778件（70.9%）、インターネット回答320件（29.1%）

4 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

① 標本抽出計画と集計母数（集計対象数）

今回の調査では、アンケート調査配布数（標本数）を市内5地域と母集団構成比に応じて配分した。

地域別の回収率は甲賀地域が44.8%で最も多く、以下、土山地域が44.3%、信楽地域が39.0%、甲南地域が37.9%、水口地域が31.3%と続いている。

有効回答の構成比と母集団構成比をみると、有効回答の地域区分は水口地域はポイント差があるものの概ね母集団構成比に近い。

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率 (令和5年)
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
水口地域	34,218	45.6%	1,357	45.2%	425	38.7%	31.3%	37.4%
土山地域	6,103	8.1%	235	7.8%	104	9.5%	44.3%	38.5%
甲賀地域	8,065	10.7%	339	11.3%	152	13.8%	44.8%	50.5%
甲南地域	17,362	23.1%	700	23.3%	265	24.1%	37.9%	43.0%
信楽地域	9,284	12.4%	369	12.3%	144	13.1%	39.0%	38.9%
不明・無回答	-	-	-	-	8	0.7%	-	-
合計	75,032	100%	3,000	100%	1,098	100%	36.6%	40.6%

年代別の回収率は70歳以上が54.4%で最も多く、以下、60歳代が49.4%、50歳代が35.0%、40歳代が24.2%、30歳代が22.9%、20歳代以下が15.6%と続いている。

有効回答の構成比と母集団構成比をみると、有効回答は年齢層が高い構成であることがわかる。

	標本抽出計画				有効回答			前回回収率 (令和5年)
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比	回収率	
20歳代以下	10,800	14.4%	430	14.3%	67	6.1%	15.6%	20.2%
30歳代	9,223	12.3%	376	12.5%	86	7.8%	22.9%	29.5%
40歳代	11,533	15.4%	496	16.5%	120	10.9%	24.2%	31.1%
50歳代	12,046	16.1%	432	14.4%	151	13.8%	35.0%	38.1%
60歳代	11,193	14.9%	451	15.0%	223	20.3%	49.4%	54.7%
70歳以上	20,237	27.0%	815	27.2%	443	40.3%	54.4%	56.6%
不明・無回答	-	-	-	-	8	0.7%	-	-
合計	75,032	100%	3,000	100%	1,098	100%	36.6%	40.6%

② 調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、本結果から甲賀市の18歳以上の人口（母集団）の意識や要望等を推定することができる。ただし、今回の結果が抽出調査のため、数字の誤差を考慮する必要がある。そこで、どの程度の誤差があるのかを以下の数式で求めた。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査を対象を変えて行った場合に、100回中95回は同様の結果が得られると考えてもよい）の水準を求めることが一般的とされており、これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差を算出した。その結果、標本誤差=2.94%（小数第3位四捨五入）となり、母集団の回答は今回のアンケート調査結果の±2.94%の区間に95%の確率で存在すると言える。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

±1.96：信頼度95%の時の係数

N：母集団数（調査時点の甲賀市の18歳以上人口：75,032） n：標本数（有効回答数：1,098）

P：標本測定値0.5（50%（0.5）のときに最大となるため0.5で計算）

5 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

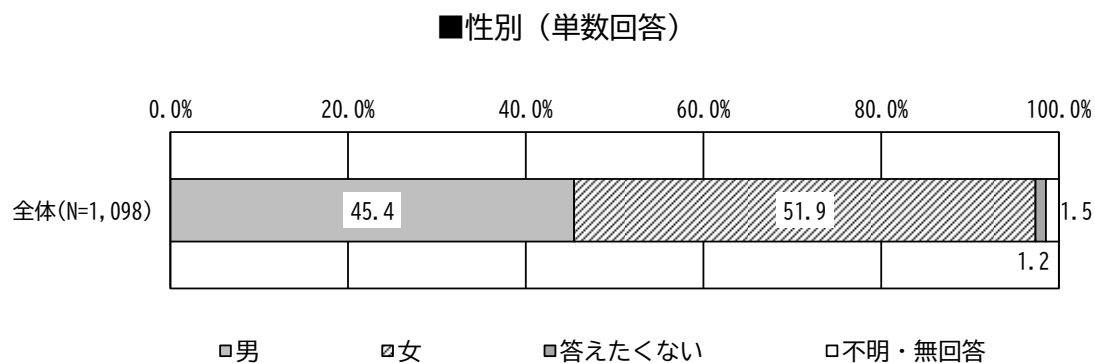
- ・ 回答結果は、各項目の不明を含む有効サンプル数に対する百分比(%)で示し、百分比は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示している。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの比率を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- ・ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。
- ・ 図表中の「N」は集計対象者総数または、回答者限定設問の限定条件に該当者数を示している。

Ⅱ 回答者の属性

① 性別

「問 1」 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

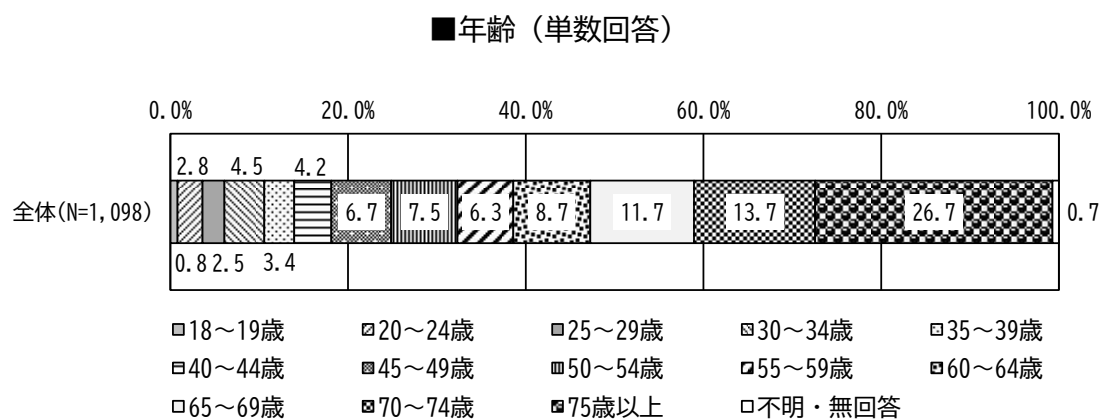
性別は、「男」が45.4%、「女」が51.9%、「答えたくない」が1.2%となっている。



② 年齢

「問 2」 あなたの年齢は、7月1日現在でいくつですか。(○は1つ)

年齢は、「75歳以上」が26.7%で最も多くなっており、以下、「70～74歳」が13.7%、「65～69歳」が11.7%と続いている。

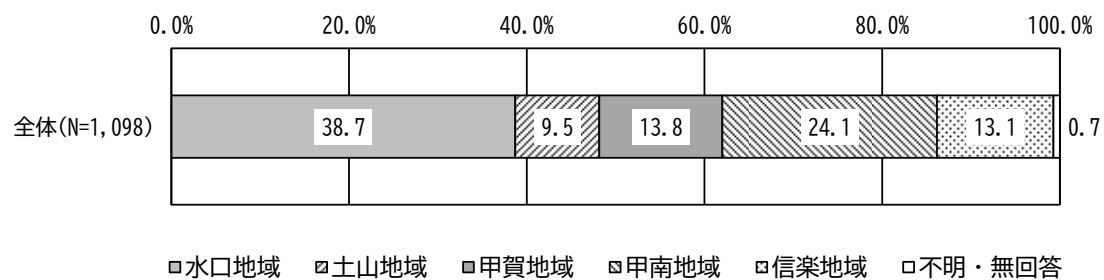


③ 居住地域

《問3》 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

居住地域は、「水口地域」が38.7%で最も多くなっており、以下、「甲南地域」が24.1%、「甲賀地域」が13.8%、「信楽地域」が13.1%、「土山地域」が9.5%と続いている。

■居住地域（単数回答）

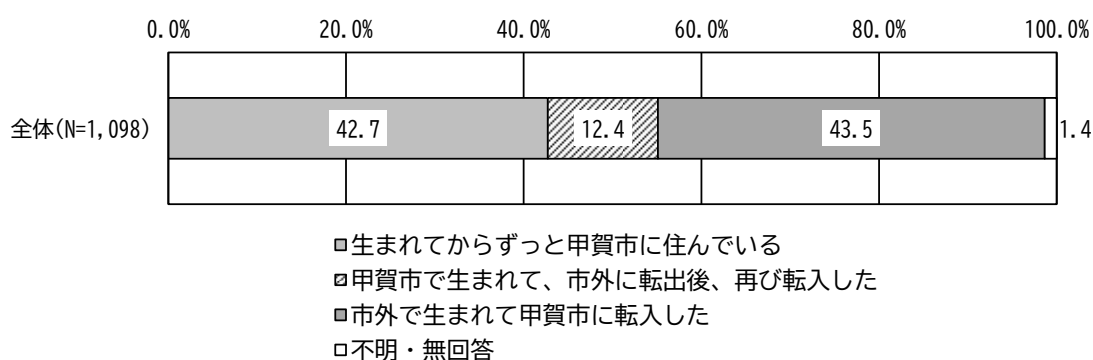


④ 甲賀市の居住歴

≪問4≫ あなたは、いつから甲賀市にお住まいですか。(○は1つ)
 <問4-1> 問4で「甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した」または「市外で生まれて甲賀市に転入した」と回答された方におたずねします。
 転入後、何年ぐらい甲賀市にお住まいですか。(○は1つ)

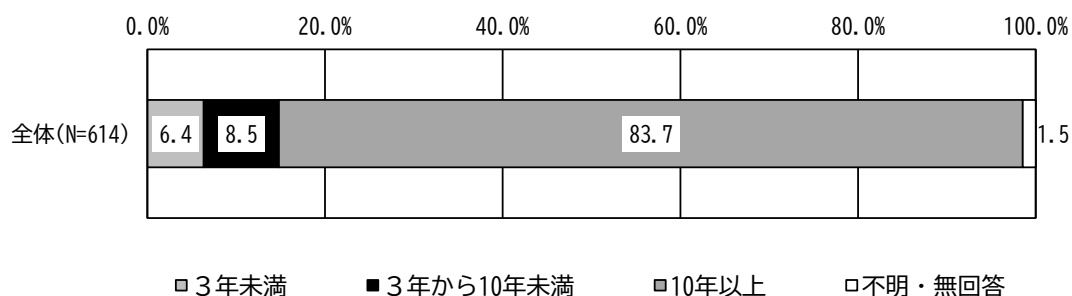
甲賀市の居住歴は、「市外で生まれて甲賀市に転入した」が43.5%で最も多くなっており、以下、「生まれてからずっと甲賀市に住んでいる」が42.7%、「甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した」が12.4%と続いている。

■甲賀市の居住歴（単数回答）



転入後の居住年数は、「10年以上」が83.7%で最も多くなっており、以下、「3年～10年未満」が8.5%、「3年未満」が6.4%と続いている。

■転入後の居住年数（単数回答）



⑤ 世帯（同居）構成

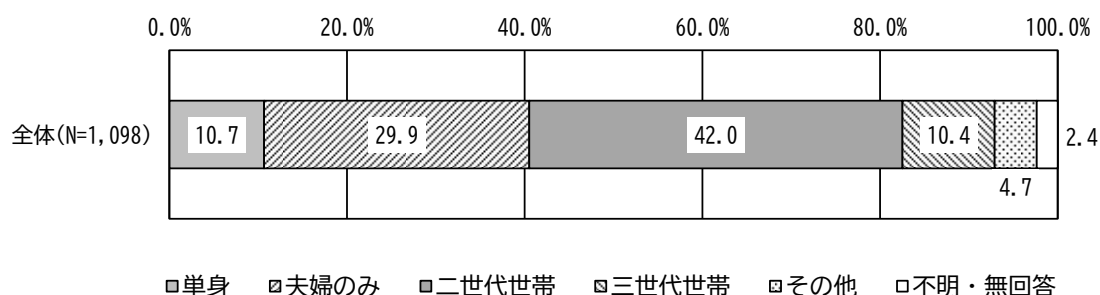
＜問5＞ あなたの世帯（同居）はどのような構成ですか。（○は1つ）

＜問5-1＞ 問5で「二世帯世帯（親・子）」「三世帯世帯（親・子・孫）」「その他」のいずれかに回答された方におたずねします。

あなたに、就学前または就学しているお子様・お孫様（同居）はおられますか。
（○はいくつでも）※別居されているお子様・お孫様は含みません。

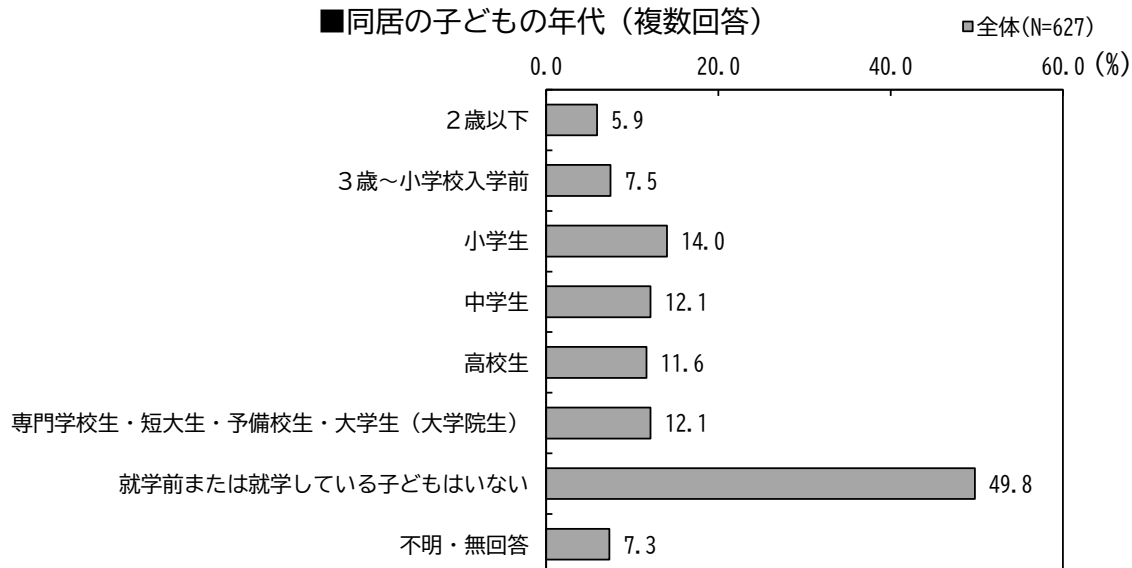
世帯（同居）構成は、「二世帯世帯」が42.0%で最も多くなっており、以下、「夫婦のみ」が29.9%、「単身」が10.7%、「三世帯世帯」が10.4%と続いている。

■世帯（同居）構成（単数回答）



同居の子どもの年代は、「就学前または就学している子どもはいない」が49.8%で最も多くなっており、以下、「小学生」が14.0%、「中学生」と「専門学校生・短大生・予備校生・大学生（大学院生）」が12.1%、「高校生」が11.6%と続いている。

■同居の子どもの年代（複数回答）



⑥ 職業

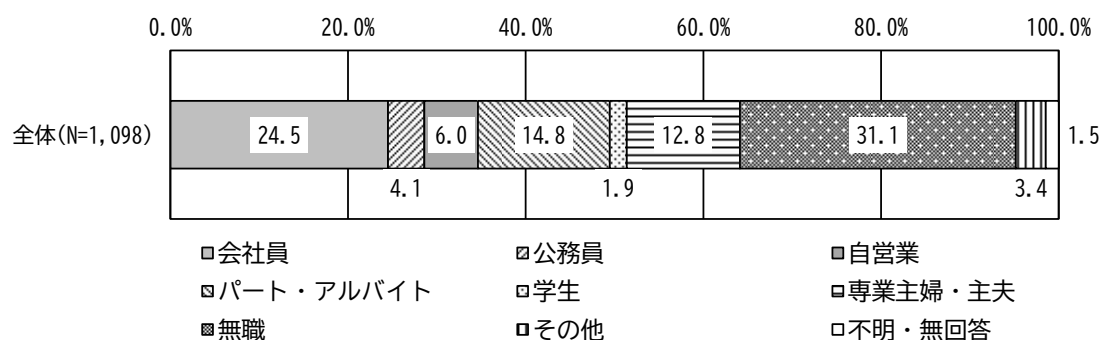
＜問 6＞ あなたの職業等は何ですか。（○は1つ）

＜問 6-1＞ 問6で「会社員」「公務員」「自営業」「パート・アルバイト」「学生」のいずれかに回答された方におたずねします。

あなたの勤務地（通学地）はどちらですか。（○は1つ）

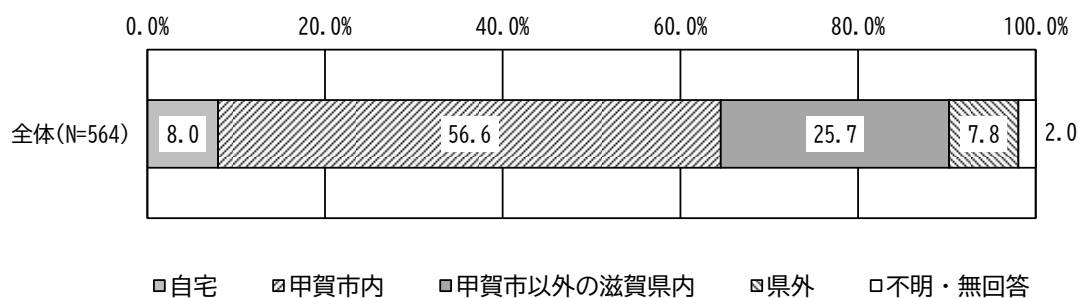
職業は、「無職」が31.1%で最も多くなっており、以下、「会社員」が24.5%、「パート・アルバイト」が14.8%と続いている。

■職業（単数回答）



勤務地（通学地）は、「甲賀市内」が56.6%で最も多くなっており、以下、「甲賀市以外の滋賀県内」が25.7%、「自宅」が8.0%、「県外」が7.8%と続いている。

■勤務地・通学地（単数回答）



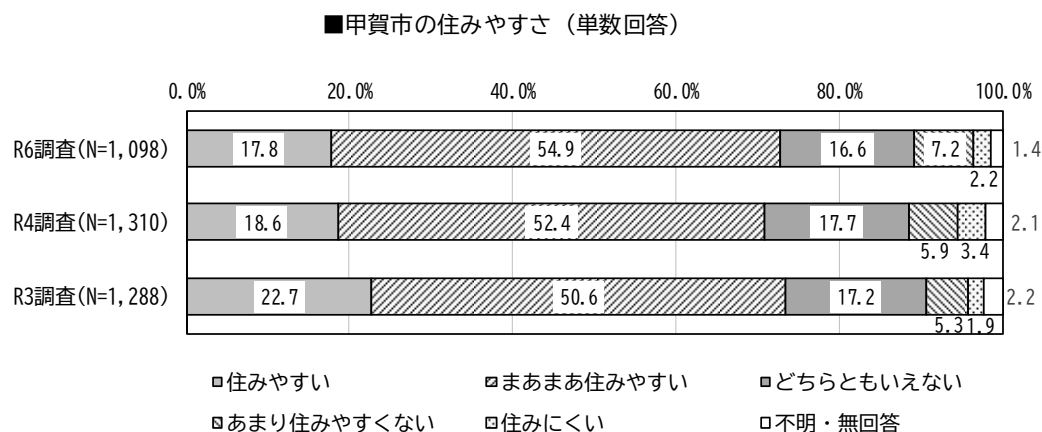
Ⅲ 調査結果

1 市政全体に関する満足度について

(1) 甲賀市の住みやすさ

「問7」 あなたは、甲賀市の住みやすさについてどのように感じておられますか。(○は1つ)

令和3年度調査からの推移をみると、「住みやすい」は減少傾向であるが、令和4年度と比較すると「住みやすい」と「まあまあ住みやすい」を合わせた『住みやすい』の割合は増加している。



●全体でみると、「まあまあ住みやすい」が54.9%で最も多くなっており、以下、「住みやすい」が17.8%、「どちらともいえない」が16.6%、「あまり住みやすくない」が7.2%と続いている。『住みやすい』は72.7%となっている。

●性別にみると、男性、女性ともに「まあまあ住みやすい」が最も多くなっている。『住みやすい』の割合をみると、男性は71.3%、女性は75.3%となっている。

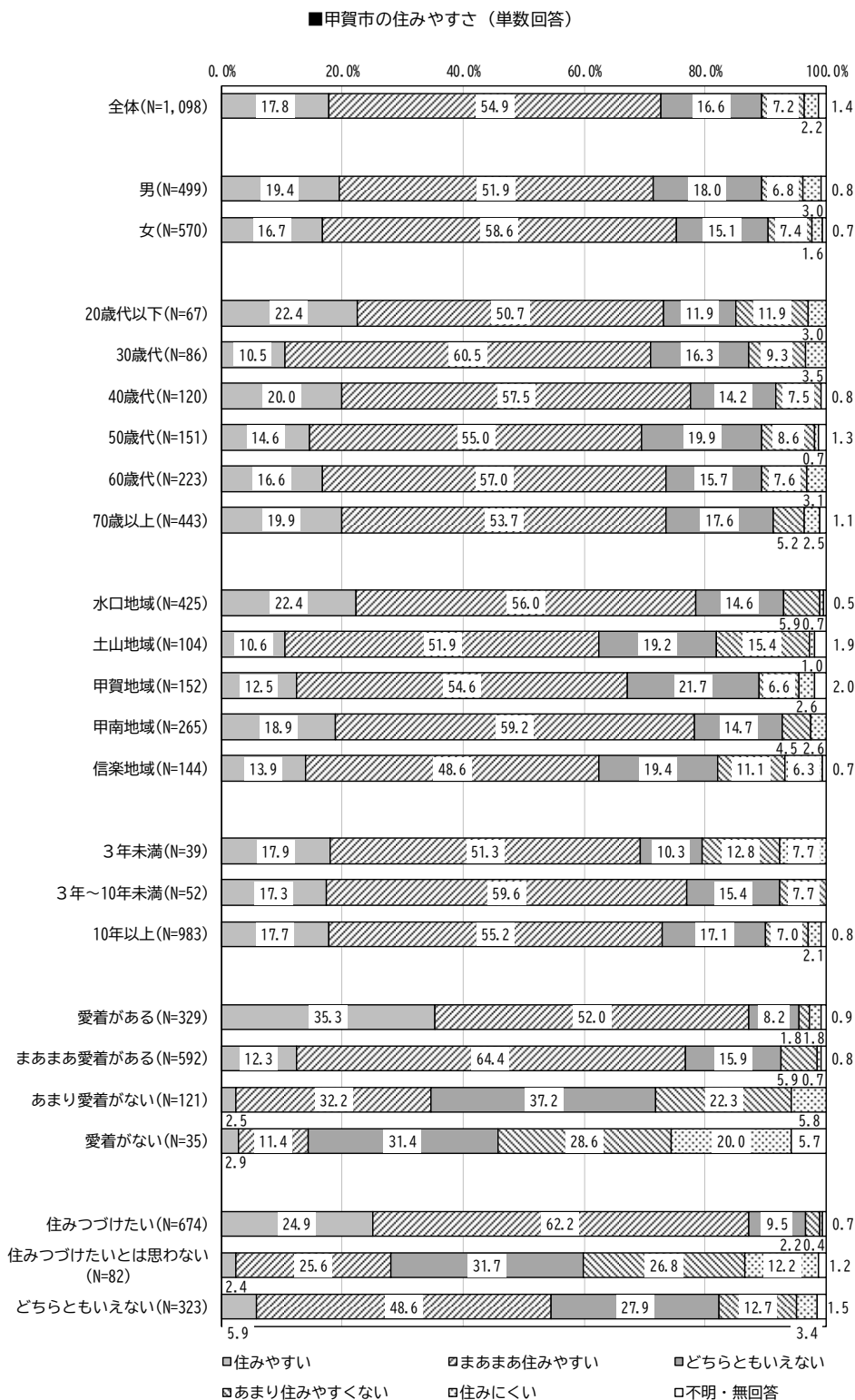
●年代別にみると、すべての年代において「まあまあ住みやすい」が最も多くなっている。『住みやすい』の割合をみると、最も多いのは40歳代で77.5%、以下、70歳以上で73.6%、60歳代で73.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「まあまあ住みやすい」が最も多くなっている。『住みやすい』の割合をみると、最も多いのは水口地域で78.4%、以下、甲南地域で78.1%、甲賀地域で67.1%、土山地域、信楽地域で62.5%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「まあまあ住みやすい」が最も多くなっている。『住みやすい』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で76.9%、以下、10年以上で72.9%、3年未満で69.2%と続いている。

●愛着別にみると、愛着がある、まあまあ愛着があるは「まあまあ住みやすい」が、あまり愛着がない、愛着がないは「どちらともいえない」が最も多くなっている。『住みやすい』の割合をみると、最も多いのは愛着があるで87.3%、以下、まあまあ愛着があるで76.7%、あまり愛着がないで34.7%、愛着がないで14.3%と続いている。

●定住意向別にみると、住みつづけたい、どちらともいえないは「まあまあ住みやすい」が、住みつづけたいとは思わないは「どちらともいえない」が最も多くなっている。『住みやすい』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで 87.1%、以下、どちらともいえないで 54.5%、住みつづけたいと思わないで 28.0%と続いている。



※「10年以上」は、「転入後の居住年数10年以上」と「生まれてからずっと甲賀市に住んでいる」の合計。
以下の図表すべてにおいて同様。

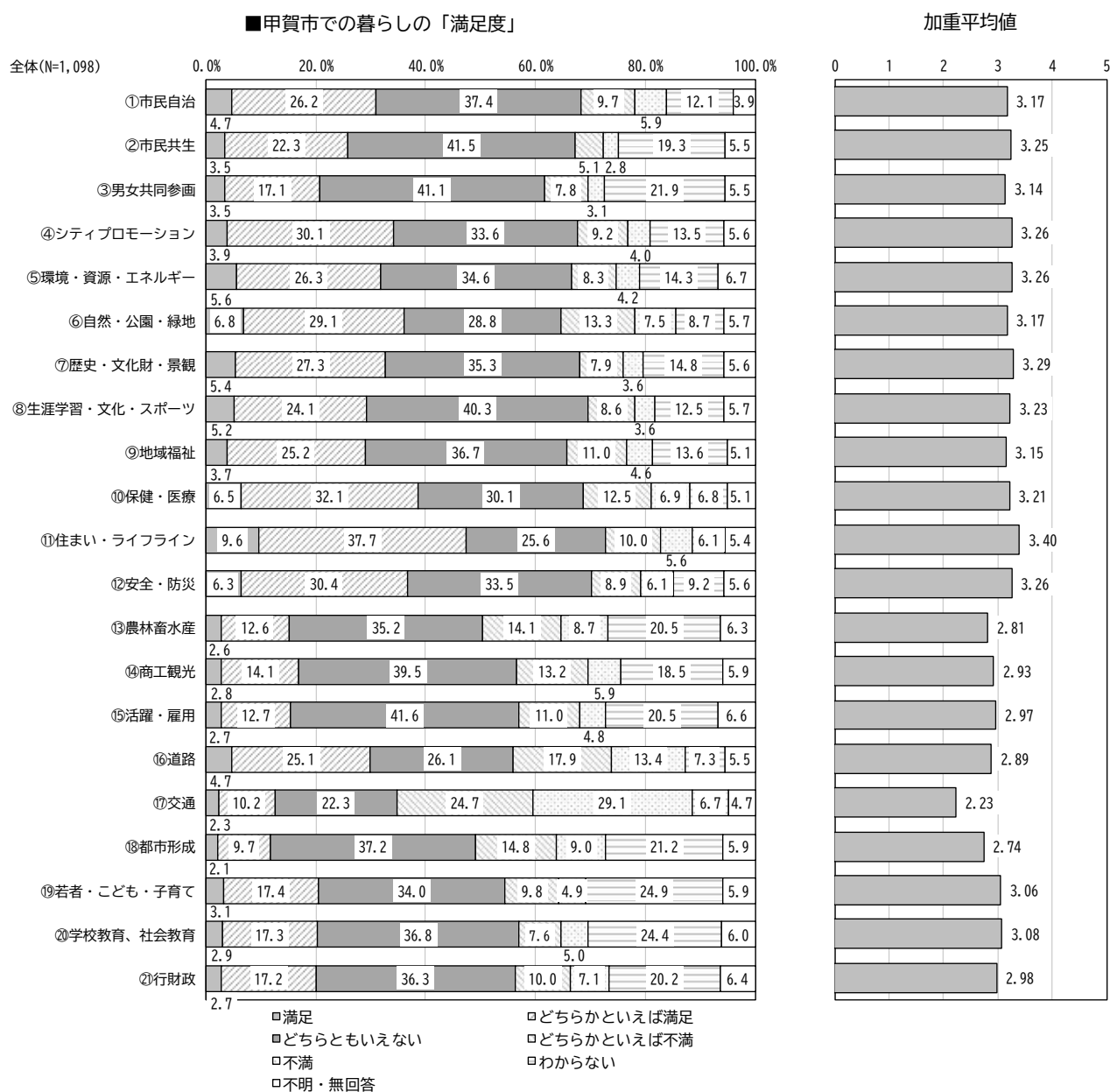
(2) 暮らしの「満足度」と「重要度」

《問8》 あなたの甲賀市での暮らしの「満足度」と「重要度」についておたずねします。
以下の①～⑳のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中から満足度合い、重要度合いに最も近いものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

【満足度】

●全体でみると、「満足」が最も多いのは「住まい・ライフライン」で9.6%、以下、「自然・公園・緑地」で6.8%、「保健・医療」で6.5%と続いている。「不満」が最も多いのは「交通」で29.1%、以下、「道路」で13.4%、「都市形成」で9.0%と続いている。

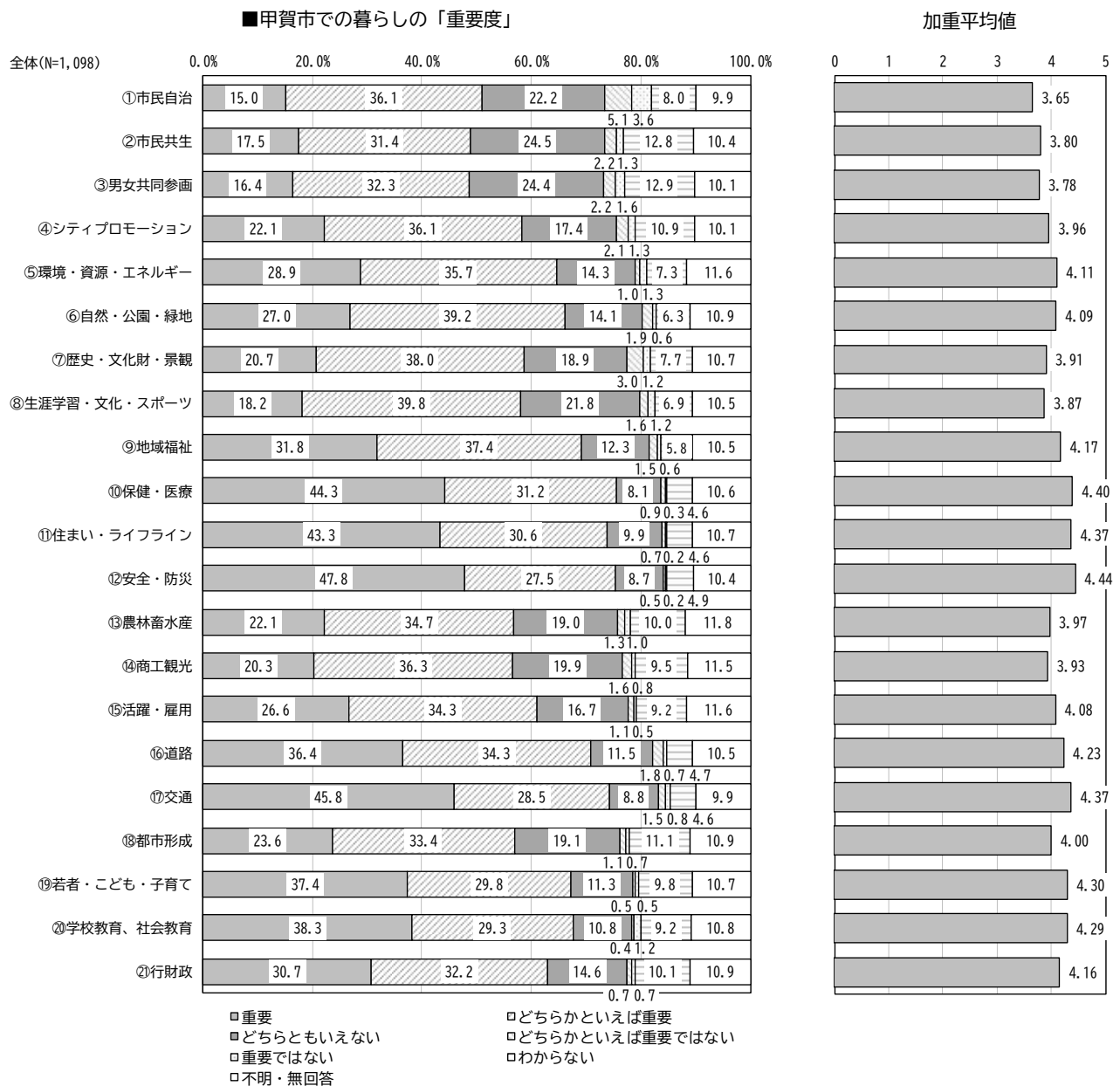
●加重平均値（「満足」を5点、「どちらかといえば満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば不満」を2点、「不満」を1点とした場合）でみると、最も高いのは「住まい・ライフライン」で3.40点、以下、「歴史・文化財・景観」で3.29点、「シティプロモーション」「環境・資源・エネルギー」「安全・防災」が同値で3.26点と続いている。



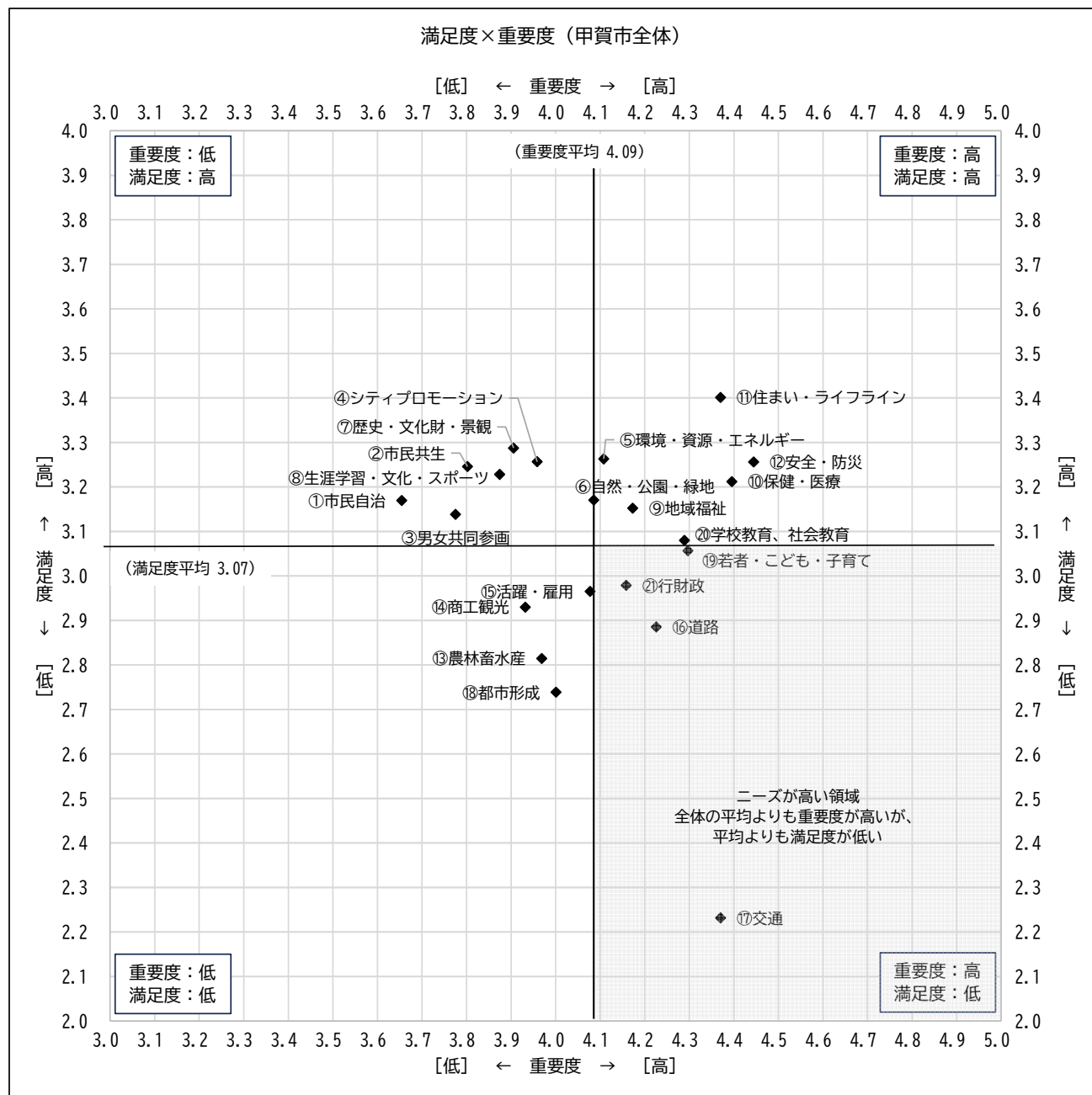
【重要度】

●全体でみると、「重要」が最も多いのは「安全・防災」で47.8%、以下、「交通」で45.8%、「保健・医療」で44.3%と続いている。「重要ではない」が最も多いのは「市民自治」で3.6%、以下、「男女共同参画」で1.6%、「市民共生」「シティプロモーション」「環境・資源・エネルギー」が同率で1.3%と続いている。

●加重平均値（「重要」を5点、「どちらかといえば重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「どちらかといえば重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点とした場合）でみると、最も高いのは「安全・防災」で4.44点、以下、「保健・医療」で4.40点、「住まい・ライフライン」「交通」が同値で4.37点と続いている。

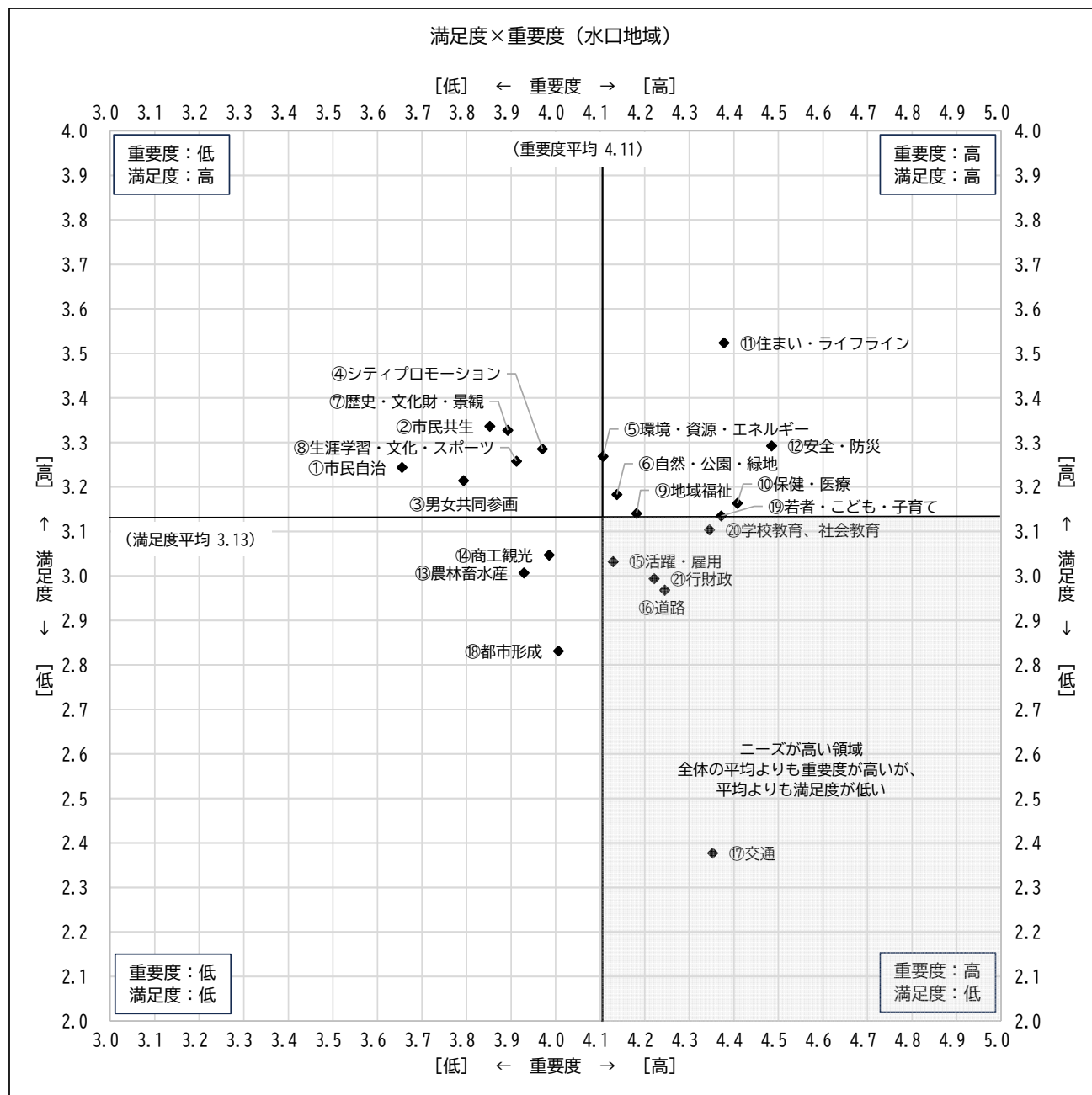


満足度を縦軸、重要度を横軸とし、全項目の加重平均値の平均を原点とした2次元上にそれぞれを配置した場合、「道路」「交通」「若者・こども・子育て」「行財政」の4項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



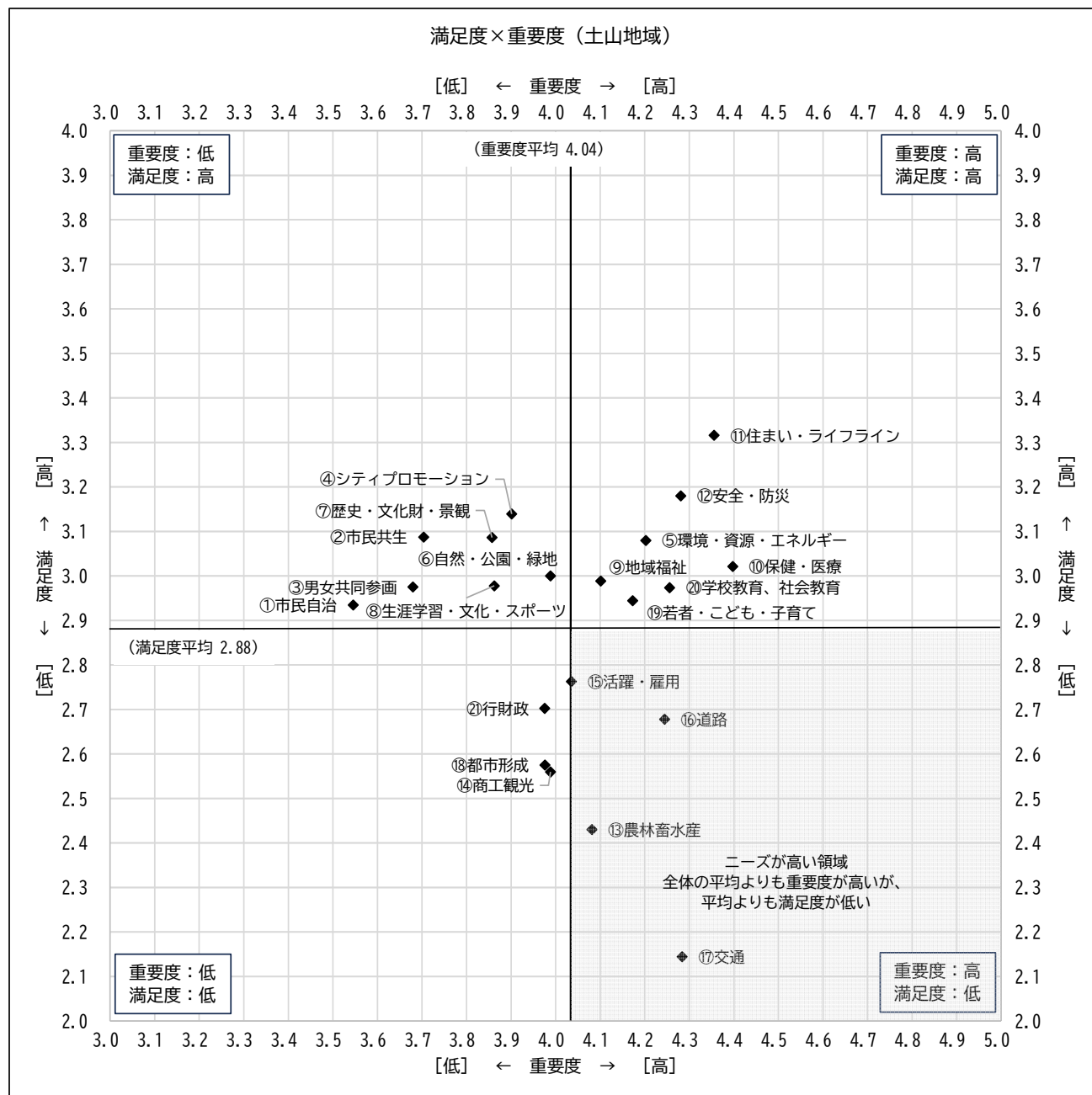
※全体の満足度平均 3.07 重要度平均 4.09 を中心として2軸4象限にプロットしている。

水口地域では、「活躍・雇用」「道路」「交通」「学校教育、社会教育」「行財政」の5項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



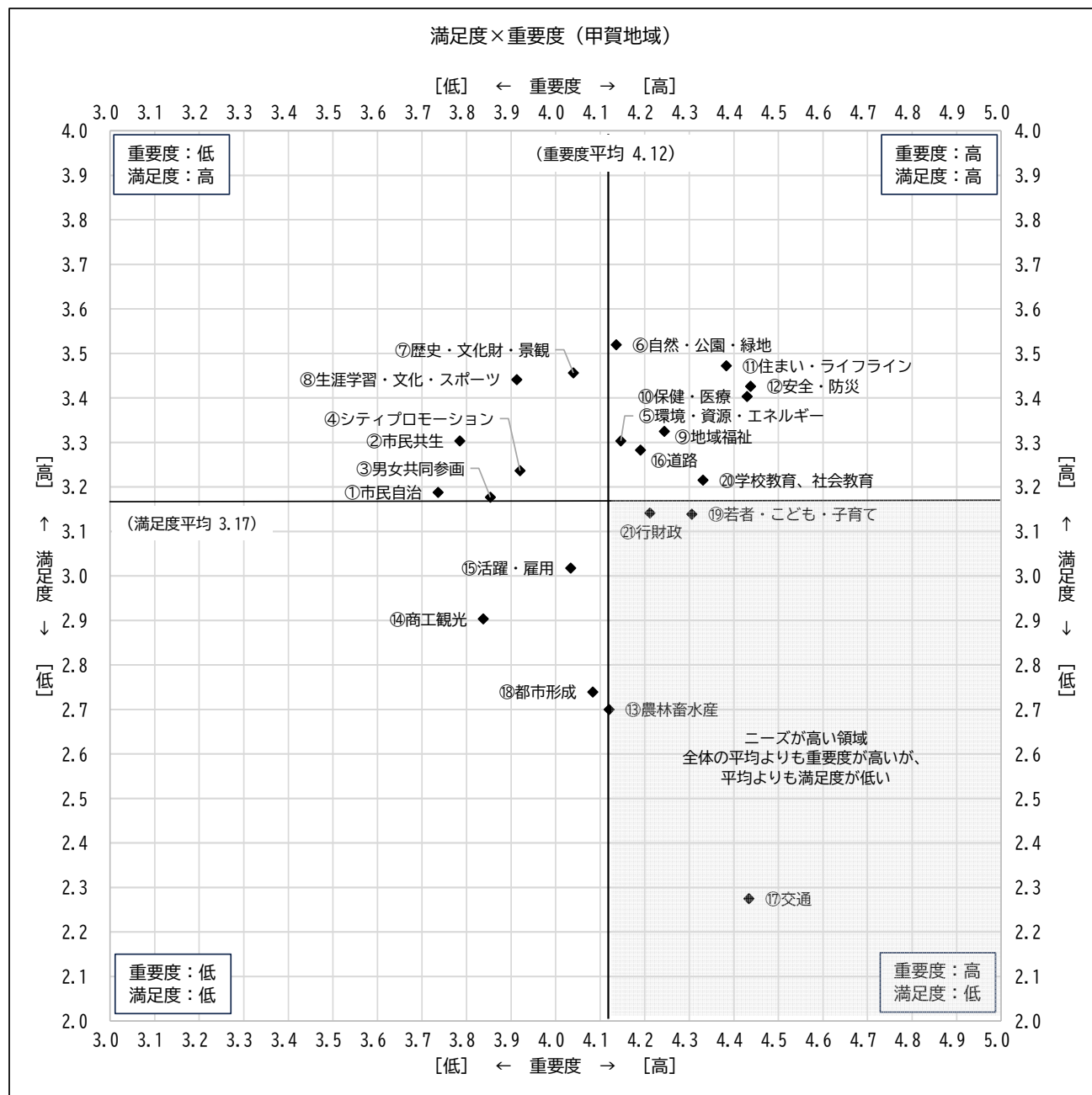
※水口地域の満足度平均 3.13 重要度平均 4.11 を中心として2軸4象限にプロットしている。

土山地域について、「農林畜水産」「活躍・雇用」「道路」「交通」の4項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



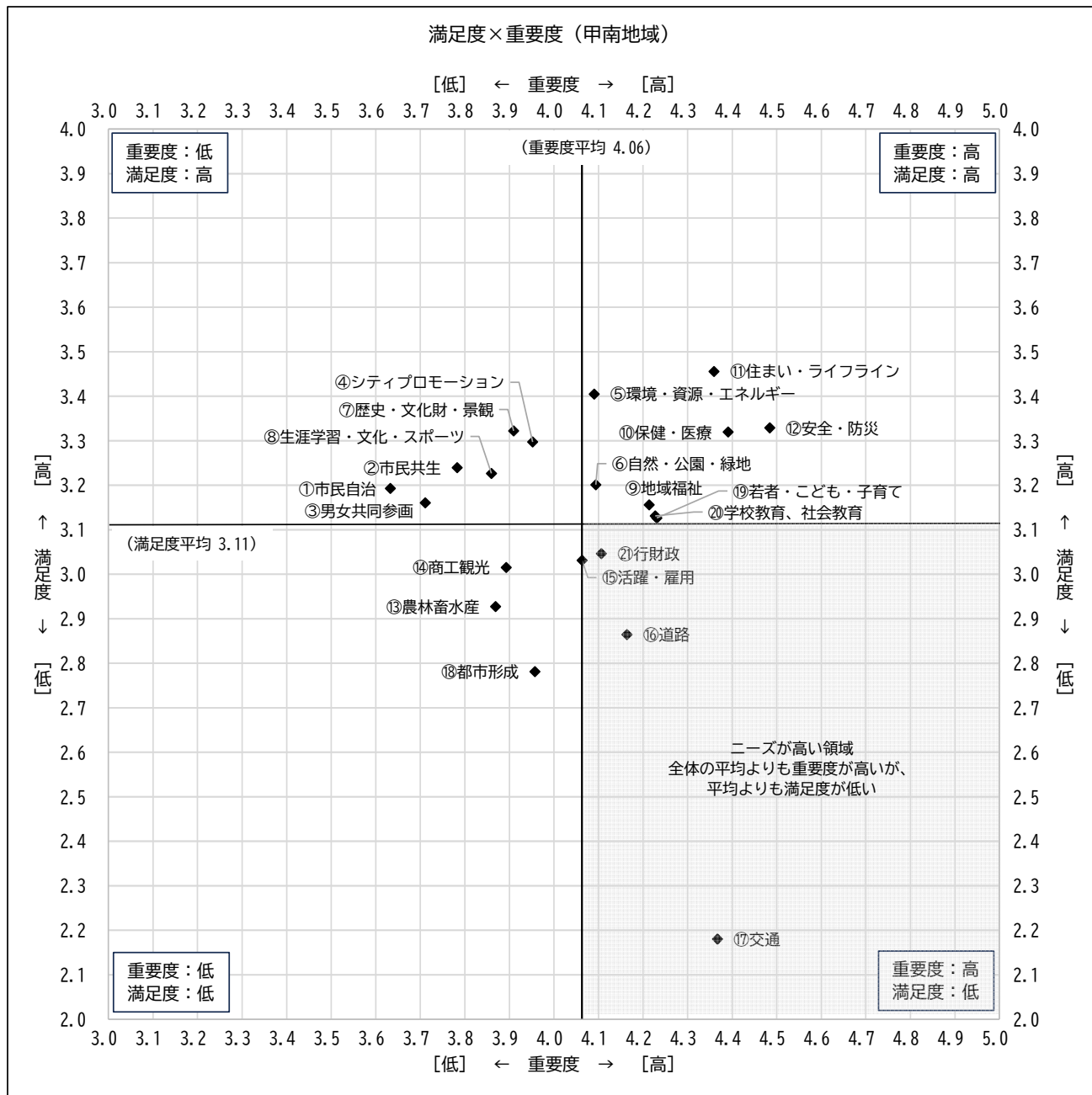
※土山地域の満足度平均 2.88 重要度平均 4.04 を中心として2軸4象限にプロットしている。

甲賀地域について、「農林畜水産」「交通」「若者・こども・子育て」「行財政」の4項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



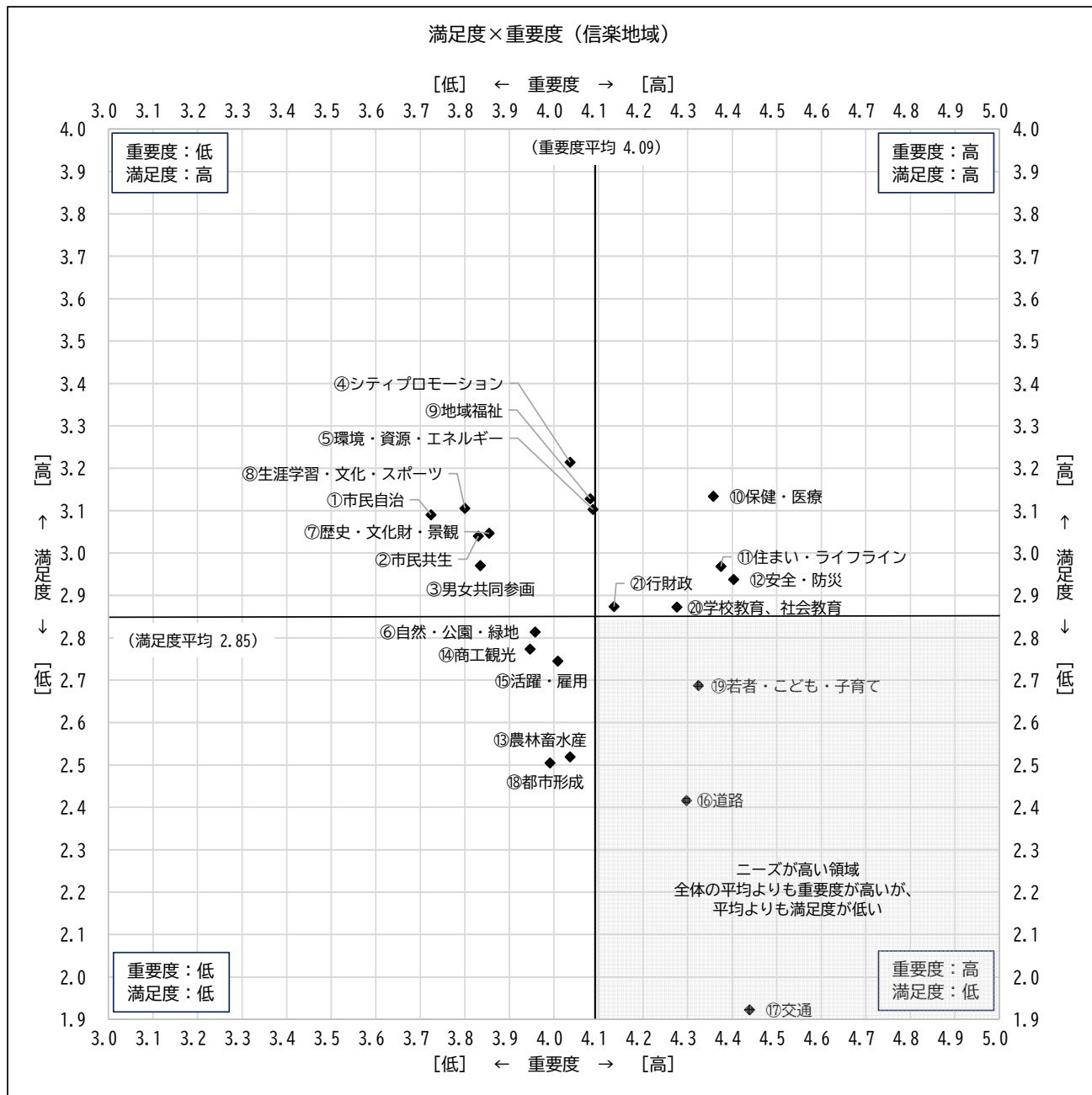
※甲賀地域の満足度平均 3.17 重要度平均 4.12 を中心として2軸4象限にプロットしている。

甲南地域について、「活躍・雇用」「道路」「交通」「行財政」の4項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



※甲南地域の満足度平均 3.11 重要度平均 4.06 を中心として 2 軸 4 象限にプロットしている。

信楽地域について、「道路」「交通」「若者・こども・子育て」の3項目は、縦軸より右、横軸より下に位置している。これらは、全体の平均より重要度は高いが、低い満足度しか得られていない「ニーズの高い領域」と見なせる。



※信楽地域の満足度平均 2.85 重要度平均 4.09 を中心として2軸4象限にプロットしている。

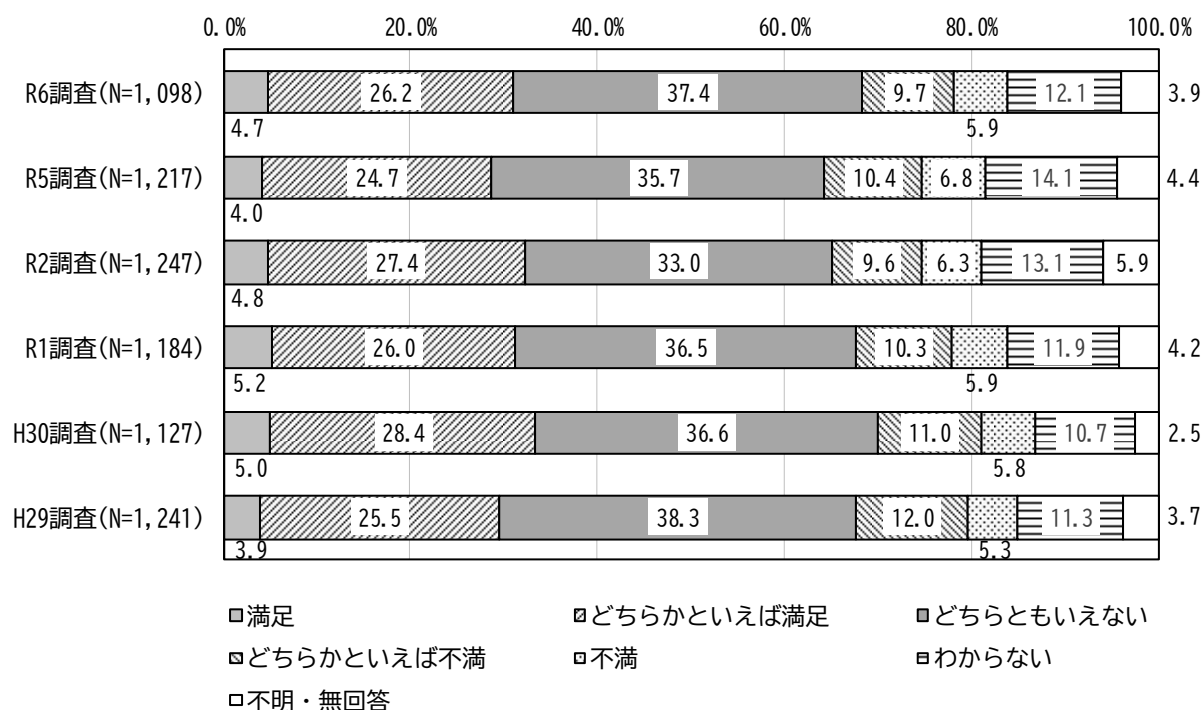
【1. あふれる愛にあなたも仲間】

① 市民自治（区・自治会、自治振興会、市民活動）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、概ね同じ傾向ではあるが、「満足」と「どちらかといえ
ば満足」を合わせた『満足』の割合は、昨年と比較すると増加している。

①市民自治 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が 37.4%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえ
ば満足」が 26.2%、「わからない」が 12.1%、「どちらかといえは不満」が 9.7%、「不満」
が 5.9%、「満足」が 4.7%と続いている。『満足』は 30.9%となっている。

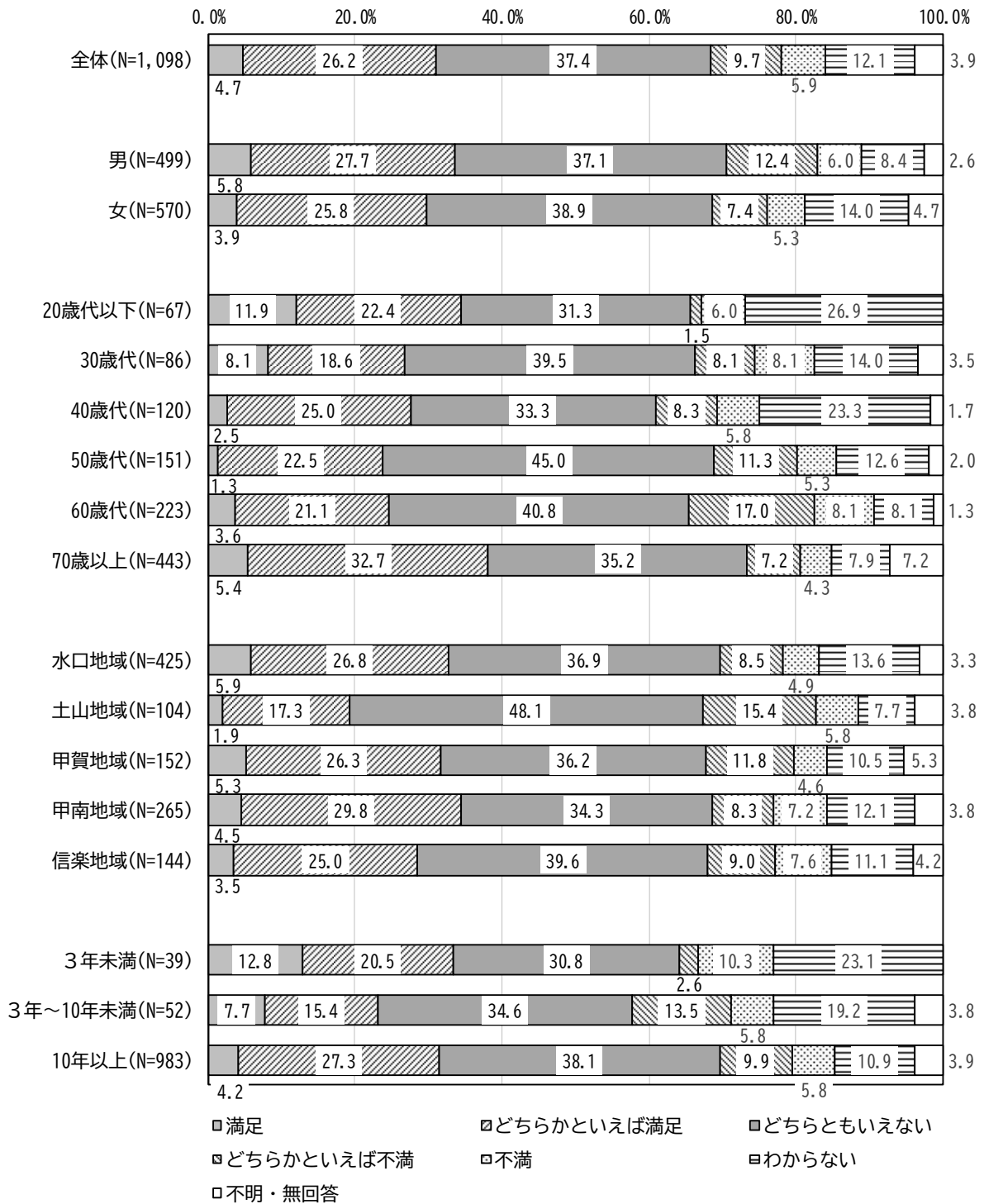
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の
割合をみると、男性は 33.5%、女性は 29.7%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満
足』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 38.1%、以下、20 歳代以下で 34.3%、40 歳代
で 27.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。
『満足』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 34.3%、以下、水口地域で 32.7%、甲賀地
域で 31.6%、信楽地域で 28.5%、土山地域で 19.2%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらともいえない」が最も多くなっている。
『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 33.3%、以下、10 年以上で 31.5%、3 年～
10 年未満で 23.1%と続いている。

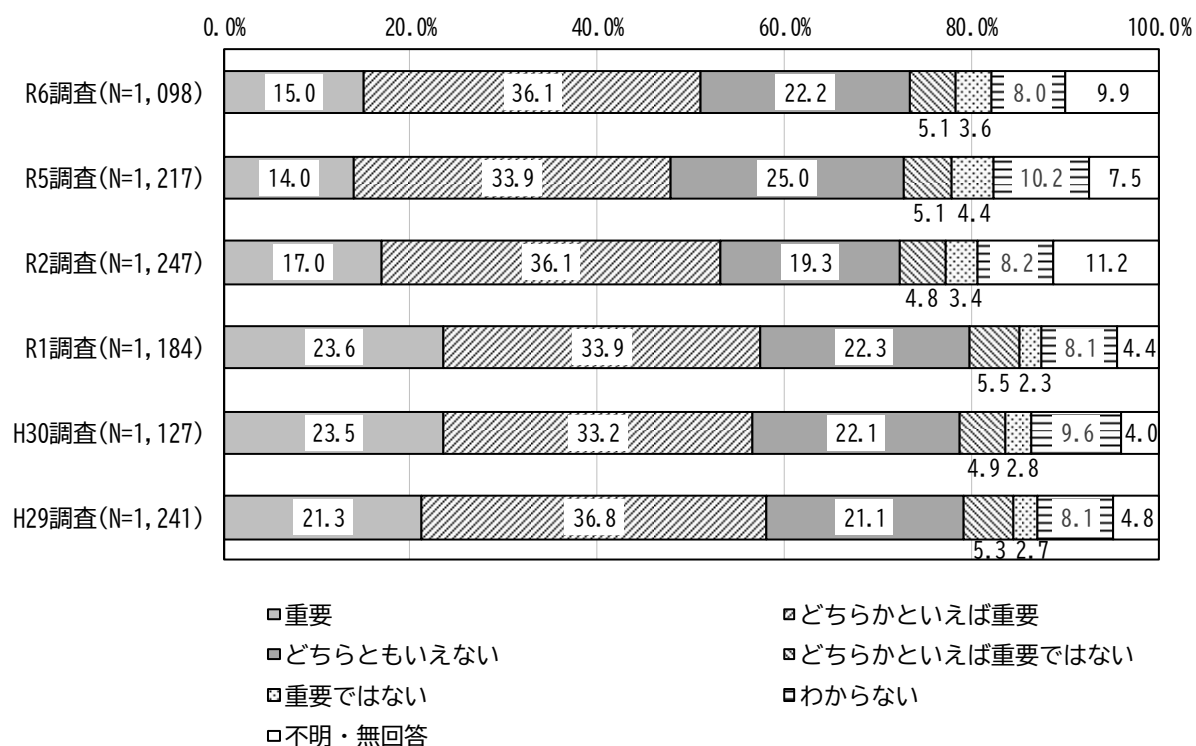
①市民自治 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

①市民自治 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 36.1%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 22.2%、「重要」が 15.0%、「わからない」が 8.0%、「どちらかといえば重要ではない」が 5.1%、「重要ではない」が 3.6%と続いている。『重要』は 51.1%となっている。

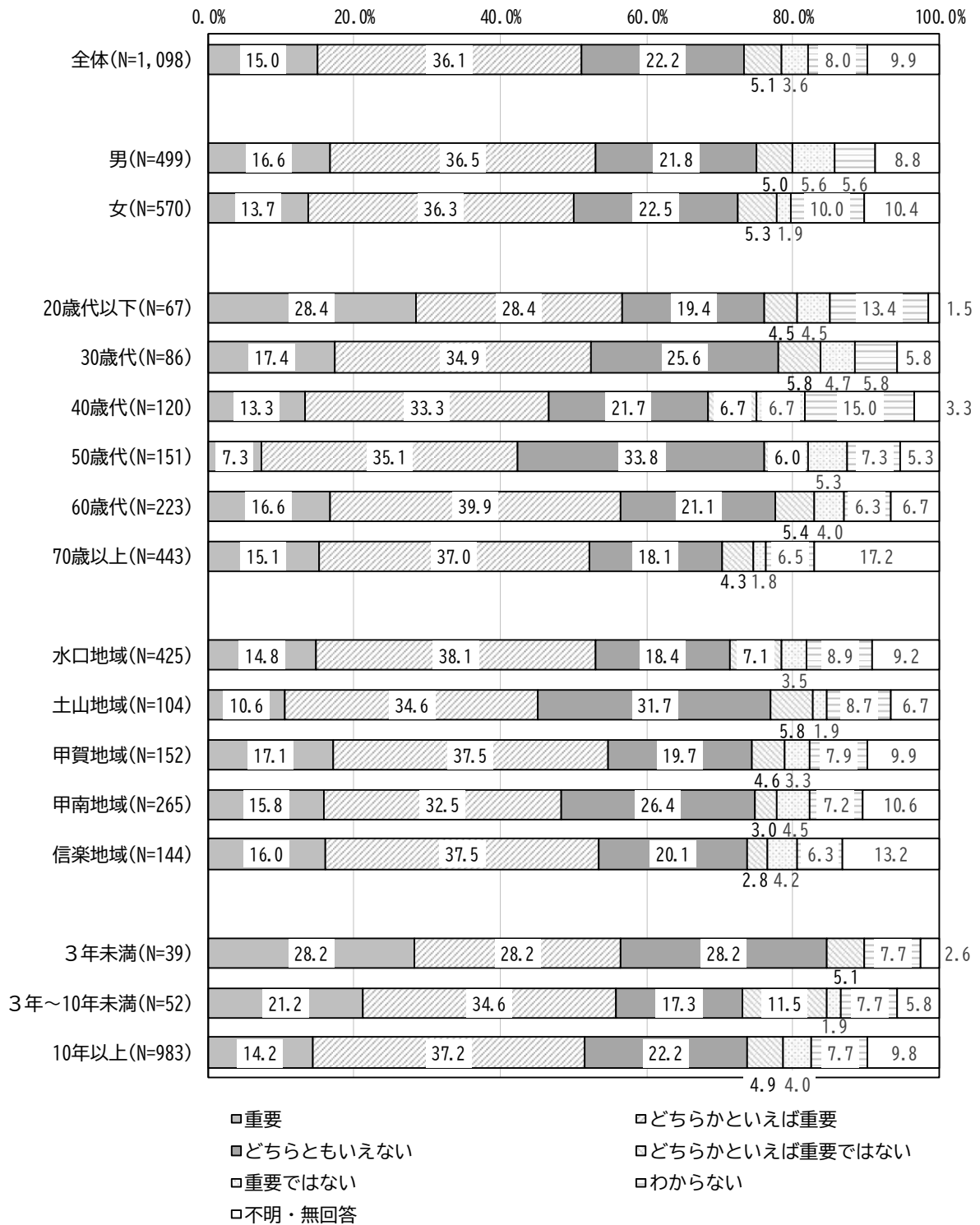
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 53.1%、女性は 50.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている（20 歳代以下は「重要」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 56.8%、以下、60 歳代で 56.5%、30 歳代で 52.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 54.6%、以下、信楽地域で 53.5%、水口地域で 52.9%、甲南地域で 48.3%、土山地域で 45.2%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている（3 年未満は「重要」と「どちらともいえない」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 56.4%、以下、3 年～10 年未満で 55.8%、10 年以上で 51.4%と続いており、居住年数が長くなるにつれて少なくなっている。

①市民自治 重要度（単数回答）

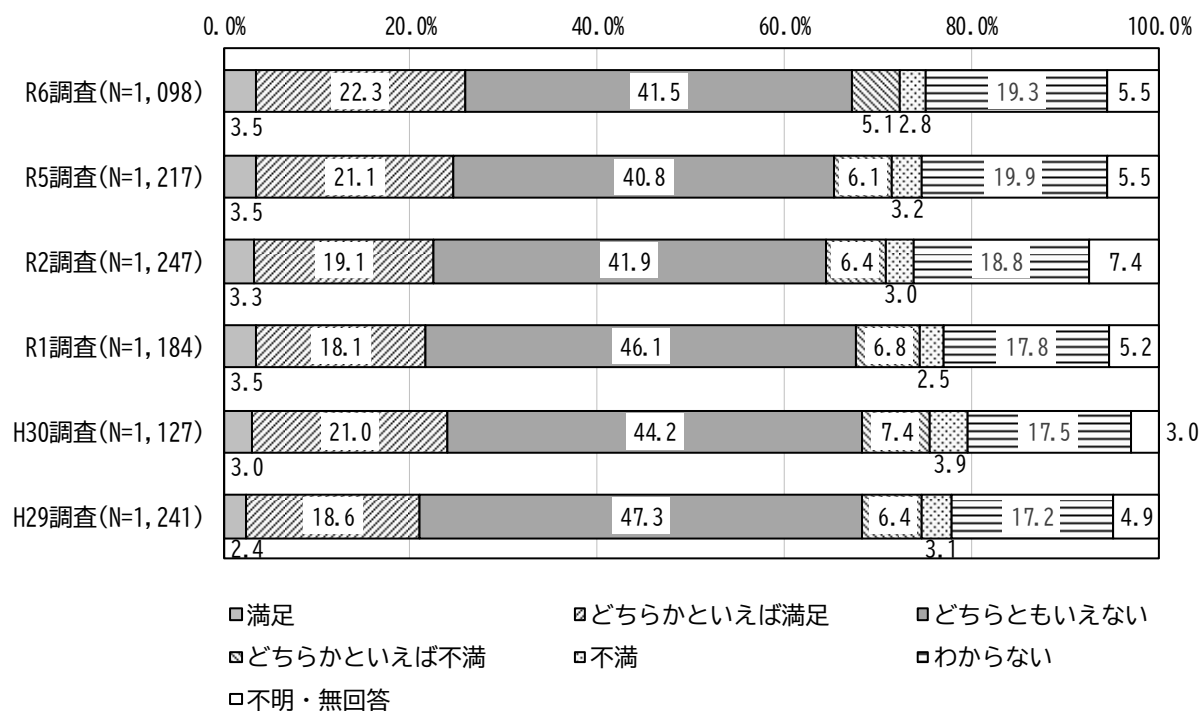


② 市民共生（人権、多文化共生）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が増加している。

②市民共生 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が41.5%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が22.3%、「わからない」が19.3%、「どちらかといえば不満」が5.1%、「満足」が3.5%、「不満」が2.8%と続いている。『満足』は25.8%となっている。

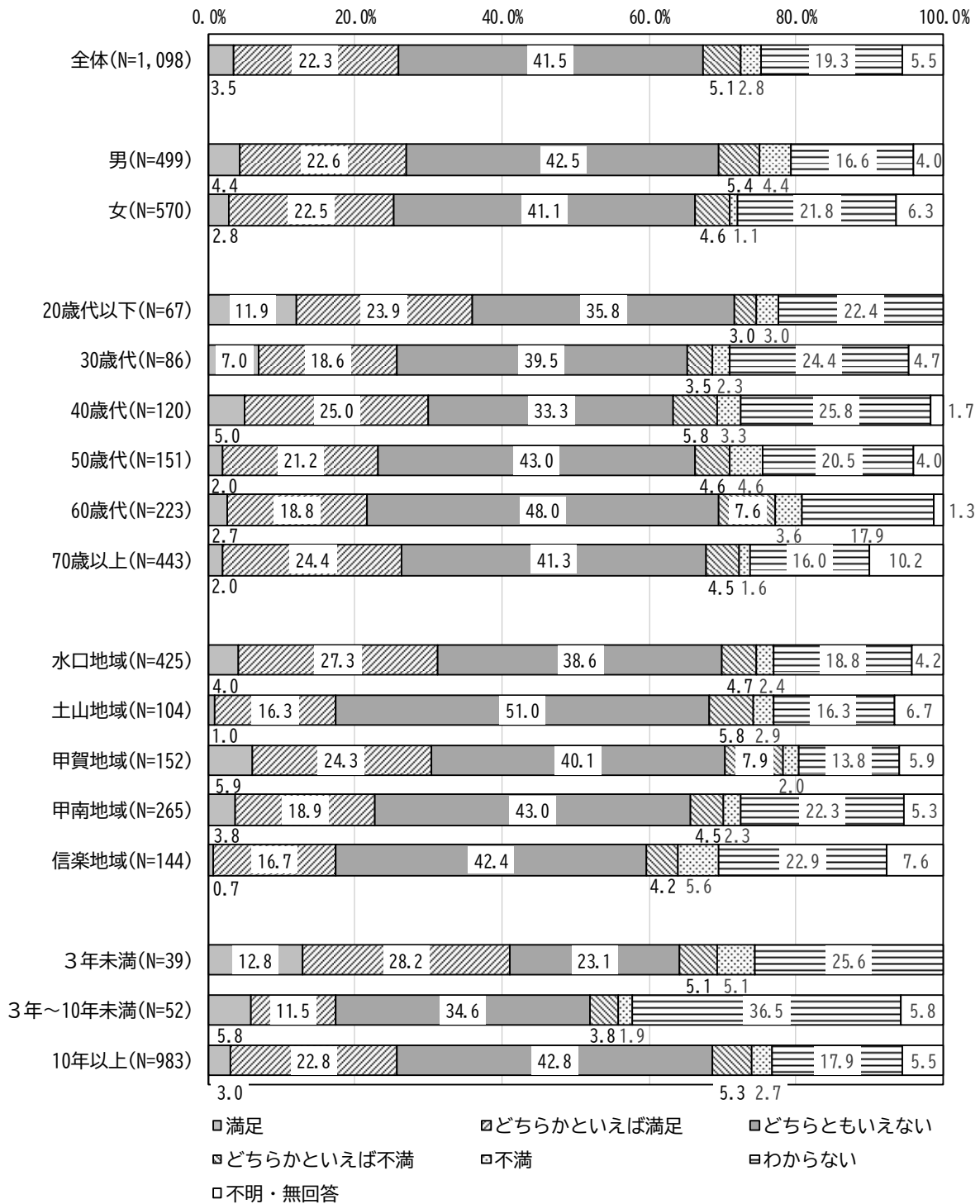
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は27.0%、女性は25.3%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で35.8%、以下、40歳代で30.0%、70歳以上で26.4%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で31.3%、以下、甲賀地域で30.2%、甲南地域で22.7%、信楽地域で17.4%、土山地域で17.3%と続いている。

●居住年数別にみると、3年未満は「どちらかといえば満足」が、3年～10年未満は「わからない」が、10年以上は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で41.0%、以下、10年以上で25.8%、3年～10年未満で17.3%と続いている。

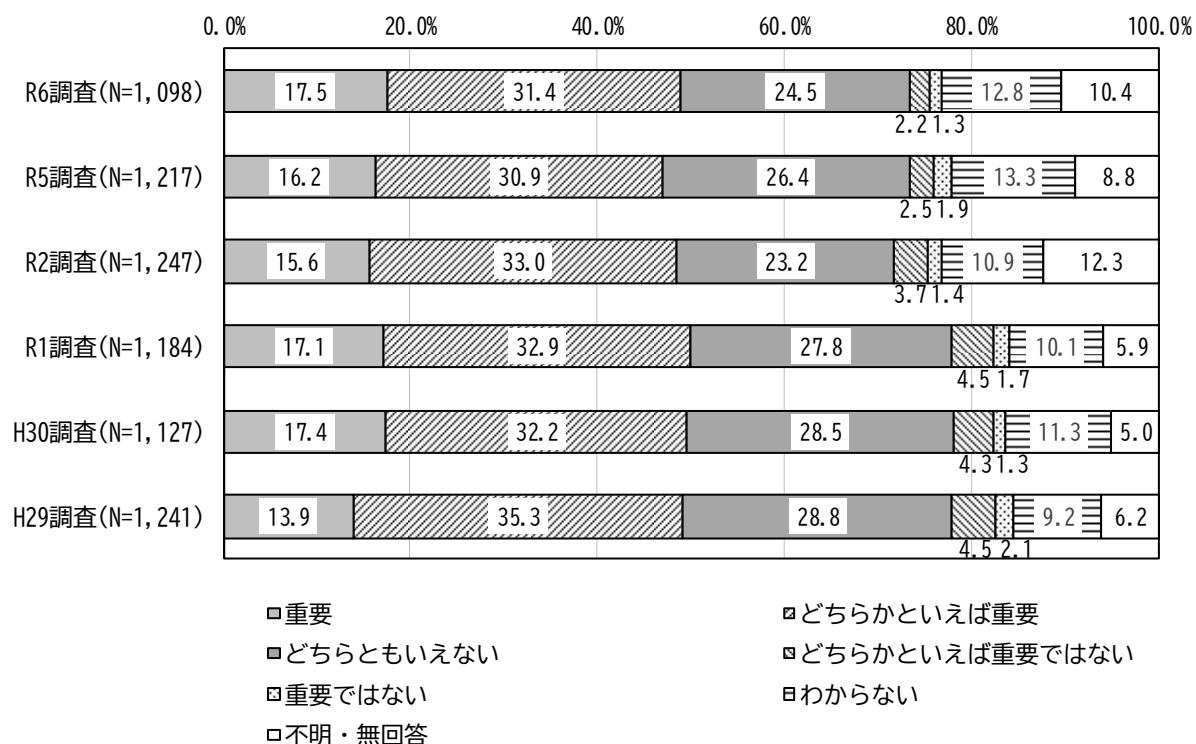
②市民共生 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。

②市民共生 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 31.4%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 24.5%、「重要」が 17.5%、「わからない」が 12.8%、「どちらかといえば重要ではない」が 2.2%、「重要ではない」が 1.3%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 48.9%となっている。

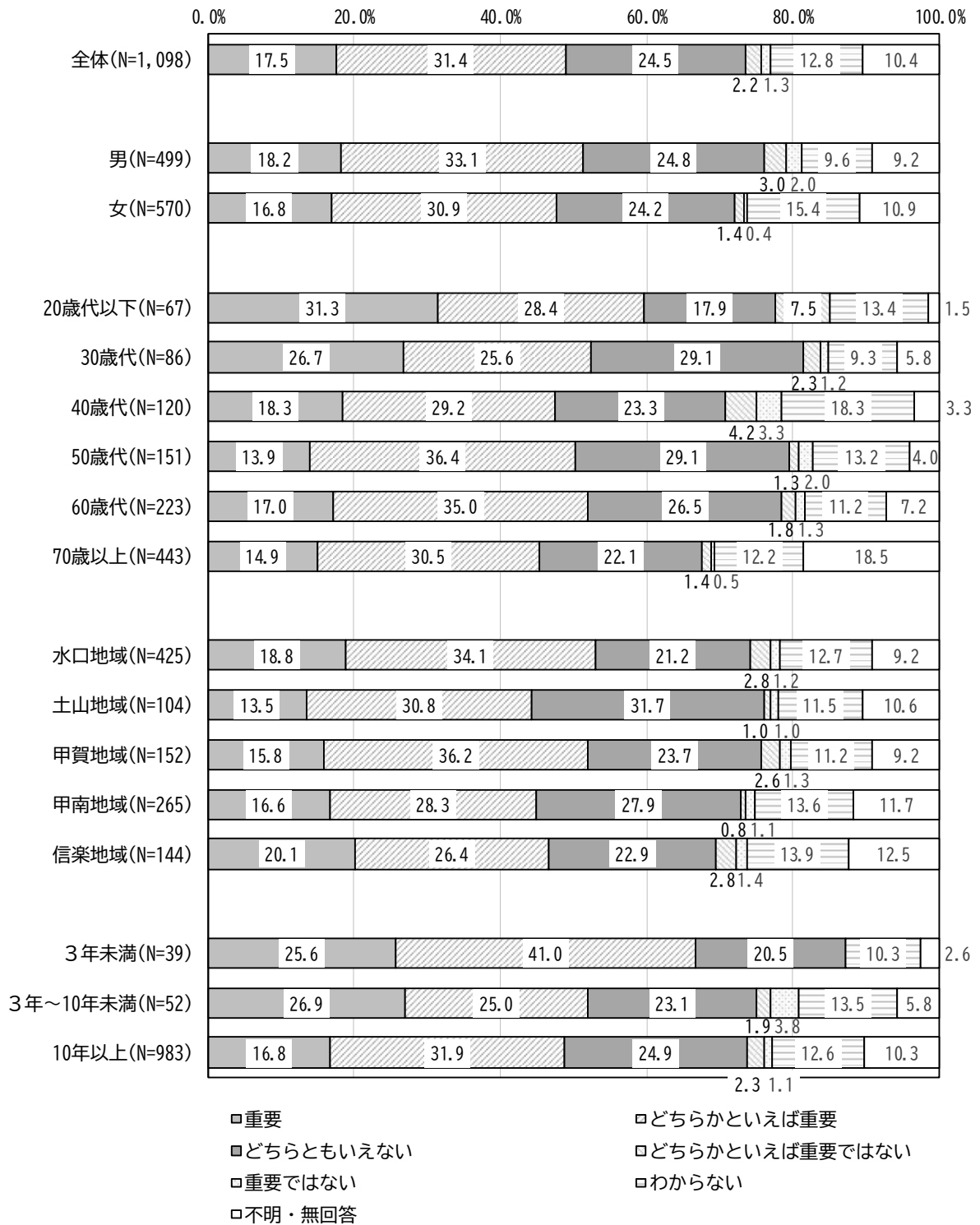
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 51.3%、女性は 47.7%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「重要」が、30 歳代は「どちらともいえない」が、その他の年代は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 59.7%、以下、30 歳代で 52.3%、60 歳代で 52.0%と続いている。

●居住地域別にみると、土山地域は「どちらともいえない」が、その他の地域は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 52.9%、以下、甲賀地域で 52.0%、信楽地域で 46.5%、甲南地域で 44.9%、土山地域で 44.3%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年～10 年未満は「重要」が、その他の年数は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 66.6%、以下、3 年～10 年未満で 51.9%、10 年以上で 48.7%と続いており、居住年数が長くなるにつれて少なくなっている。

②市民共生 重要度（単数回答）

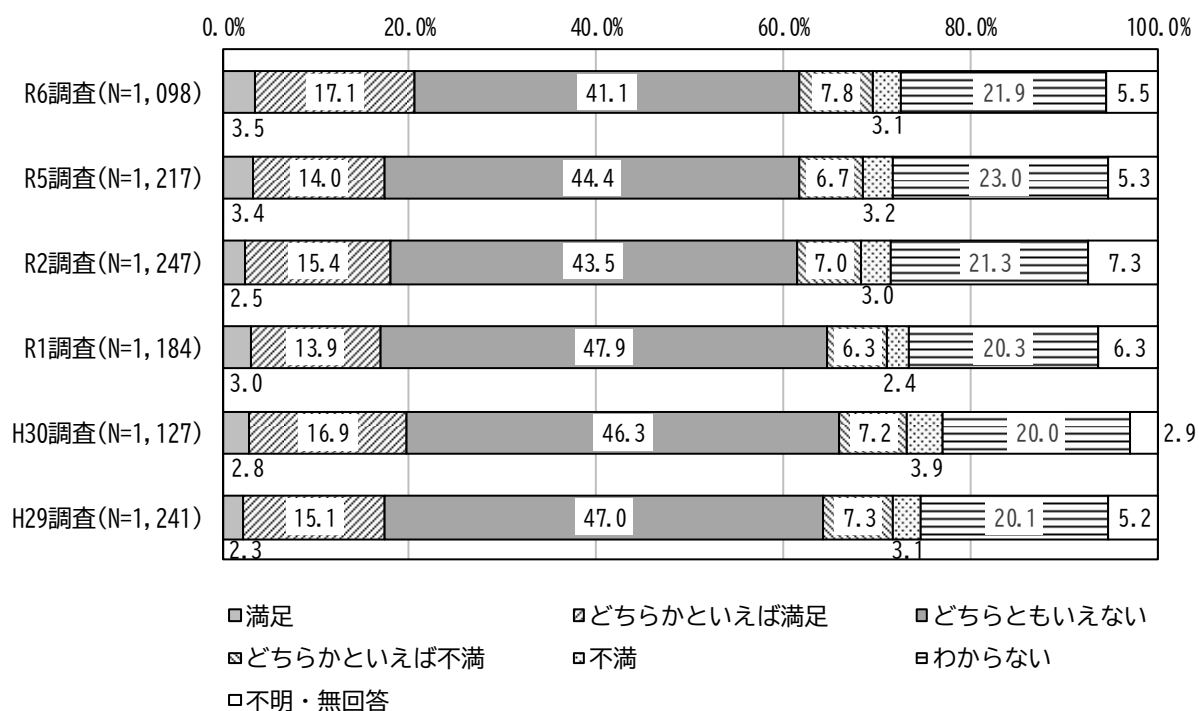


③ 男女共同参画

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。

③男女共同参画 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が41.1%で最も多くなっており、以下、「わからない」が21.9%、「どちらかといえば満足」が17.1%、「どちらかといえば不満」が7.8%、「満足」が3.5%、「不満」が3.1%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は20.6%となっている。

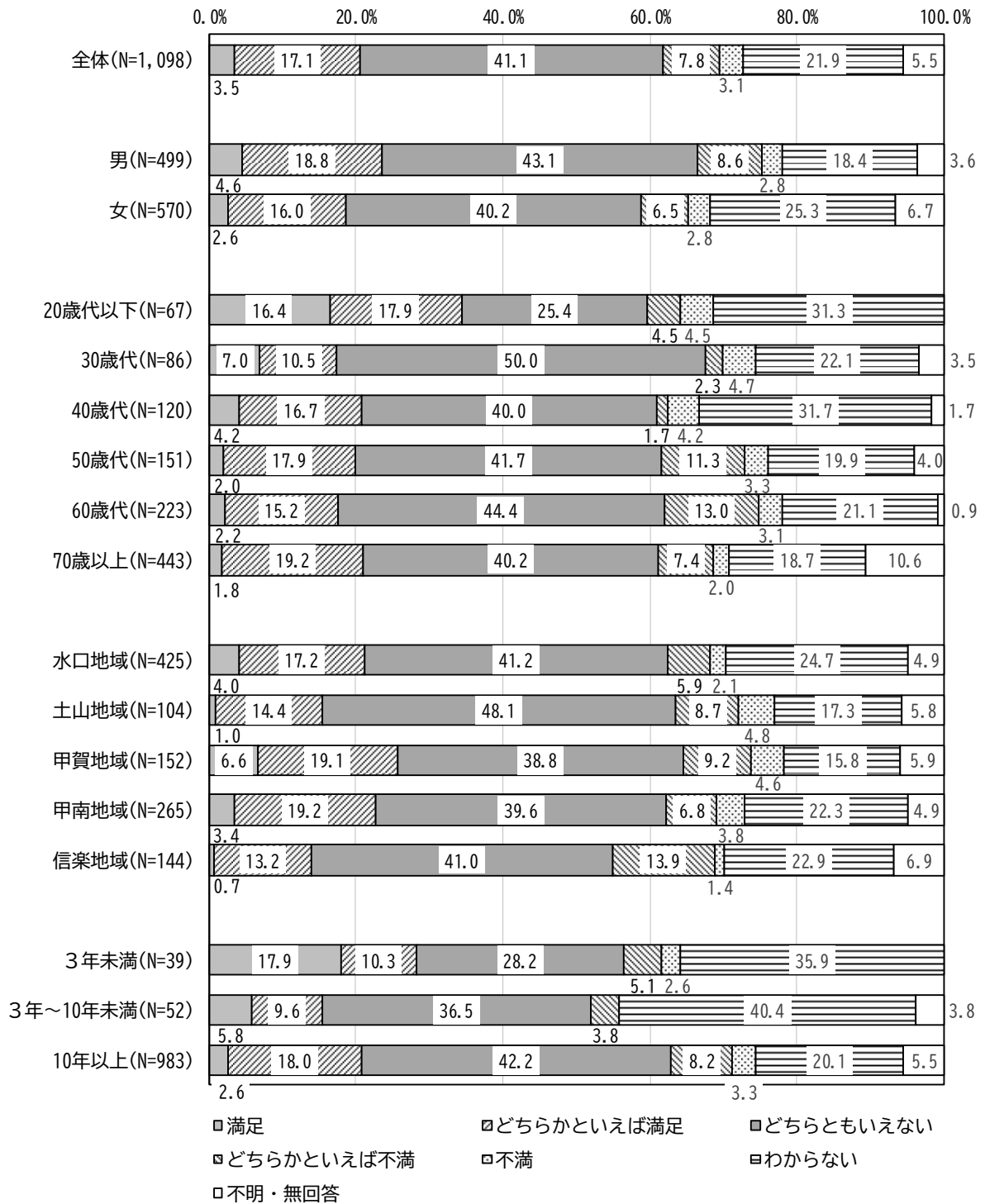
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は23.4%、女性は18.6%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「わからない」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20 歳代以下で34.3%、以下70 歳以上で21.0%、40 歳代で20.9%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で25.7%、以下、甲南地域で22.6%、水口地域で21.2%、土山地域で15.4%、信楽地域で13.9%と続いている。

●居住年数別にみると、10 年以上は「どちらともいえない」が、その他の年数は「わからない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3 年未満で28.2%、以下、10 年以上で20.6%、3 年～10 年未満で15.4%と続いている。

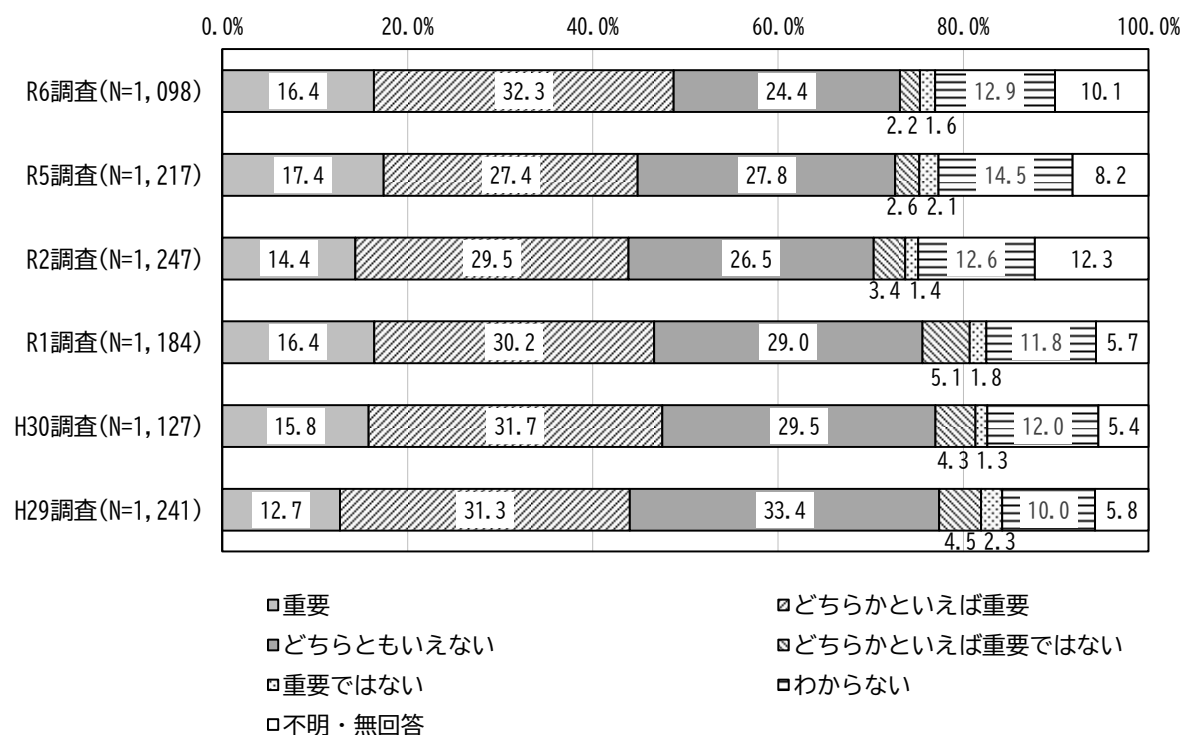
③男女共同参画 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

③男女共同参画 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 32.3%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 24.4%、「重要」が 16.4%、「わからない」が 12.9%、「どちらかといえば重要ではない」が 2.2%、「重要ではない」が 1.6%と続いている。『重要』は 48.7%となっている。

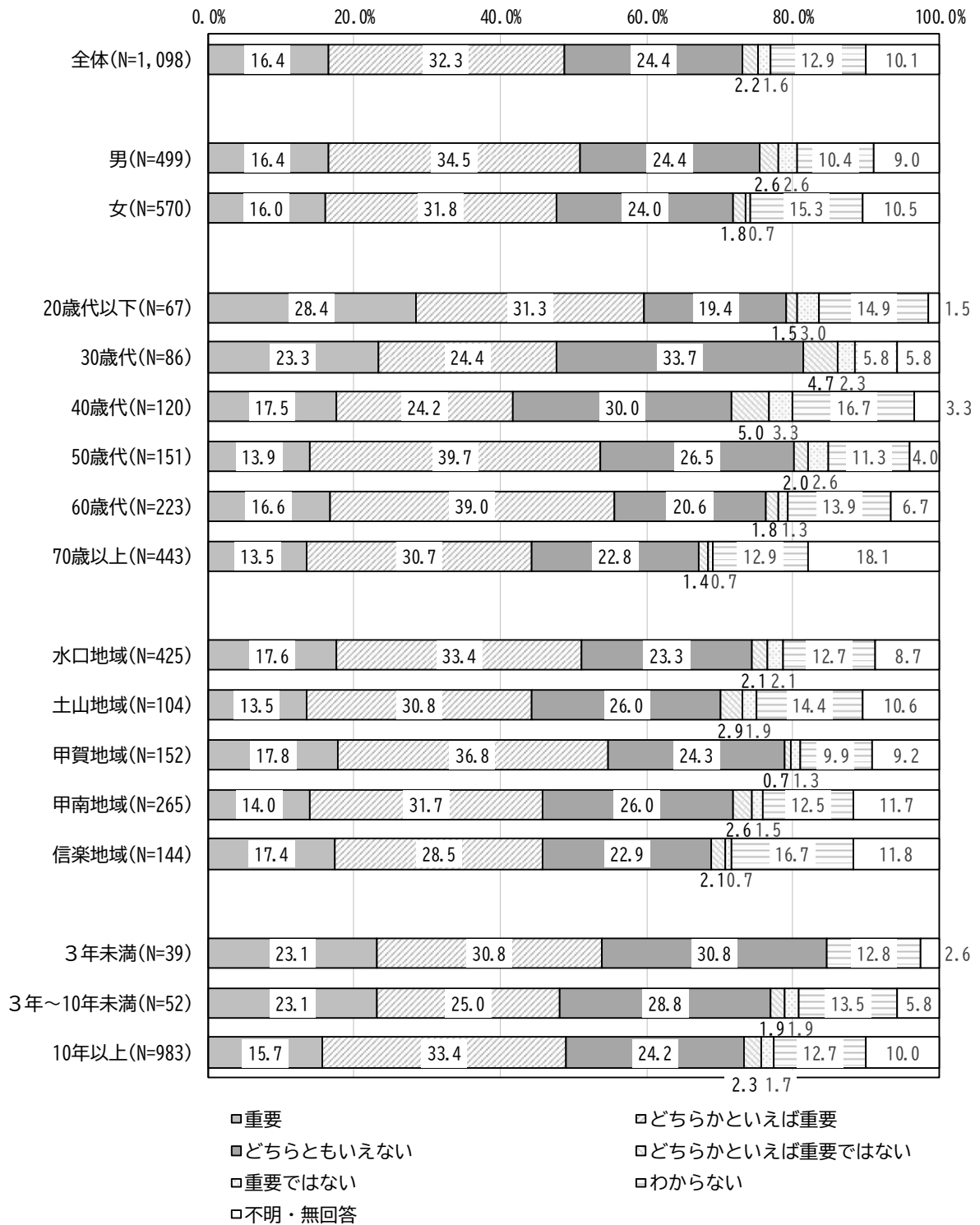
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 50.9%、女性は 47.8%となっている。

●年代別にみると、30 歳代、40 歳代は「どちらともいえない」が、その他の年代は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 59.7%、以下、60 歳代で 55.6%、50 歳代で 53.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 54.6%、以下、水口地域で 51.0%、信楽地域で 45.9%、甲南地域で 45.7%、土山地域で 44.3%と続いている。

●居住年数別にみると、10 年以上は「どちらかといえば重要」が、その他の年数は「どちらともいえない」が最も多くなっている（3 年未満は「どちらかといえば重要」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 53.9%、以下、10 年以上で 49.1%、3 年～10 年未満で 48.1%と続いている。

③男女共同参画 重要度（単数回答）

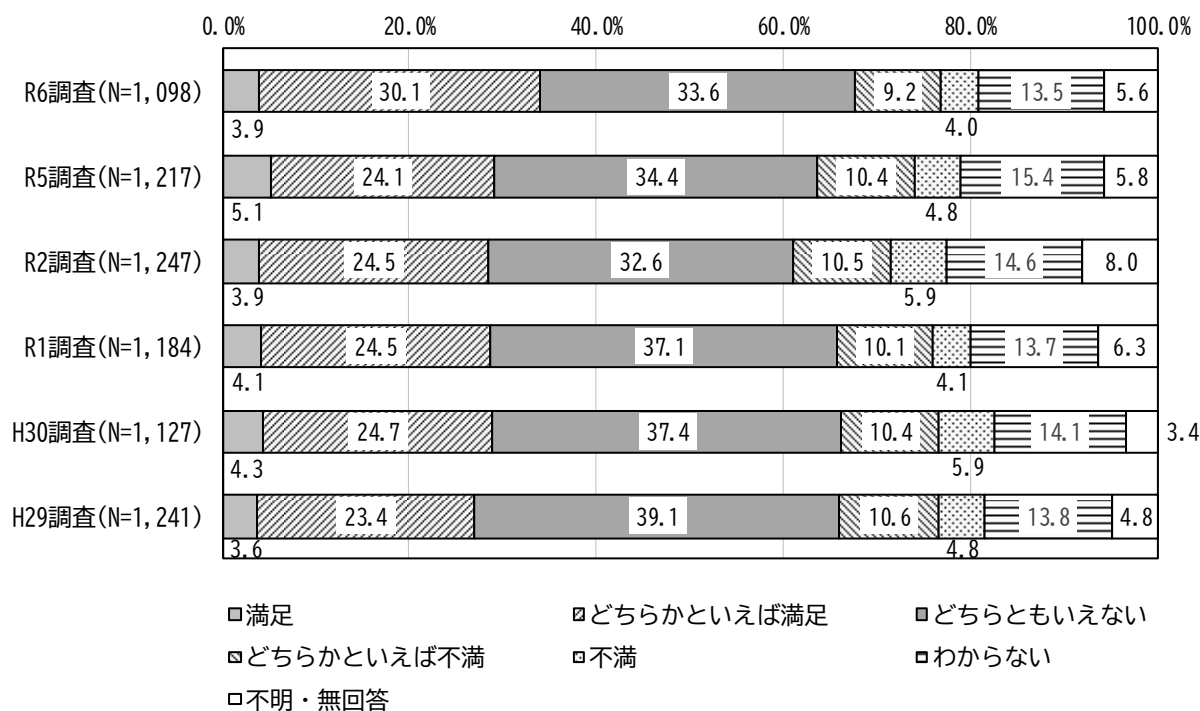


④ シティプロモーション（情報発信、広報広聴）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が増加している。

④シティプロモーション 満足度（単数回答）



※H29～R5 調査は「シティセールス（情報発信、広報広聴）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「どちらともいえない」が 33.6%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 30.1%、「わからない」が 13.5%、「どちらかといえば不満」が 9.2%、「不満」が 4.0%、「満足」が 3.9%と続いている。『満足』は 34.0%となっている。

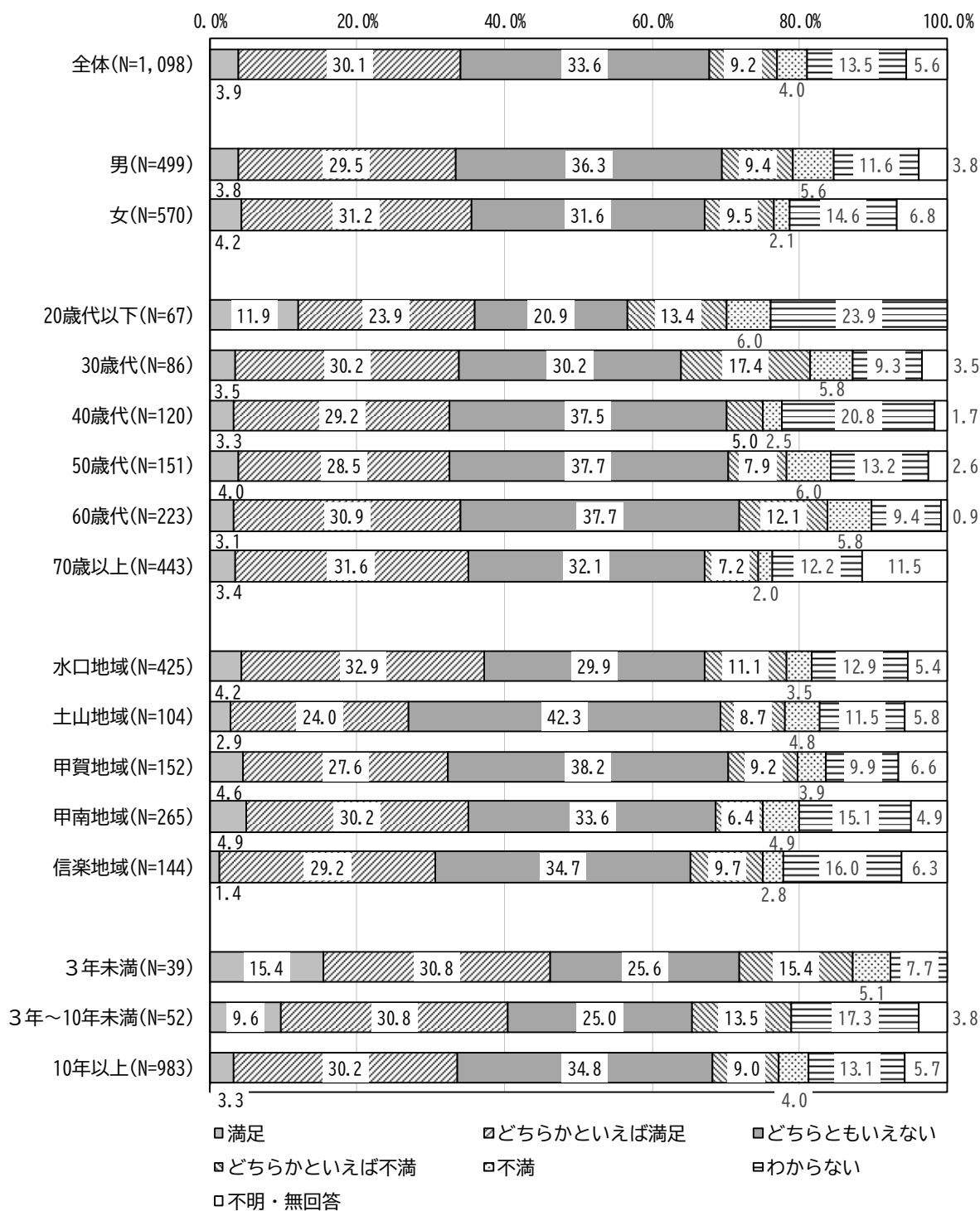
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 33.3%、女性は 35.4%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下、30 歳代は「どちらかといえば満足」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている（20 歳代以下は「わからない」、30 歳代は「どちらともいえない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 35.8%、以下、70 歳以上で 35.0%、60 歳代で 34.0%と続いている。

●居住地域別にみると、水口地域は「どちらかといえば満足」が、その他の地域は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 37.1%、以下、甲南地域で 35.1%、甲賀地域で 32.2%、信楽地域で 30.6%、土山地域で 26.9%と続いている。

●居住年数別にみると、10 年以上は「どちらともいえない」が、その他の年数は「どちらかといえは満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で46.2%、以下、3年～10年未満で40.4%、10年以上で33.5%と続いており、居住年数が長くなるにつれて少なくなっている。

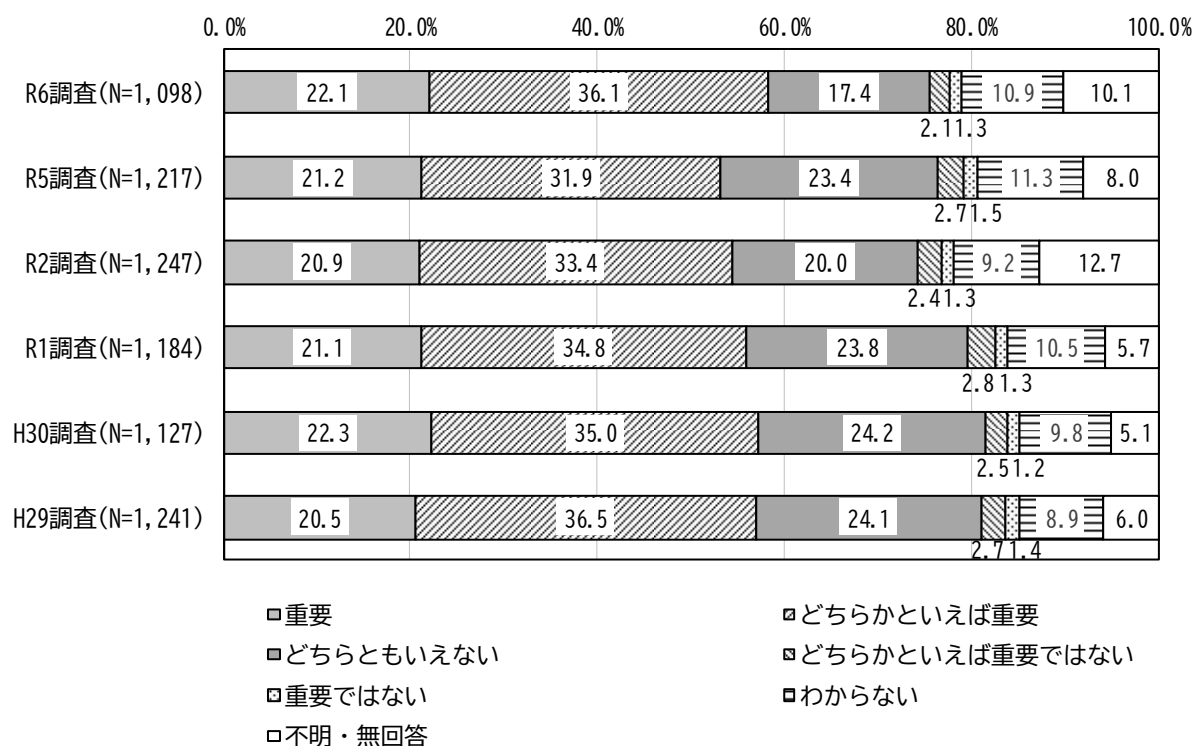
④シティプロモーション 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえ重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

④シティプロモーション 重要度（単数回答）



※H29～R5 調査は「シティセールス（情報発信、広報広聴）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「どちらかといえ重要」が 36.1%で最も多くなっており、以下、「重要」が 22.1%、「どちらともいえない」が 17.4%、「わからない」が 10.9%、「どちらかといえ重要ではない」が 2.1%、「重要ではない」が 1.3%と続いている。『重要』は 58.2%となっている。

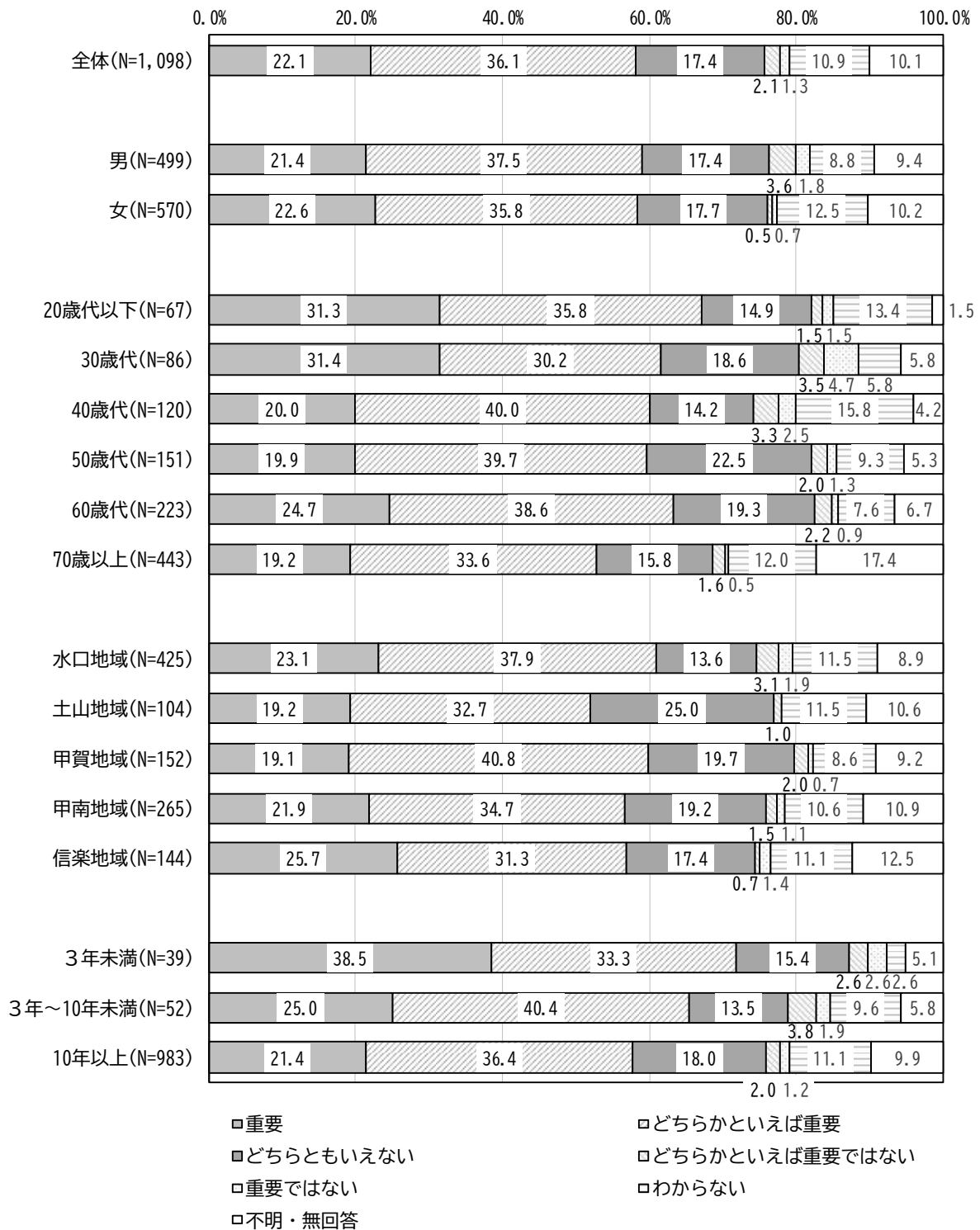
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 58.9%、女性は 58.4%となっている。

●年代別にみると、30 歳代は「重要」が、その他年代は「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 67.1%、以下、60 歳代で 63.3%、30 歳代で 61.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 61.0%、以下、甲賀地域で 59.9%、信楽地域で 57.0%、甲南地域で 56.6%、土山地域で 51.9%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「重要」が、その他の年数は「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 71.8%、以下、3 年～10 年未満で 65.4%、10 年以上で 57.8%と続いており、居住年数が長くなるにつれて少なくなっている。

④シティプロモーション 重要度（単数回答）



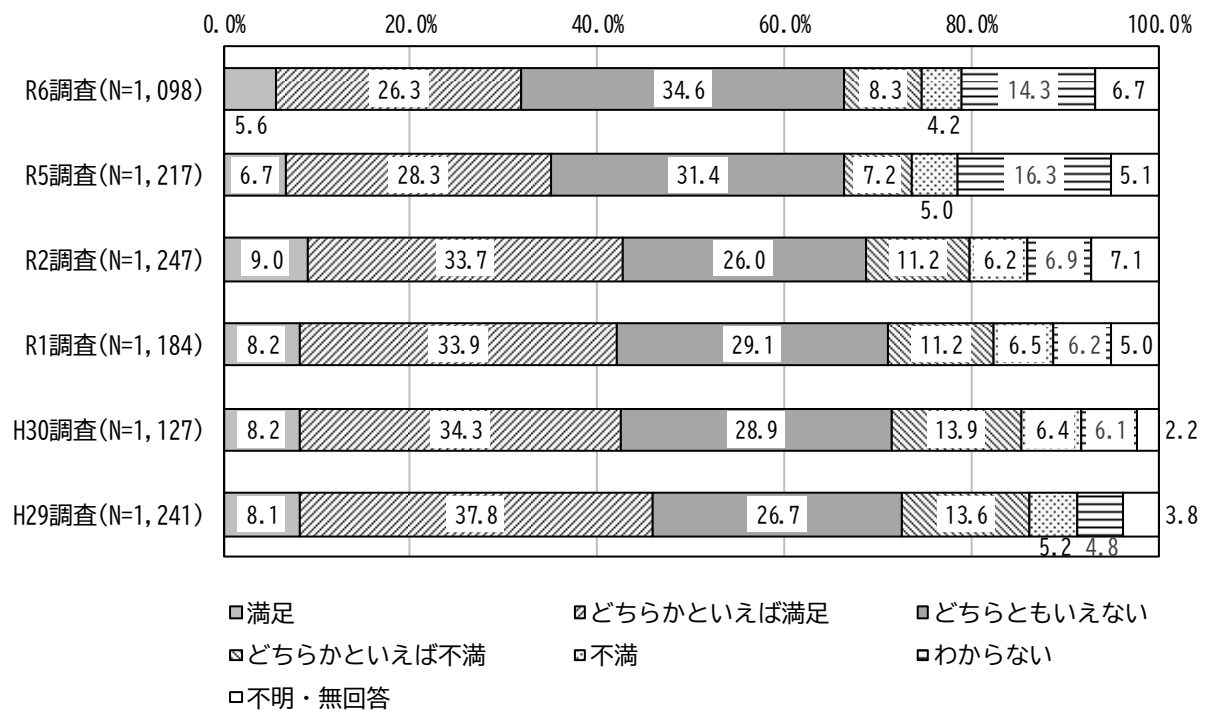
【2. いろいろ山河と生きいき文化】

⑤ 環境・資源・エネルギー（生活環境保全、脱炭素社会、廃棄物処理）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が減少している。

⑤環境・資源・エネルギー 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が 34.6%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 26.3%、「わからない」が 14.3%、「どちらかといえば不満」が 8.3%、「満足」が 5.6%、「不満」が 4.2%と続いている。『満足』は 31.9%となっている。

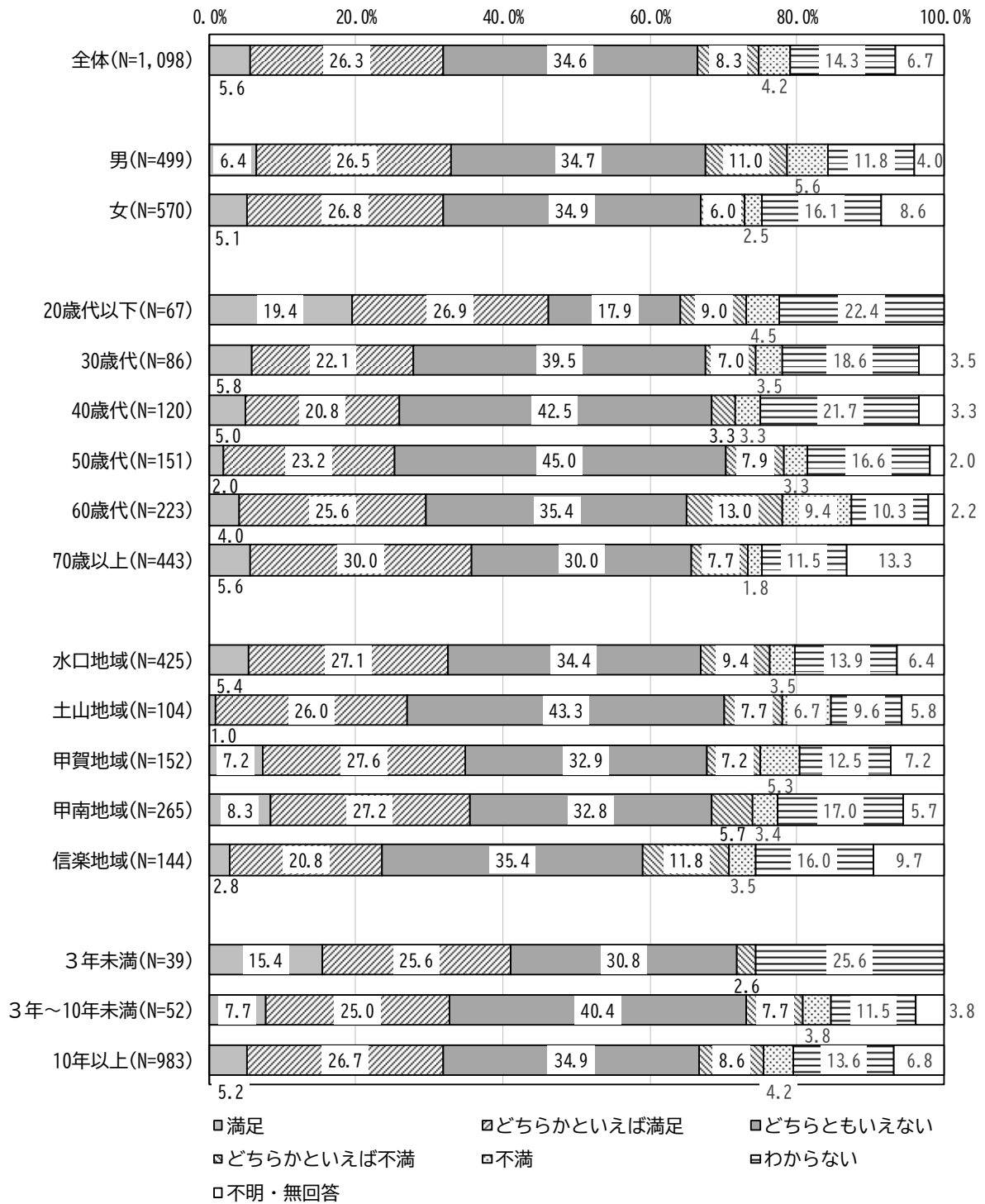
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 32.9%、女性は 31.9%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下、70 歳以上は「どちらかといえば満足」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている（70 歳以上は「どちらともいえない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 46.3%、以下、70 歳以上で 35.6%、60 歳代で 29.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で 35.5%、以下、甲賀地域で 34.8%、水口地域で 32.5%、土山地域で 27.0%、信楽地域で 23.6%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 41.0%、以下、3 年～10 年未満で 32.7%、10 年以上で 31.9%と続いており、居住年数が長くなるにつれて少なくなっている。

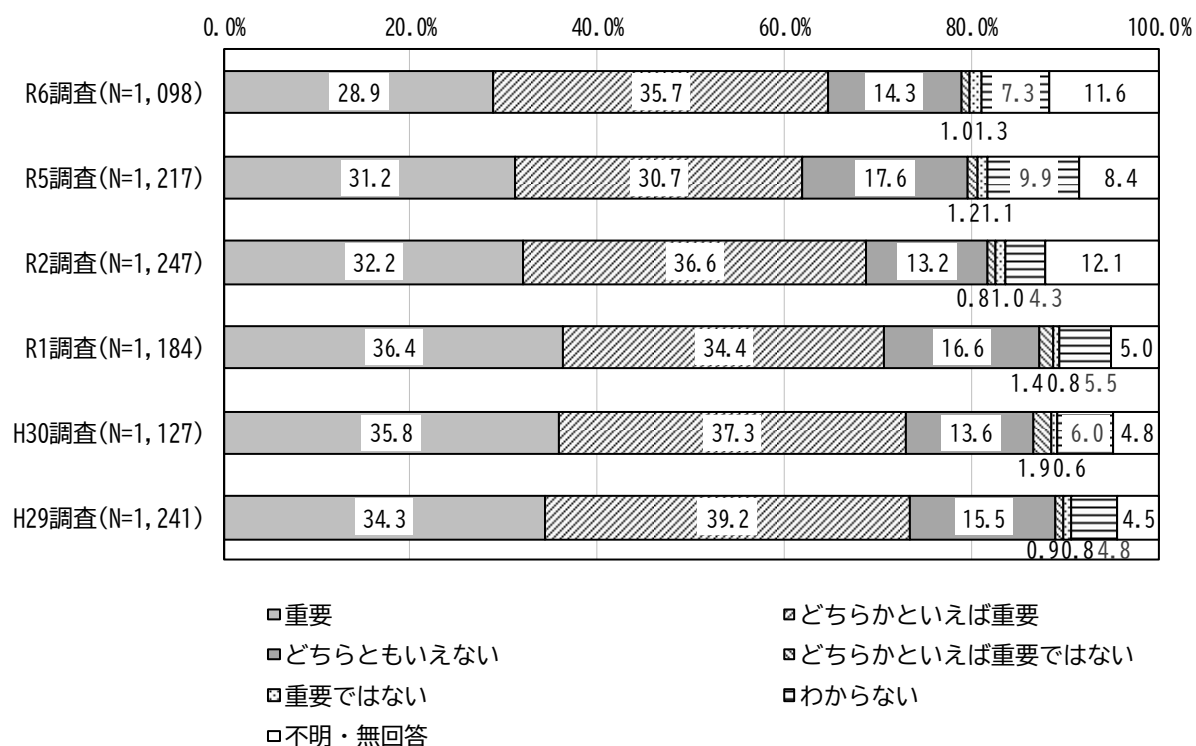
⑤環境・資源・エネルギー 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑤環境・資源・エネルギー 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 35.7%で最も多くなっており、以下、「重要」が 28.9%、「どちらともいえない」が 14.3%、「わからない」が 7.3%、「重要ではない」が 1.3%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.0%と続いている。『重要』は 64.6%となっている。

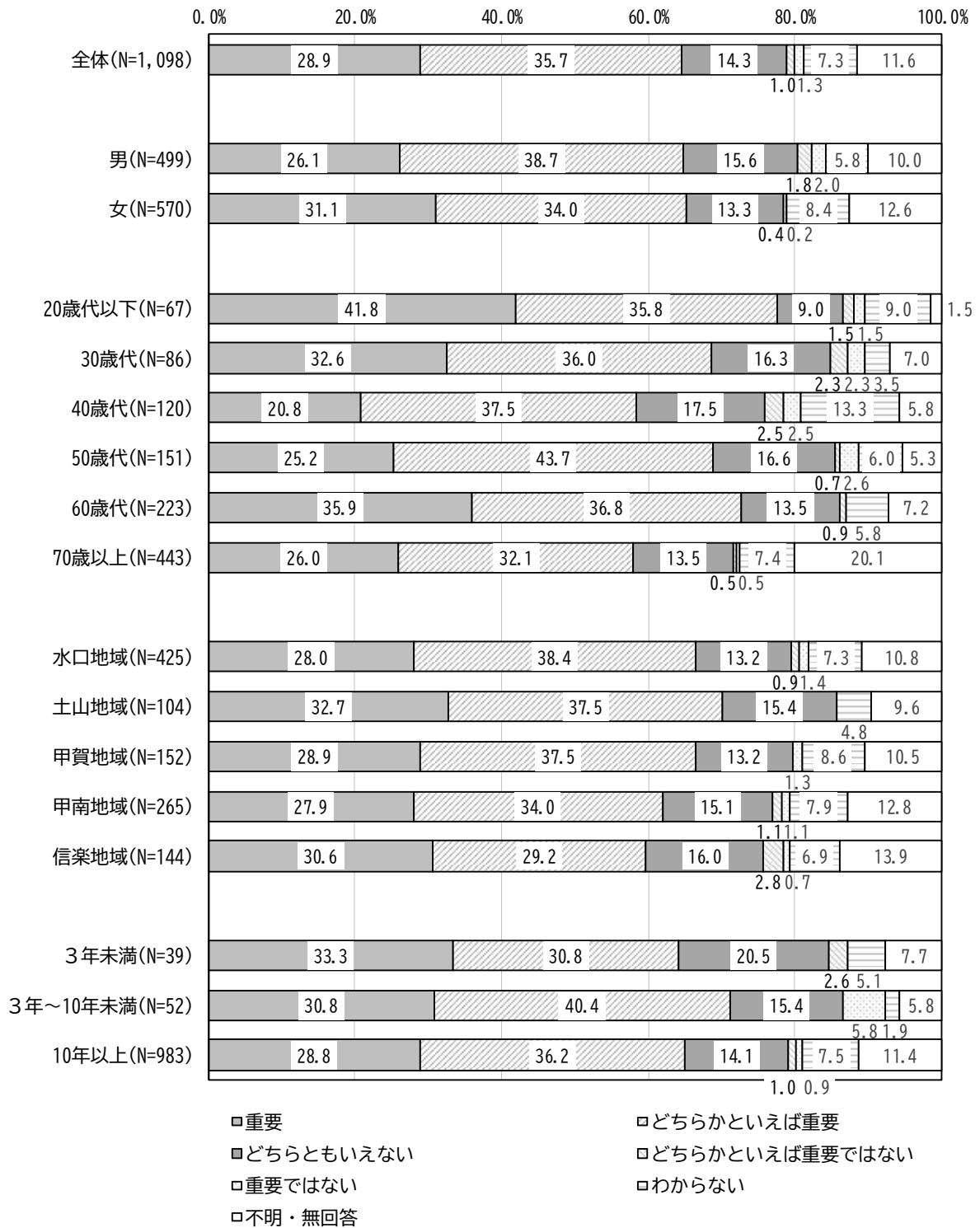
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 64.8%、女性は 65.1%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「重要」が、その他の年代は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 77.6%、以下、60 歳代で 72.7%、50 歳代で 68.9%と続いている。

●居住地域別にみると、信楽地域は「重要」が、その他の地域は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 70.2%、以下、水口地域、甲賀地域で 66.4%、甲南地域で 61.9%、信楽地域で 59.8%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「重要」が、その他の年数は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 71.2%、以下、10 年以上で 65.0%、3 年未満で 64.1%と続いている。

⑤環境・資源・エネルギー 重要度（単数回答）



⑥ 自然・公園・緑地（自然保護、自然共生、公園整備）

【満足度】

●全体でみると、「どちらかといえば満足」が 29.1%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 28.8%、「どちらかといえば不満」が 13.3%、「わからない」が 8.7%、「不満」が 7.5%、「満足」が 6.8%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 35.9%となっている。

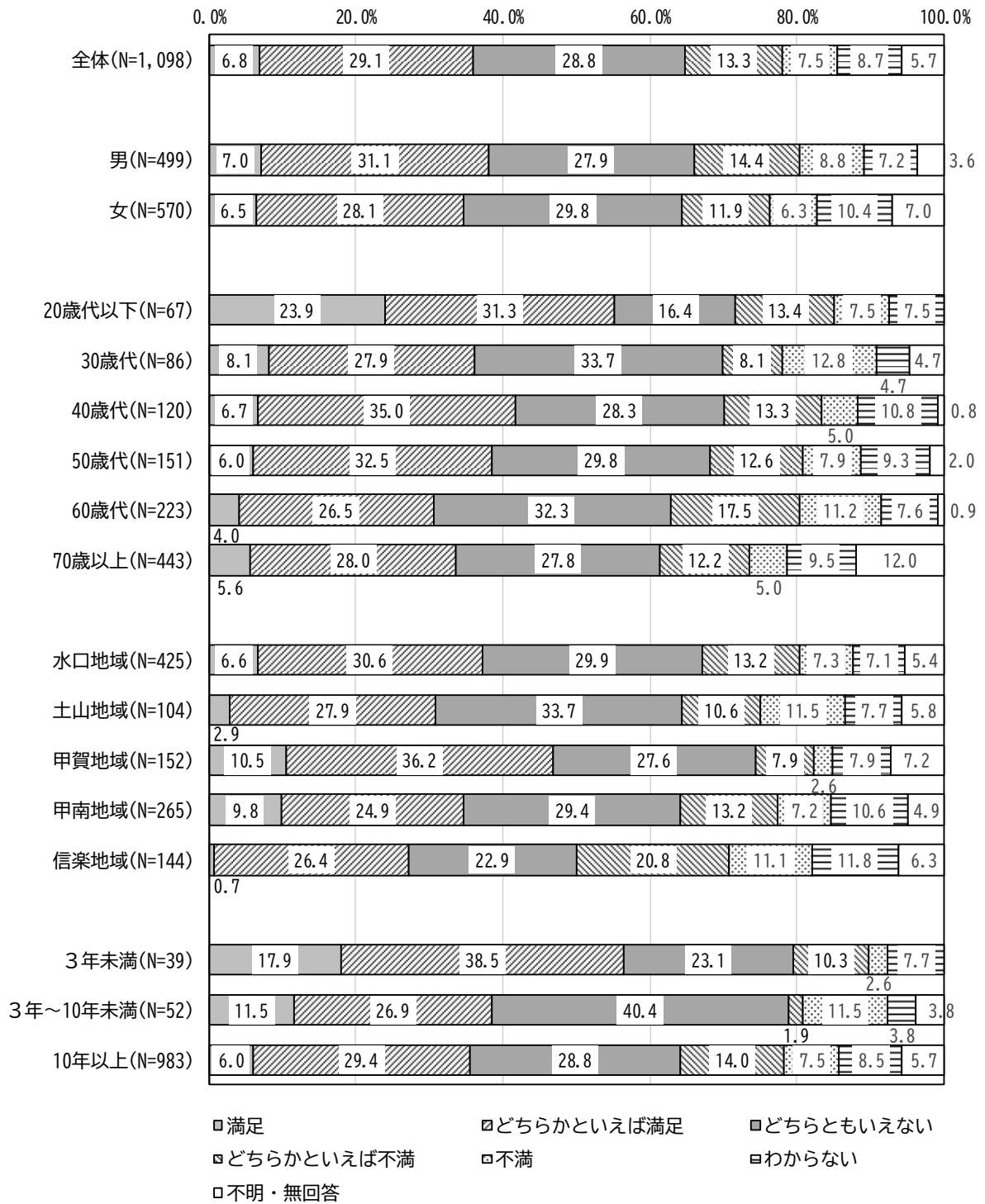
●性別にみると、男性は「どちらかといえば満足」が、女性は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 38.1%、女性は 34.6%となっている。

●年代別にみると、30 歳代、60 歳代は「どちらともいえない」が、その他の年代は「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 55.2%、以下、40 歳代で 41.7%、50 歳代で 38.5%と続いている。

●居住地域別にみると、土山地域、甲南地域は「どちらともいえない」が、その他の地域は「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 46.7%、以下、水口地域で 37.2%、甲南地域で 34.7%、土山地域で 30.8%、信楽地域で 27.1%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年～10 年未満は「どちらともいえない」が、その他の年数は「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 56.4%、以下、3 年～10 年未満で 38.4%、10 年以上で 35.4%と続いており、居住年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑥自然・公園・緑地 満足度（単数回答）



【重要度】

●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 39.2%で最も多くなっており、以下、「重要」が 27.0%、「どちらともいえない」が 14.1%、「わからない」が 6.3%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.9%、「重要ではない」が 0.6%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 66.2%となっている。

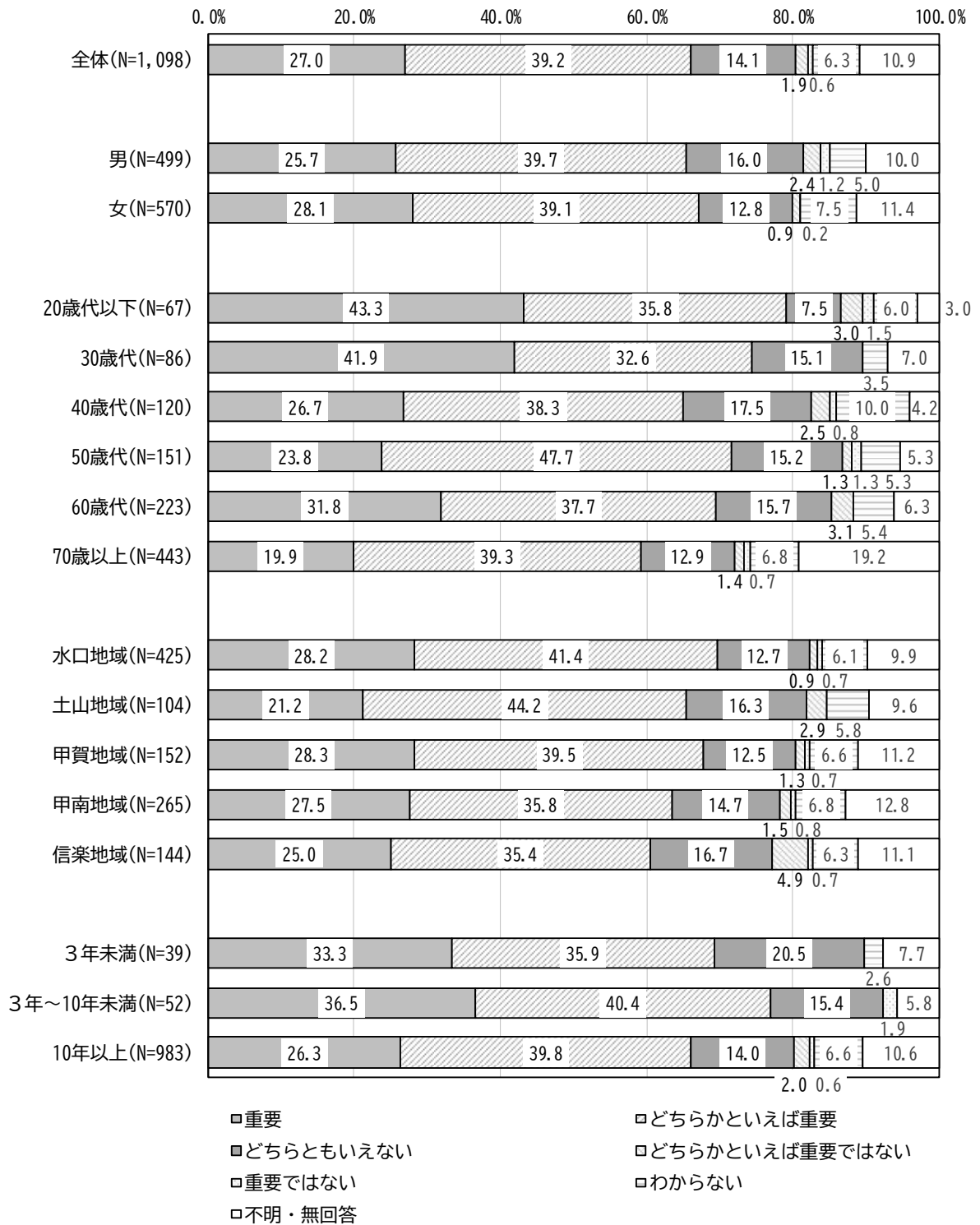
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 65.4%、女性は 67.2%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下、30 歳代は「重要」が、その他の年代は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 79.1%、以下、30 歳代で 74.5%、50 歳代で 71.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 69.6%、以下、甲賀地域で 67.8%、土山地域で 65.4%、甲南地域で 63.3%、信楽地域で 60.4%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 76.9%、以下、3 年未満で 69.2%、10 年以上で 66.1%と続いている。

⑥自然・公園・緑地 重要度（単数回答）

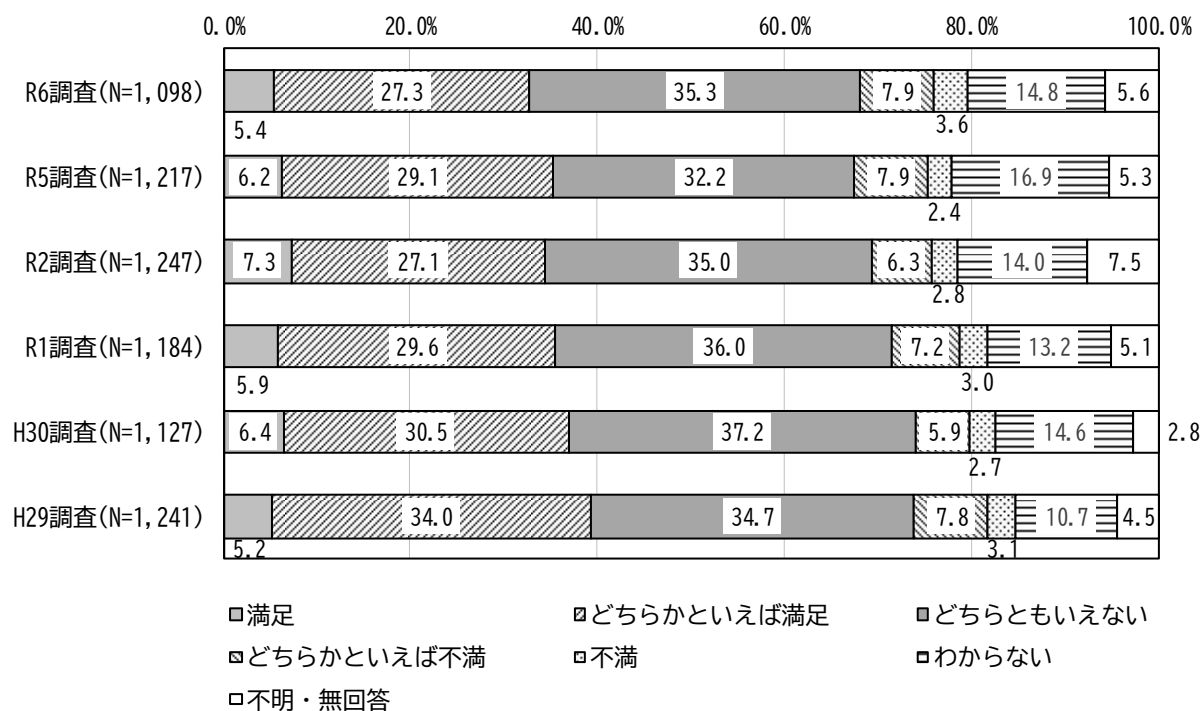


⑦ 歴史・文化財・景観（文化財の調査、保護、活用、景観の保全）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が減少している。

⑦歴史・文化財・景観 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が 35.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 27.3%、「わからない」が 14.8%、「どちらかといえば不満」が 7.9%、「満足」が 5.4%、「不満」が 3.6%と続いている。『満足』は 32.7%となっている。

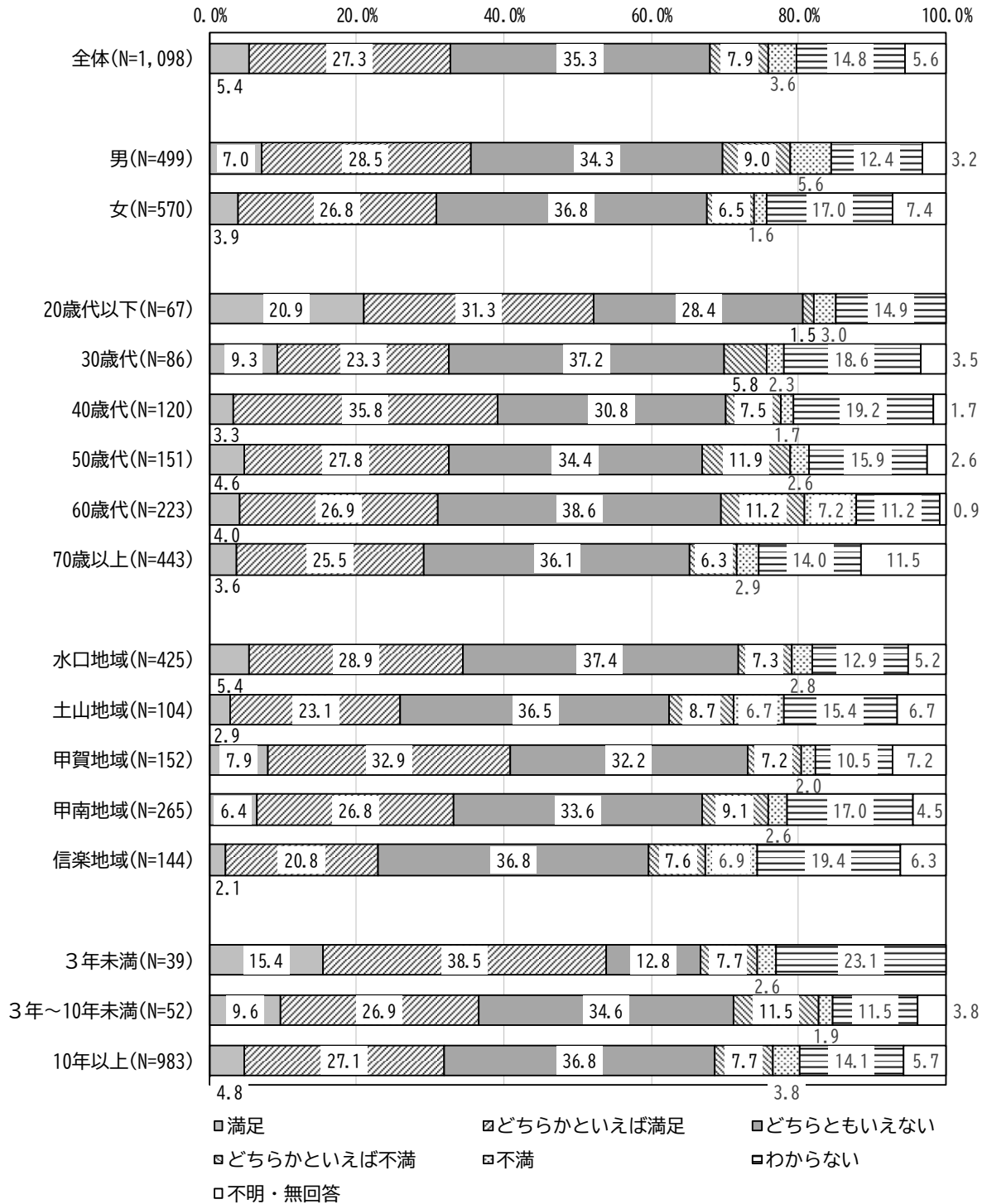
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 35.5%、女性は 30.7%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下、40 歳代は「どちらかといえば満足」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 52.2%、以下、40 歳代で 39.1%、30 歳代で 32.6%と続いている。

●居住地域別にみると、甲賀地域は「どちらかといえば満足」が、その他の地域は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 40.8%、以下、水口地域で 34.3%、甲南地域で 33.2%、土山地域で 26.0%、信楽地域で 22.9%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「どちらかといえば満足」が、その他の年数は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 53.9%、以下、3 年～10 年未満で 36.5%、10 年以上で 31.9%と続いており、居住年数が長くなるにつれて少なくなっている。

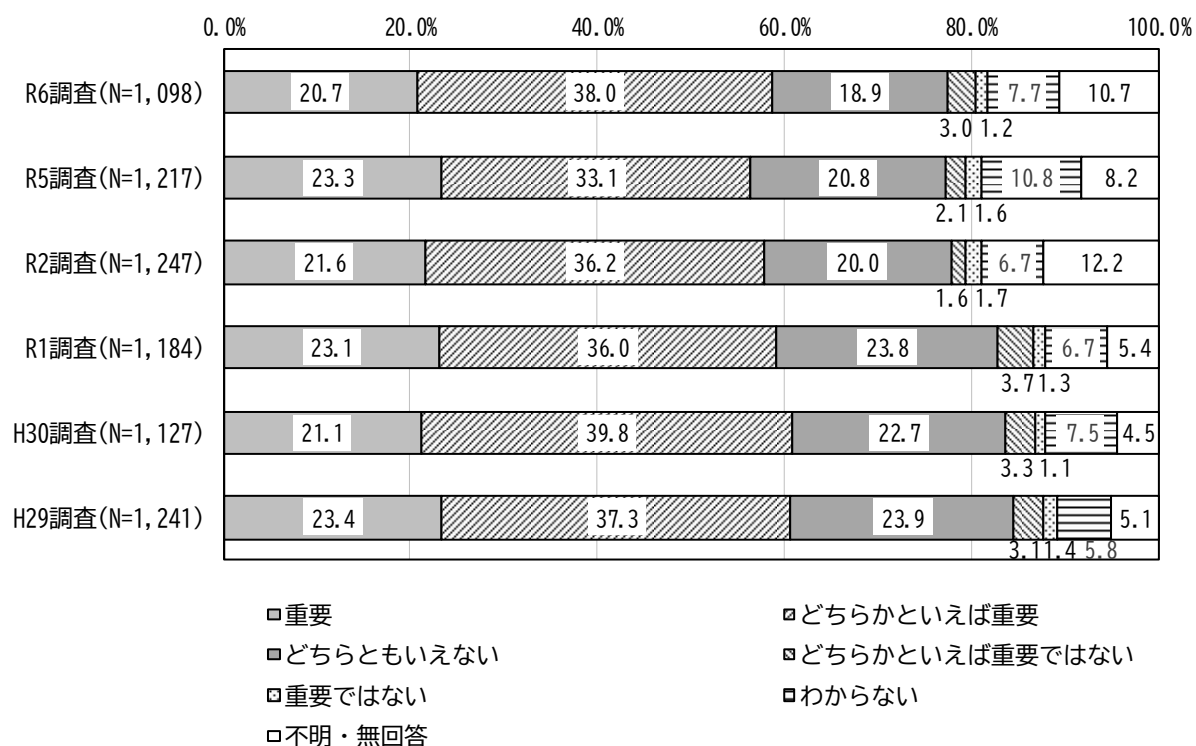
⑦歴史・文化財・景観 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえ重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑦歴史・文化財・景観 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえ重要」が 38.0%で最も多くなっており、以下、「重要」が 20.7%、「どちらともいえない」が 18.9%、「わからない」が 7.7%、「どちらかといえ重要ではない」が 3.0%、「重要ではない」が 1.2%と続いている。『重要』は 58.7%となっている。

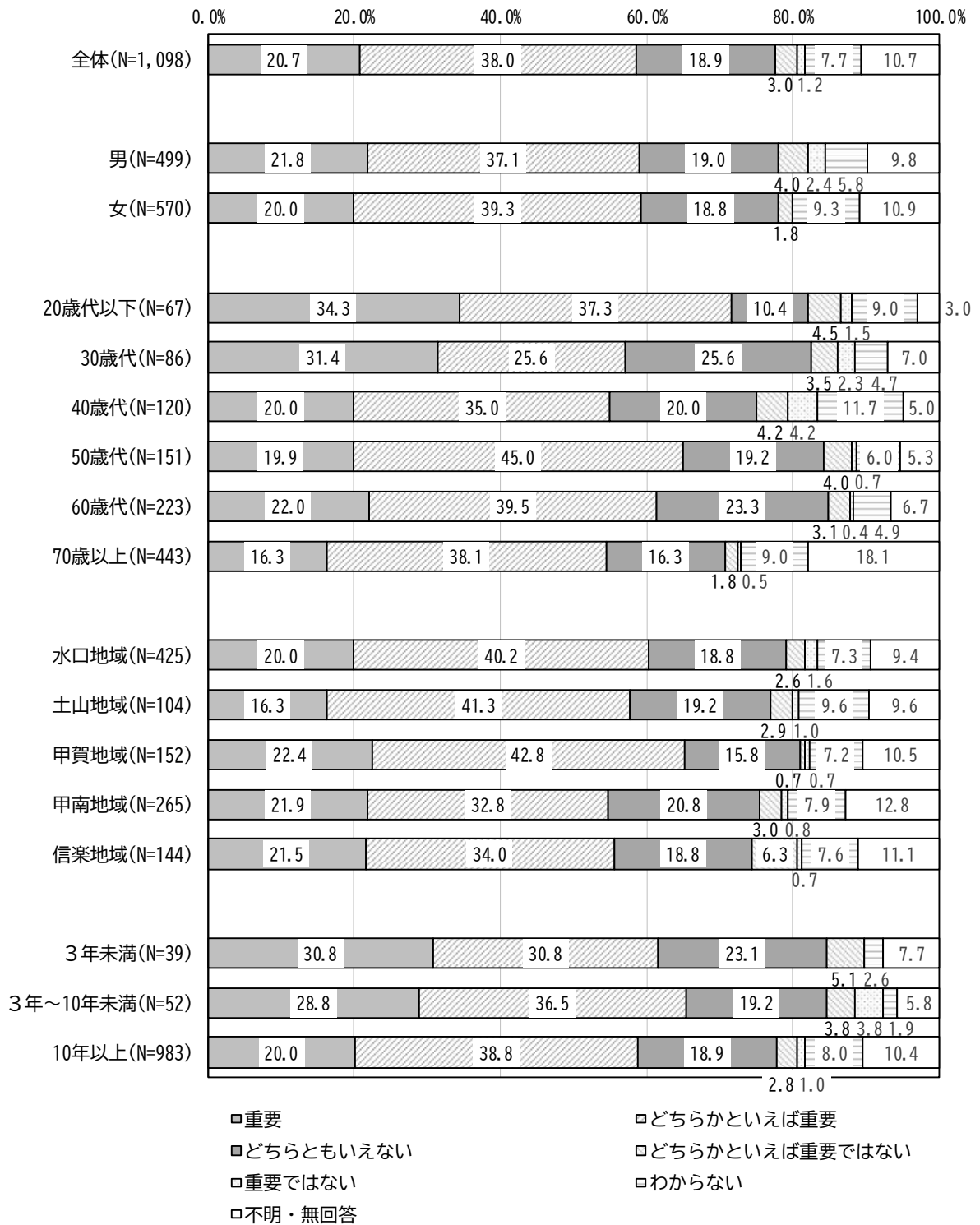
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 58.9%、女性は 59.3%となっている。

●年代別にみると、30 歳代は「重要」が、その他の年代は「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 71.6%、以下、50 歳代で 64.9%、60 歳代で 61.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 65.2%、以下、水口地域で 60.2%、土山地域で 57.6%、信楽地域で 55.5%、甲南地域で 54.7%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえ重要」が最も多くなっている（3 年未満は「重要」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 65.3%、以下、3 年未満で 61.6%、10 年以上で 58.8%と続いている。

⑦歴史・文化財・景観 重要度（単数回答）

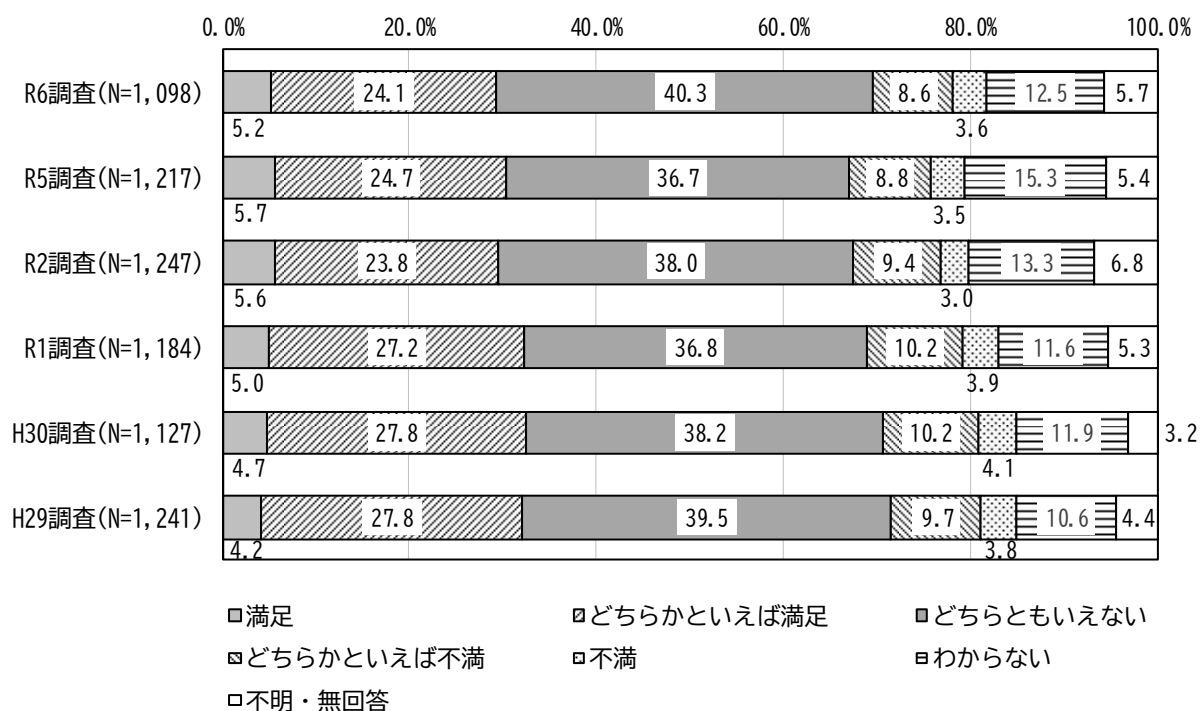


⑧ 生涯学習・文化・スポーツ（生涯学習、文化、芸術、スポーツの振興）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。

⑧生涯学習・文化・スポーツ 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が 40.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 24.1%、「わからない」が 12.5%、「どちらかといえば不満」が 8.6%、「満足」が 5.2%、「不満」が 3.6%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 29.3%となっている。

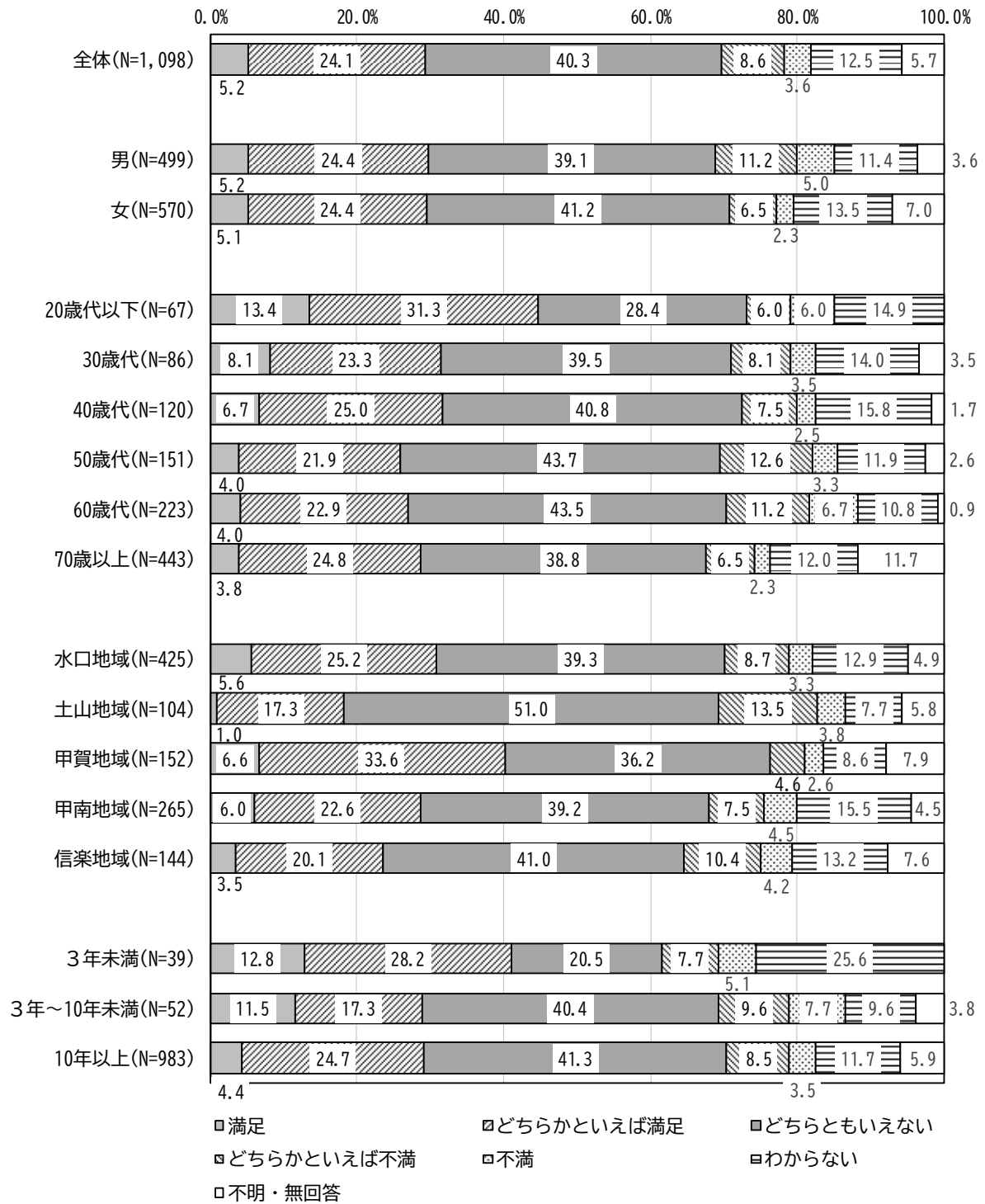
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 29.6%、女性は 29.5%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「どちらかといえば満足」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 44.7%、以下、40 歳代で 31.7%、30 歳代で 31.4%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 40.2%、以下、水口地域で 30.8%、甲南地域で 28.6%、信楽地域で 23.6%、土山地域で 18.3%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「どちらかといえば満足」が、その他の年数は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 41.0%、以下、10 年以上で 29.1%、3 年～10 年未満で 28.8%と続いている。

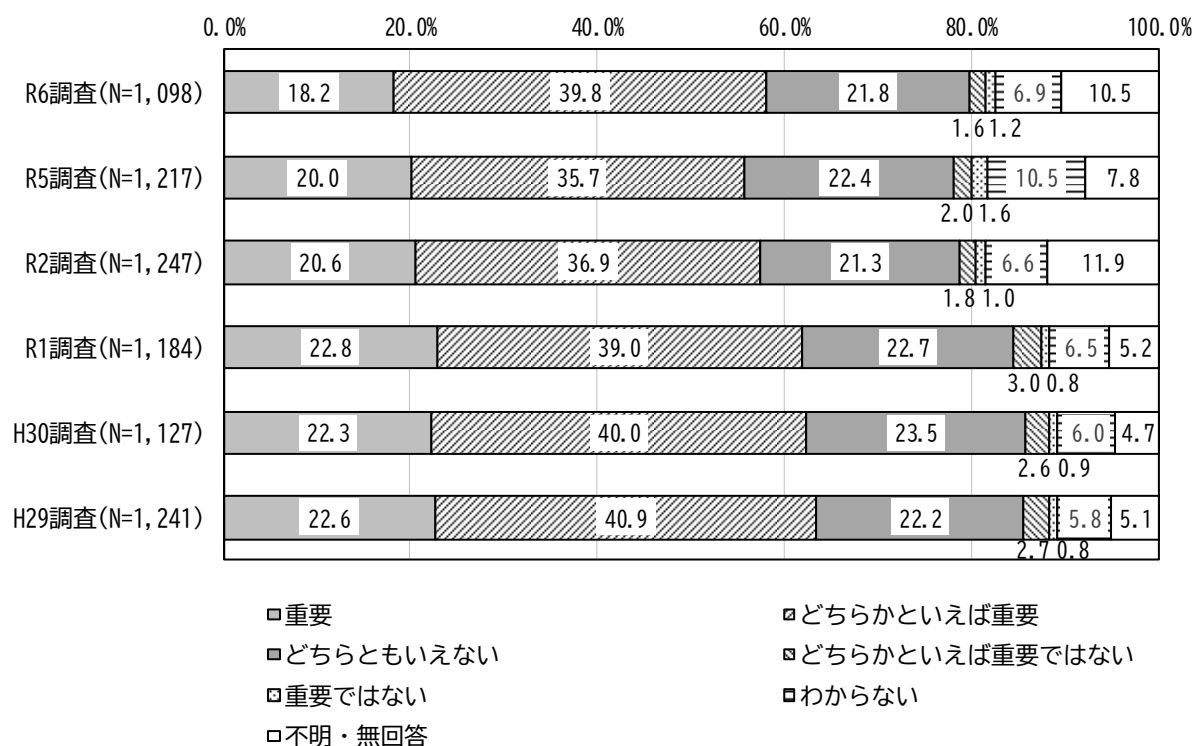
⑧生涯学習・文化・スポーツ 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑧生涯学習・文化・スポーツ 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 39.8%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 21.8%、「重要」が 18.2%、「わからない」が 6.9%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.6%、「重要ではない」が 1.2%と続いている。『重要』は 58.0%となっている。

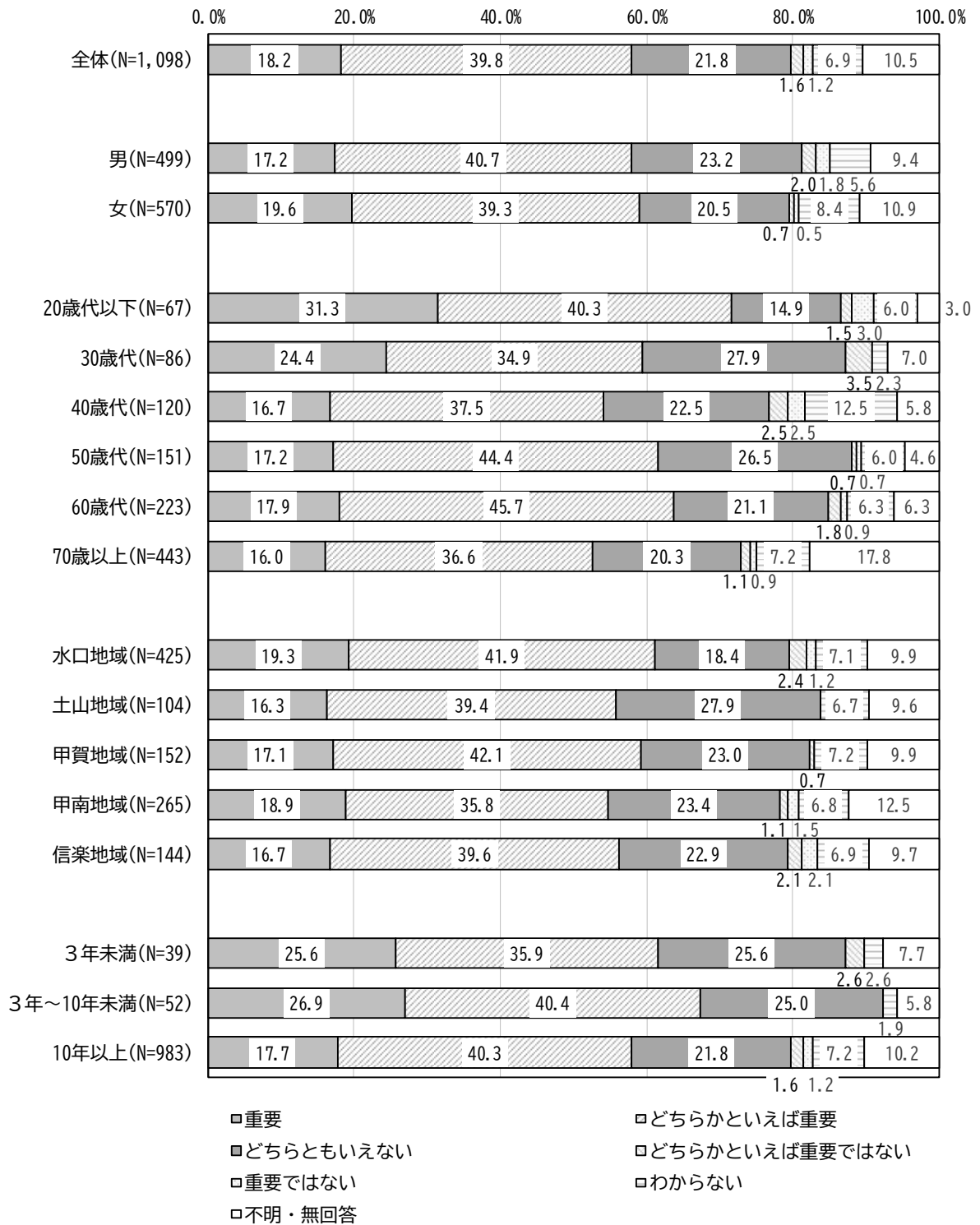
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 57.9%、女性は 58.9%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 71.6%、以下、60 歳代で 63.6%、50 歳代で 61.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 61.2%、以下、甲賀地域で 59.2%、信楽地域で 56.3%、土山地域で 55.7%、甲南地域で 54.7%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 67.3%、以下、3 年未満で 61.5%、10 年以上で 58.0%と続いている。

⑧生涯学習・文化・スポーツ 重要度（単数回答）



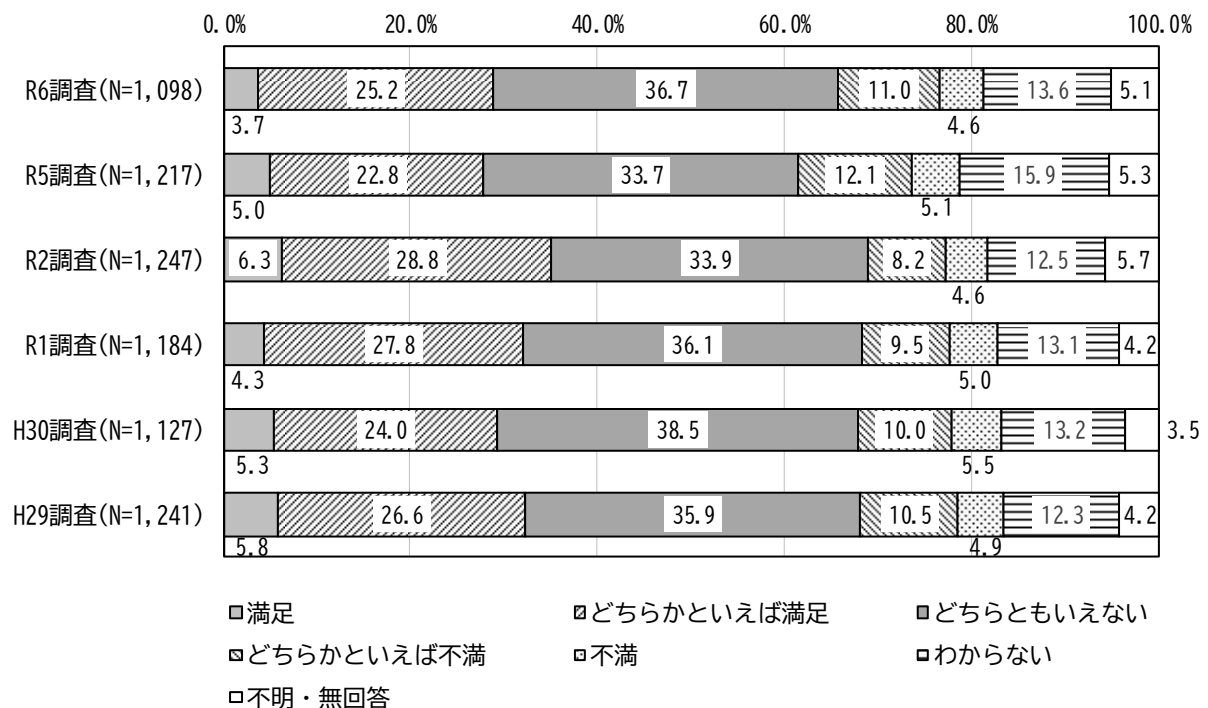
【3. こぼれる笑顔に込める安心】

⑨ 地域福祉（高齢者の生きがい、障がい福祉、地域福祉団体、ボランティア、セーフティネット）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、概ね同じ傾向ではあるが、昨年と比較すると「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合は増加している。

⑨地域福祉 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が 36.7%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 25.2%、「わからない」が 13.6%、「どちらかといえば不満」が 11.0%、「不満」が 4.6%、「満足」が 3.7%と続いている。『満足』は 28.9%となっている。

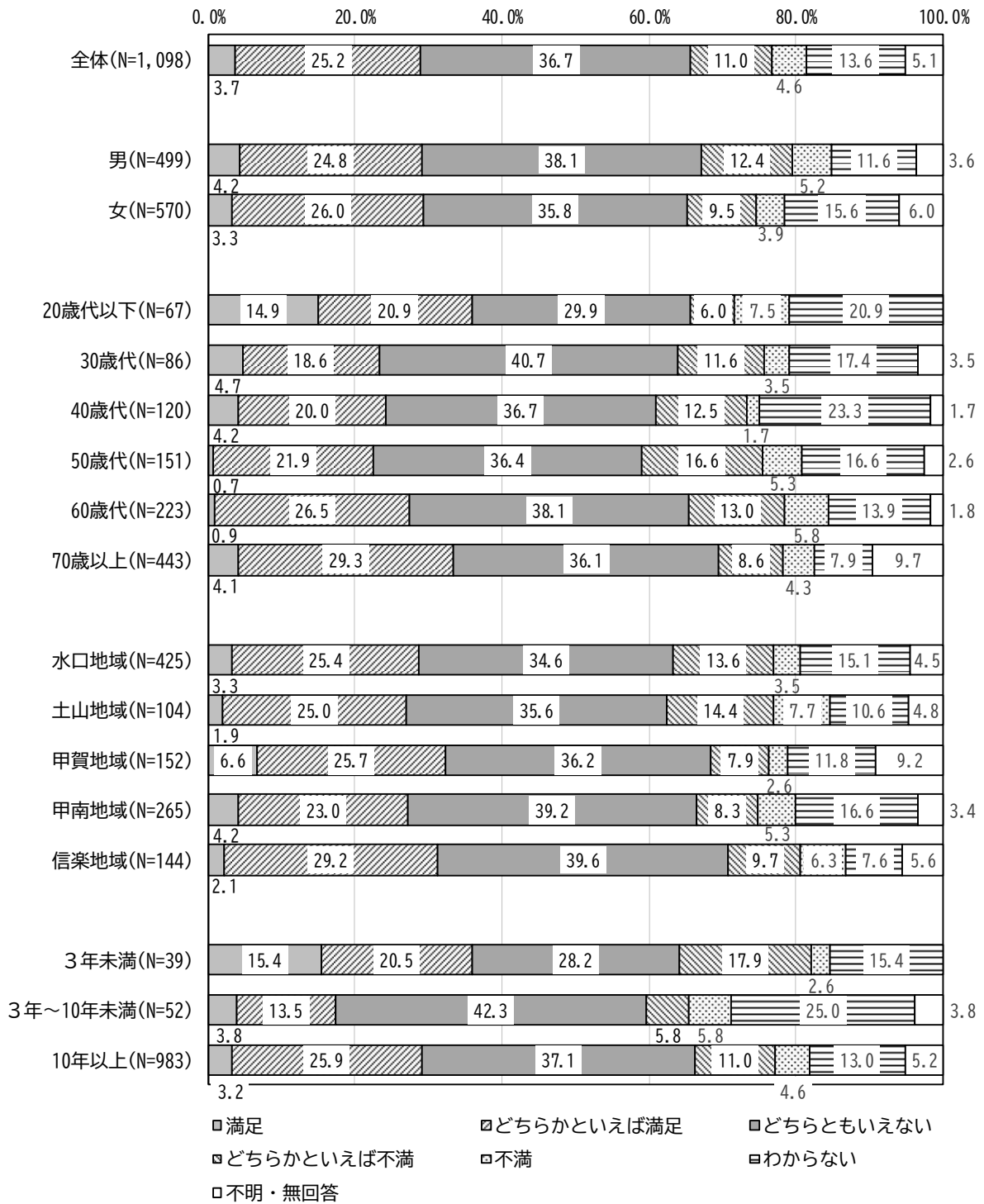
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 29.0%、女性は 29.3%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 35.8%、以下、70 歳以上で 33.4%、60 歳代で 27.4%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 32.3%、以下、信楽地域で 31.3%、水口地域で 28.7%、甲南地域で 27.2%、土山地域で 26.9%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 35.9%、以下、10 年以上で 29.1%、3 年～10 年未満で 17.3%と続いている。

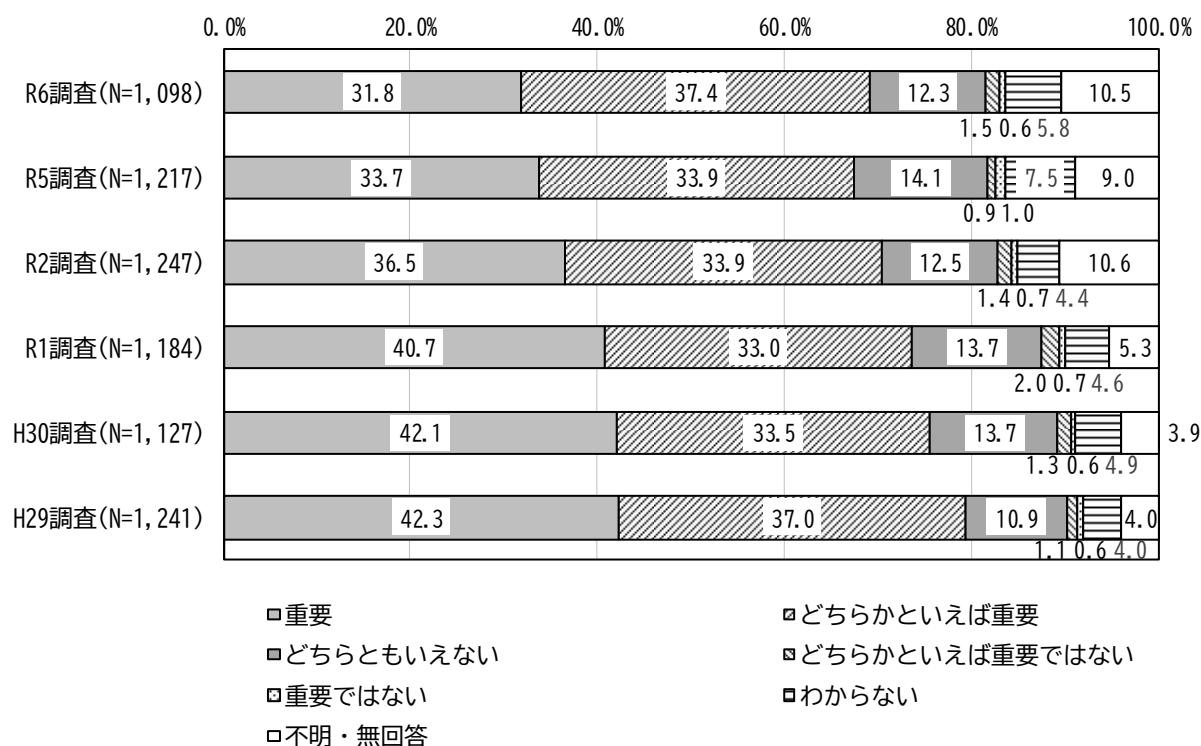
⑨地域福祉 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえ重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑨地域福祉 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 37.4%で最も多くなっており、以下、「重要」が 31.8%、「どちらともいえない」が 12.3%、「わからない」が 5.8%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.5%、「重要ではない」が 0.6%と続いている。『重要』は 69.2%となっている。

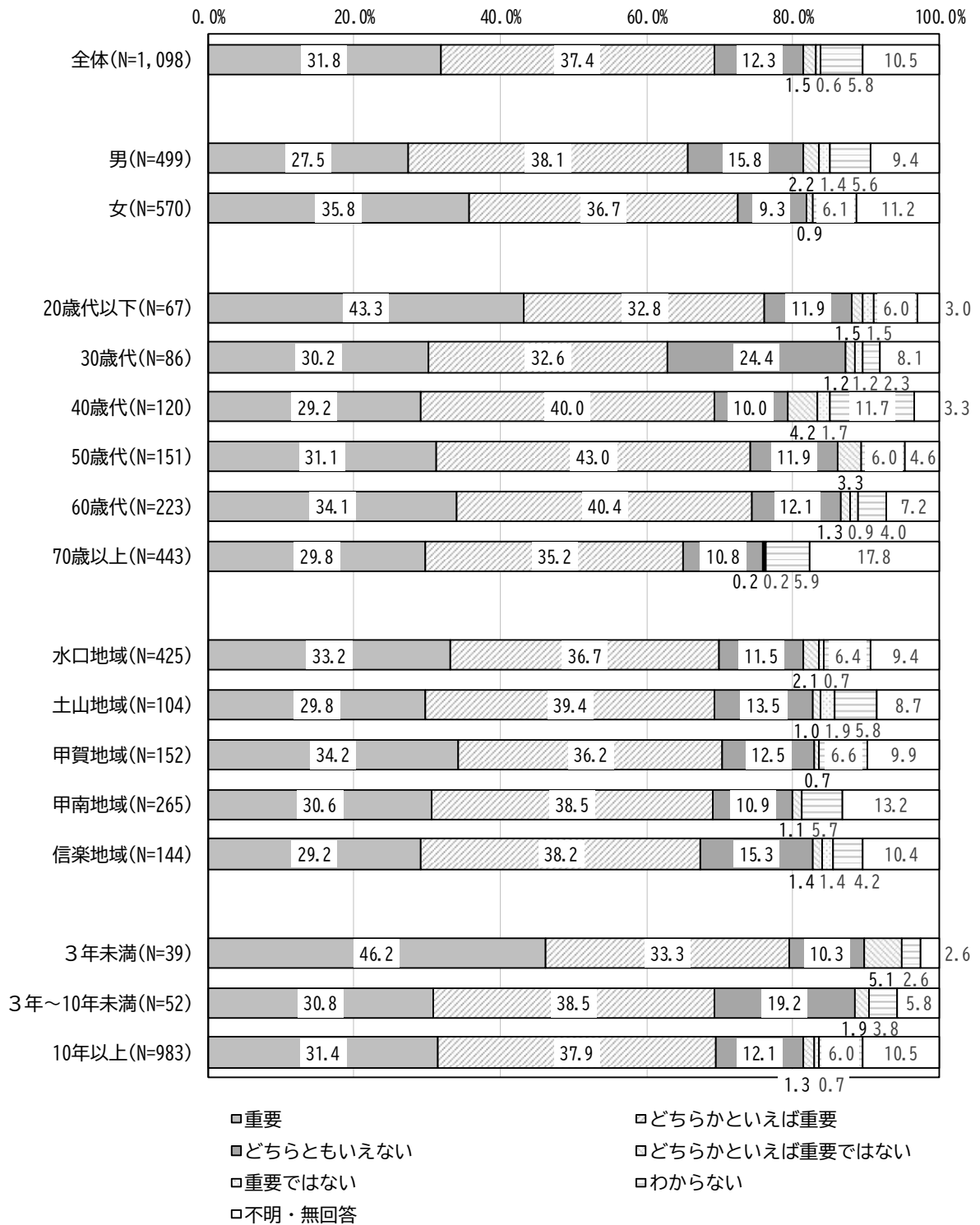
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 65.6%、女性は 72.5%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「重要」が、その他の年代は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 76.1%、以下、60 歳代で 74.5%、50 歳代で 74.1%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 70.4%、以下、水口地域で 69.9%、土山地域で 69.2%、甲南地域で 69.1%、信楽地域で 67.4%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「重要」が、その他の年数は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 79.5%、以下、3 年～10 年未満、10 年以上で 69.3%と続いている。

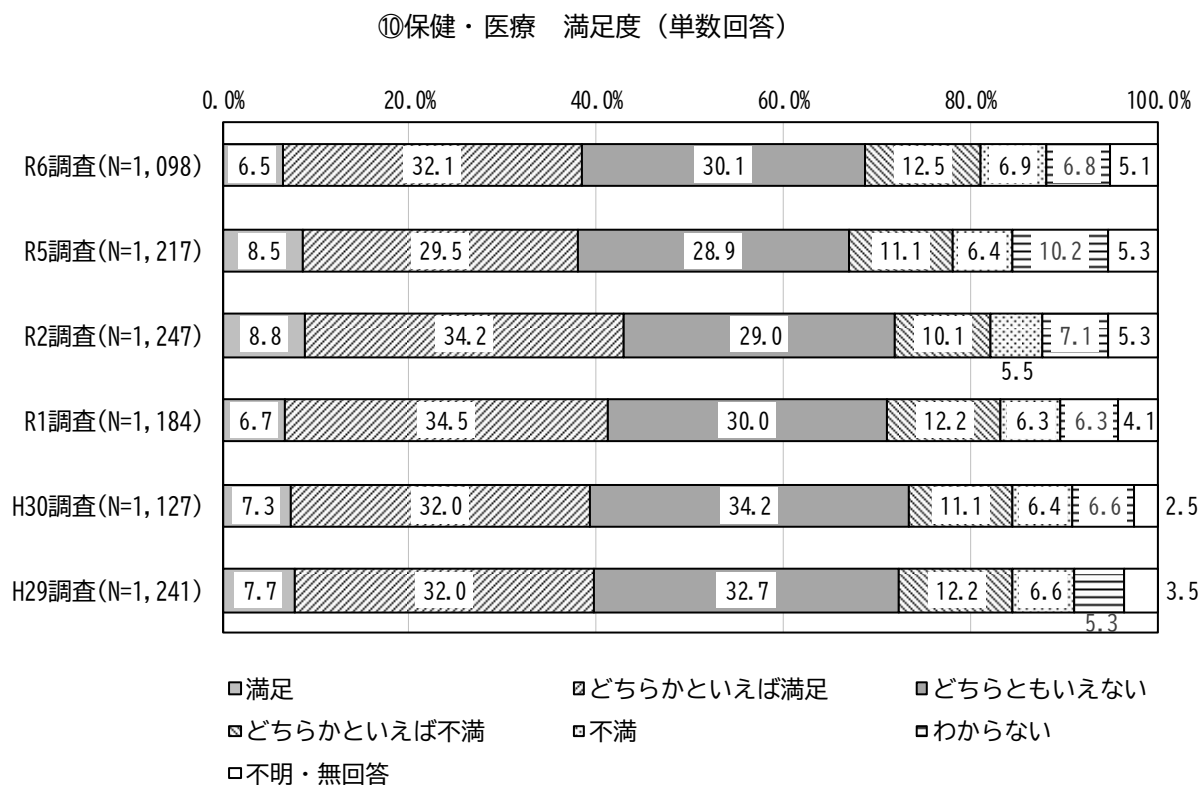
⑨地域福祉 重要度（単数回答）



⑩ 保健・医療（健康、疾病の予防と早期対策、地域医療体制、国民健康保険、後期高齢者医療保険）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。



●全体でみると、「どちらかといえば満足」が 32.1%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 30.1%、「どちらかといえば不満」が 12.5%、「不満」が 6.9%、「わからない」が 6.8%、「満足」が 6.5%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は 38.6%となっている。

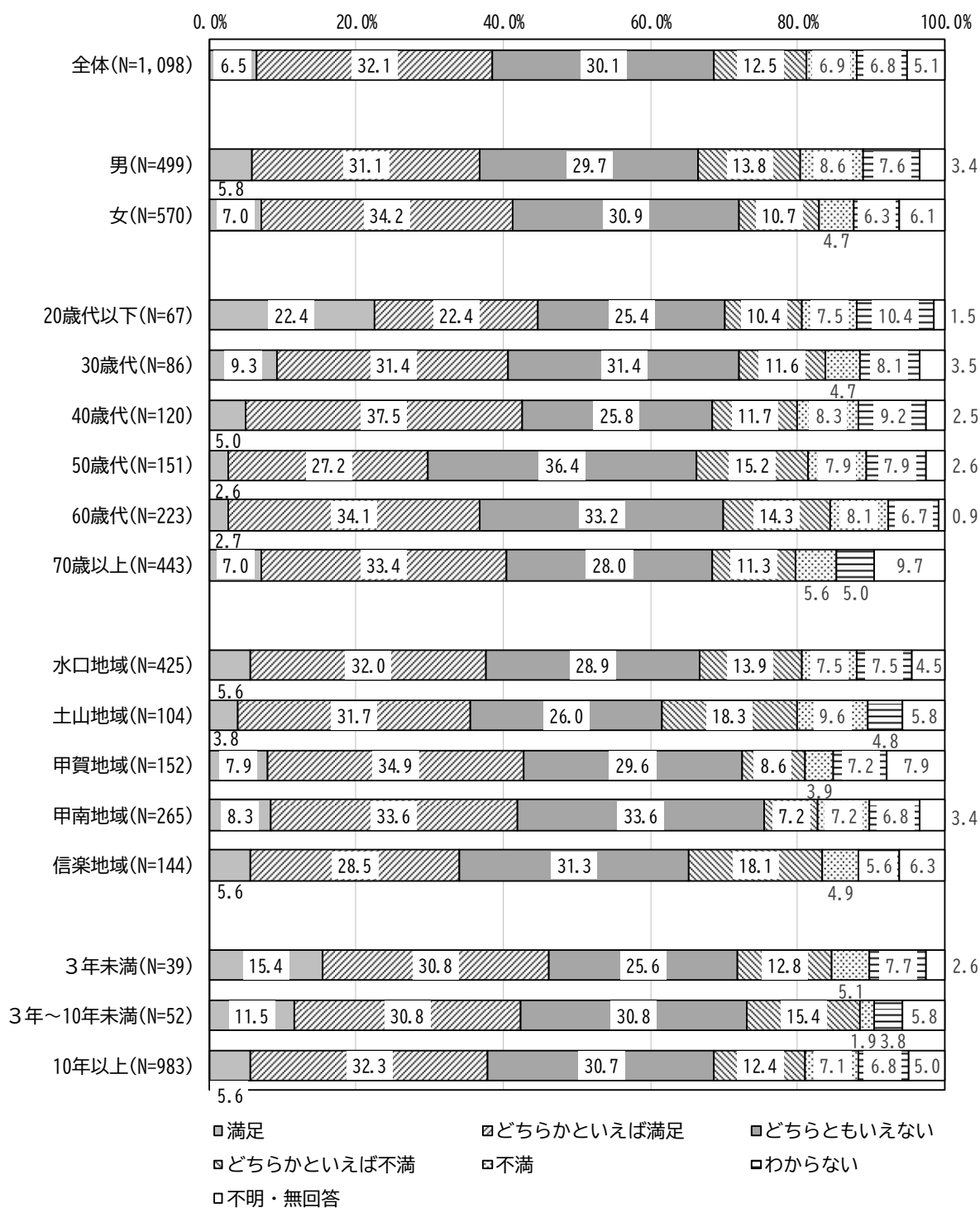
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 36.9%、女性は 41.2%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下、50 歳代は「どちらともいえない」が、その他の年代は「どちらかといえば満足」が最も多くなっている（30 歳代は「どちらともいえない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 44.8%、以下、40 歳代で 42.5%、30 歳代で 40.7%と続いている。

●居住地域別にみると、信楽地域は「どちらともいえない」が、その他の地域は「どちらかといえば満足」が最も多くなっている（甲南地域は「どちらともいえない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 42.8%、以下、甲南地域で 41.9%、水口地域で 37.6%、土山地域で 35.5%、信楽地域で 34.1%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば満足」が最も多くなっている（3年～10年未満は「どちらともいえない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で46.2%、以下、3年～10年未満で42.3%、10年以上で37.9%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

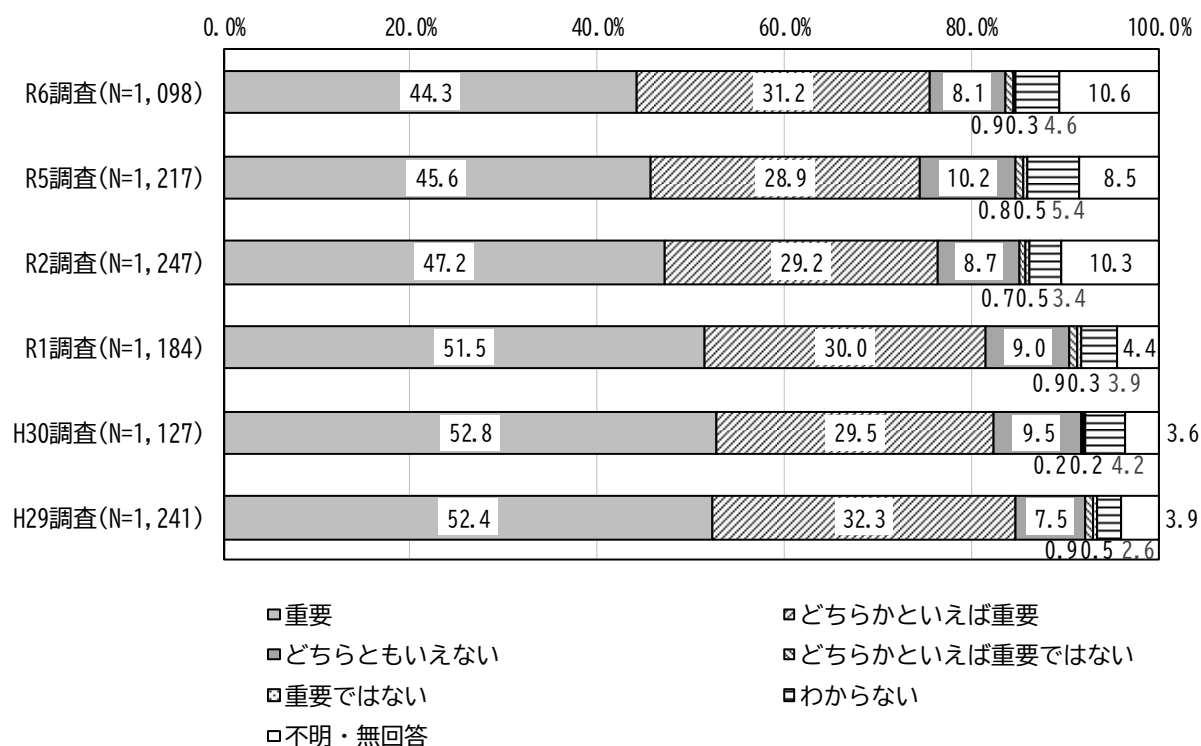
⑩保健・医療 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえ重要」を合わせた『重要』の割合が僅かに増加している。

⑩保健・医療 重要度（単数回答）



●全体でみると、「重要」が 44.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえ重要」が 31.2%、「どちらともいえない」が 8.1%、「わからない」が 4.6%、「どちらかといえ重要ではない」が 0.9%、「重要ではない」が 0.3%と続いている。『重要』は 75.5%となっている。

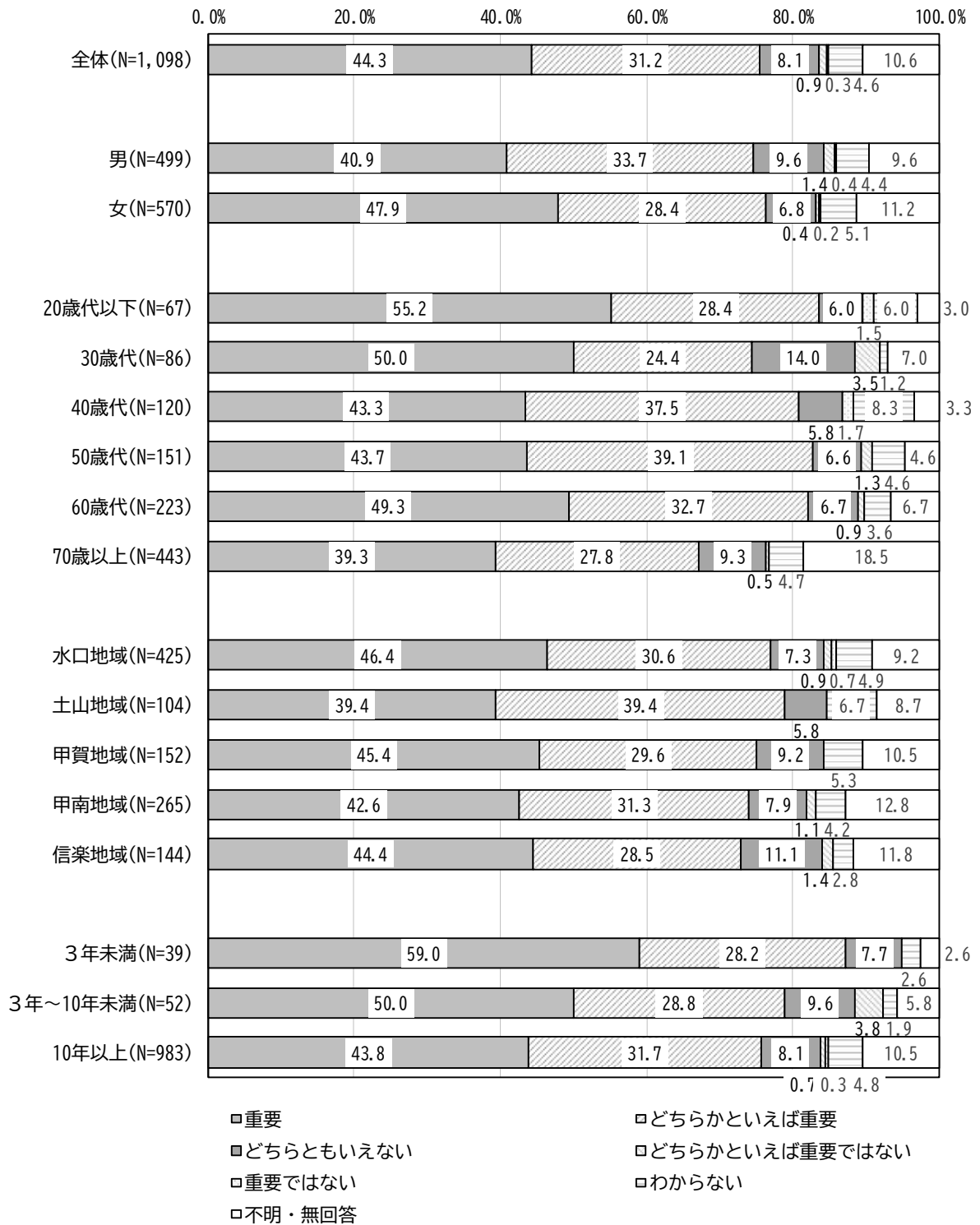
●性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 74.6%、女性は 76.3%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 83.6%、以下、50 歳代で 82.8%、60 歳代で 82.0%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている（土山地域は「どちらかといえ重要」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 78.8%、以下、水口地域で 77.0%、甲賀地域で 75.0%、甲南地域で 73.9%、信楽地域で 72.9%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 87.2%、以下、3 年～10 年未満で 78.8%、10 年以上で 75.5%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑩保健・医療 重要度（単数回答）

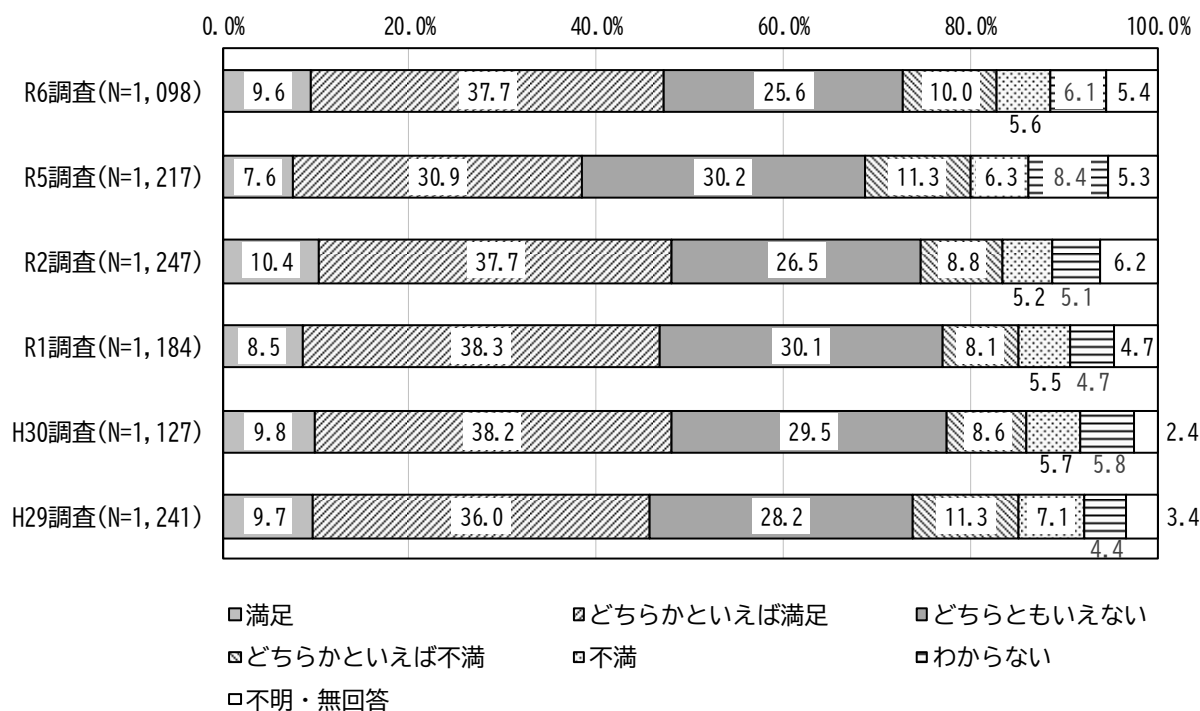


⑪ 住まい・ライフライン（良好な住環境、公営住宅、上下水道）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、概ね同じ傾向ではあるが、昨年と比較すると「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合は増加している。

⑪住まい・ライフライン 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば満足」が 37.7%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 25.6%、「どちらかといえば不満」が 10.0%、「満足」が 9.6%、「わからない」が 6.1%、「不満」が 5.6%と続いている。『満足』は 47.3%となっている。

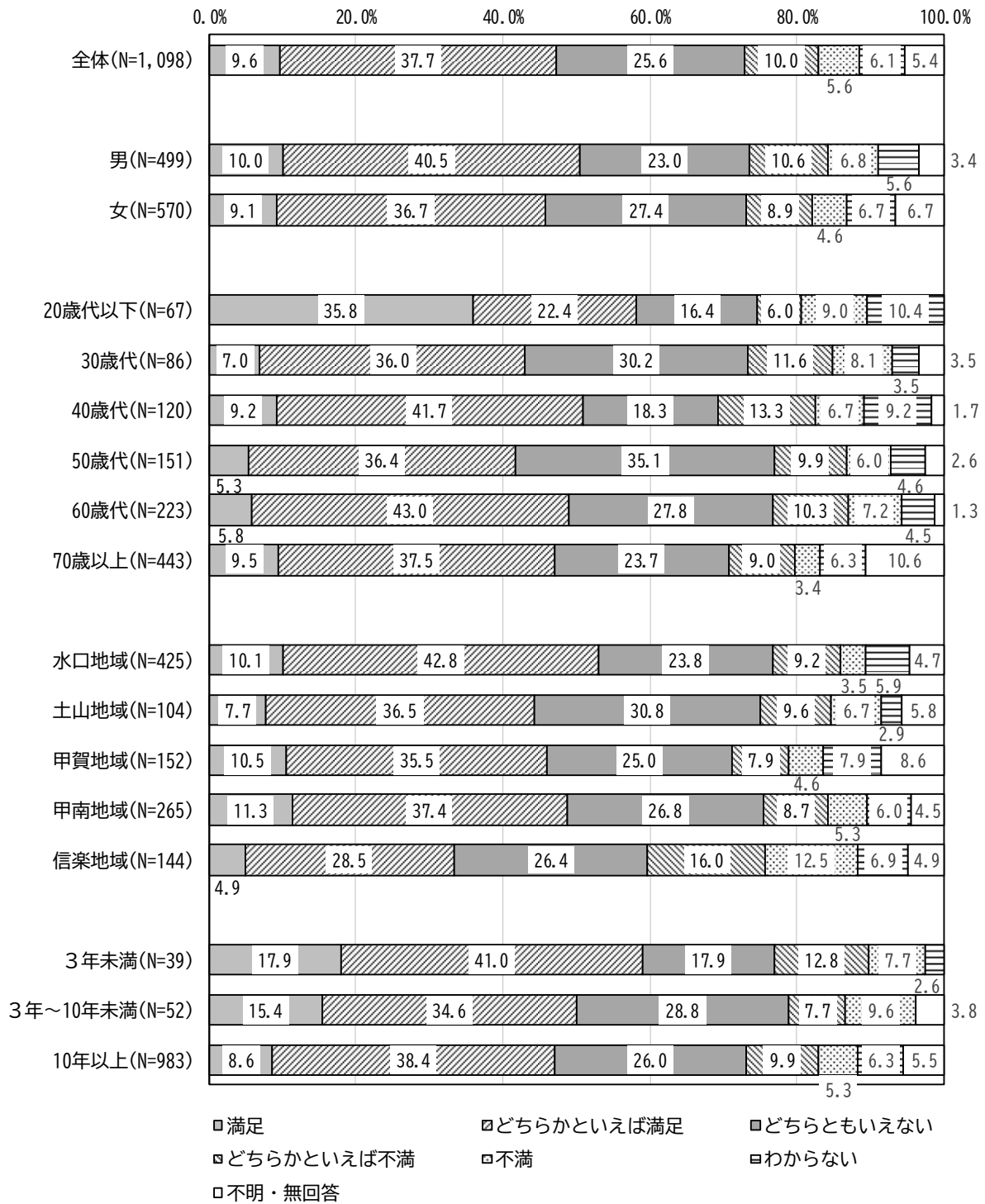
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 50.5%、女性は 45.8%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「満足」が、その他の年代は「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 58.2%、以下、40 歳代で 50.9%、60 歳代で 48.8%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 52.9%、以下、甲南地域で 48.7%、甲賀地域で 46.0%、土山地域で 44.2%、信楽地域で 33.4%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 58.9%、以下、3 年～10 年未満で 50.0%、10 年以上で 47.0%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

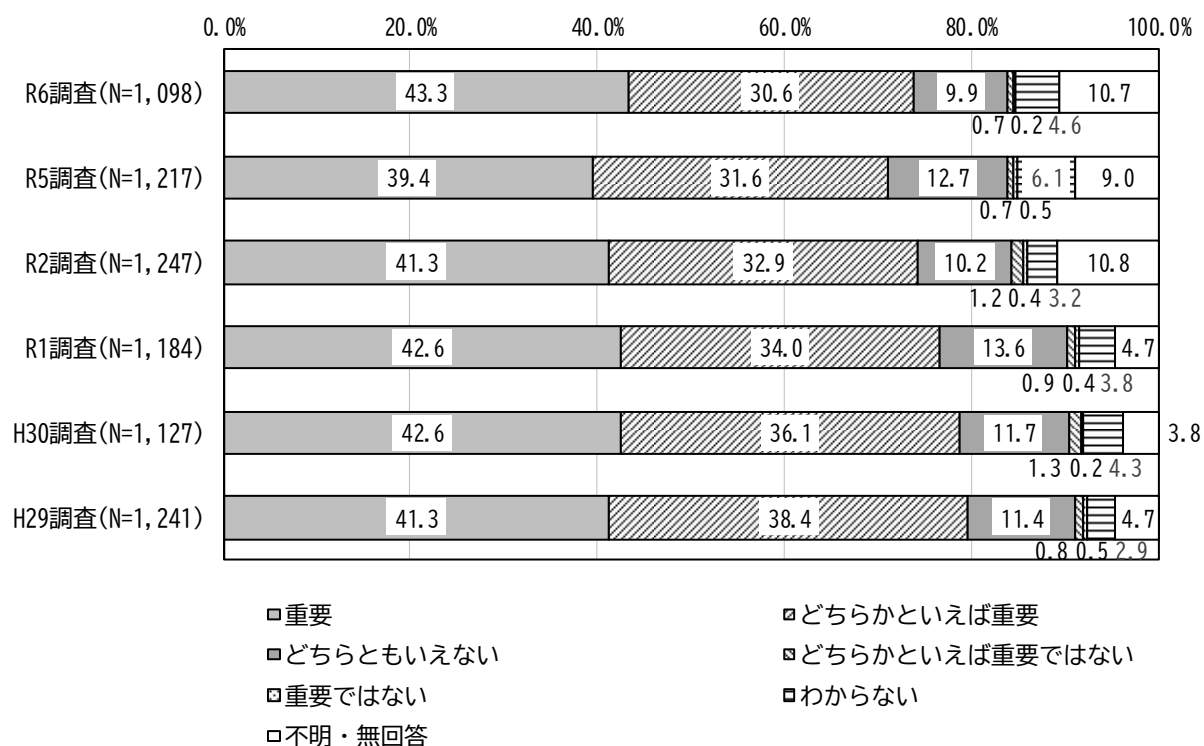
⑪住まい・ライフライン 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑪住まい・ライフライン 重要度（単数回答）



●全体でみると、「重要」が 43.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 30.6%、「どちらともいえない」が 9.9%、「わからない」が 4.6%、「どちらかといえば重要ではない」が 0.7%、「重要ではない」が 0.2%と続いている。『重要』は 73.9%となっている。

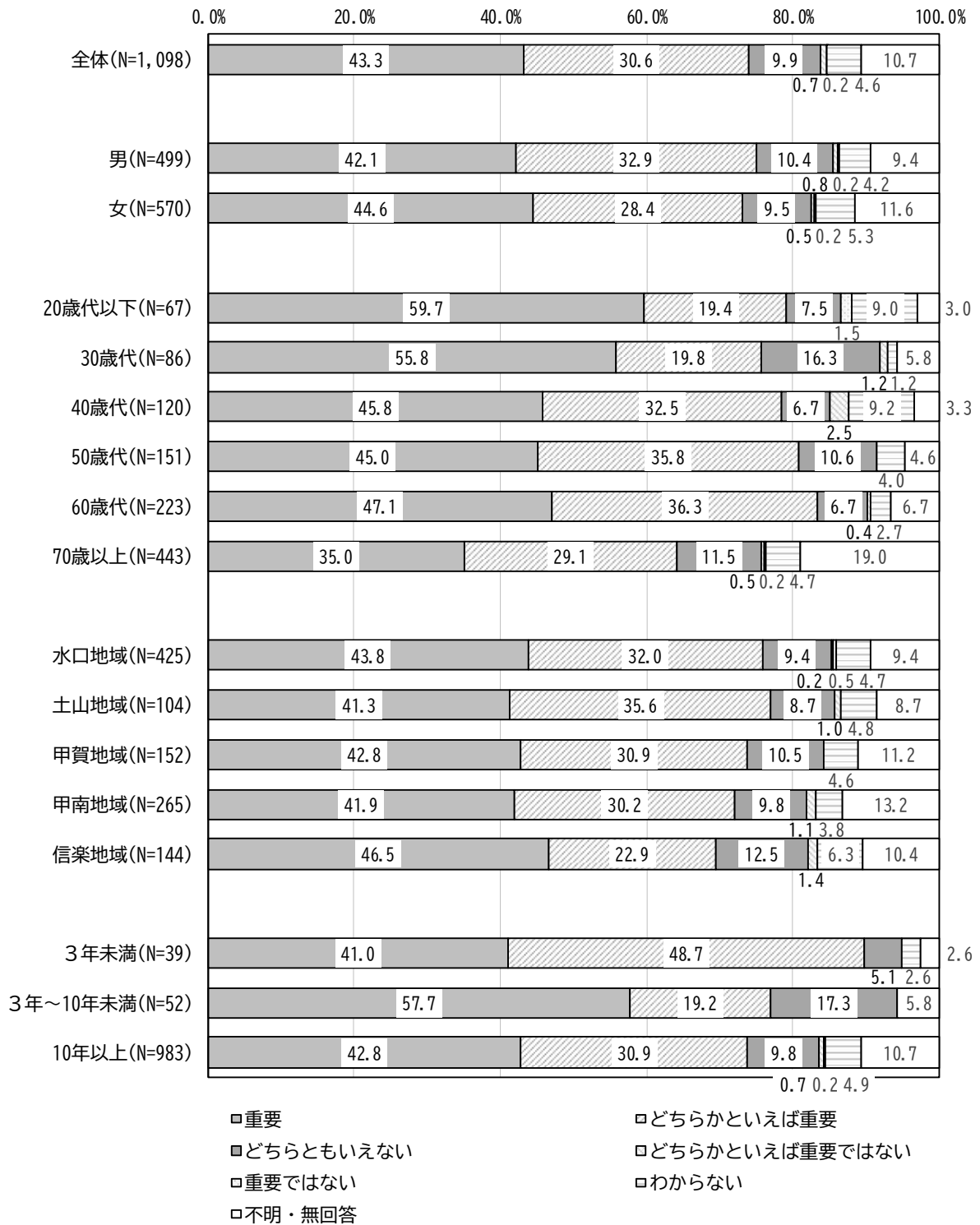
●性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 75.0%、女性は 73.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 83.4%、以下、50 歳代で 80.8%、20 歳代以下で 79.1%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 76.9%、以下、水口地域で 75.8%、甲賀地域で 73.7%、甲南地域で 72.1%、信楽地域で 69.4%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「どちらかといえば重要」が、その他の年数は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 89.7%、以下、3 年～10 年未満で 76.9%、10 年以上で 73.7%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑪住まい・ライフライン 重要度（単数回答）

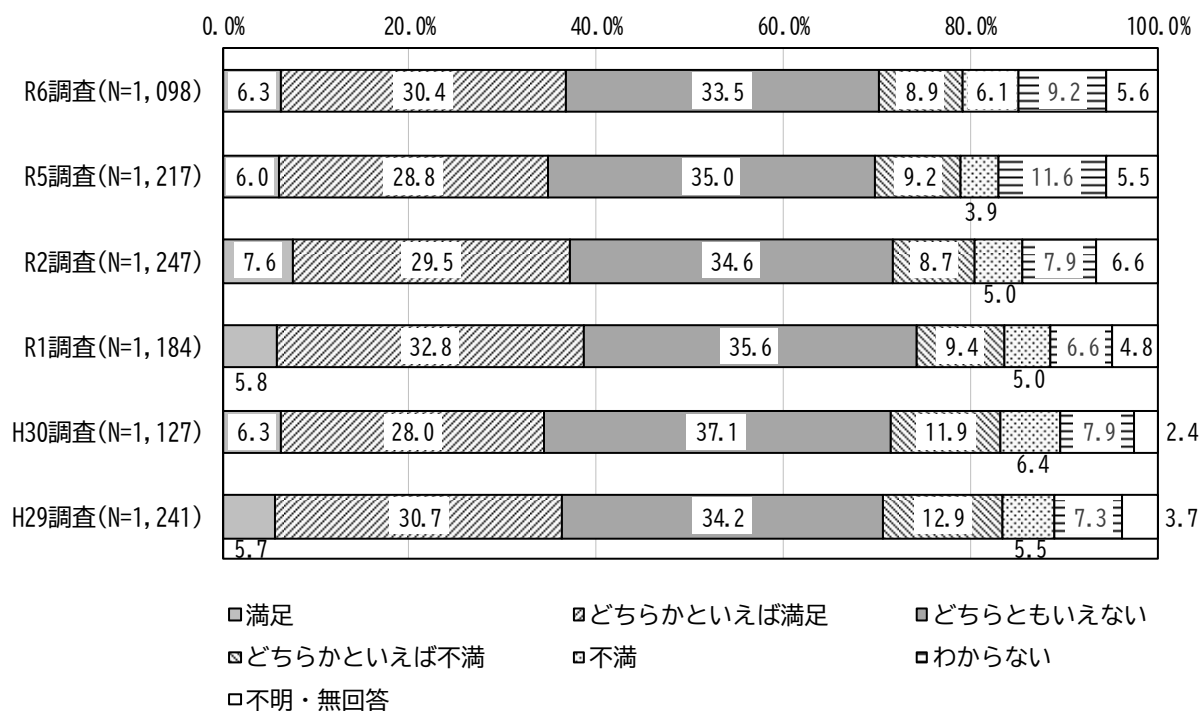


⑫ 安全・防災（事故予防、防犯、消防、地域の防災体制、土砂災害）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、概ね同じ傾向ではあるが、昨年と比較すると「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合は増加している。

⑫安全・防災 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が 33.5%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 30.4%、「わからない」が 9.2%、「どちらかといえば不満」が 8.9%、「満足」が 6.3%、「不満」が 6.1%と続いている。『満足』は 36.7%となっている。

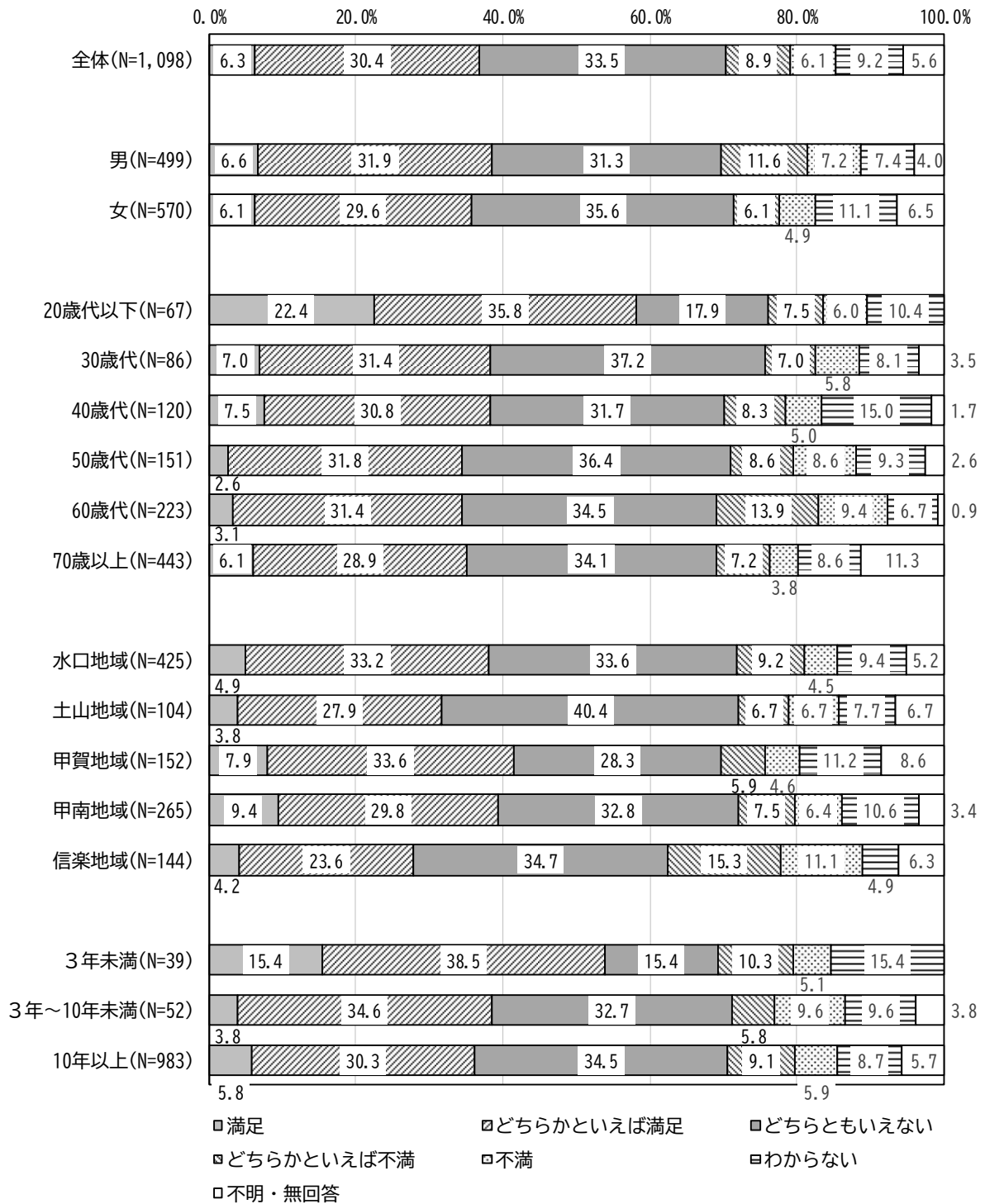
●性別にみると、男性は「どちらかといえば満足」が、女性は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 38.5%、女性は 35.7%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「どちらかといえば満足」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 58.2%、以下、30 歳代で 38.4%、40 歳代で 38.3%と続いている。

●居住地域別にみると、甲賀地域は「どちらかといえば満足」が、その他の地域は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 41.5%、以下、甲南地域で 39.2%、水口地域で 38.1%、土山地域で 31.7%、信楽地域で 27.8%と続いている。

●居住年数別にみると、10 年以上は「どちらともいえない」が、その他の年数は「どちらかといえば満足」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 53.9%、以下、3 年～10 年未満で 38.4%、10 年以上で 36.1%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

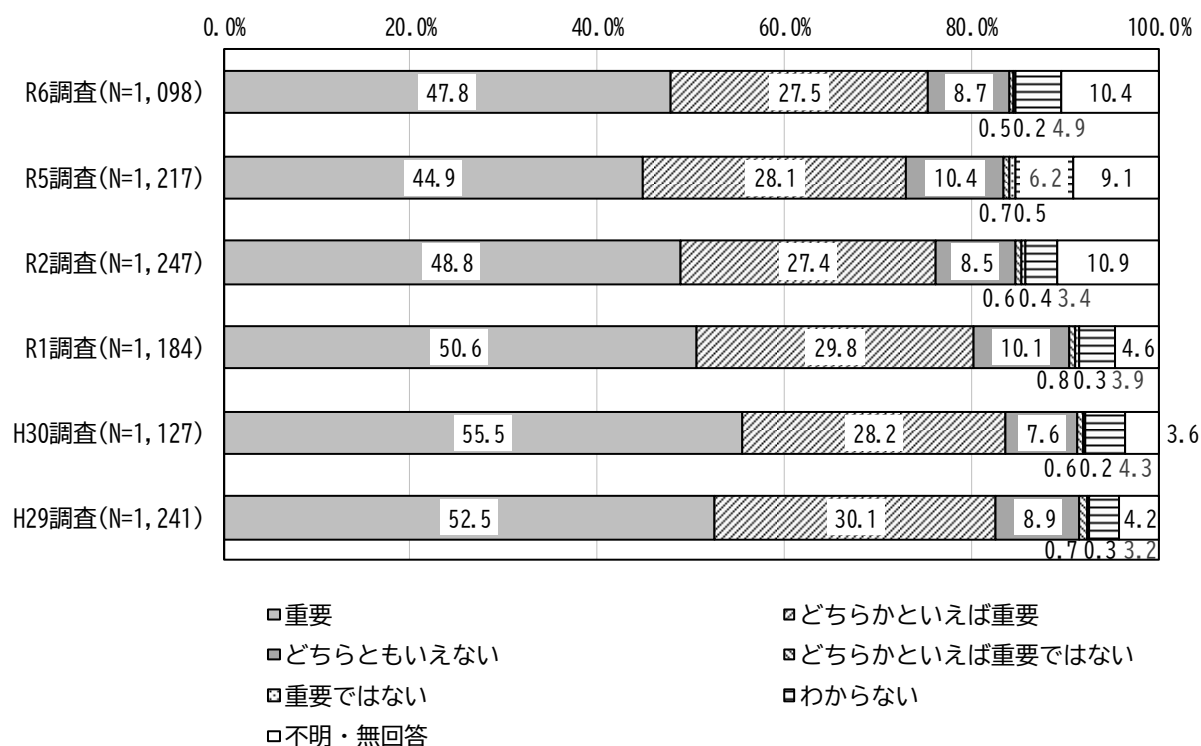
⑫安全・防災 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑫安全・防災 重要度（単数回答）



●全体でみると、「重要」が 47.8%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 27.5%、「どちらともいえない」が 8.7%、「わからない」が 4.9%、「どちらかといえば重要ではない」が 0.5%、「重要ではない」が 0.2%と続いている。『重要』は 75.3%となっている。

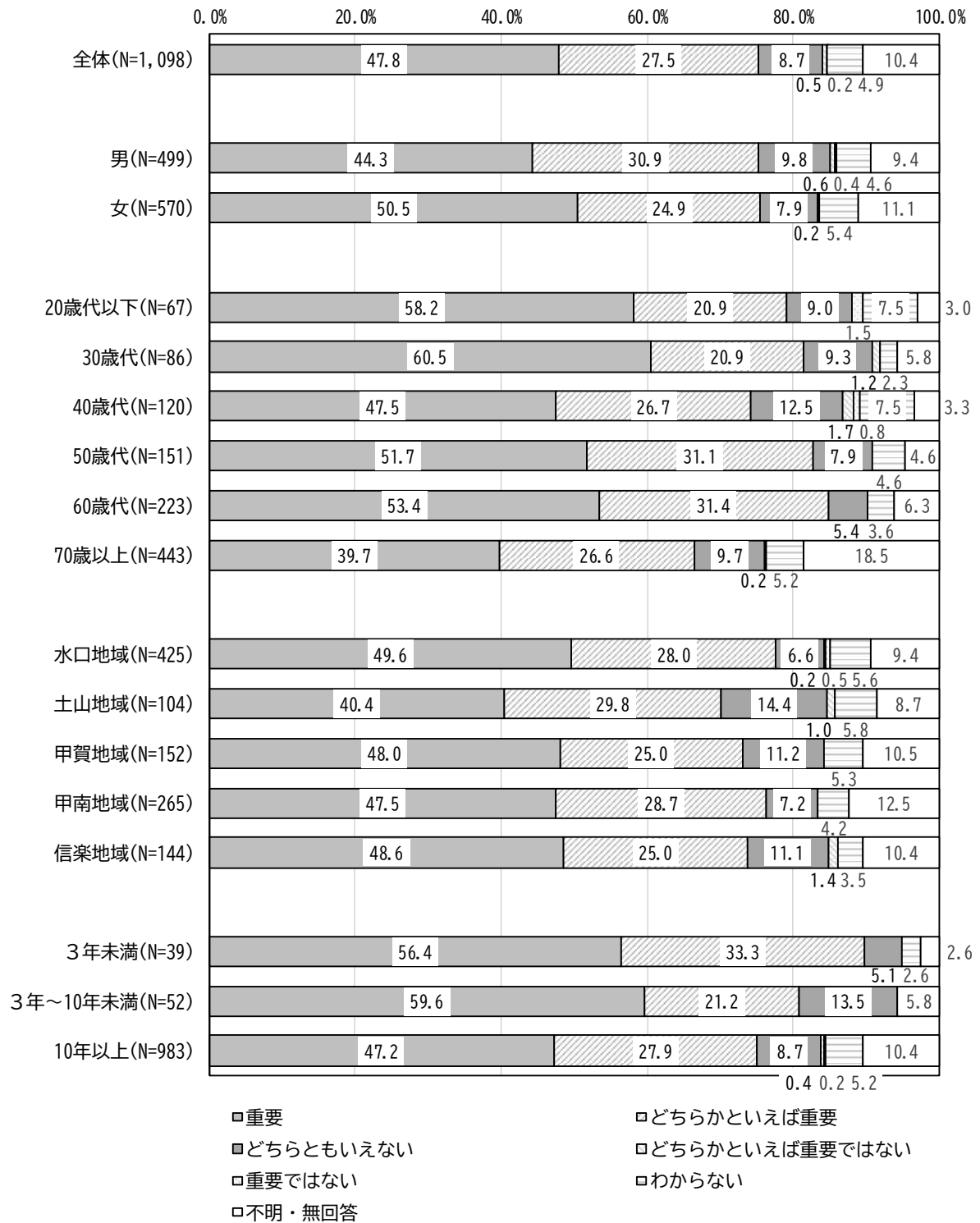
●性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 75.2%、女性は 75.4%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 84.8%、以下、50 歳代で 82.8%、30 歳代で 81.4%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 77.6%、以下、甲南地域で 76.2%、信楽地域で 73.6%、甲賀地域で 73.0%、土山地域で 70.2%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 89.7%、以下、3 年～10 年未満で 80.8%、10 年以上で 75.1%と続いている。

⑫安全・防災 重要度（単数回答）



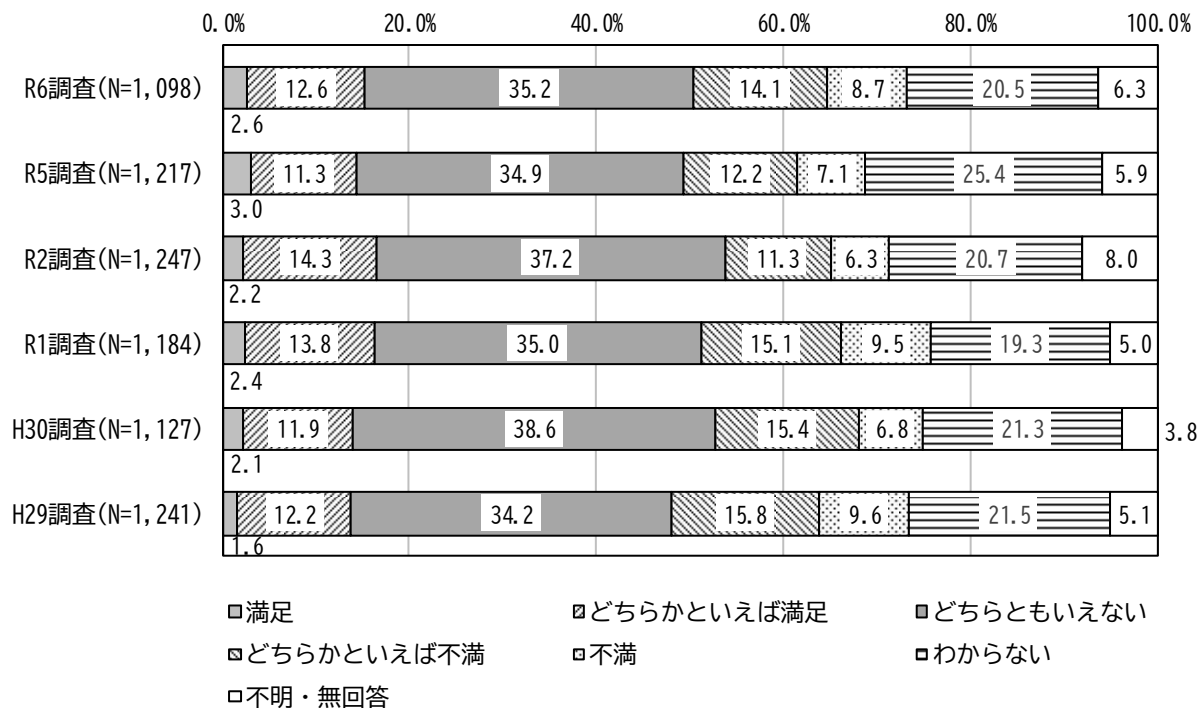
【4. うみだす活力受けつぐ伝統】

⑬ 農林畜水産（農林畜水産業振興、地域ブランド、鳥獣害対策）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。

⑬農林畜水産 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が35.2%で最も多くなっており、以下、「わからない」が20.5%、「どちらかといえば不満」が14.1%、「どちらかといえば満足」が12.6%、「不満」が8.7%、「満足」が2.6%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は15.2%となっている。

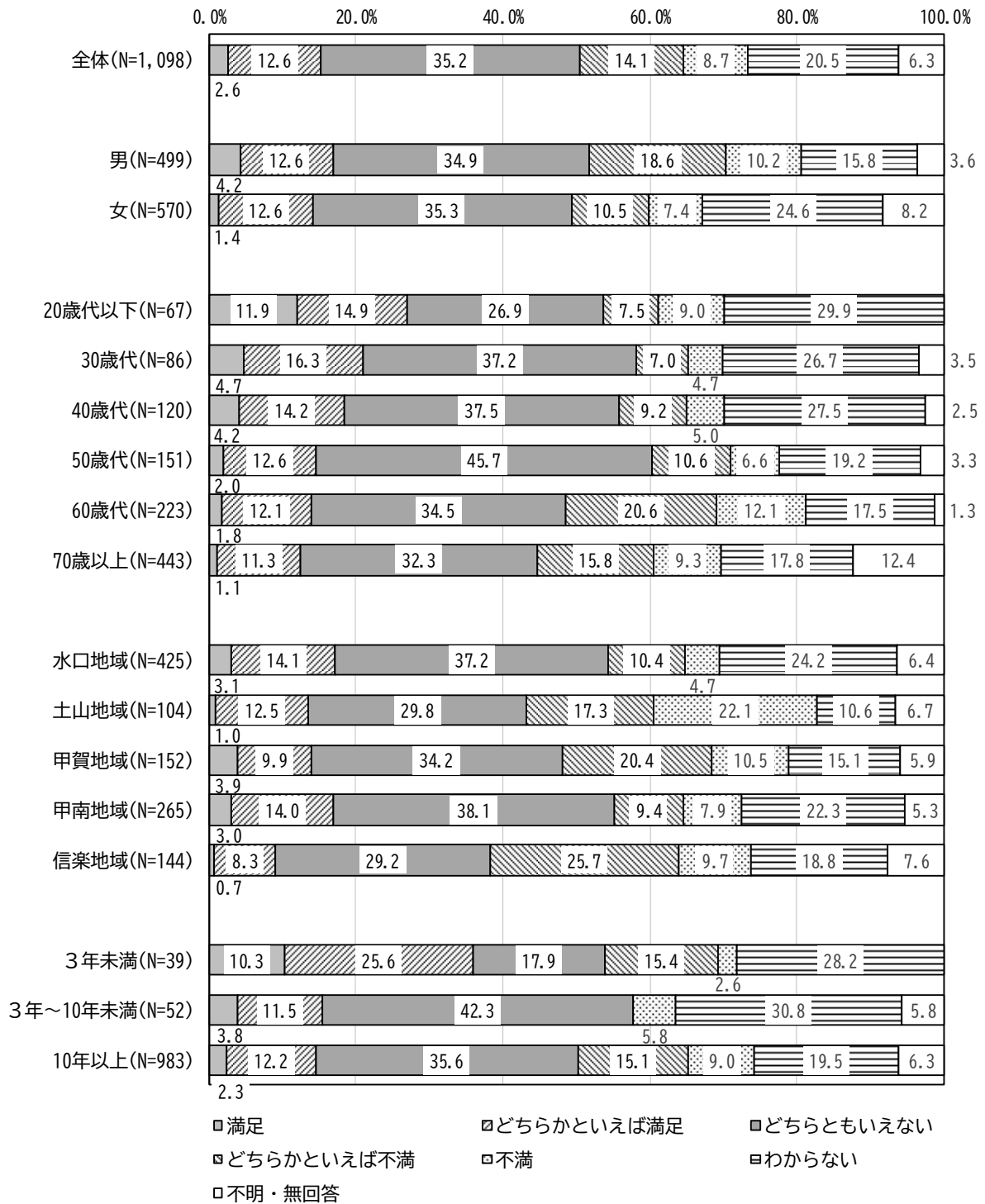
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は16.8%、女性は14.0%となっている。

●年代別にみると、20歳代以下は「わからない」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で26.8%、以下、30歳代で21.0%、40歳代で18.4%と続いている、年代が下がるにつれて多くなっている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で17.2%、以下、甲南地域で17.0%、甲賀地域で13.8%、土山地域で13.5%、信楽地域で9.0%と続いている。

●居住年数別にみると、3年未満は「わからない」が、その他の年数は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で35.9%、以下、3年～10年未満で15.3%、10年以上で14.5%と続いている、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

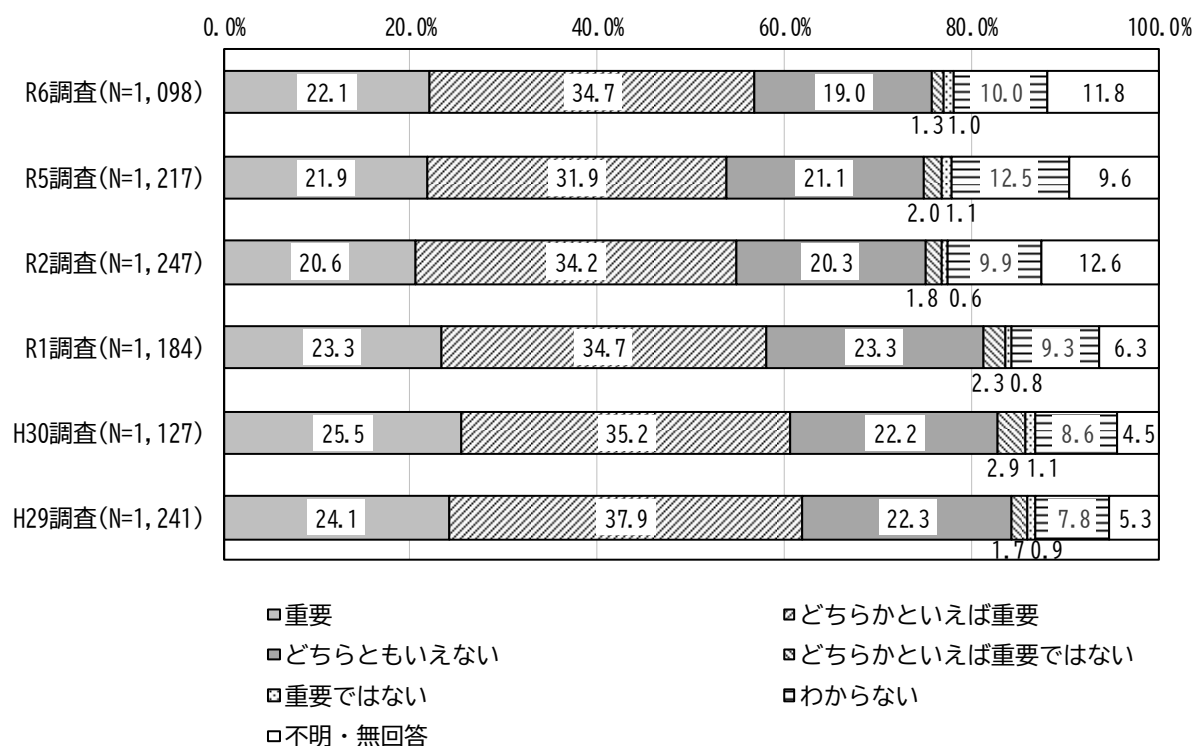
⑬農林畜水産 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえ重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑬農林畜水産 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえ重要」が 34.7%で最も多くなっており、以下、「重要」が 22.1%、「どちらともいえない」が 19.0%、「わからない」が 10.0%、「どちらかといえ重要ではない」が 1.3%、「重要ではない」が 1.0%と続いている。『重要』は 56.8%となっている。

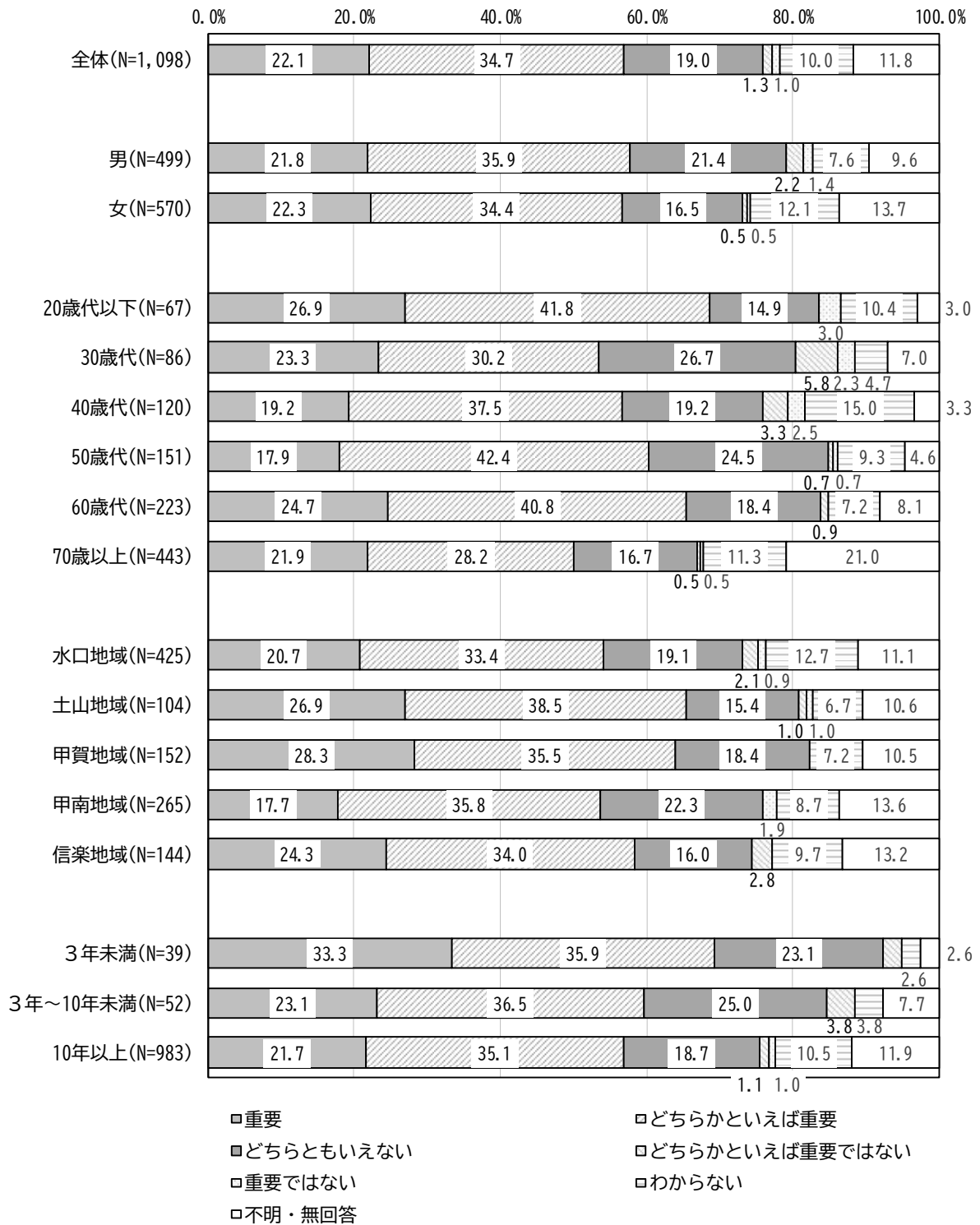
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 57.7%、女性は 56.7%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 68.7%、以下、60 歳代で 65.5%、50 歳代で 60.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 65.4%、以下、甲賀地域で 63.8%、信楽地域で 58.3%、水口地域で 54.1%、甲南地域で 53.5%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえ重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 69.2%、以下、3 年～10 年未満で 59.6%、10 年以上で 56.8%と続いており、居住年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑬農林畜水産 重要度（単数回答）

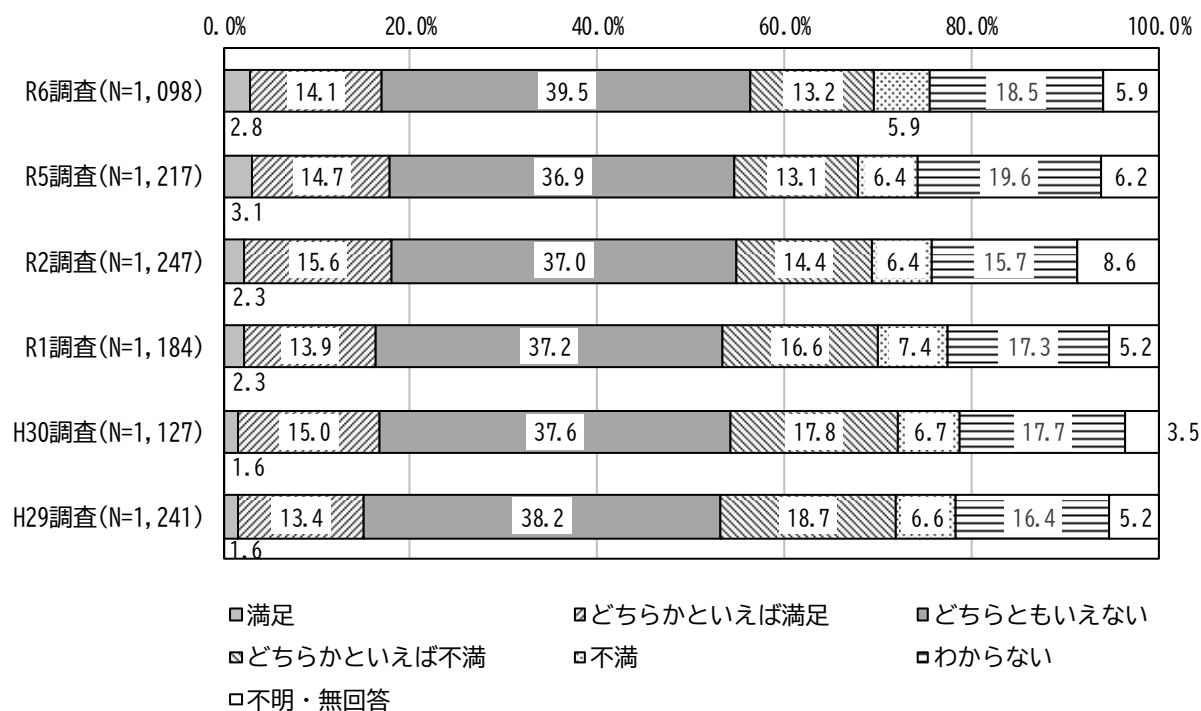


⑭ 商工観光（商業、地場産業、工業、観光振興）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合が減少している。

⑭商工観光 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が39.5%で最も多くなっており、以下、「わからない」が18.5%、「どちらかといえば満足」が14.1%、「どちらかといえば不満」が13.2%、「不満」が5.9%、「満足」が2.8%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は16.9%となっている。

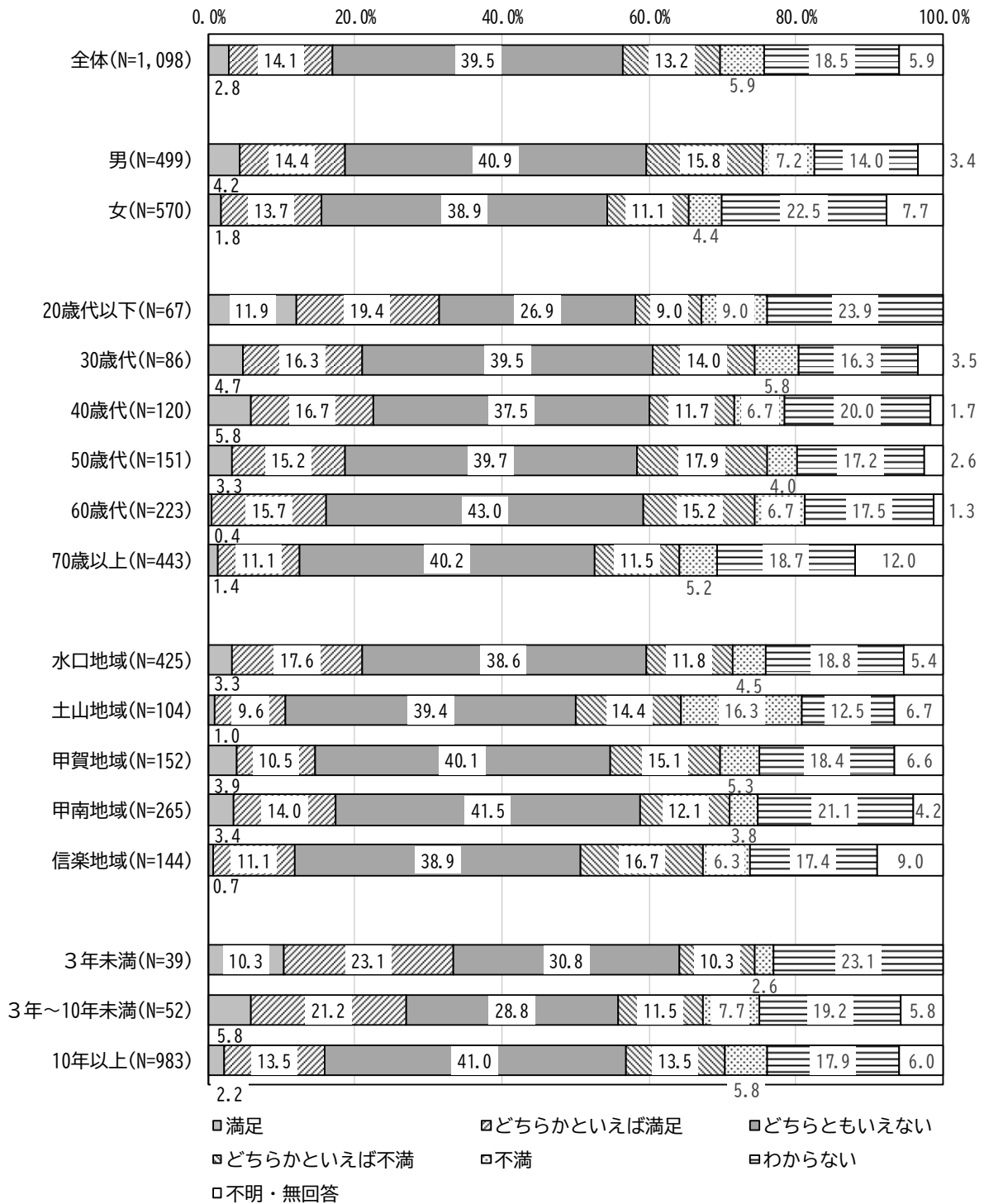
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は18.6%、女性は15.5%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で31.3%、以下、40歳代で22.5%、30歳代で21.0%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で20.9%、以下、甲南地域で17.4%、甲賀地域で14.4%、信楽地域で11.8%、土山地域で10.6%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で33.4%、以下、3年～10年未満で27.0%、10年以上で15.7%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

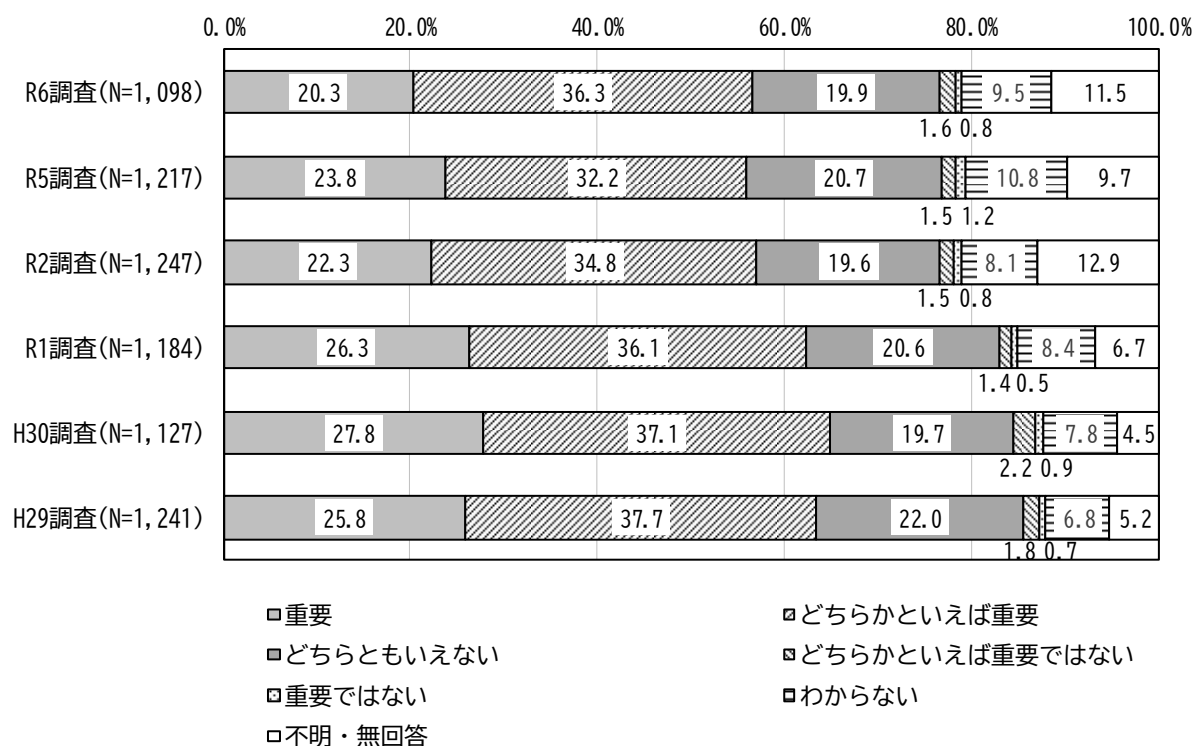
⑭商工観光 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑭商工観光 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 36.3%で最も多くなっており、以下、「重要」が 20.3%、「どちらともいえない」が 19.9%、「わからない」が 9.5%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.6%、「重要ではない」が 0.8%と続いている。『重要』は 56.6%となっている。

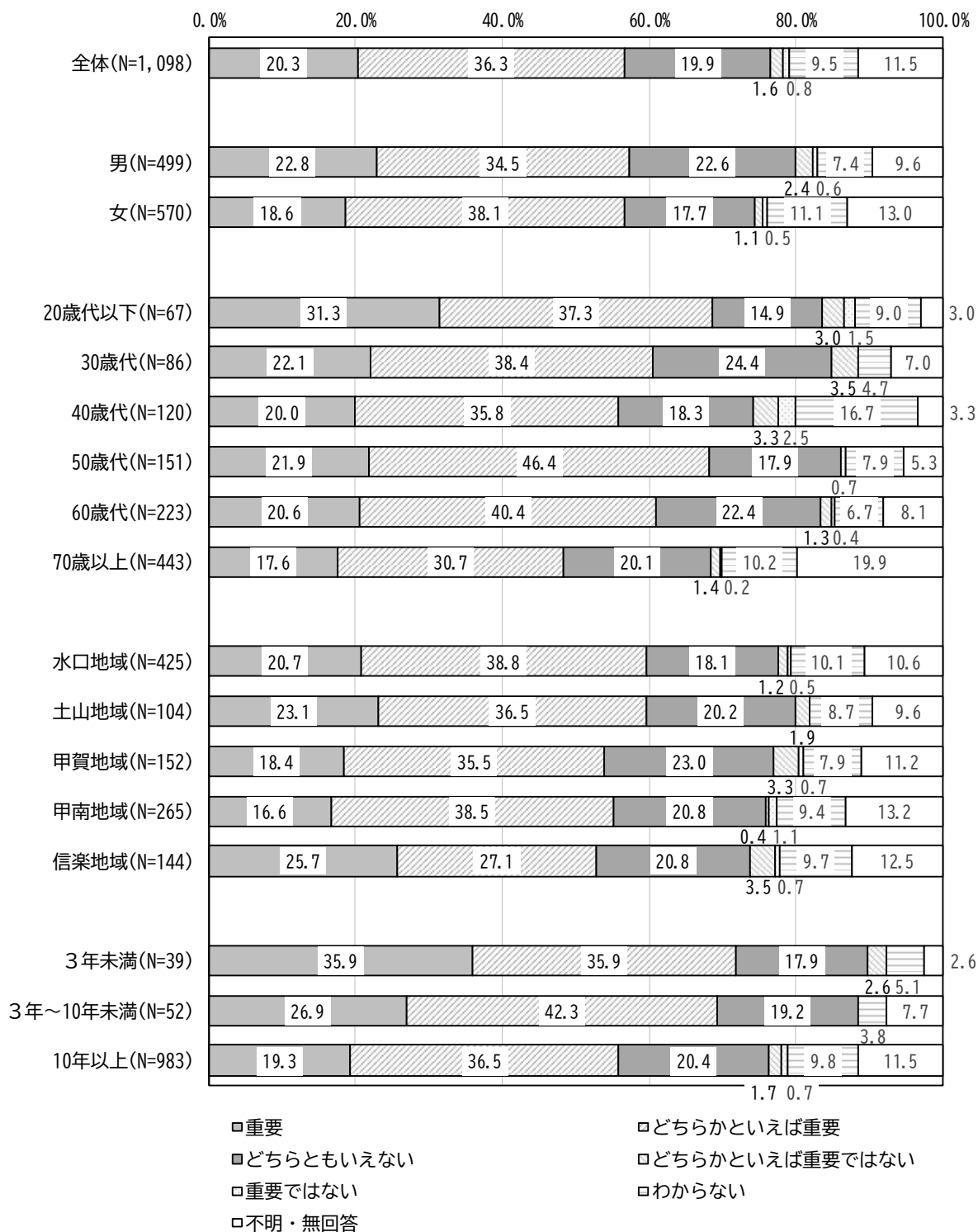
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 57.3%、女性は 56.7%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 68.6%、以下、50 歳代で 68.3%、60 歳代で 61.0%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 59.6%、以下、水口地域で 59.5%、甲南地域で 55.1%、甲賀地域で 53.9%、信楽地域で 52.8%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている（3 年未満は「重要」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 71.8%、以下、3 年～10 年未満で 69.2%、10 年以上で 55.8%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑭商工観光 重要度（単数回答）

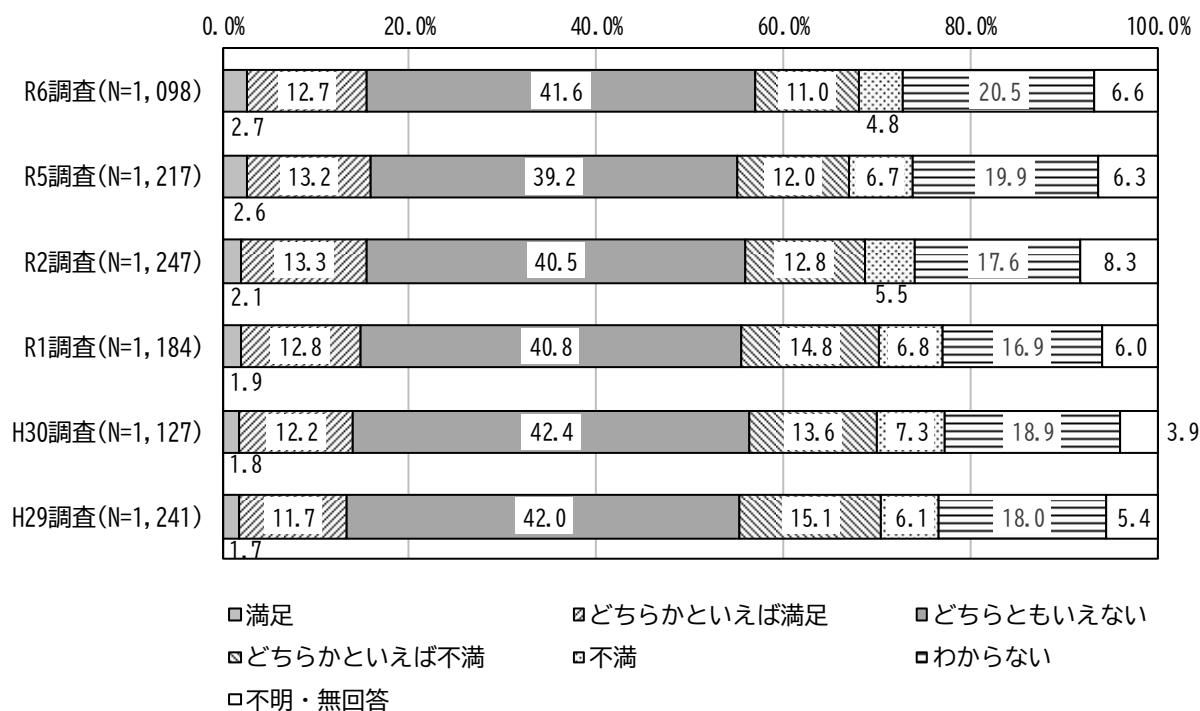


⑮ 活躍・雇用（就労支援、女性の活躍、勤労者福祉）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合が減少している。

⑮活躍・雇用 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が41.6%で最も多くなっており、以下、「わからない」が20.5%、「どちらかといえば満足」が12.7%、「どちらかといえば不満」が11.0%、「不満」が4.8%、「満足」が2.7%と続いている。『満足』は15.4%となっている。

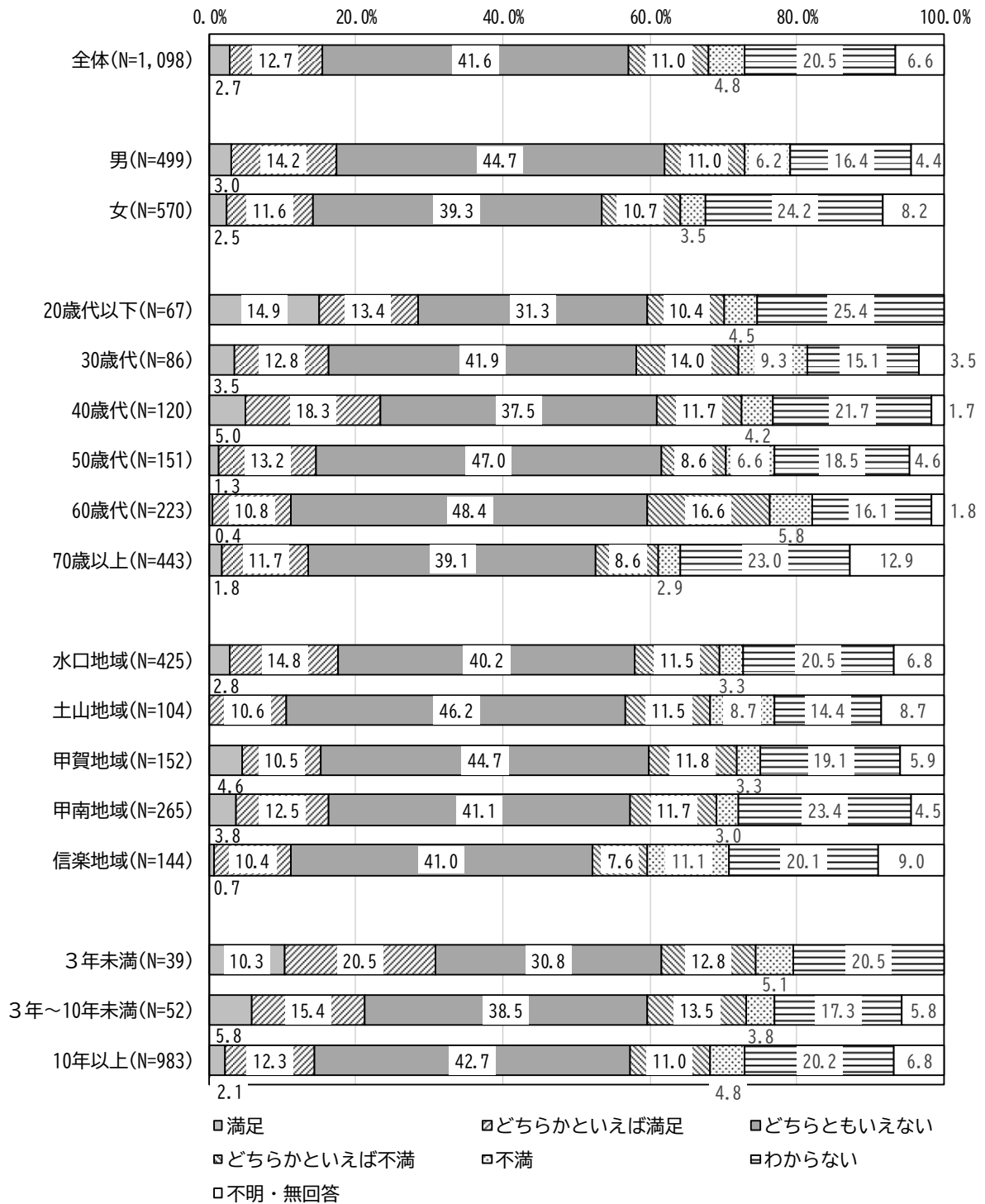
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は17.2%、女性は14.1%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で28.3%、以下、40歳代で23.3%、30歳代で16.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で17.6%、以下、甲南地域で16.3%、甲賀地域で15.1%、信楽地域で11.1%、土山地域で10.6%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で30.8%、以下、3年～10年未満で21.2%、10年以上で14.4%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

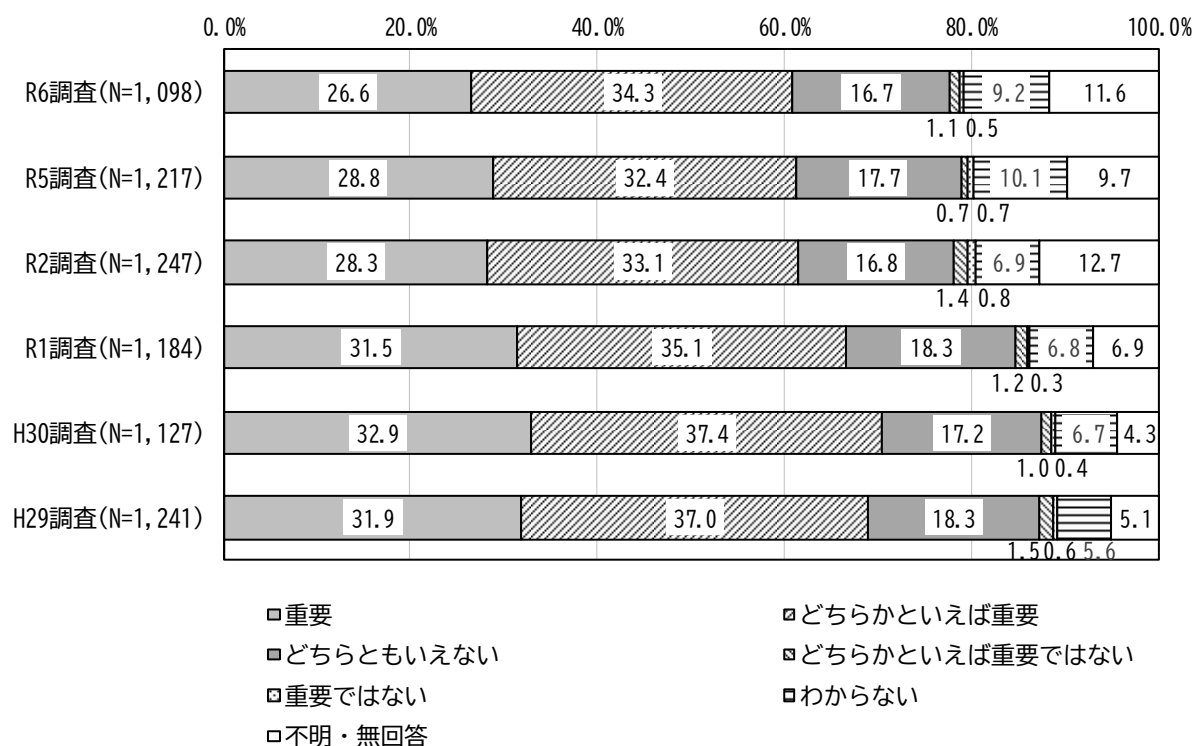
⑮活躍・雇用 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が減少している。

⑮活躍・雇用 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 34.3%で最も多くなっており、以下、「重要」が 26.6%、「どちらともいえない」が 16.7%、「わからない」が 9.2%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.1%、「重要ではない」が 0.5%と続いている。『重要』は 60.9%となっている。

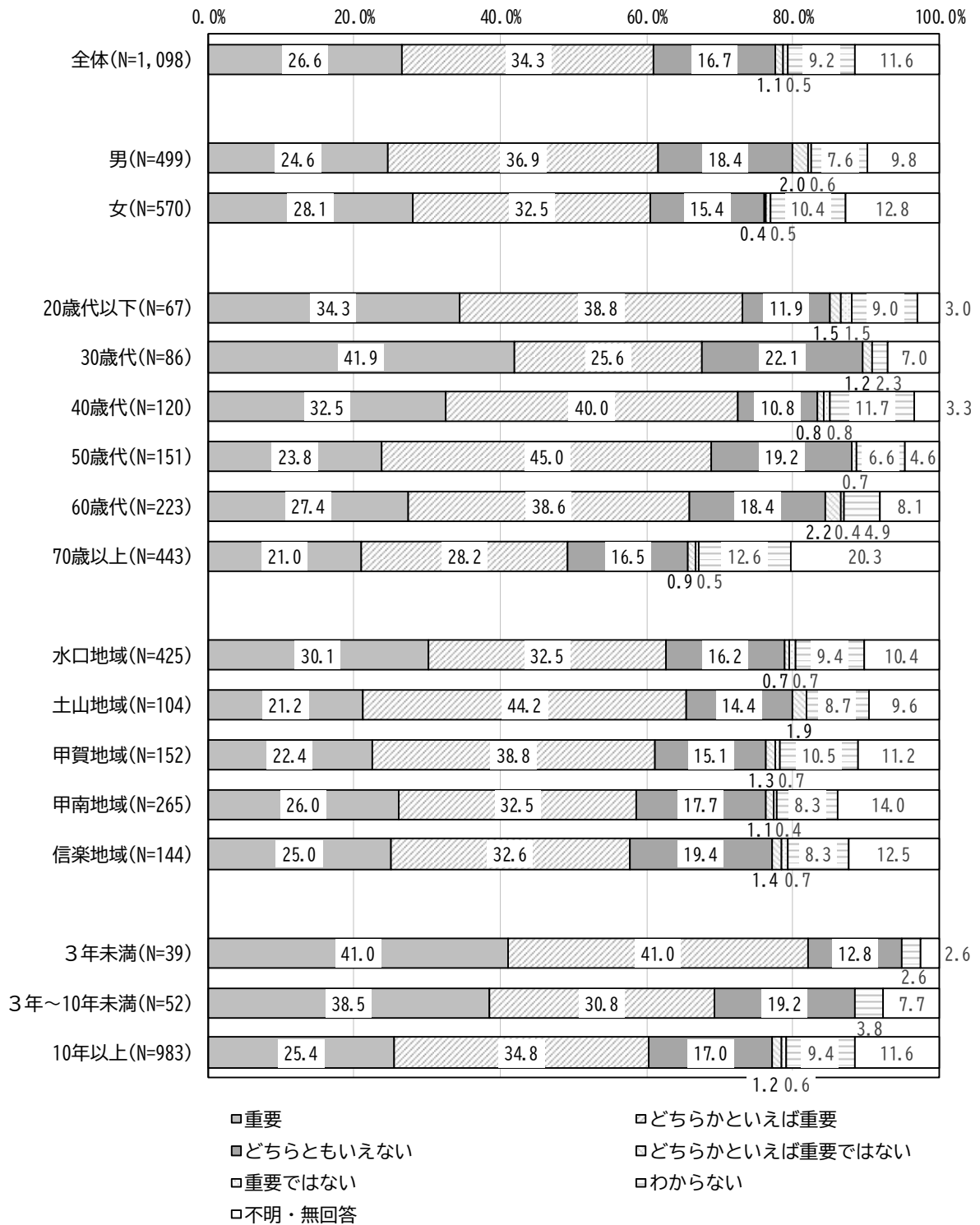
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 61.5%、女性は 60.6%となっている。

●年代別にみると、30 歳代は「重要」が、その他の年代は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 73.1%、以下、40 歳代で 72.5%、50 歳代で 68.8%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは土山地域で 65.4%、以下、水口地域で 62.6%、甲賀地域で 61.2%、甲南地域で 58.5%、信楽地域で 57.6%と続いている。

●居住年数別にみると、10 年以上は「どちらかといえば重要」が、その他の年数は「重要」が最も多くなっている（3 年未満は「どちらかといえば重要」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 82.0%、以下、3 年～10 年未満で 69.3%、10 年以上で 60.2%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑮活躍・雇用 重要度（単数回答）

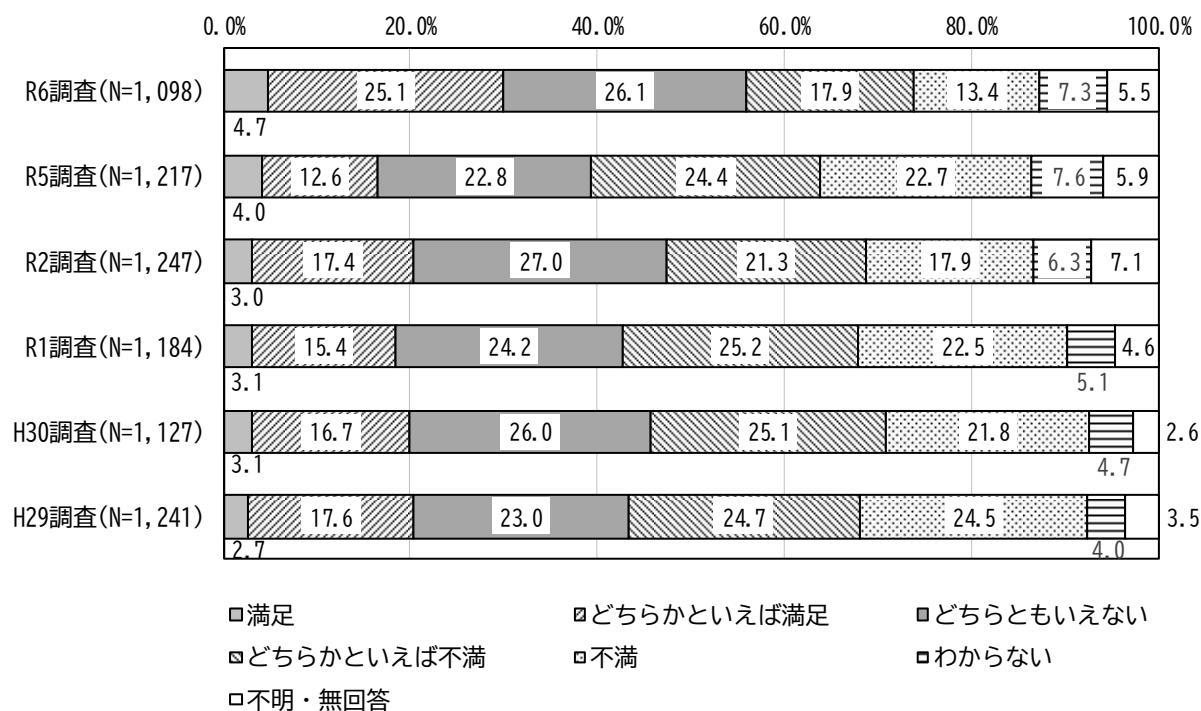


⑩ 道路（広域幹線道路、道路整備）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が増加している。

⑩道路 満足度（単数回答）



※H29～R5 調査は「道路・交通（広域幹線道路、道路整備、鉄道、バス）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「どちらともいえない」が 26.1%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば満足」が 25.1%、「どちらかといえば不満」が 17.9%、「不満」が 13.4%、「わからない」が 7.3%、「満足」が 4.7%と続いている。『満足』は 29.8%となっている。

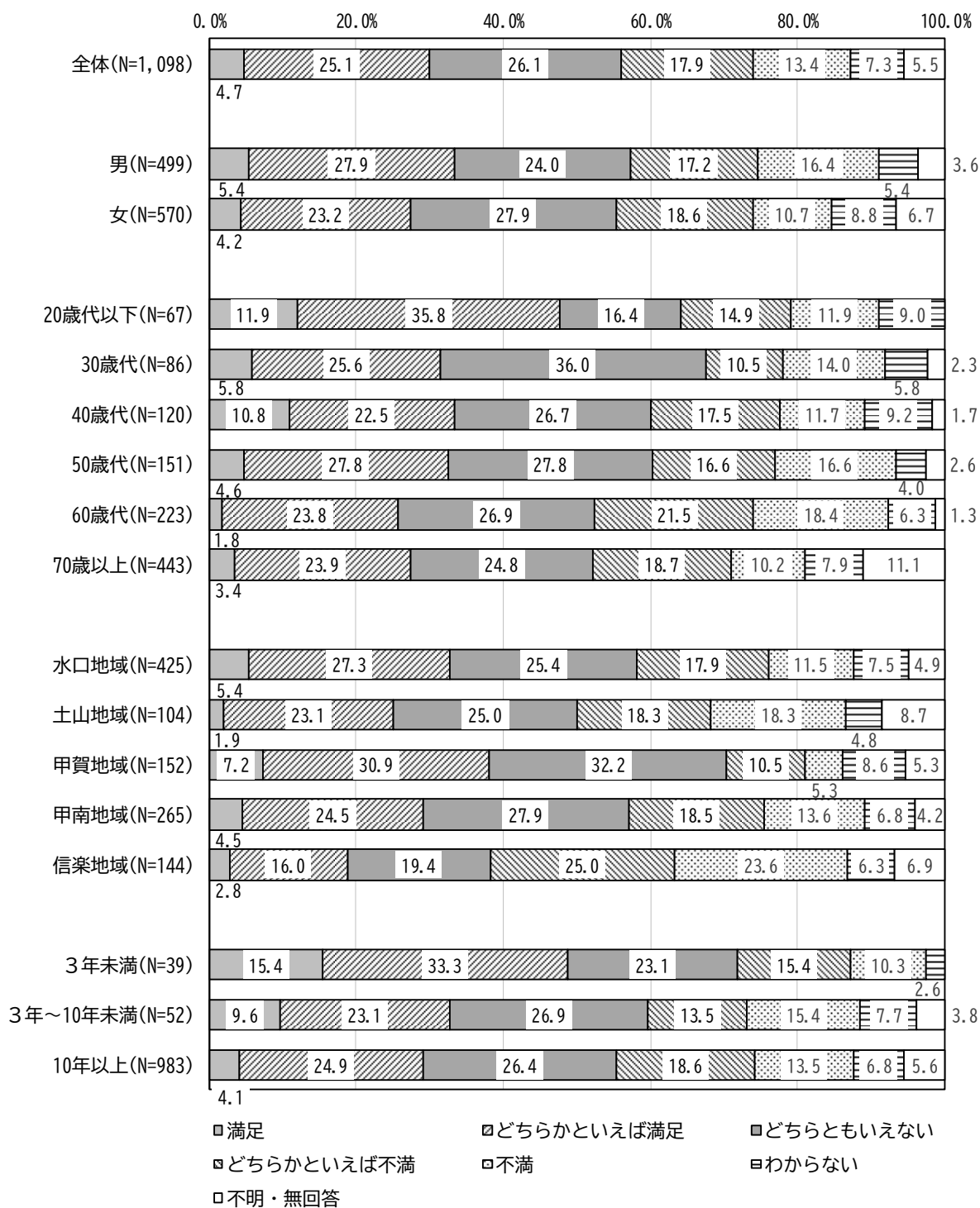
●性別にみると、男性は「どちらかといえば満足」が、女性は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 33.3%、女性は 27.4%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下、50 歳代は「どちらかといえば満足」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている（50 歳代は「どちらともいえない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 47.7%、以下、40 歳代で 33.3%、50 歳代で 32.4%と続いている。

●居住地域別にみると、水口地域は「どちらかといえば満足」が、信楽地域は「どちらかといえば不満」が、その他の地域は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 38.1%、以下、水口地域で 32.7%、甲南地域で 29.0%、土山地域で 25.0%、信楽地域で 18.8%と続いている。

●居住年数別にみると、3年未満は「どちらかといえば満足」が、その他の年数は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で48.7%、以下、3年～10年未満で32.7%、10年以上で29.0%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

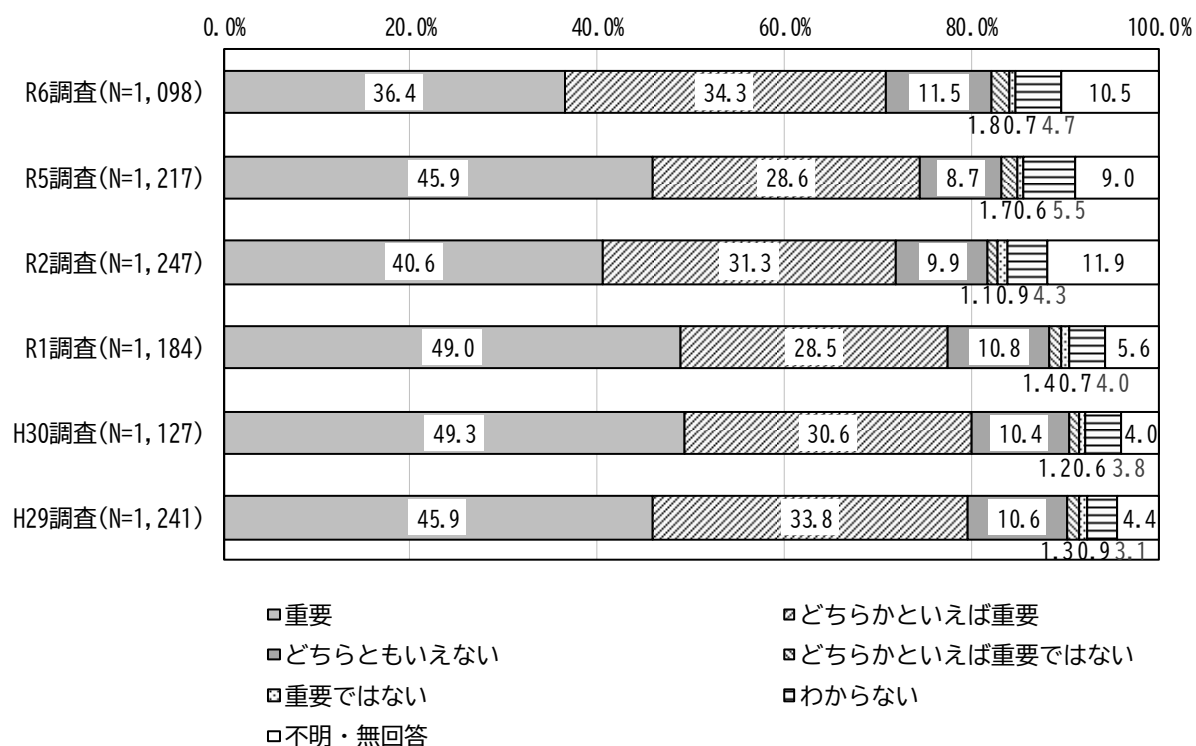
⑩道路 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が減少している。

⑯道路 重要度（単数回答）



※H29～R5 調査は「道路・交通（広域幹線道路、道路整備、鉄道、バス）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「重要」が 36.4%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 34.3%、「どちらともいえない」が 11.5%、「わからない」が 4.7%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.8%、「重要ではない」が 0.7%と続いている。『重要』は 70.7%となっている。

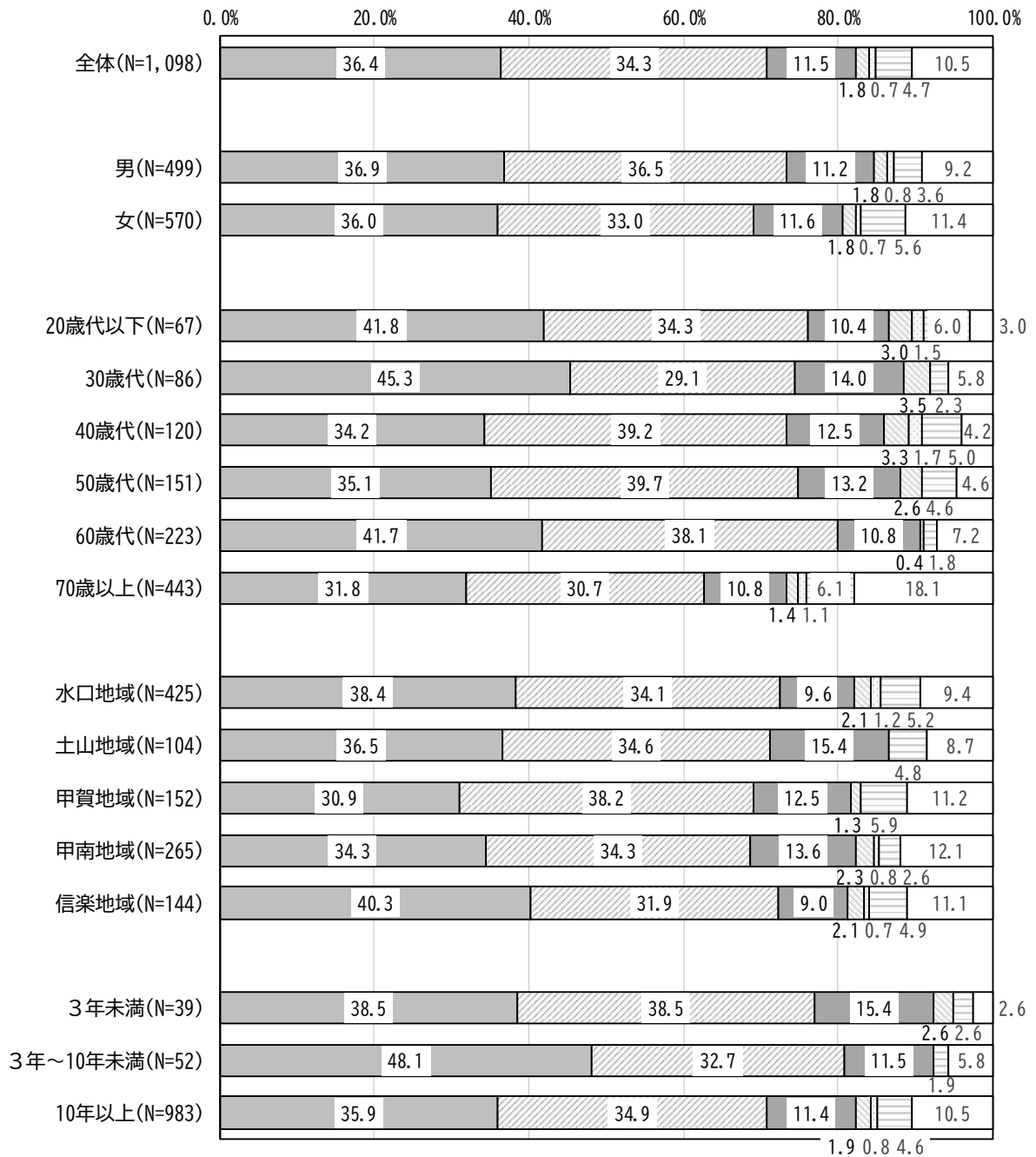
●性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 73.4%、女性は 69.0%となっている。

●年代別にみると、40 歳代、50 歳代は「どちらかといえば重要」が、その他の年代は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 79.8%、以下、20 歳代以下で 76.1%、50 歳代で 74.8%と続いている。

●居住地域別にみると、甲賀地域は「どちらかといえば重要」が、その他の地域は「重要」が最も多くなっている（甲南地域は「どちらかといえば重要」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 72.5%、以下、信楽地域で 72.2%、土山地域で 71.1%、甲賀地域で 69.1%、甲南地域で 68.6%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「重要」が最も多くなっている（3 年未満は「どちらかといえば重要」と同率）。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 80.8%、以下、3 年未満で 77.0%、10 年以上で 70.8%と続いている。

⑯道路 重要度（単数回答）



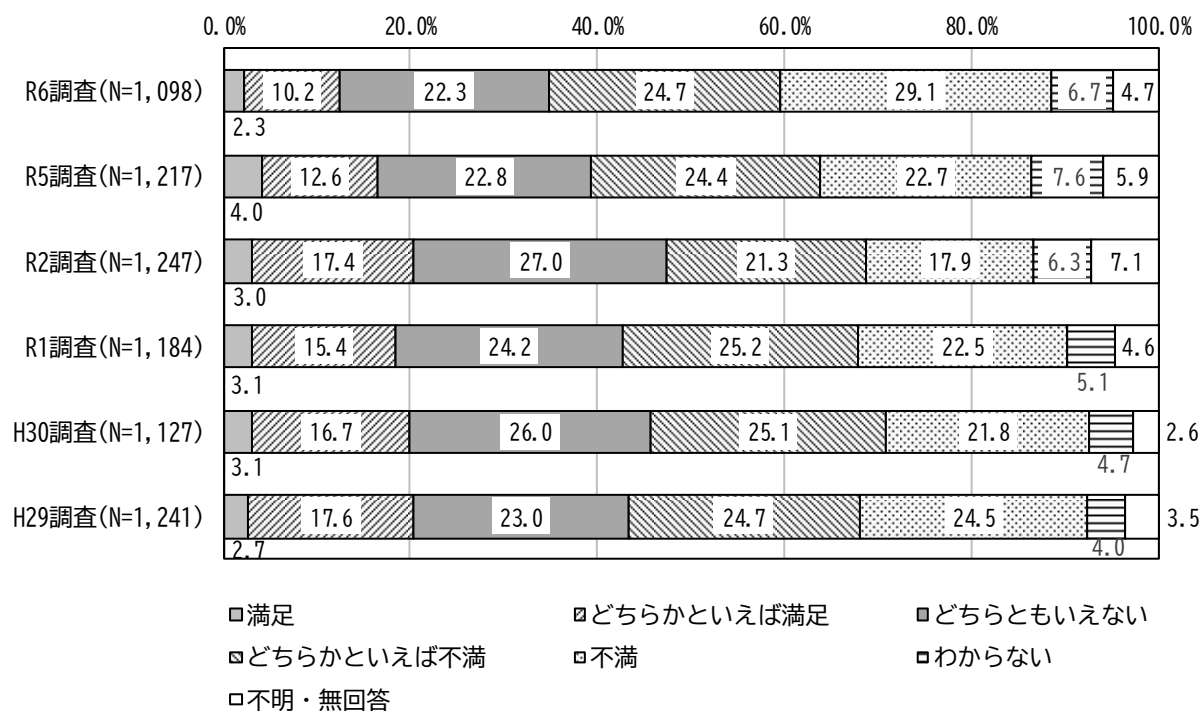
- 重要
- どちらともいえない
- 重要ではない
- 不明・無回答
- どちらかといえば重要
- どちらかといえば重要ではない
- わからない

⑰ 交通（鉄道、バス）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が減少している。

⑰交通 満足度（単数回答）



※H29～R5 調査は「道路・交通（広域幹線道路、道路整備、鉄道、バス）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「不満」が 29.1%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば不満」が 24.7%、「どちらともいえない」が 22.3%、「どちらかといえば満足」が 10.2%、「わからない」が 6.7%、「満足」が 2.3%と続いている。『満足』は 12.5%となっている。

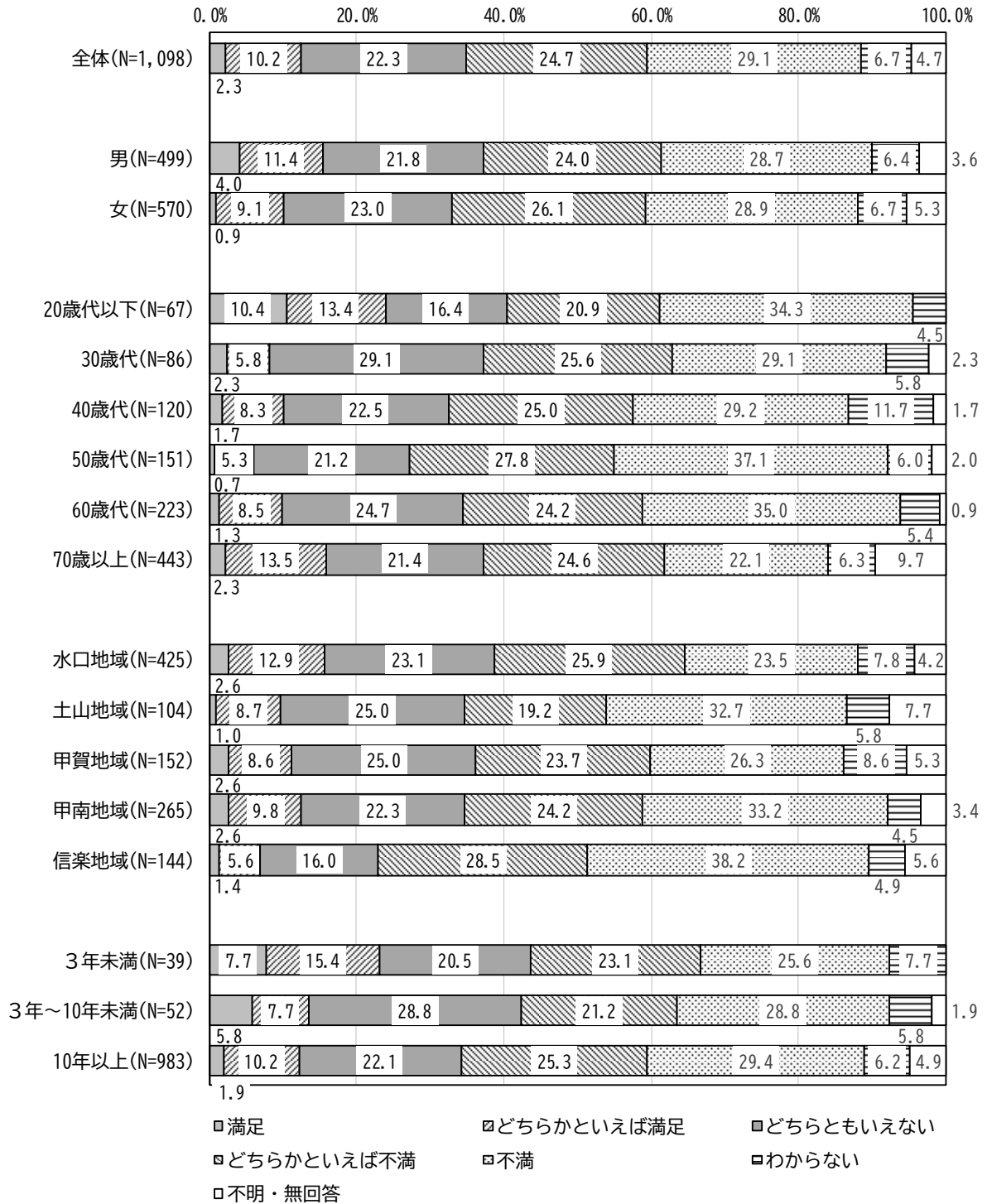
●性別にみると、男性、女性ともに「不満」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は 15.4%、女性は 10.0%となっている。

●年代別にみると、70 歳以上は「どちらかといえば不満」が、その他の年代は「不満」が最も多くなっている（30 歳代は「どちらともいえない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 23.8%、以下、70 歳以上で 15.8%、40 歳代で 10.0%と続いている。

●居住地域別にみると、水口地域は「どちらかといえば不満」が、その他の地域は「不満」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 15.5%、以下、甲南地域で 12.4%、甲賀地域で 11.2%、土山地域で 9.7%、信楽地域で 7.0%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「不満」が最も多くなっている（3 年～10 年未満は「どちらともいえない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 23.1%、以下、3 年～10 年未満で 13.5%、10 年以上で 12.1%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

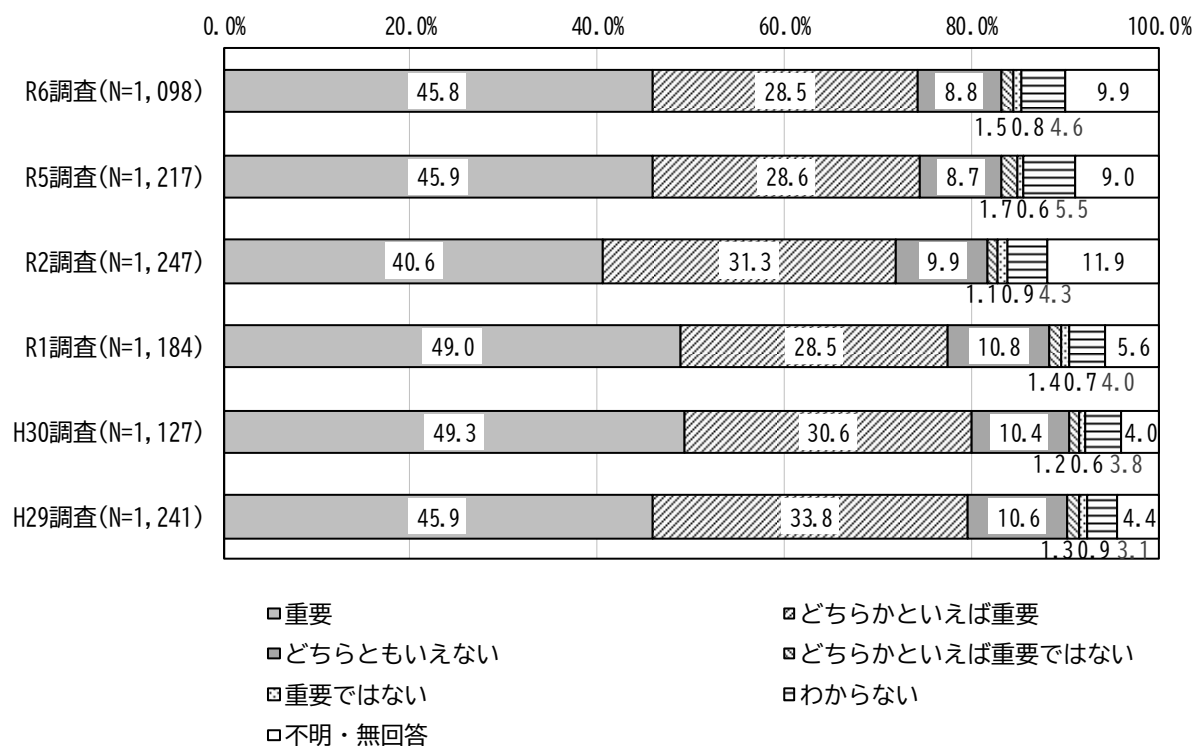
⑰交通 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。

⑪交通 重要度（単数回答）



※H29～R5 調査は「道路・交通（広域幹線道路、道路整備、鉄道、バス）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「重要」が 45.8%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 28.5%、「どちらともいえない」が 8.8%、「わからない」が 4.6%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.5%、「重要ではない」が 0.8%と続いている。「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は 74.3%となっている。

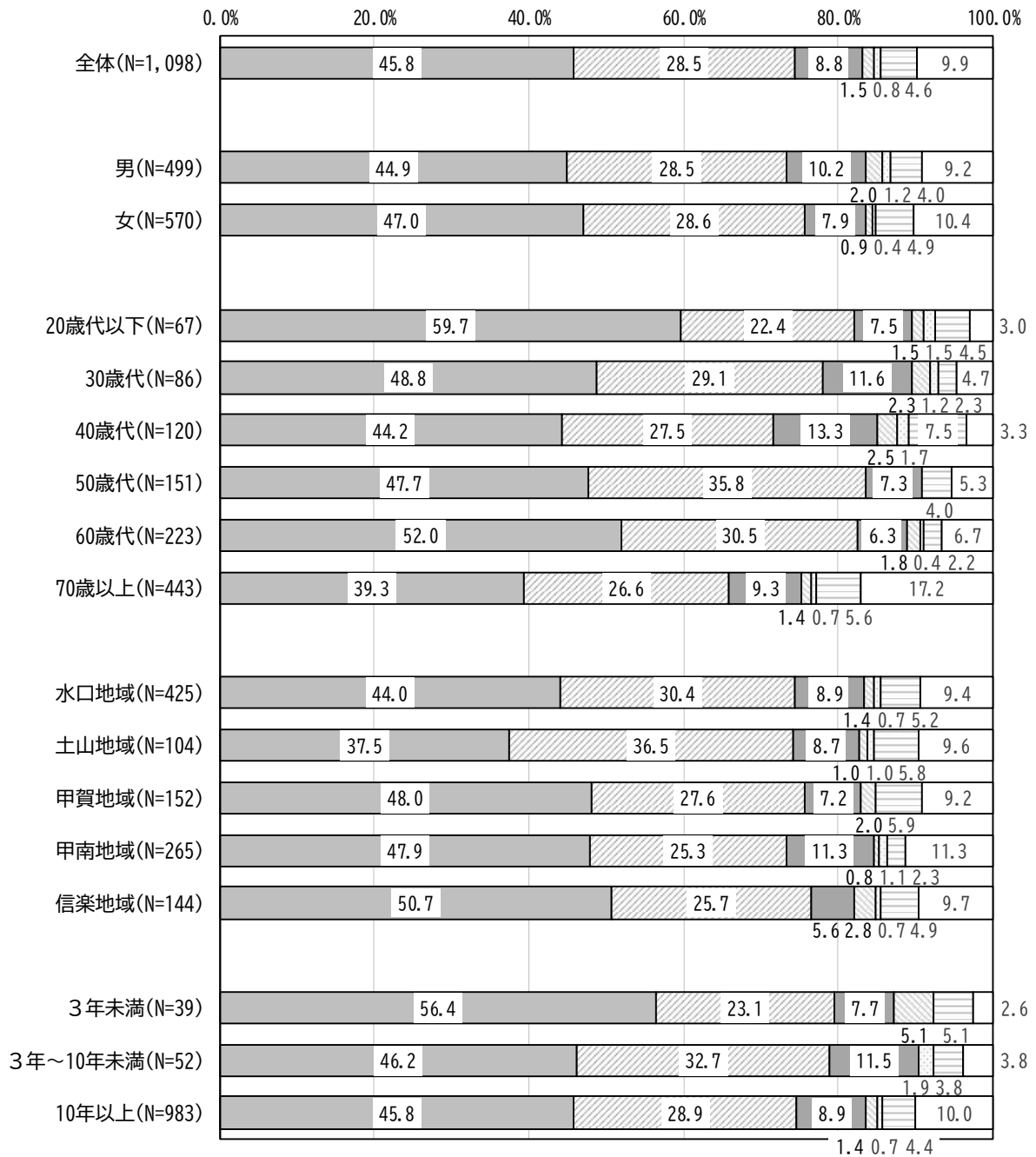
●性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 73.4%、女性は 75.6%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 50 歳代で 83.5%、以下、60 歳代で 82.5%、20 歳代以下で 82.1%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で 76.4%、以下、甲賀地域で 75.6%、水口地域で 74.4%、土山地域で 74.0%、甲南地域で 73.2%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 79.5%、以下、3 年～10 年未満で 78.9%、10 年以上で 74.7%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑰交通 重要度（単数回答）



- 重要
- どちらともいえない
- 重要ではない
- 不明・無回答
- どちらかといえば重要
- どちらかといえば重要ではない
- わからない

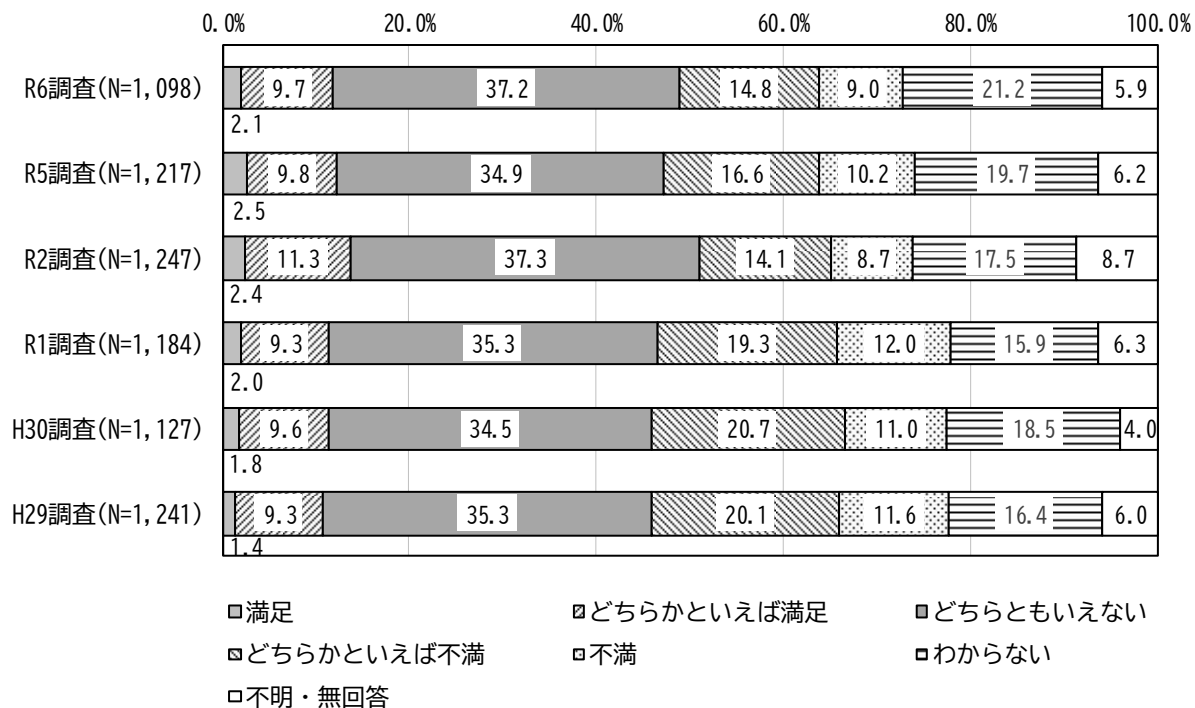
【5. かがやく未来に鹿深の夢を】

⑱ 都市形成（市街地整備、土地の有効利用）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。

⑱都市形成 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が37.2%で最も多くなっており、以下、「わからない」が21.2%、「どちらかといえば不満」が14.8%、「どちらかといえば満足」が9.7%、「不満」が9.0%、「満足」が2.1%と続いている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は11.8%となっている。

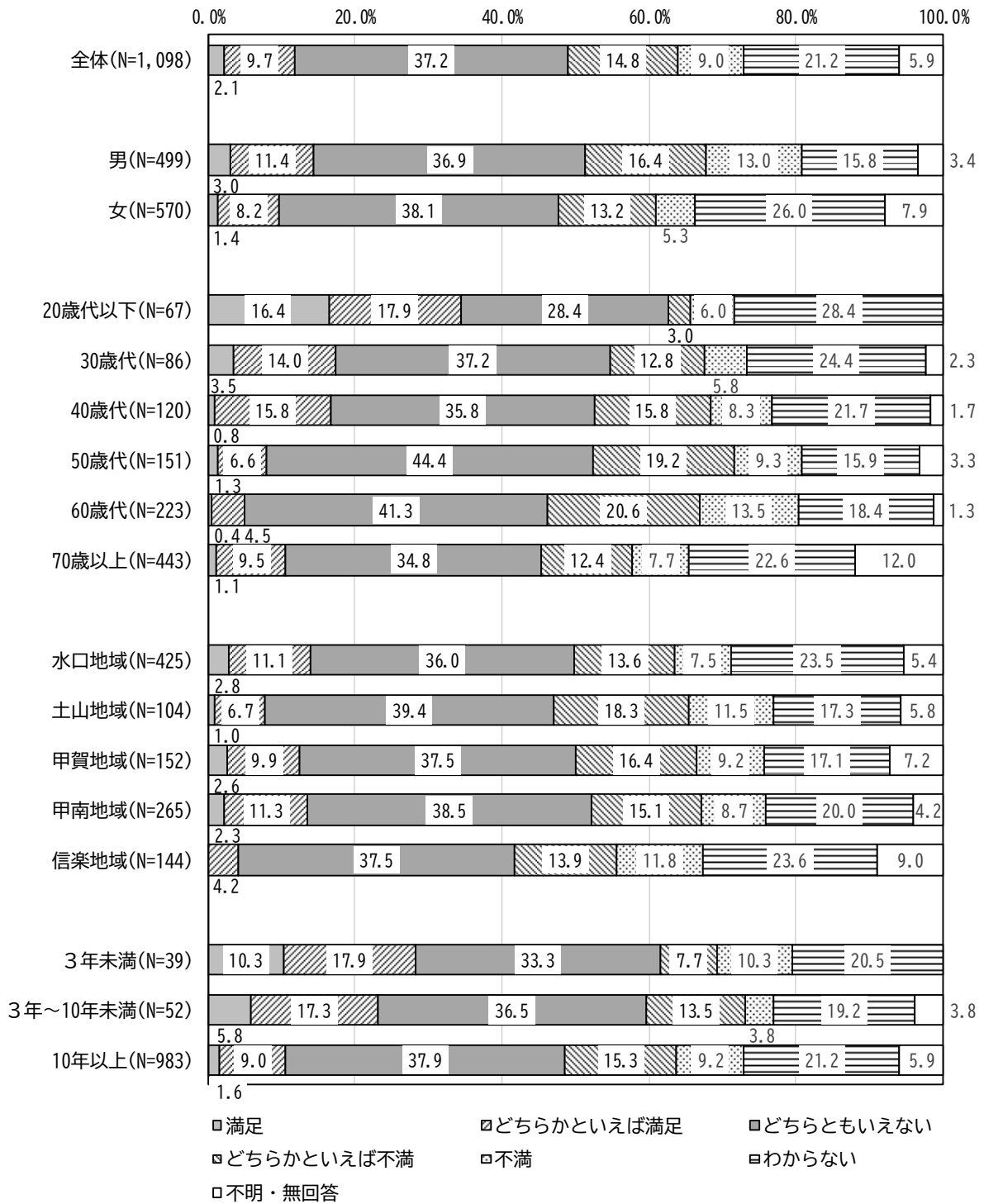
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は14.4%、女性は9.6%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている（20歳代以下は「わからない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で34.3%、以下、30歳代で17.5%、40歳代で16.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で13.9%、以下、甲南地域で13.6%、甲賀地域で12.5%、土山地域で7.7%、信楽地域で4.2%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で28.2%、以下、3年～10年未満で23.1%、10年以上で10.6%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

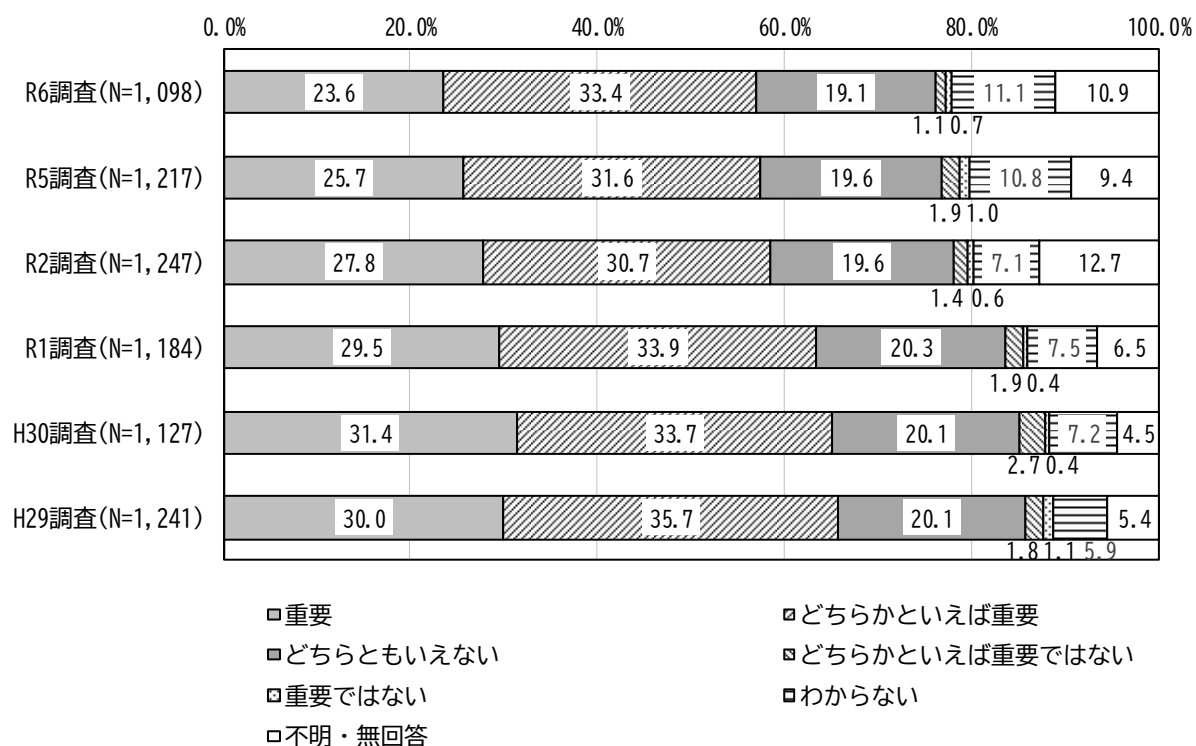
⑱都市形成 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が減少している。

⑱都市形成 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 33.4%で最も多くなっており、以下、「重要」が 23.6%、「どちらともいえない」が 19.1%、「わからない」が 11.1%、「どちらかといえば重要ではない」が 1.1%、「重要ではない」が 0.7%と続いている。『重要』は 57.0%となっている。

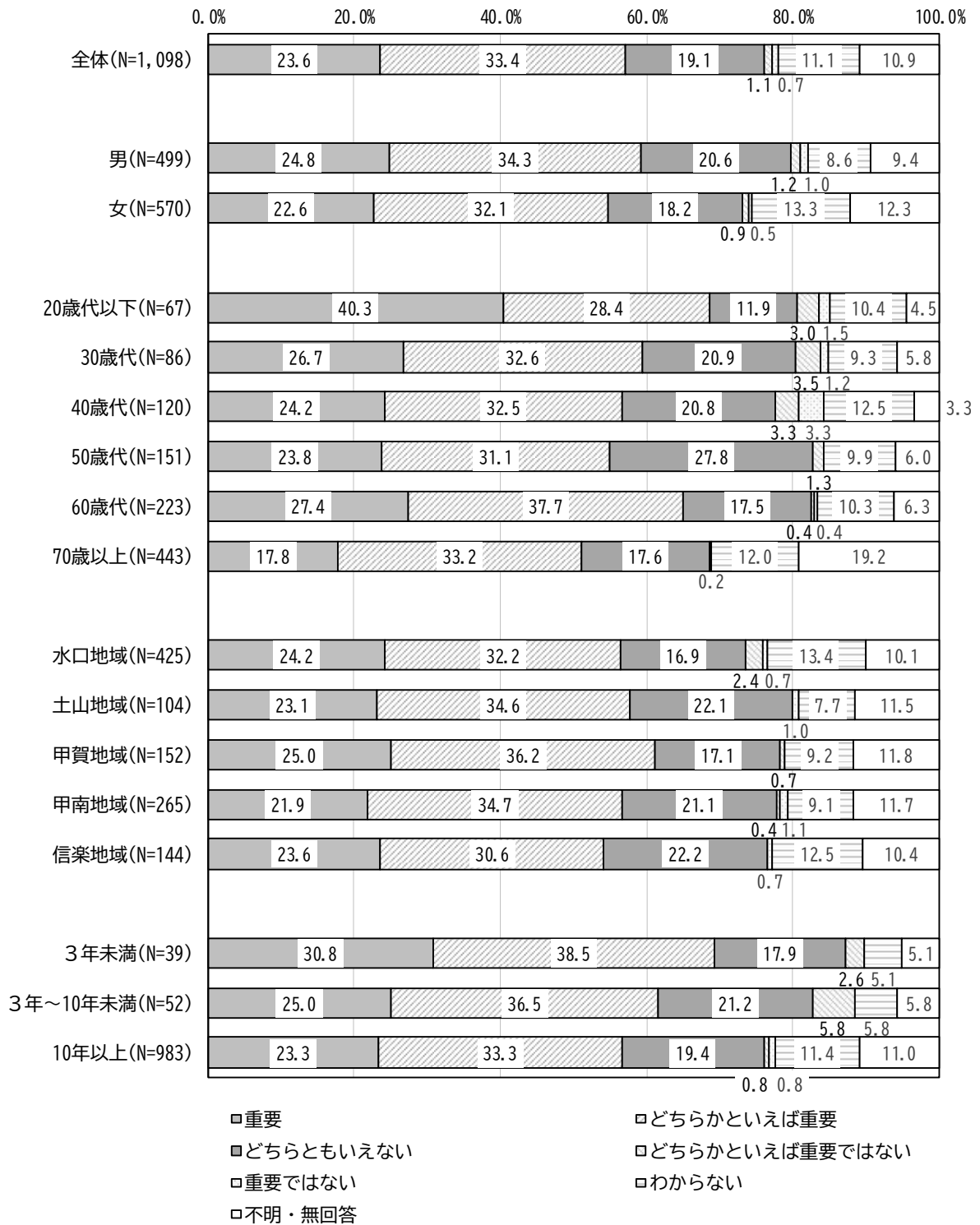
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 59.1%、女性は 54.7%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「重要」が、その他の年代は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 68.7%、以下、60 歳代で 65.1%、30 歳代で 59.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 61.2%、以下、土山地域で 57.7%、甲南地域で 56.6%、水口地域で 56.4%、信楽地域で 54.2%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 69.3%、以下、3 年～10 年未満で 61.5%、10 年以上で 56.6%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑱都市形成 重要度（単数回答）

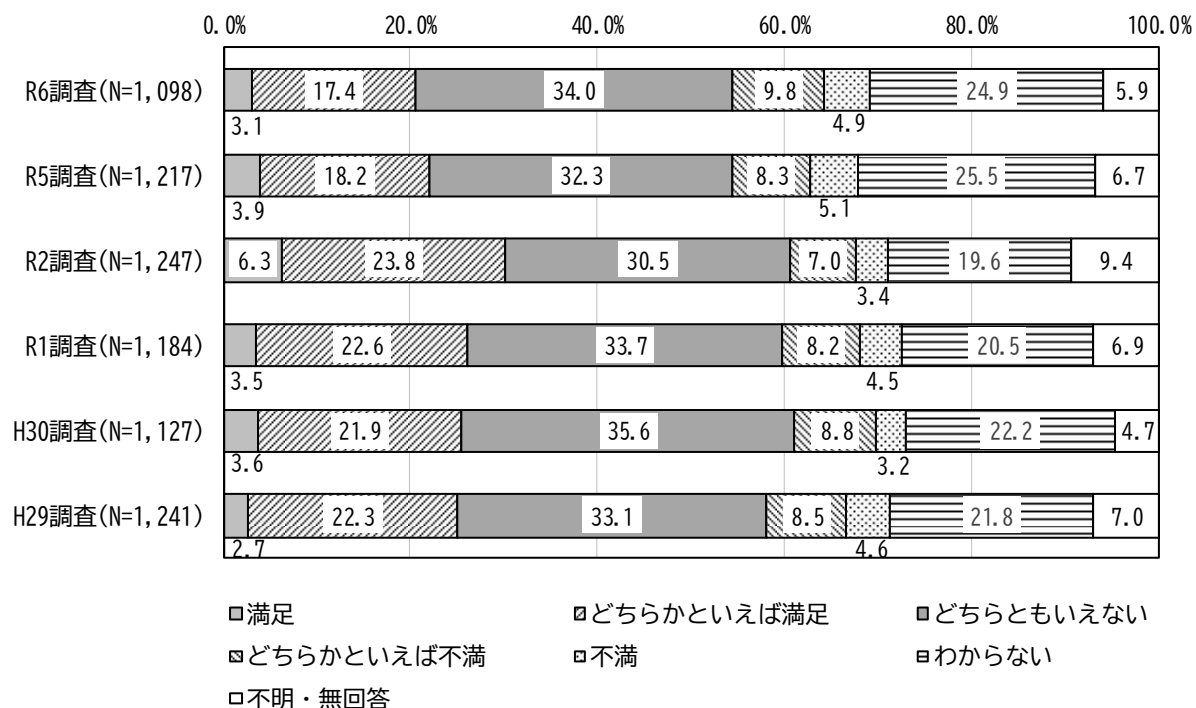


⑨ 若者・こども・子育て（若者の活躍、子育て支援、就学前教育、保育、放課後児童クラブ、子育てネットワーク）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が減少し、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合が増加している。

⑨若者・こども・子育て 満足度（単数回答）



※H29～R5 調査は「子ども・子育て（子育て支援、就学前教育、保育、放課後児童クラブ、子育てネットワーク）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「どちらともいえない」が34.0%で最も多くなっており、以下、「わからない」が24.9%、「どちらかといえば満足」が17.4%、「どちらかといえば不満」が9.8%、「不満」が4.9%、「満足」が3.1%と続いている。『満足』は20.5%となっている。

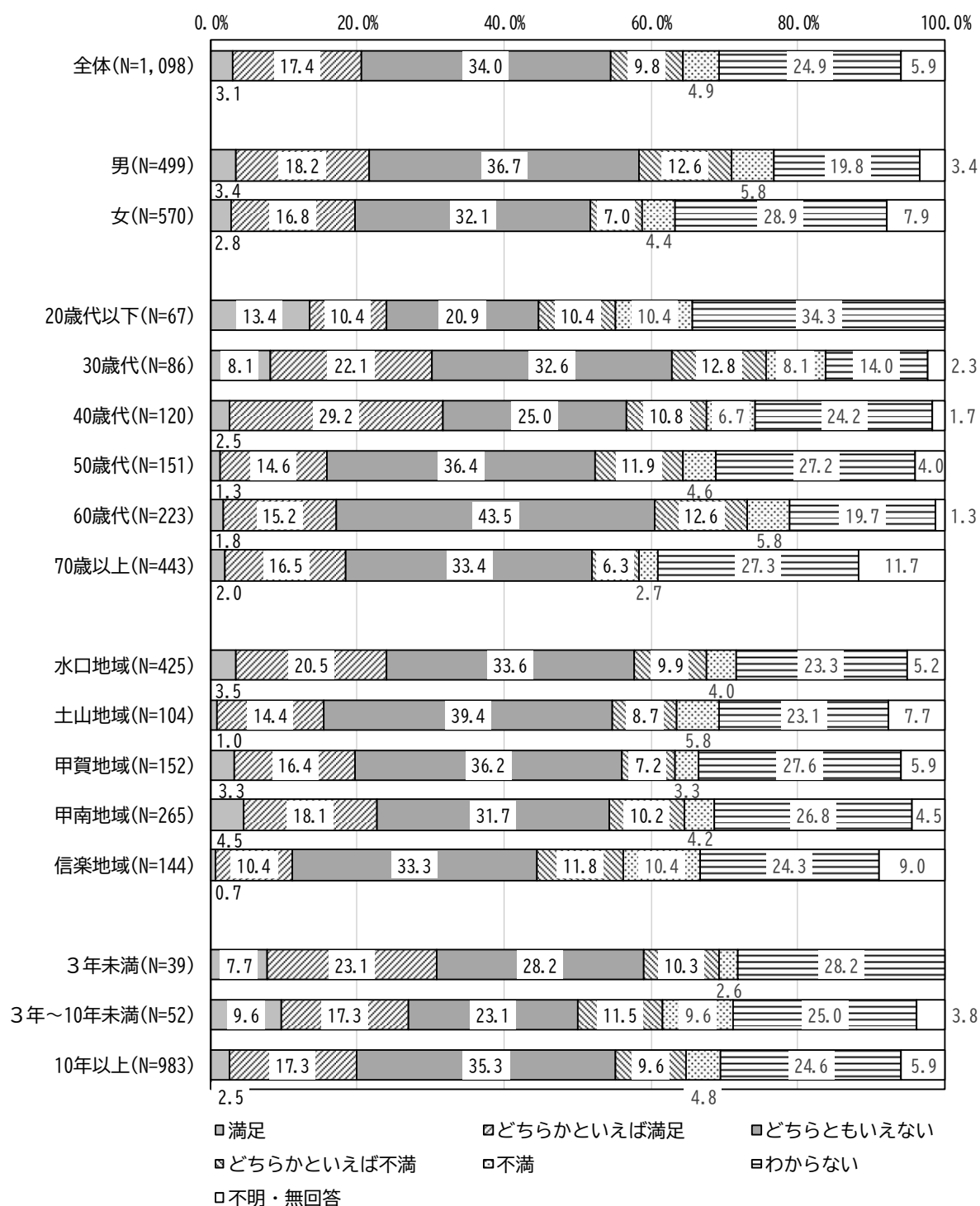
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は21.6%、女性は19.6%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「わからない」が、40 歳代は「どちらかといえば満足」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは40 歳代で31.7%、以下、30 歳代で30.2%、20 歳代以下で23.8%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で24.0%、以下、甲南地域で22.6%、甲賀地域で19.7%、土山地域で15.4%、信楽地域で11.1%と続いている。

●居住年数別にみると、3年～10年未満は「わからない」が、その他の年数は「どちらともいえない」が最も多くなっている（3年未満は「わからない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは3年未満で30.8%、以下、3年～10年未満で26.9%、10年以上で19.8%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

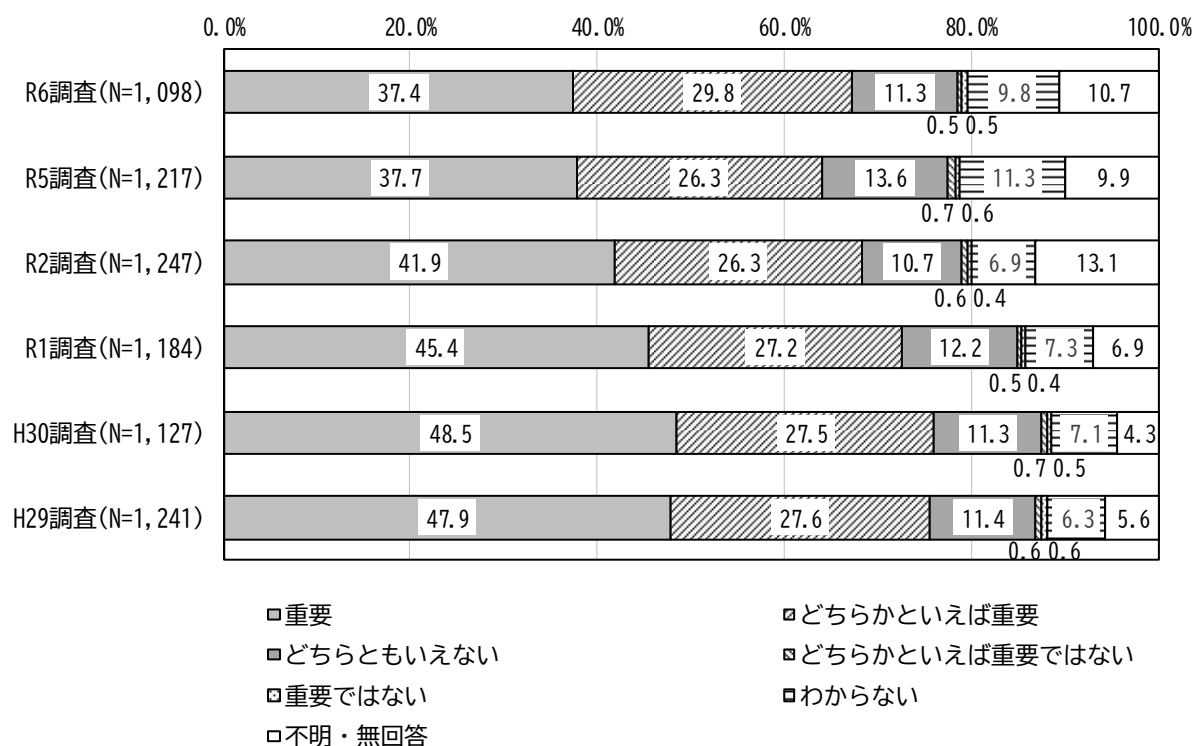
⑨若者・こども・子育て 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

⑨若者・こども・子育て 重要度（単数回答）



※H29～R5 調査は「子ども・子育て（子育て支援、就学前教育、保育、放課後児童クラブ、子育てネットワーク）の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「重要」が 37.4%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえば重要」が 29.8%、「どちらともいえない」が 11.3%、「わからない」が 9.8%、「どちらかといえば重要ではない」、「重要ではない」が 0.5%と続いている。『重要』は 67.2%となっている。

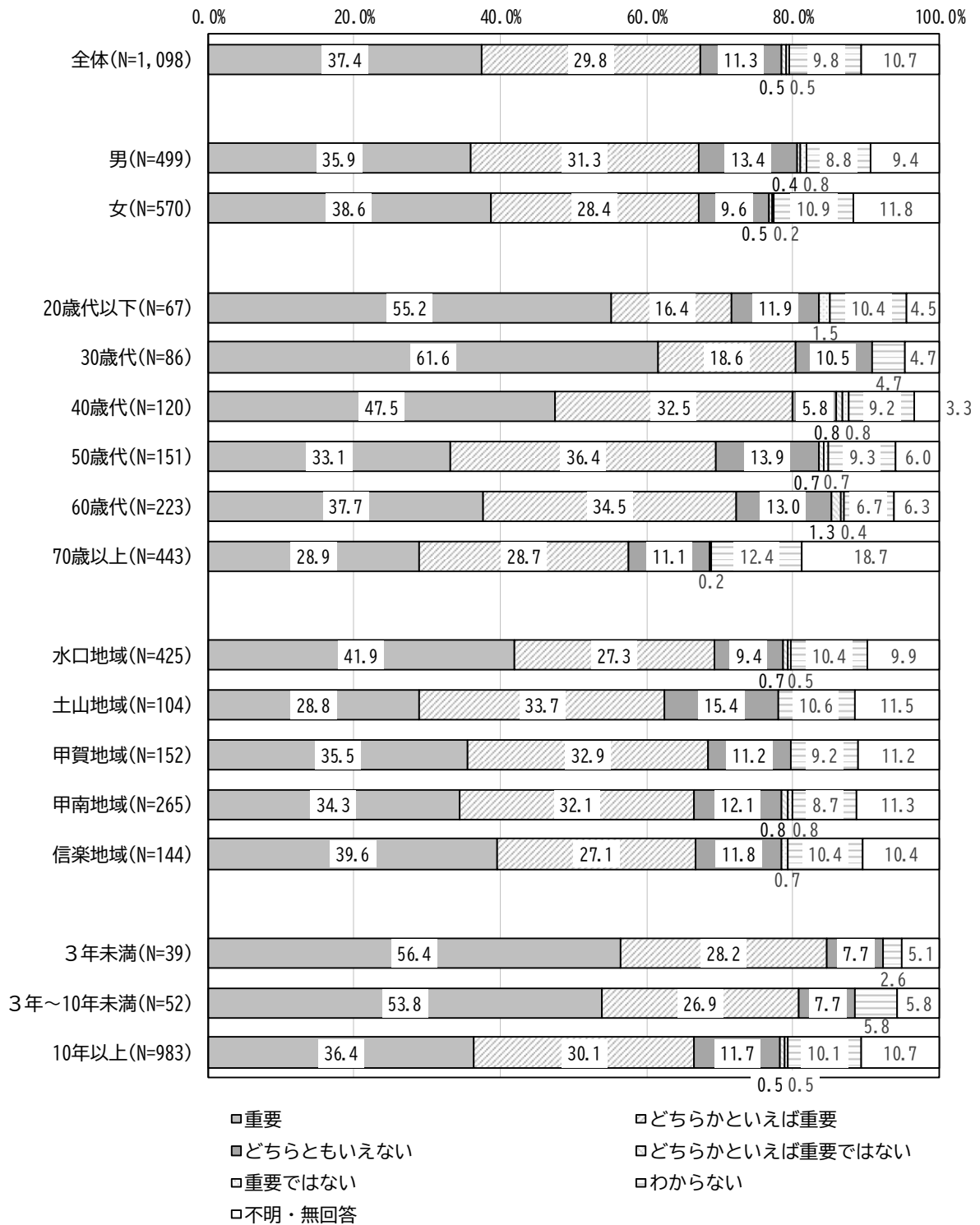
●性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 67.2%、女性は 67.0%となっている。

●年代別にみると、50 歳代は「どちらかといえば重要」が、その他の年代は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 30 歳代で 80.2%、以下、40 歳代で 80.0%、60 歳代で 72.2%と続いている。

●居住地域別にみると、土山地域は「どちらかといえば重要」が、その他の地域は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 69.2%、以下、甲賀地域で 68.4%、信楽地域で 66.7%、甲南地域で 66.4%、土山地域で 62.5%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 84.6%、以下、3 年～10 年未満で 80.7%、10 年以上で 66.5%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

⑨若者・こども・子育て 重要度（単数回答）

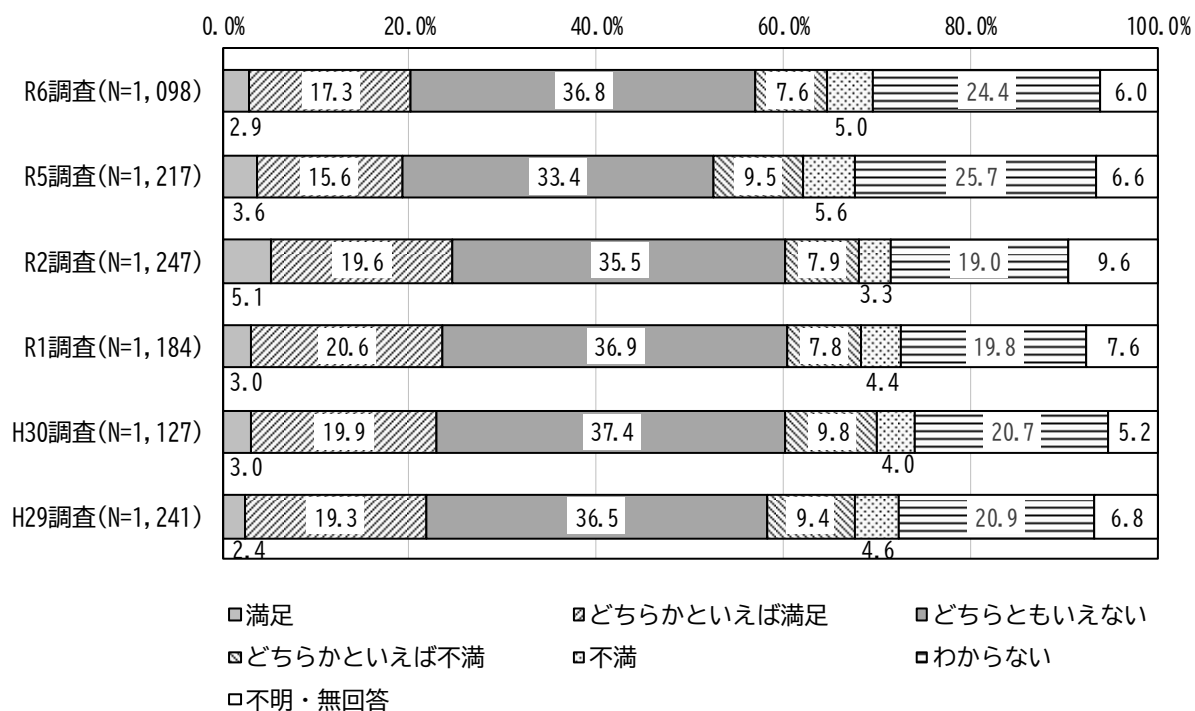


②⑩ 学校教育、社会教育（学校教育、社会教育、教育環境の充実）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、概ね同じ傾向ではあるが、昨年と比較すると「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合は増加している。

②⑩学校教育、社会教育 満足度（単数回答）



※H29～R5 調査は「学校教育、青少年（学校教育、教育環境の充実、健全育成）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「どちらともいえない」が36.8%で最も多くなっており、以下、「わからない」が24.4%、「どちらかといえば満足」が17.3%、「どちらかといえば不満」が7.6%、「不満」が5.0%、「満足」が2.9%と続いている。『満足』は20.2%となっている。

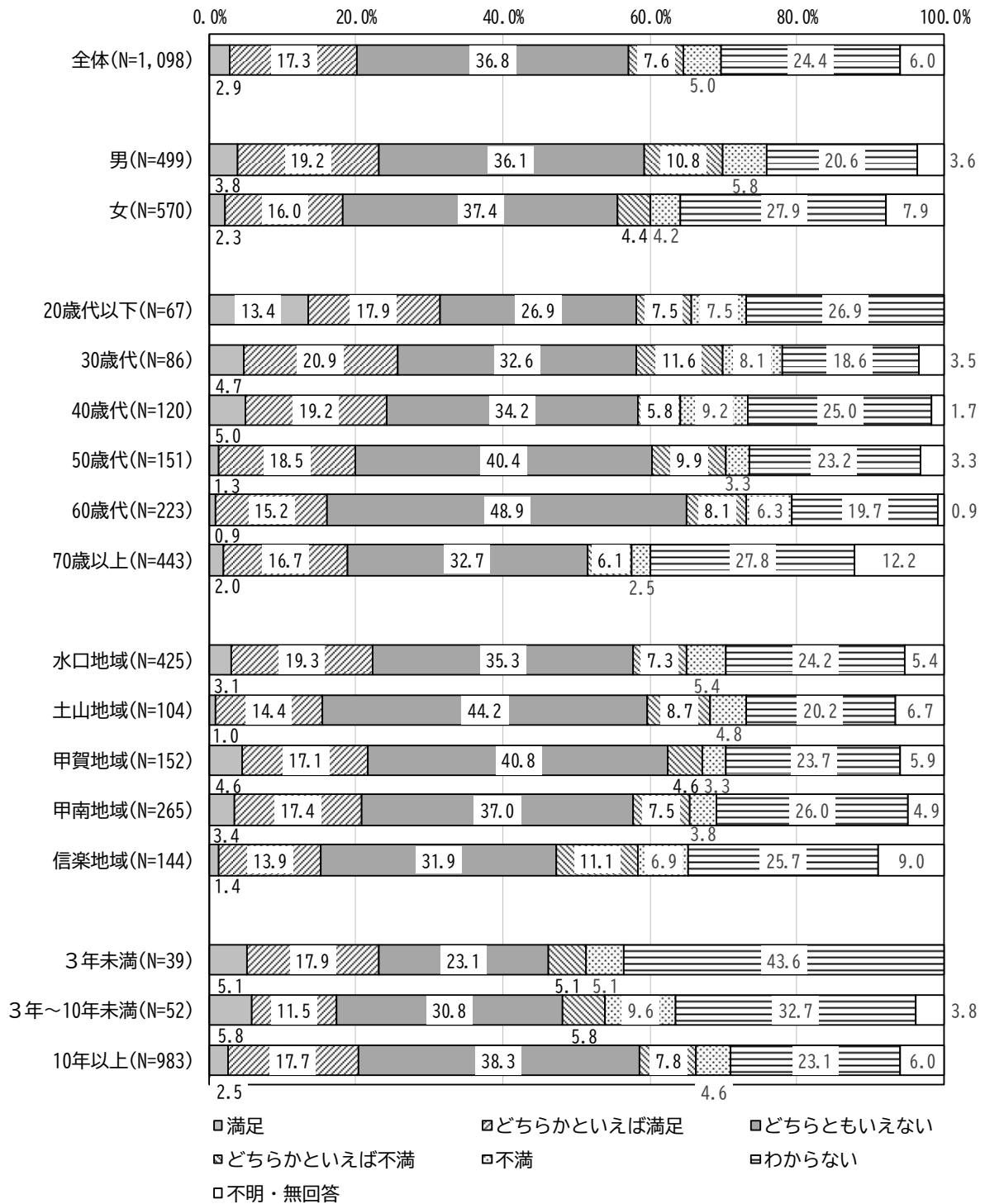
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は23.0%、女性は18.3%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらともいえない」が最も多くなっている（20 歳代以下は「わからない」と同率）。『満足』の割合をみると、最も多いのは20 歳代以下で31.3%、以下、30 歳代で25.6%、40 歳代で24.2%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で22.4%、以下、甲賀地域で21.7%、甲南地域で20.8%、土山地域で15.4%、信楽地域で15.3%と続いている。

●居住年数別にみると、10 年以上は「どちらともいえない」が、その他の年数は「わからない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3 年未満で23.0%、以下、10 年以上で20.2%、3 年～10 年未満で17.3%と続いている。

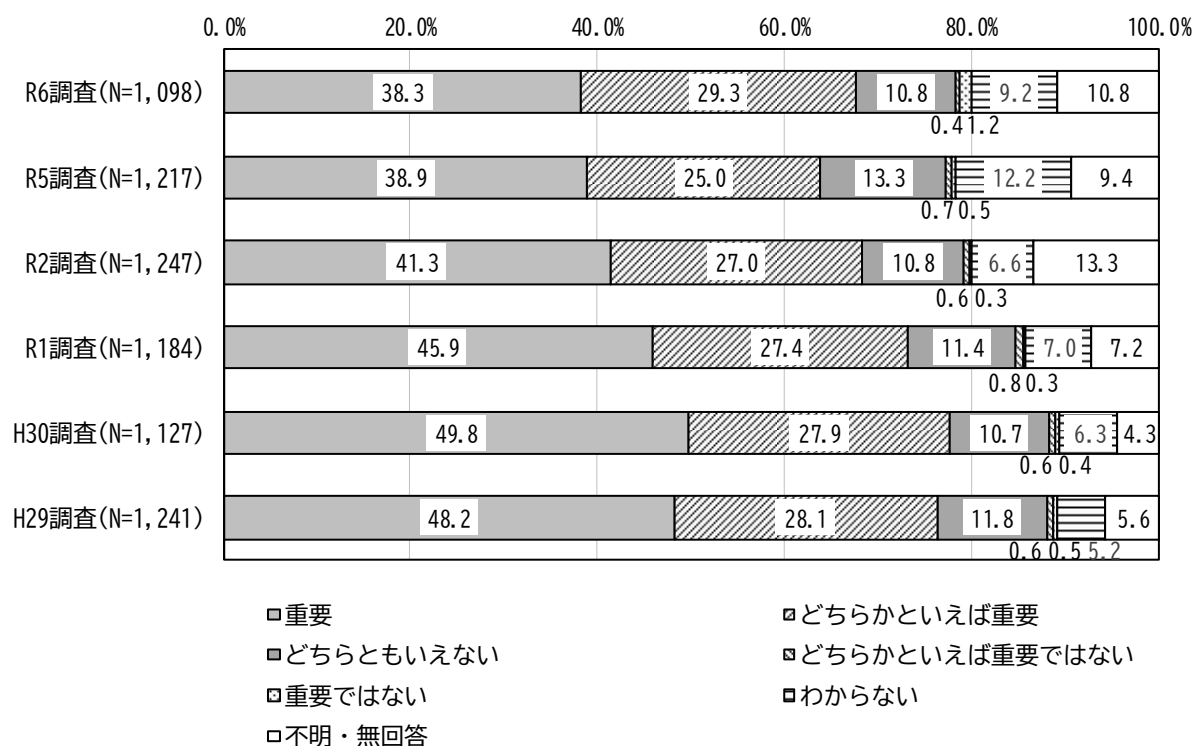
②学校教育、社会教育 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、昨年まで減少傾向にあった「重要」と「どちらかといえ重要」を合わせた『重要』の割合が増加している。

②学校教育、社会教育 重要度（単数回答）



※H29～R5 調査は「学校教育、青少年（学校教育、教育環境の充実、健全育成）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「重要」が 38.3%で最も多くなっており、以下、「どちらかといえ重要」が 29.3%、「どちらともいえない」が 10.8%、「わからない」が 9.2%、「重要ではない」が 1.2%、「どちらかといえ重要ではない」が 0.4%と続いている。『重要』は 67.6%となっている。

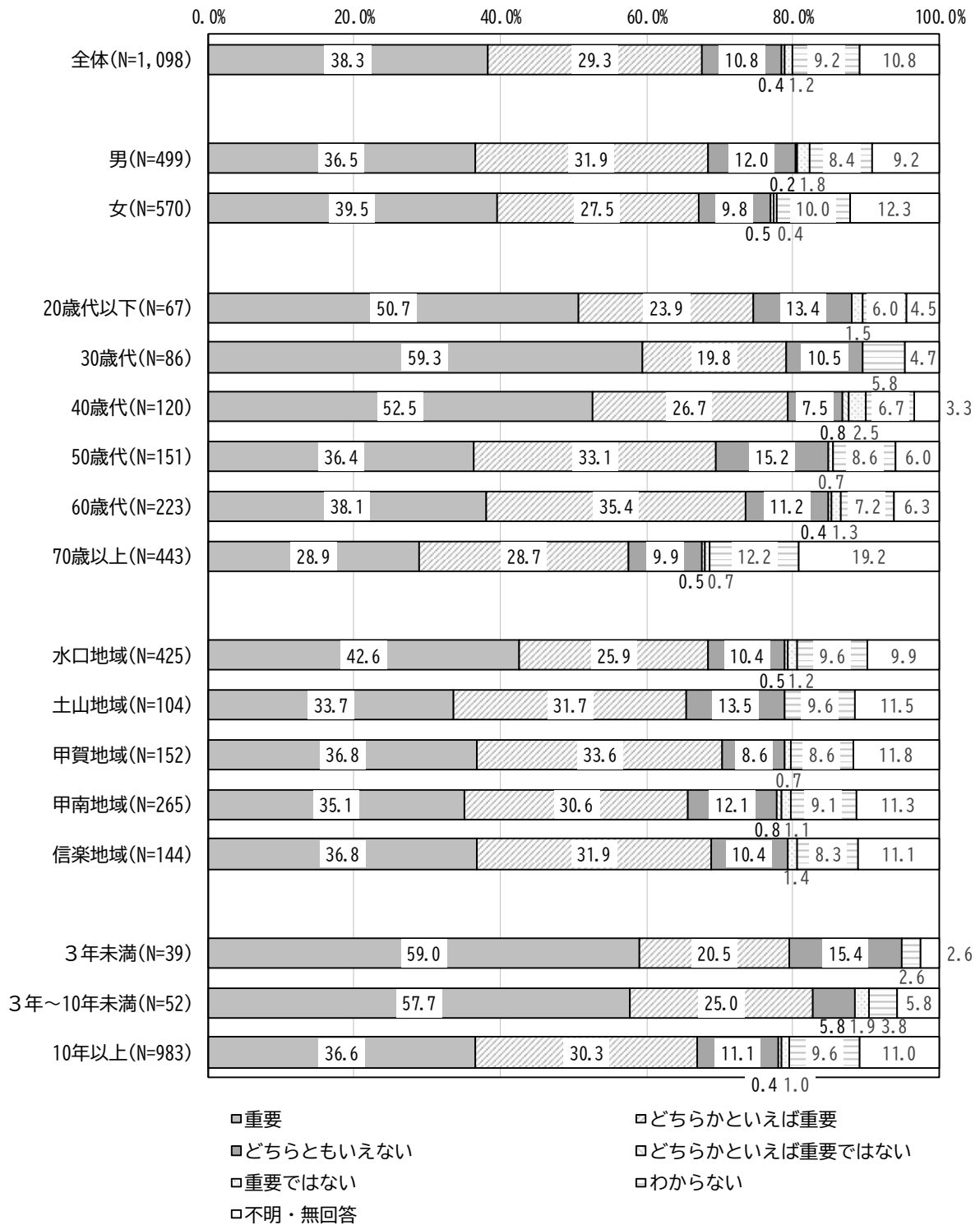
●性別にみると、男性、女性ともに「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 68.4%、女性は 67.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 40 歳代で 79.2%、以下、30 歳代で 79.1%、20 歳代以下で 74.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 70.4%、以下、信楽地域で 68.7%、水口地域で 68.5%、甲南地域で 65.7%、土山地域で 65.4%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 82.7%、以下、3 年未満で 79.5%、10 年以上で 66.9%と続いている。

②学校教育、社会教育 重要度（単数回答）

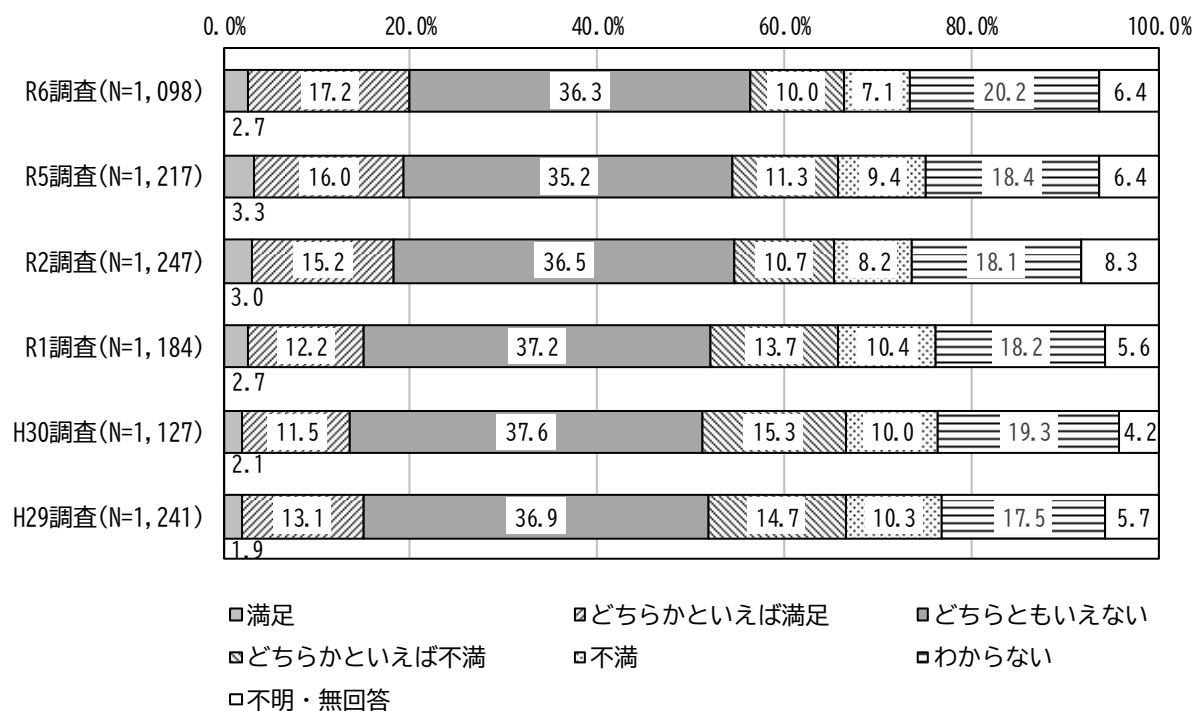


② 行財政（職員の質、行政サービスの効率、財産管理、財政運営）

【満足度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が増加している。

②行財政 満足度（単数回答）



●全体でみると、「どちらともいえない」が36.3%で最も多くなっており、以下、「わからない」が20.2%、「どちらかといえば満足」が17.2%、「どちらかといえば不満」が10.0%、「不満」が7.1%、「満足」が2.7%と続いている。『満足』は19.9%となっている。

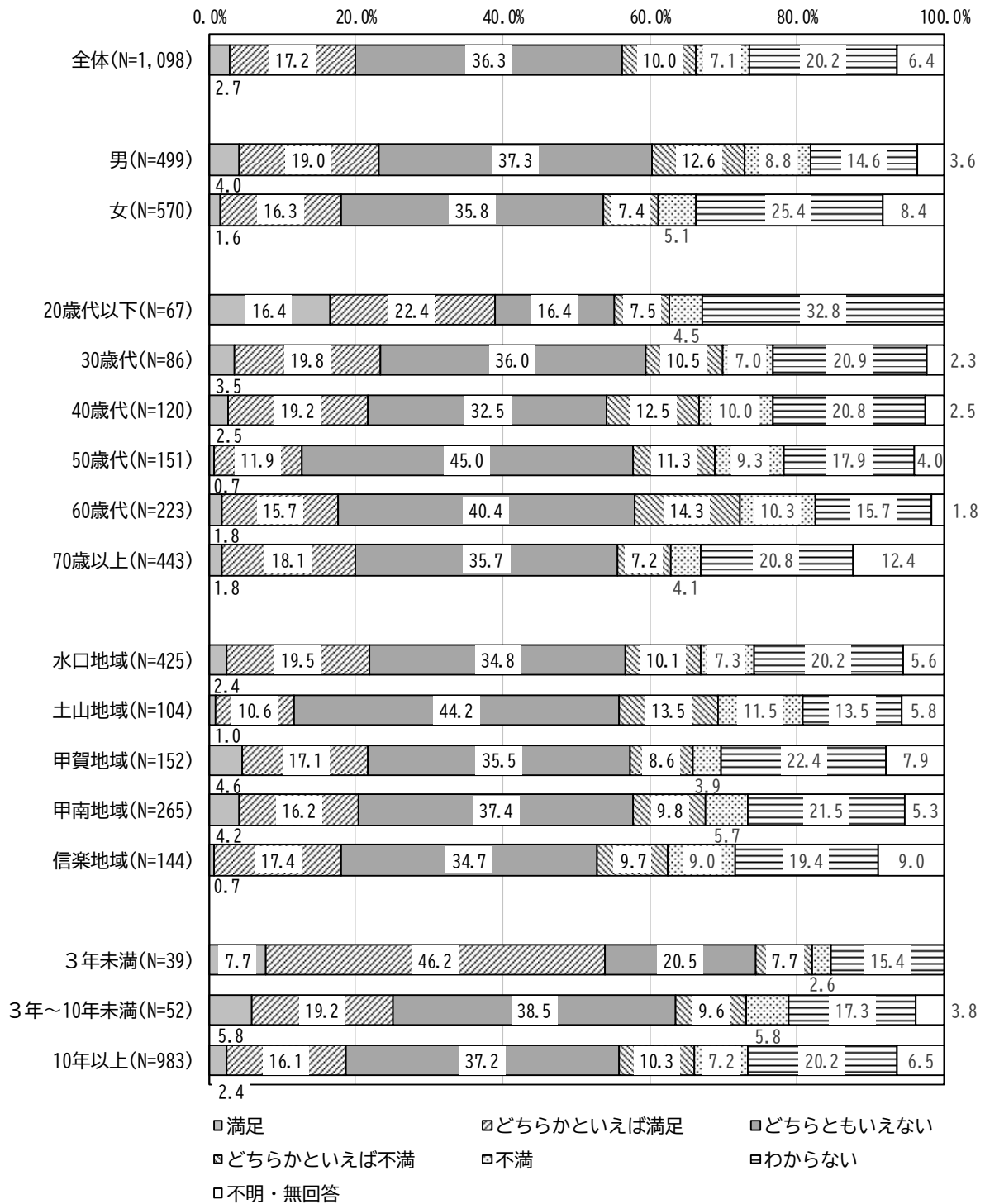
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、男性は23.0%、女性は17.9%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「わからない」が、その他の年代は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは20 歳代以下で38.8%、以下、30 歳代で23.3%、40 歳代で21.7%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは水口地域で21.9%、以下、甲賀地域で21.7%、甲南地域で20.4%、信楽地域で18.1%、土山地域で11.6%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「どちらかといえば満足」が、その他の年数は「どちらともいえない」が最も多くなっている。『満足』の割合をみると、最も多いのは3 年未満で53.9%、以下、3 年～10 年未満で25.0%、10 年以上で18.5%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

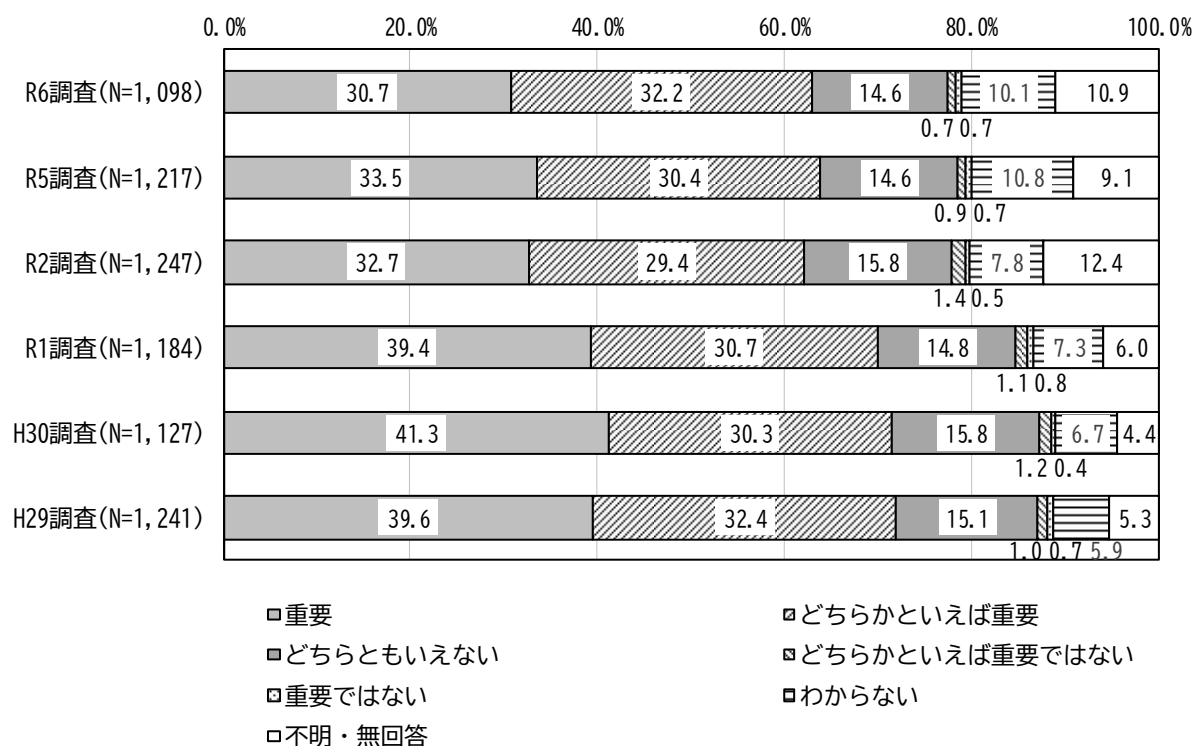
②行財政 満足度（単数回答）



【重要度】

平成 29 年度調査からの推移をみると、「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』の割合が減少している。

㊴行財政 重要度（単数回答）



●全体でみると、「どちらかといえば重要」が 32.2%で最も多くなっており、以下、「重要」が 30.7%、「どちらともいえない」が 14.6%、「わからない」が 10.1%、「どちらかといえば重要ではない」、「重要ではない」が 0.7%と続いている。『重要』は 62.9%となっている。

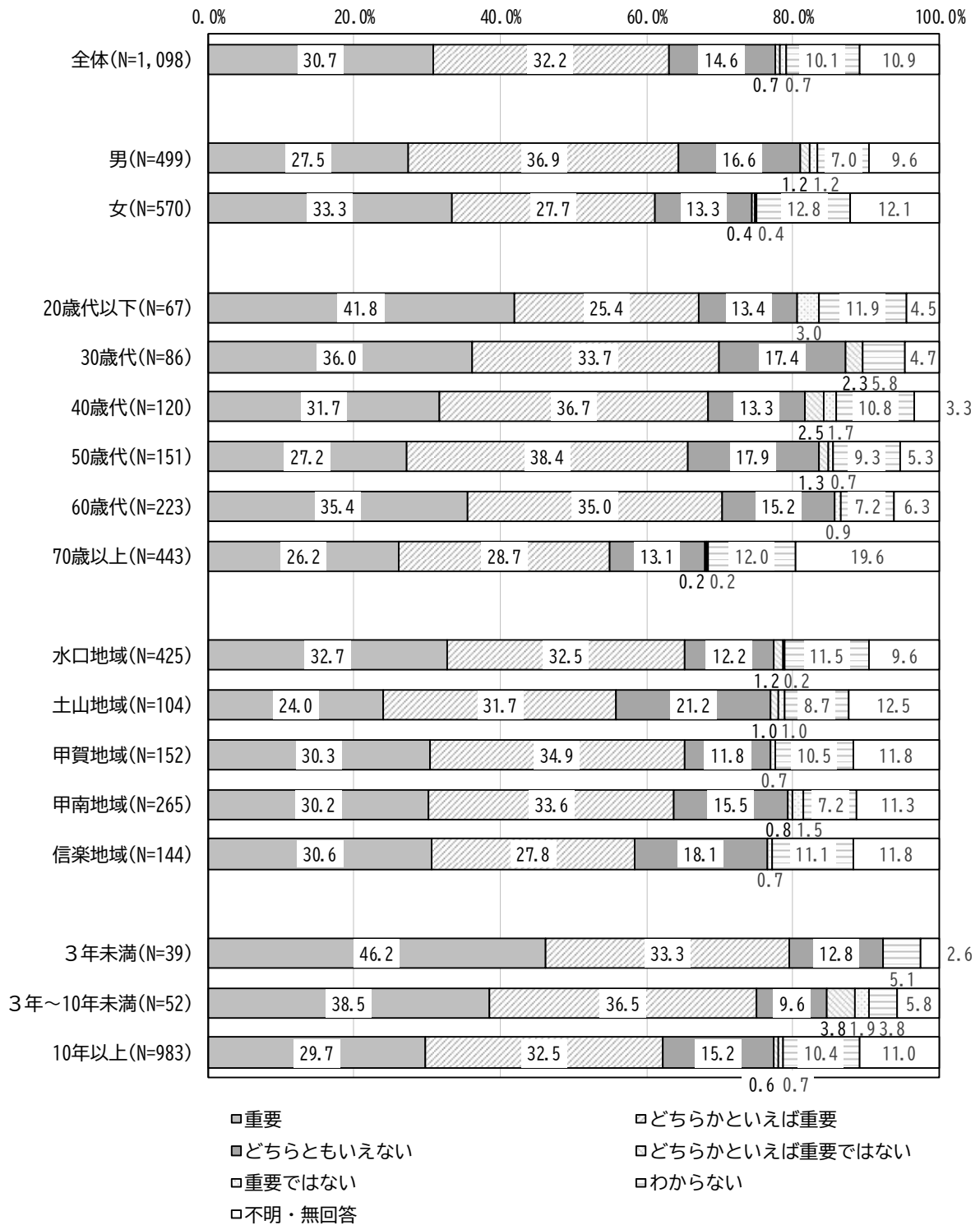
●性別にみると、男性は「どちらかといえば重要」が、女性は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、男性は 64.4%、女性は 61.0%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下、30 歳代、60 歳代は「重要」が、その他の年代は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 70.4%、以下、30 歳代で 69.7%、40 歳代で 68.4%と続いている。

●居住地域別にみると、水口地域、信楽地域は「重要」が、その他の地域は「どちらかといえば重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは水口地域、甲賀地域で 65.2%、以下、甲南地域で 63.8%、信楽地域で 58.4%、土山地域で 55.7%と続いている。

●居住年数別にみると、10 年以上は「どちらかといえば重要」が、その他の年数は「重要」が最も多くなっている。『重要』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 79.5%、以下、3 年～10 年未満で 75.0%、10 年以上で 62.2%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

②行財政 重要度（単数回答）

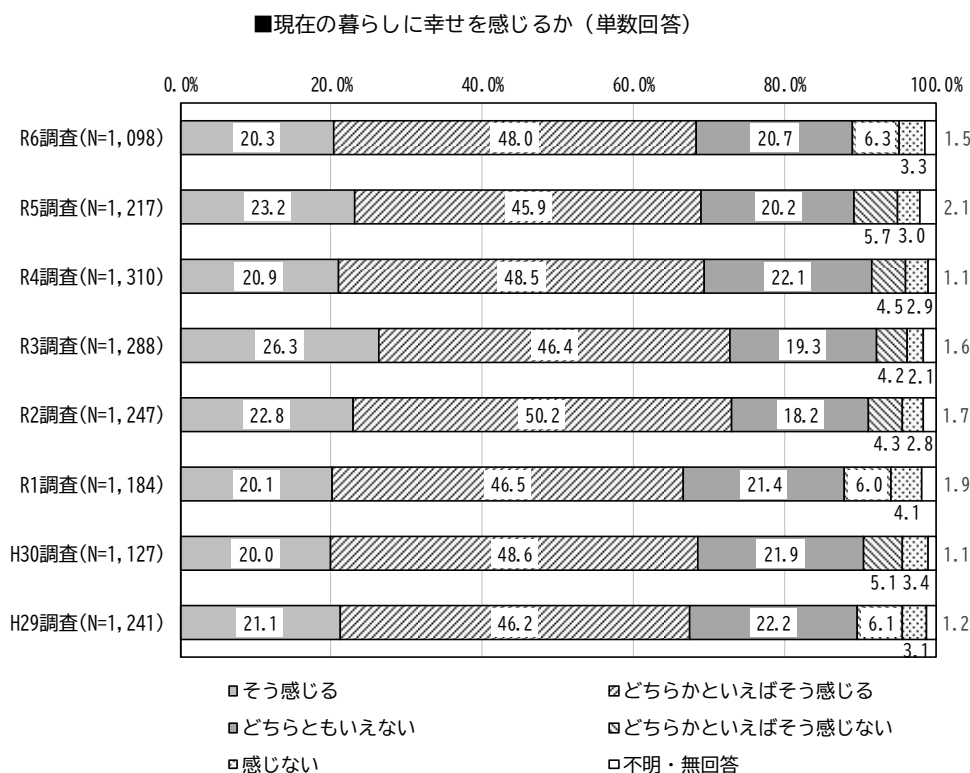


(3) 現在の暮らしに幸せを感じるか

① 現在の暮らしに幸せを感じるか

「問9」 あなたは、現在の暮らしに幸せを感じますか。(○は1つ)

平成29年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。



●全体でみると、「どちらかといえばそう感じる」が48.0%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が20.7%、「そう感じる」が20.3%、「どちらかといえばそう感じない」が6.3%、「感じない」が3.3%と続いている。「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」を合わせた『感じる』は68.3%と続いている。

●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえばそう感じる」が最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、男性は66.7%、女性は70.4%となっている。

●年代別にみると、20歳代以下は「そう感じる」が、その他の年代は「どちらかといえばそう感じる」が最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で73.1%、以下、30歳代で72.1%、70歳以上で69.6%と続いている。

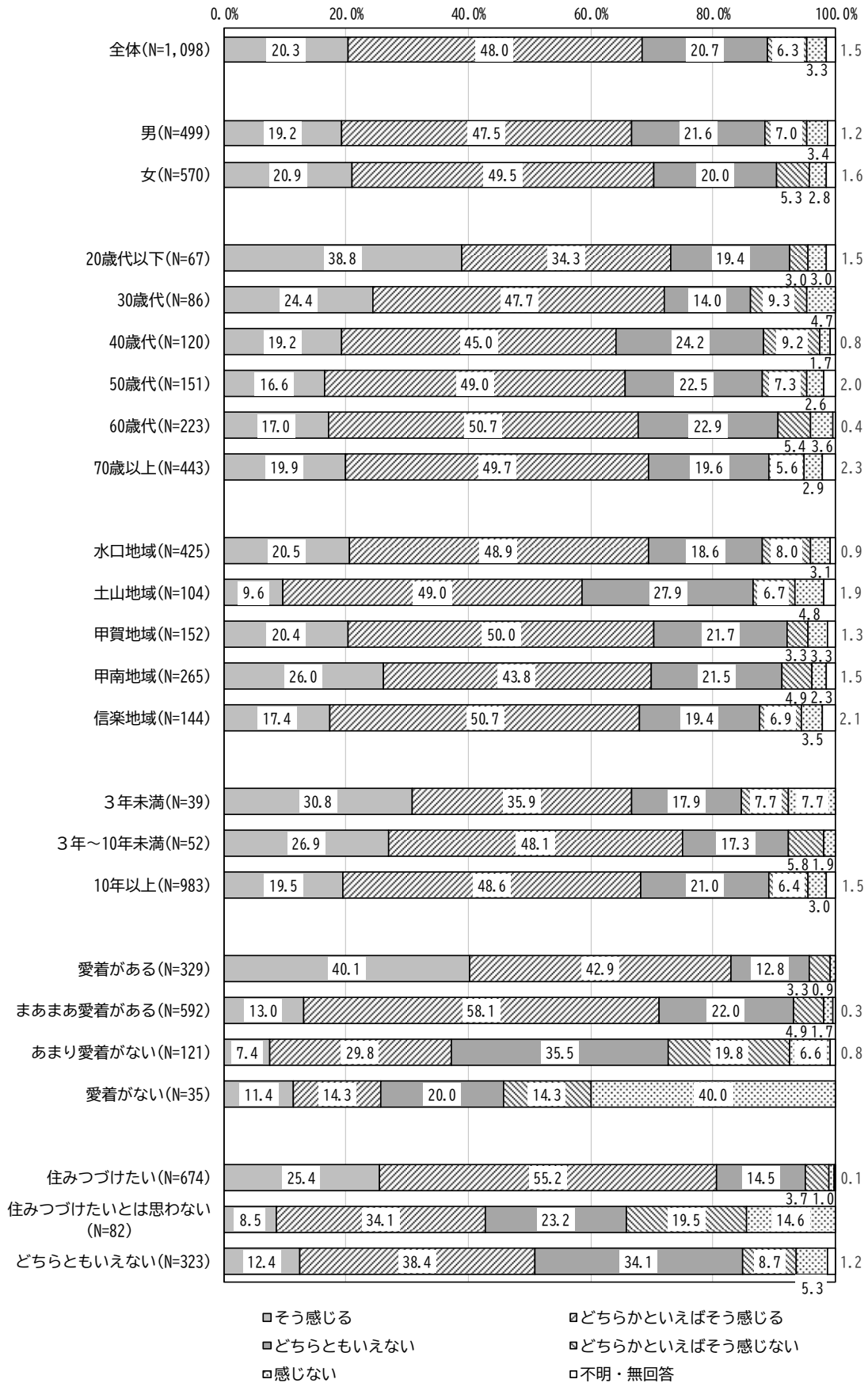
●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえばそう感じる」が最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で70.4%、以下、甲南地域で69.8%、水口地域で69.4%、信楽地域で68.1%、土山地域で58.6%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえばそう感じる」が最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で75.0%、以下、10年以上で68.1%、3年未満で66.7%と続いている。

●甲賀市への愛着別にみると、あまり愛着がないは「どちらともいえない」が、愛着がないは「感じない」が、愛着がある、まあまあ愛着があるは「どちらかといえばそう感じる」が最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは愛着があるで83.0%、以下、まあまあ愛着があるで71.1%、あまり愛着がないで37.2%、愛着がないで25.7%と続いており、愛着があるにつれて多くなっている。

●定住意向別にみると、すべての定住意向において「どちらかといえばそう感じる」が最も多くなっている。『感じる』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで80.6%、以下、どちらともいえないで50.8%、住みつづけたいとは思わないで42.6%と続いている。

■現在の暮らしに幸せを感じるか（単数回答）



② どんなことに幸せを感じるか

＜問9-1＞ 問9で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたは、どのようなことに幸せを感じますか。（○はいくつでも）

平成 29 年度調査からの推移をみると、概ね同じ傾向ではあるが、「健康」「家族関係」が他の項目と比べ多く、5割を超えている。

■どのようなことに幸せを感じるか（複数回答）

	収入（お金）	就業状況（仕事の有無・安定）	健康	自由な時間、充実した余暇	社会貢献	家族関係	友人関係	職場や学校等での人間関係	地域コミュニティ、ご近所との関係	その他	不明・無回答
R6調査(N=750)	25.1	22.5	63.2	49.3	9.5	59.5	33.2	12.7	25.3	3.2	0.7
R5調査(N=840)	24.4	23.3	61.8	45.7	9.6	62.9	29.8	15.8	23.6	1.4	1.1
R4調査(N=909)	17.8	19.1	52.0	47.7	6.6	53.7	27.7	12.1	21.3	2.0	1.1
R3調査(N=937)	19.9	24.1	57.5	44.0	7.7	55.9	27.2	14.6	23.3	2.2	1.2
R2調査(N=910)	25.7	24.8	68.0	48.1	10.1	64.1	36.9	17.8	15.6	1.9	0.5
R1調査(N=789)	13.1	16.1	54.1	42.1	9.1	58.8	30.3	12.4	12.5	2.2	0.9
H30調査(N=773)	14.6	14.7	55.0	38.0	7.5	59.4	31.0	10.9	11.9	2.1	1.0
H29調査(N=835)	13.7	14.9	57.7	36.2	6.6	56.6	31.7	9.1	11.3	1.8	1.4

●全体でみると、「健康」が63.2%で最も多くなっており、以下、「家族関係」が59.5%、「自由な時間、充実した余暇」が49.3%と続いている。

●性別にみると、男性、女性ともに「健康」が最も多くなっている。

●年代別にみると、20歳代以下、30歳代、40歳代は「家族関係」が、50歳代以上は「健康」が最も多くなっている。

●居住地域別にみると、甲賀地域は「家族関係」が、その他の地域は「健康」が最も多くなっている。

●居住年数別にみると、10年以上は「健康」が、その他の年数は「家族関係」が最も多くなっている。

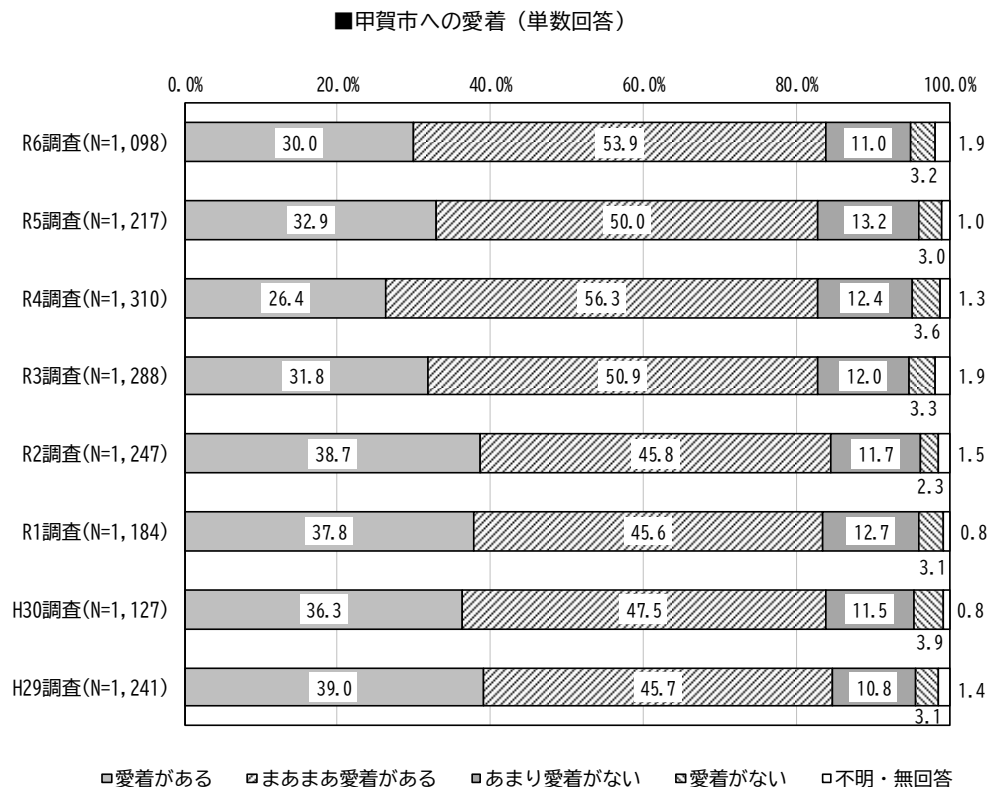
■どのようなことに幸せを感じるか（複数回答）

	収入 （お金）	就業状況（仕事の有無・安定）	健康	自由な時間、 充実した余暇	社会貢献	家族関係	友人関係	職場や学校等での人間関係	地域コミュニティ、 ご近所との関係	その他	不明・無回答
全体(N=750)	25.1	22.5	63.2	49.3	9.5	59.5	33.2	12.7	25.3	3.2	0.7
男(N=333)	23.1	22.2	61.0	50.2	12.9	57.7	28.2	9.9	26.1	2.4	0.3
女(N=401)	27.2	22.9	65.8	48.6	7.0	60.8	37.4	15.5	25.2	3.5	0.7
20歳代以下(N=49)	16.3	28.6	42.9	46.9	4.1	69.4	44.9	20.4	8.2	2.0	0.0
30歳代(N=62)	30.6	35.5	50.0	61.3	4.8	67.7	35.5	30.6	12.9	4.8	0.0
40歳代(N=77)	36.4	39.0	53.2	48.1	13.0	71.4	37.7	29.9	16.9	3.9	0.0
50歳代(N=99)	28.3	37.4	64.6	41.4	6.1	63.6	22.2	19.2	15.2	1.0	0.0
60歳代(N=151)	25.8	29.1	68.9	51.7	15.2	55.6	25.2	9.9	19.9	0.7	0.7
70歳以上(N=308)	21.1	6.2	68.2	48.7	8.8	53.9	37.3	2.9	38.6	4.9	1.3
水口地域(N=295)	26.1	27.5	63.7	47.1	8.5	60.7	28.5	14.2	21.7	2.4	0.3
土山地域(N=61)	32.8	23.0	65.6	52.5	8.2	59.0	32.8	14.8	24.6	3.3	0.0
甲賀地域(N=107)	20.6	16.8	59.8	49.5	15.0	61.7	37.4	9.3	35.5	1.9	0.9
甲南地域(N=185)	22.2	17.8	64.9	54.1	9.2	60.5	36.8	13.0	24.3	4.9	1.6
信楽地域(N=98)	27.6	21.4	61.2	43.9	8.2	52.0	36.7	10.2	27.6	4.1	0.0
3年未満(N=26)	34.6	38.5	50.0	50.0	3.8	65.4	15.4	26.9	3.8	3.8	0.0
3年～10年未満(N=39)	12.8	28.2	51.3	38.5	2.6	76.9	28.2	12.8	15.4	2.6	0.0
10年以上(N=670)	25.7	21.6	64.8	50.1	10.3	58.5	34.5	12.4	26.6	3.3	0.4

(4) 甲賀市への愛着

「問 10」 あなたは、甲賀市に愛着をお持ちですか。(○は1つ)

平成 29 年度調査からの推移をみると、「愛着がある」と「まあまあ愛着がある」を合わせた『愛着あり』の割合は、ほとんど変化はみられない。



●全体でみると、「まあまあ愛着がある」が53.9%で最も多くなっており、以下、「愛着がある」が30.0%、「あまり愛着がない」が11.0%、「愛着がない」が3.2%と続いている。『愛着あり』は83.9%となっている。

●性別にみると、男性、女性ともに「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、男性は83.2%、女性は85.6%となっている。

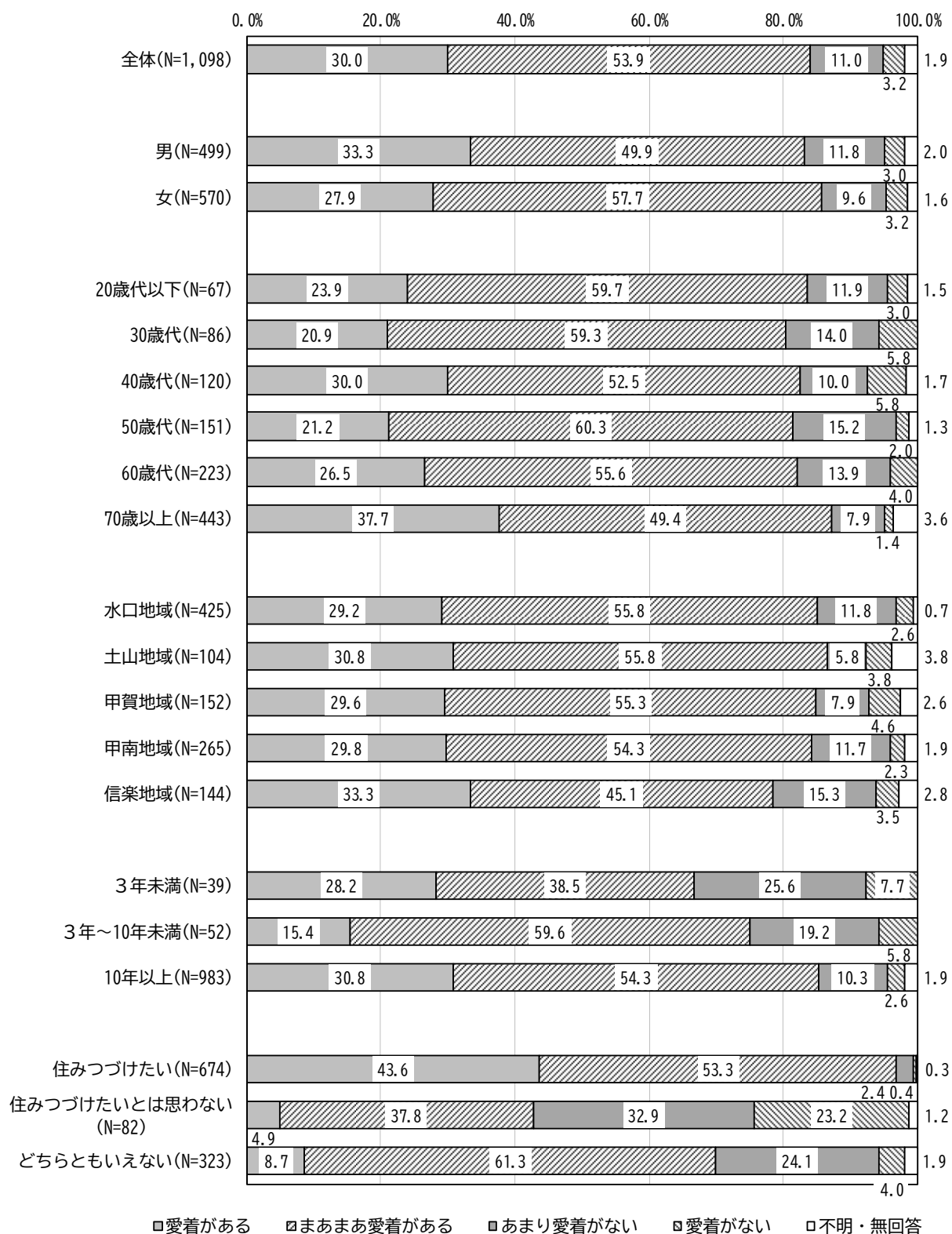
●年代別にみると、すべての年代において「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で87.1%、以下、20歳代以下で83.6%、40歳代で82.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、最も多いのは土山地域で86.6%、以下、水口地域で85.0%、甲賀地域で84.9%、甲南地域で84.1%、信楽地域で78.4%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、最も多いのは10年以上で85.1%、以下、3年～10年未満で75.0%、3年未満で66.7%と続いており、居住年数が長くなるにつれて多くなっている。

●定住意向別にみると、すべての定住意向において「まあまあ愛着がある」が最も多くなっている。『愛着あり』の割合をみると、最も多いのは住みつづけたいで96.9%、以下、どちらともいえないで70.0%、住みつづけたいと思わないで42.7%と続いている。

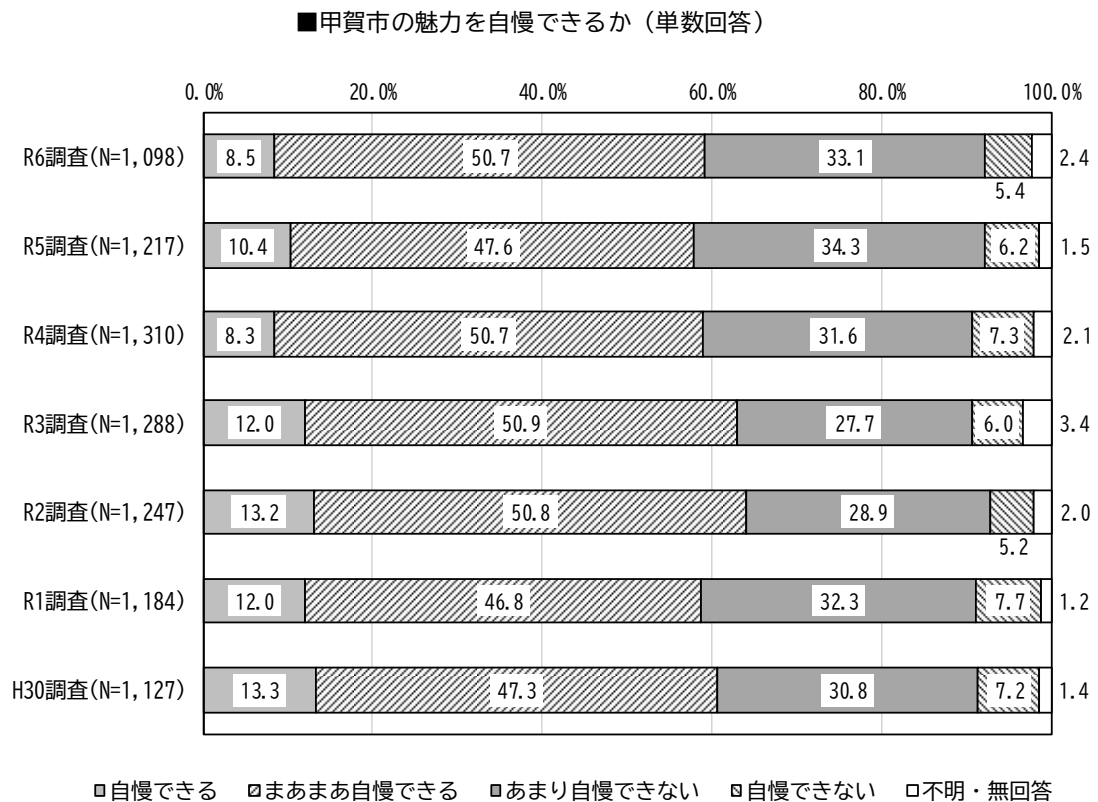
■甲賀市への愛着（単数回答）



(5) 甲賀市の魅力を自慢できるか

「問 11」 あなたは、甲賀市の魅力を市外の人に自慢できますか。(○は1つ)

平成 29 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。



●全体でみると、「まあまあ自慢できる」が 50.7%で最も多くなっており、以下、「あまり自慢できない」が 33.1%、「自慢できる」が 8.5%、「自慢できない」が 5.4%と続いている。「自慢できる」と「まあまあ自慢できる」を合わせた『自慢できる』は 59.2%となっている。

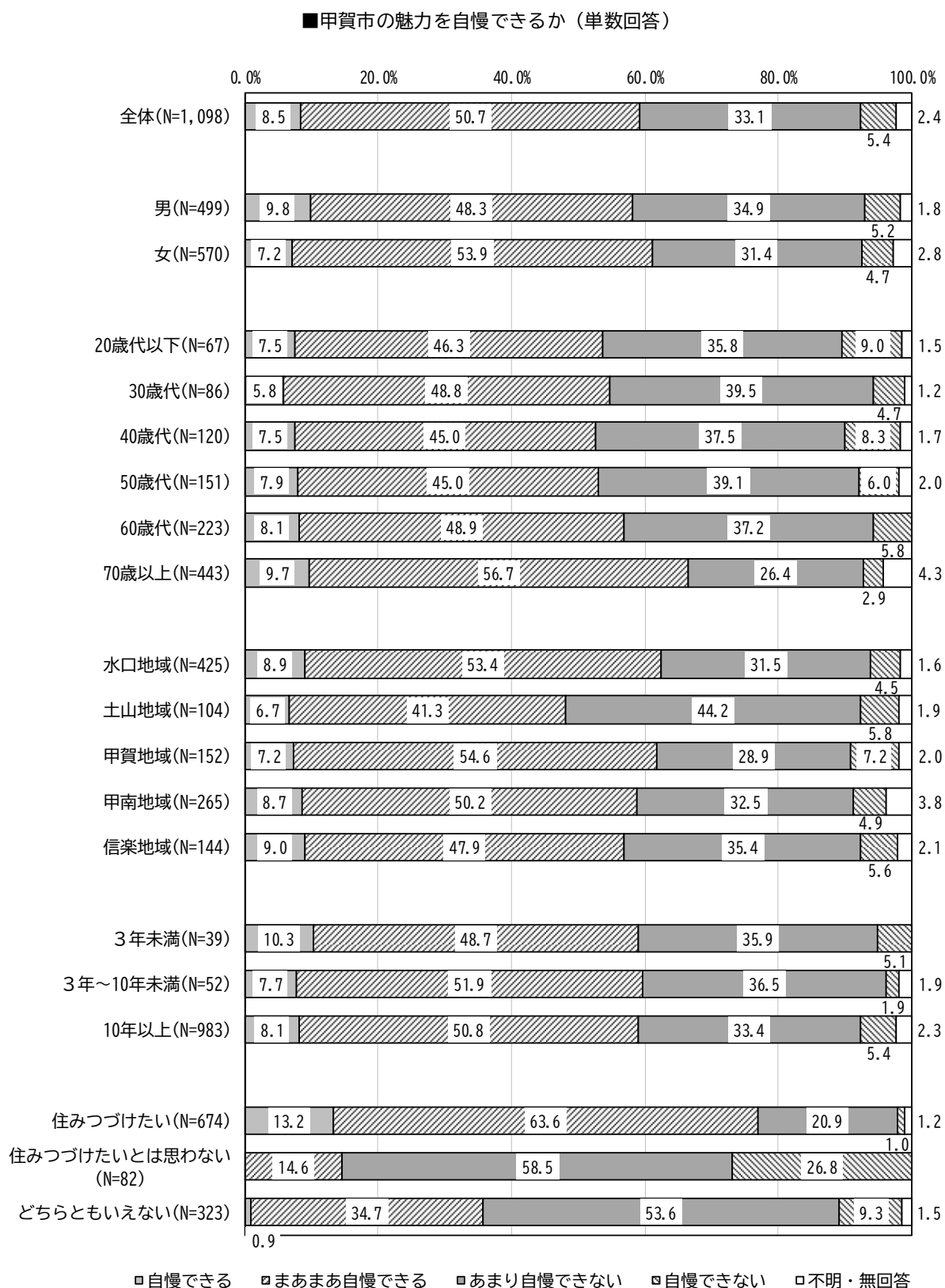
●性別にみると、男性、女性ともに「まあまあ自慢できる」が最も多くなっている。『自慢できる』の割合をみると、男性は 58.1%、女性は 61.1%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「まあまあ自慢できる」が最も多くなっている。『自慢できる』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 66.4%、以下、60 歳代で 57.0%、30 歳代で 54.6%と続いている。

●居住地域別にみると、土山地域は「あまり自慢できない」が、他の地域では「まあまあ自慢できる」が最も多くなっている。『自慢できる』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 62.3%、以下、甲賀地域で 61.8%、甲南地域で 58.9%、信楽地域で 56.9%、土山地域で 48.0%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「まあまあ自慢できる」が最も多くなっている。『自慢できる』の割合をみると、最も多いのは 3 年から 10 年未満で 59.6%、以下、3 年未満で 59.0%、10 年以上で 58.9%と続いている。

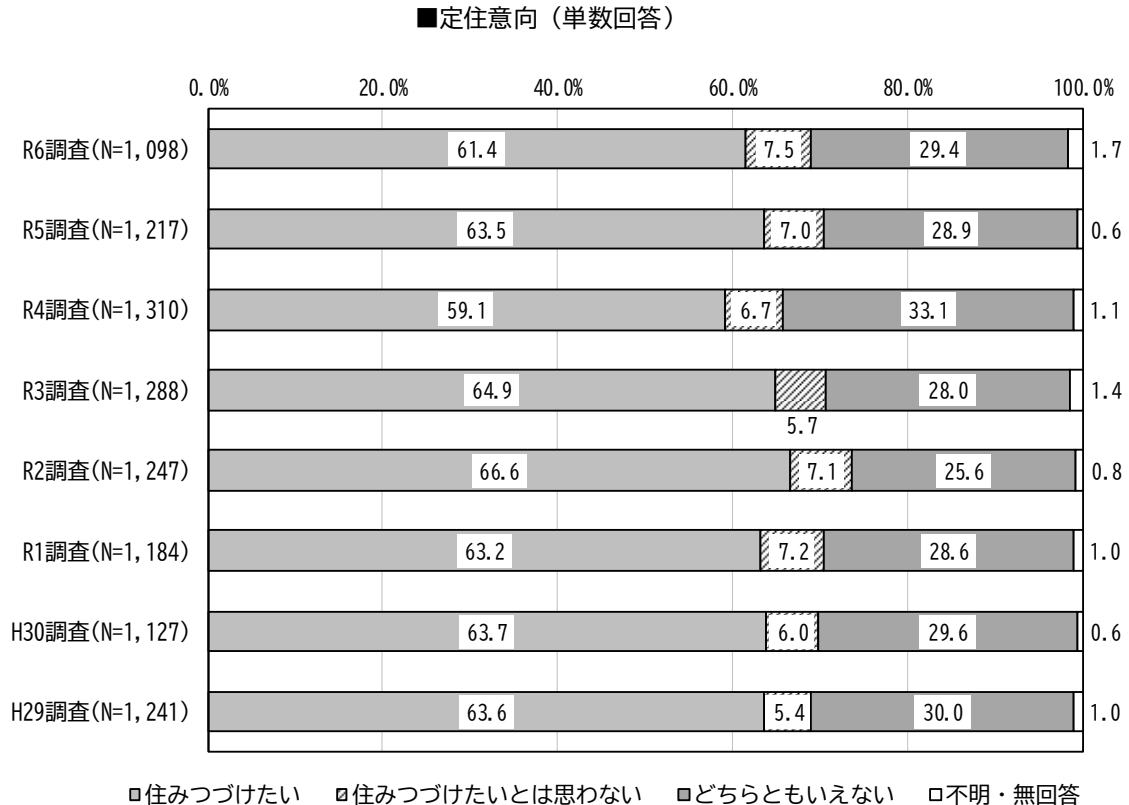
●定住意向別にみると、**住みつづけた**いは「まあまあ自慢できる」が、その他の定住意向は「あまり自慢できない」が最も多くなっている。『自慢できる』の割合をみると、最も多いのは**住みつづけた**いで76.8%、以下、**どちらともいえない**で35.6%、**住みつづけた**いと思わないで14.6%と続いている。



(6) 定住意向

《問 12》 あなたは、これからも甲賀市に住みつづけたいと思われませんか。(○は1つ)

平成 29 年度調査からの推移をみると、概ね同じ傾向ではあるが、昨年と比較すると「住みつづけたい」は減少し、「住みつづけたいとは思わない」は増加している。



●全体でみると、「住みつづけたい」が 61.4%で最も多くなっており、以下、「どちらともいえない」が 29.4%、「住みつづけたいとは思わない」が 7.5%と続いている。

●性別にみると、男性、女性ともに「住みつづけたい」が最も多くなっている。「住みつづけたい」の割合をみると、男性が 63.5%、女性が 60.5%となっている。

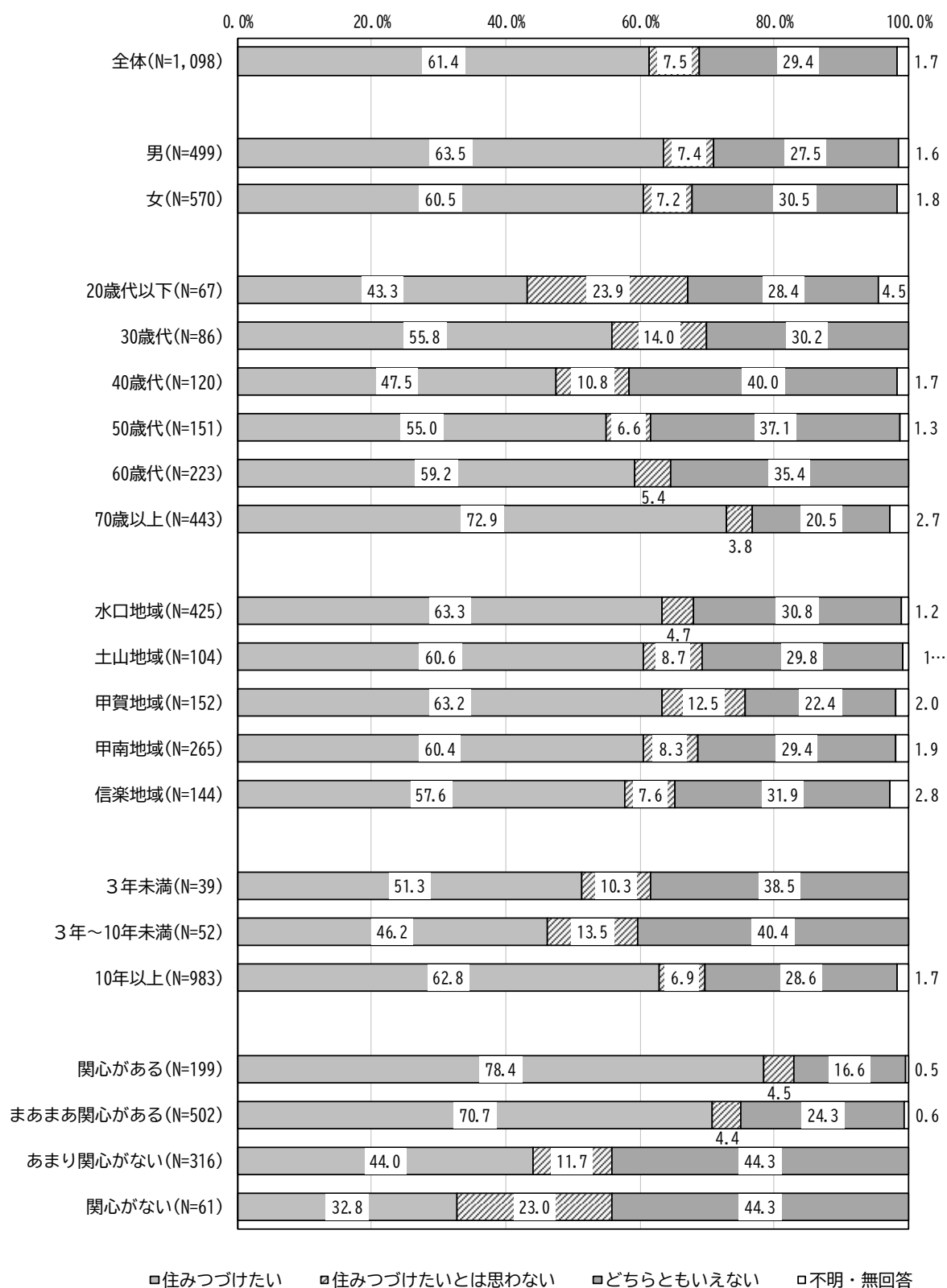
●年代別にみると、すべての年代において「住みつづけたい」が最も多くなっている。「住みつづけたい」の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 72.9%、以下、60 歳代で 59.2%、30 歳代で 55.8%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「住みつづけたい」が最も多くなっている。「住みつづけたい」の割合をみると、最も多いのは水口地域で 63.3%、以下、甲賀地域で 63.2%、土山地域で 60.6%、甲南地域で 60.4%、信楽地域で 57.6%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「住みつづけたい」が最も多くなっている。「住みつづけたい」の割合をみると、最も多いのは 10 年以上で 62.8%、以下、3 年未満で 51.3%、3 年～10 年未満で 46.2%と続いている。

●市政への関心別にみると、**関心がある、まあまあ関心がある**は「住みつづけたい」が、**あまり関心がない、関心がない**は「どちらともいえない」が最も多くなっている。「住みつづけたい」の割合をみると、最も多いのは**関心がある**で78.4%、以下、**まあまあ関心がある**で70.7%、**あまり関心がない**で44.0%、**関心がない**で32.8%と続いており、関心度が高くなるにつれて多くなっている。

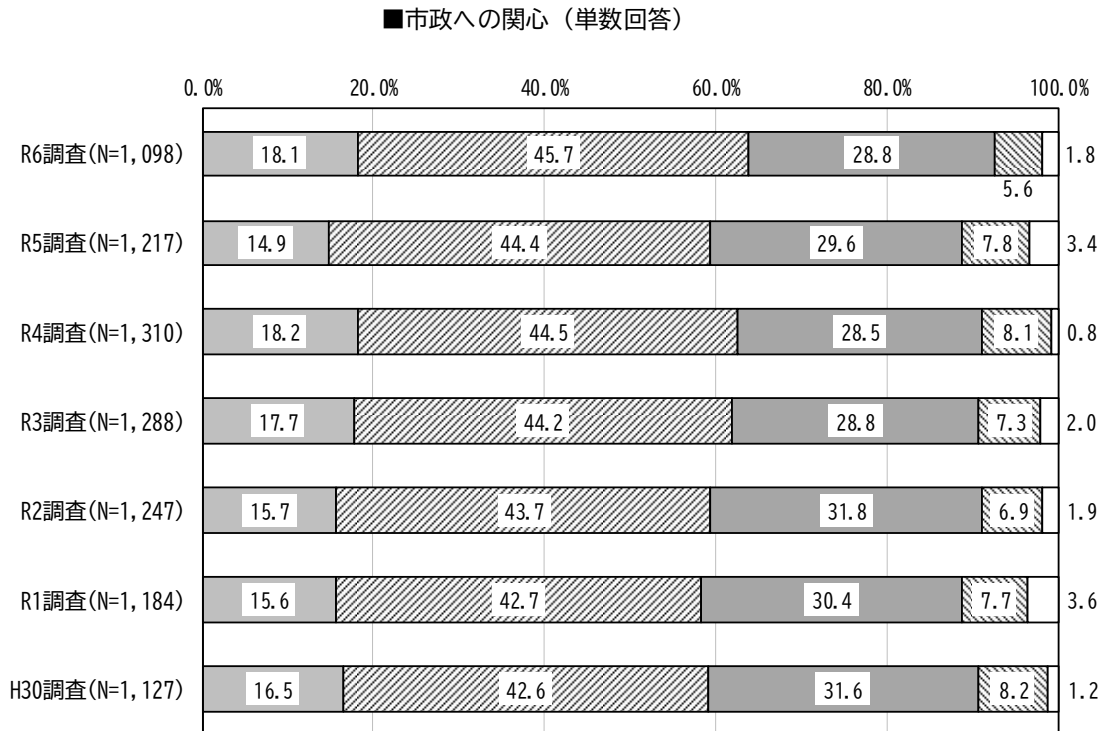
■定住意向（単数回答）



(7) 市政への関心

「問 13」 あなたは、市政（市役所のしていること）に関心をお持ちですか。（○は1つ）

平成 29 年度調査からの推移をみると、「関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせた『関心あり』の割合は増加している。



□ 関心がある □ まあまあ関心がある □ あまり関心がない □ 関心がない □ 不明・無回答

●全体でみると、「まあまあ関心がある」が 45.7%で最も多くなっており、以下、「あまり関心がない」が 28.8%、「関心がある」が 18.1%、「関心がない」が 5.6%と続いている。『関心あり』は 63.8%となっている。

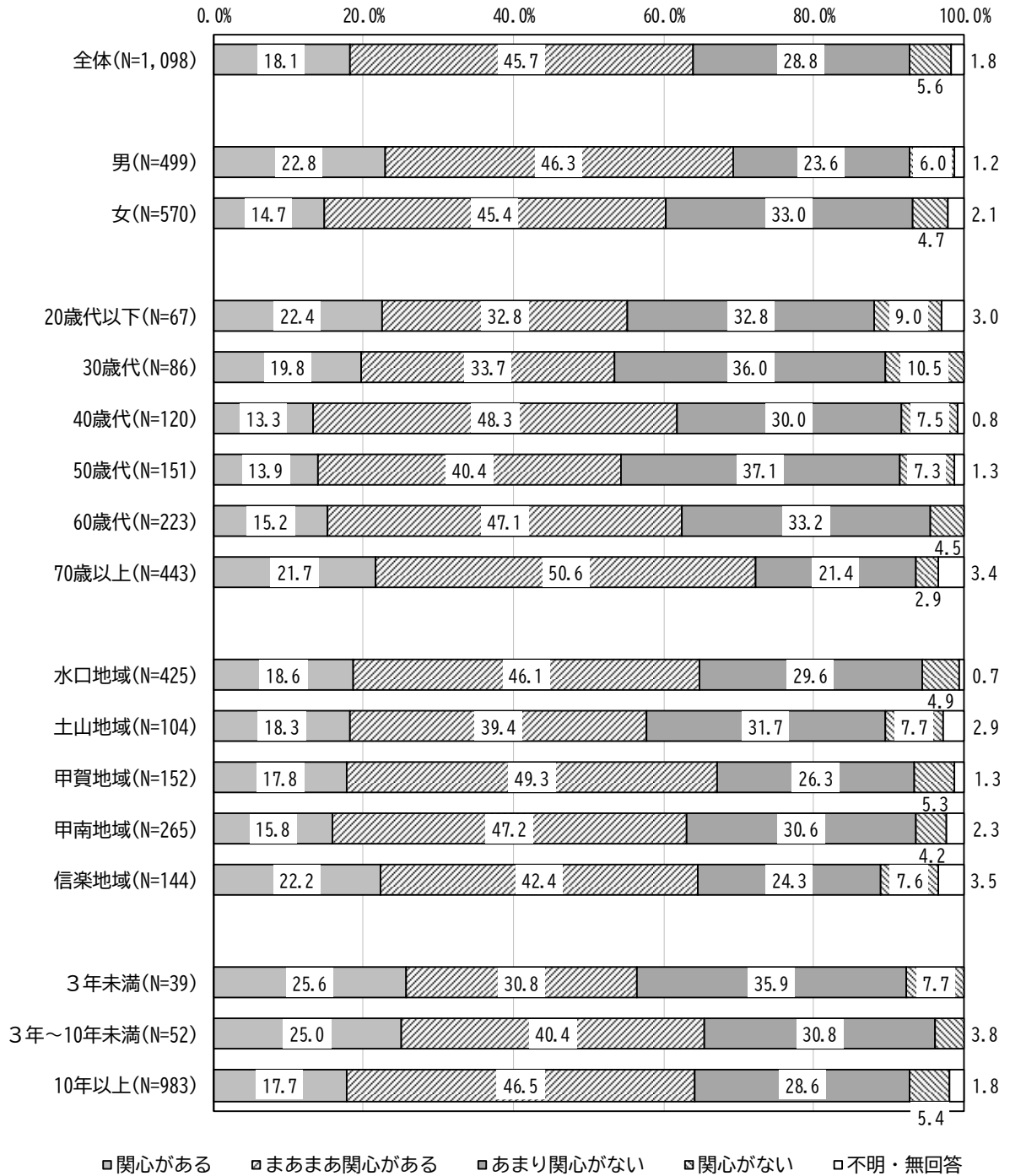
●性別にみると、男性、女性ともに「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、男性は 69.1%、女性は 60.1%となっている。

●年代別にみると、30 歳代は「あまり関心がない」が、その他の年代では「まあまあ関心がある」が最も多くなっている（20 歳代以下は「あまり関心がない」と同率）。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは 70 歳以上で 72.3%、以下、60 歳代で 62.3%、40 歳代で 61.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 67.1%、以下、水口地域で 64.7%、信楽地域で 64.6%、甲南地域で 63.0%、土山地域で 57.7%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「あまり関心がない」が、その他の年数は「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 65.4%、以下、10 年以上で 64.2%、3 年未満で 56.4%と続いている。

■ 市政への関心（単数回答）



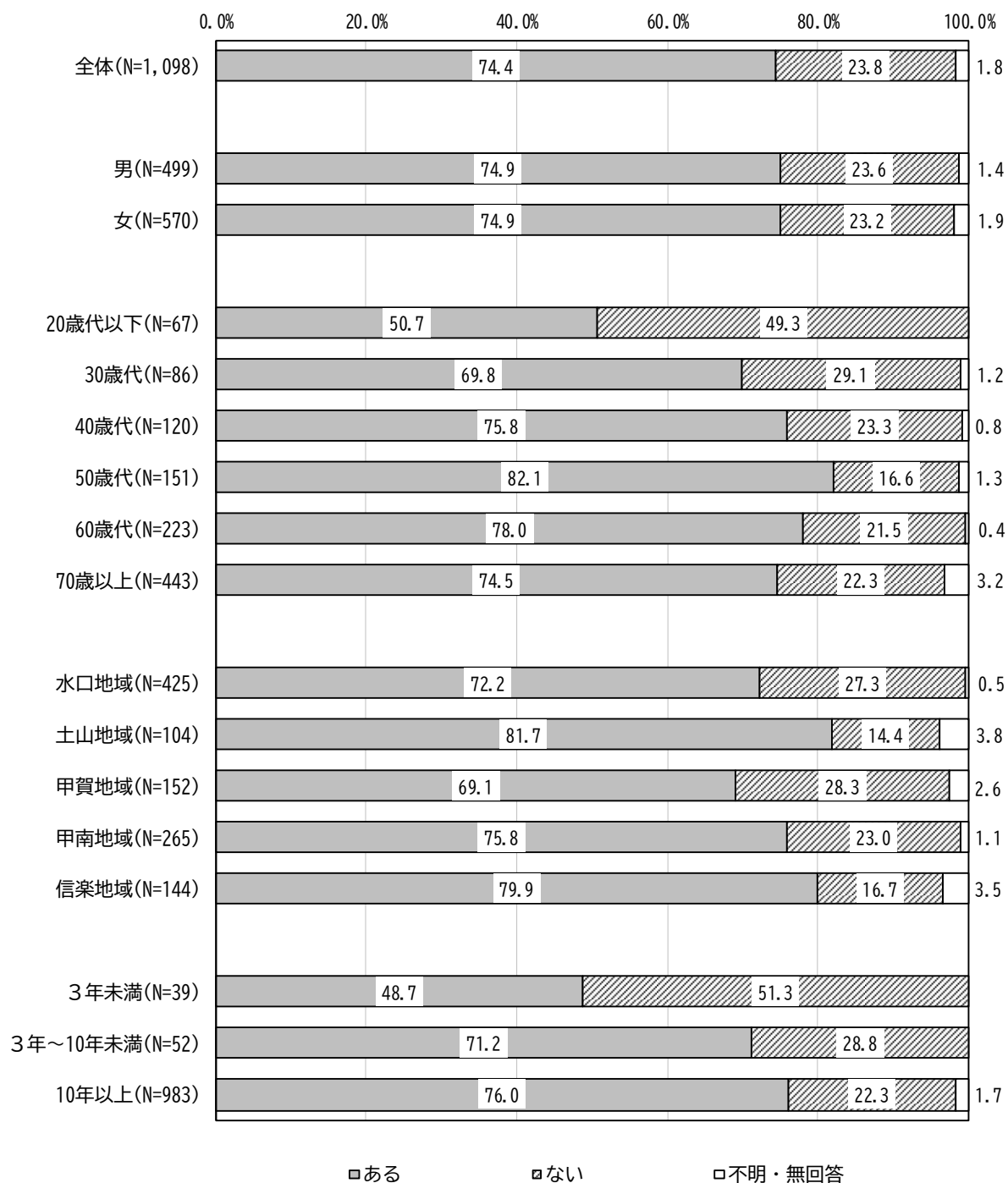
2 防災対策について

(1) 甲賀市防災マップを見た経験

《問 14》 甲賀市防災マップを見たことがありますか。(○は1つ)

- 全体でみると、「ある」が74.4%、「ない」が23.8%となっている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「ある」が最も多くなっている。「ある」の割合をみると、男性、女性ともに74.9%となっている。
- 年代別にみると、すべての年代において「ある」が最も多くなっている。「ある」の割合をみると、最も多いのは50歳代で82.1%、以下、60歳代で78.0%、40歳代で75.8%と続いている。
- 居住地域別にみると、すべての地域において「ある」が最も多くなっている。「ある」の割合をみると、最も多いのは土山地域で81.7%、以下、信楽地域で79.9%、甲南地域で75.8%、水口地域で72.2%、甲賀地域で69.1%と続いている。
- 居住年数別にみると、3年未満は「ない」が、その他の年数は「ある」が最も多くなっている。「ある」の割合をみると、最も多いのは10年以上で76.0%、以下、3年～10年未満で71.2%、3年未満で48.7%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

■甲賀市防災マップを見た経験（単数回答）



(2) 自宅（地域）の災害リスク

《問 15》 あなたのお家（地域）には、どのような災害リスクがあるかを知っていますか。
(○は1つ)

●全体でみると、「地震・水害のどちらも知っている」が 40.9%で最も多くなっており、以下、「地震・水害のどちらも確認していない」が 30.8%、「地震・水害のどちらかを知っている」が 24.9%と続いている。「地震・水害のどちらも知っている」と「地震・水害のどちらかを知っている」を合わせた『災害リスクを知っている』は 65.8%となっている。

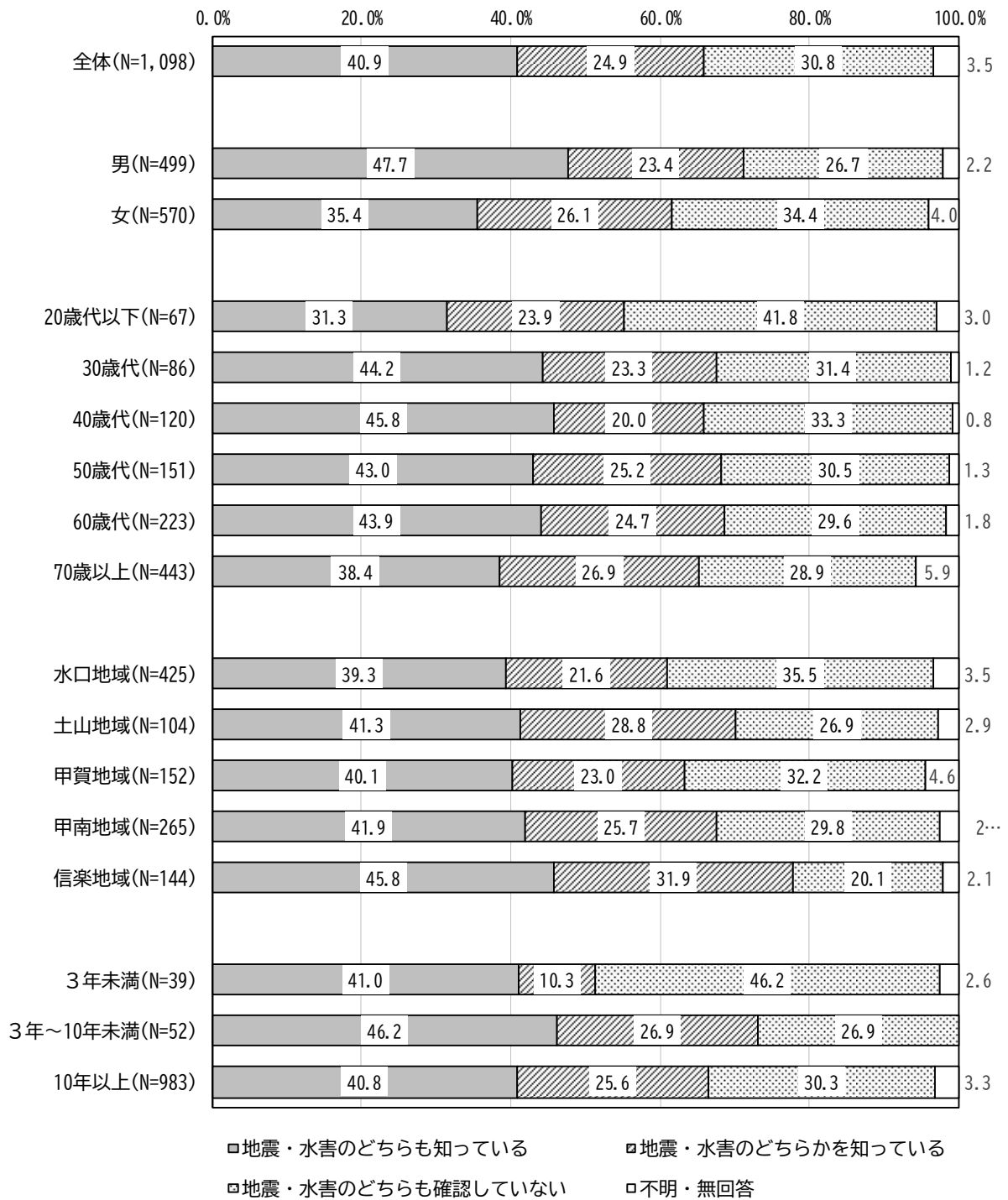
●性別にみると、男性、女性ともに「地震・水害のどちらも知っている」が最も多くなっている。『災害リスクを知っている』の割合をみると、男性は 71.1%、女性は 61.5%となっている。

●年代別にみると、20 歳代以下は「地震・水害のどちらも確認していない」が、その他の年代は「地震・水害のどちらも知っている」が最も多くなっている。『災害リスクを知っている』の割合をみると、最も多いのは 60 歳代で 68.6%、以下、50 歳代で 68.2%、30 歳代で 67.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「地震・水害のどちらも知っている」が最も多くなっている。『災害リスクを知っている』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で 77.7%、以下、土山地域で 70.1%、甲南地域で 67.6%、甲賀地域で 63.1%、水口地域で 60.9%と続いている。

●居住年数別にみると、3 年未満は「地震・水害のどちらも確認していない」が、その他の年数は「地震・水害のどちらも知っている」が最も多くなっている。『災害リスクを知っている』の割合をみると、最も多いのは 3 年～10 年未満で 73.1%、以下、10 年以上で 66.4%、3 年未満で 51.3%と続いている。

■自宅（地域）の災害リスク（単数回答）

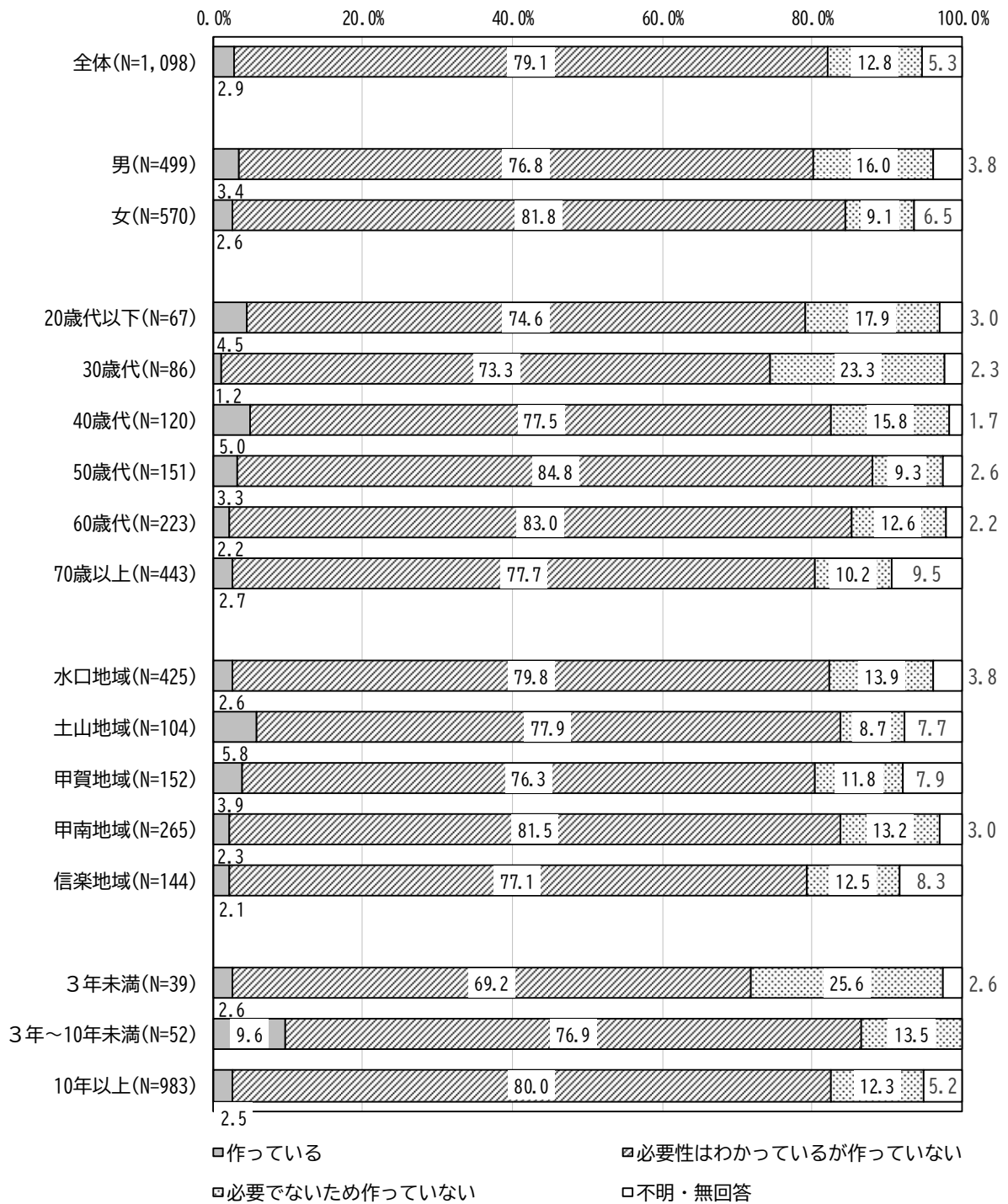


(3) 「マイ・タイムライン」の作成有無

《問 16》 災害に備えた、防災マップ (P12) にある「マイ・タイムライン」を作っていますか。
(○は1つ)

- 全体でみると、「必要性はわかっているが作っていない」が79.1%で最も多くなっており、以下、「必要でないため作っていない」が12.8%、「作っている」が2.9%と続いている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「必要性はわかっているが作っていない」が最も多くなっている。「作っている」の割合をみると、男性は3.4%、女性は2.6%となっている。
- 年代別にみると、すべての年代において「必要性はわかっているが作っていない」が最も多くなっている。「作っている」の割合をみると、最も多いのは40歳代で5.0%、以下、20歳代以下で4.5%、50歳代で3.3%と続いている。
- 居住地域別にみると、すべての地域において「必要性はわかっているが作っていない」が最も多くなっている。「作っている」の割合をみると、最も多いのは土山地域で5.8%、以下、甲賀地域で3.9%、水口地域で2.6%、甲南地域で2.3%、信楽地域で2.1%と続いている。
- 居住年数別にみると、すべての年数において「必要性はわかっているが作っていない」が最も多くなっている。「作っている」の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で9.6%、以下、3年未満で2.6%、10年以上で2.5%と続いている。

■「マイ・タイムライン」の作成有無（単数回答）



(4) 非常用持出品や家庭内備蓄の用意

「問 17」 災害に備えた、非常用持出品や家庭内備蓄の用意はしていますか。(○は1つ)

●全体でみると、「必要性はわかっているが、どちらも用意していない」が42.9%で最も多くなっており、以下、「家庭内備蓄のみ用意している」が25.3%、「非常用持出品のみ用意している」が17.0%、「非常用持出品も家庭内備蓄も用意している」が10.0%、「必要でないため用意していない」が2.8%と続いている。「非常用持出品も家庭内備蓄も用意している」と「非常用持出品のみ用意している」と「家庭内備蓄のみ用意している」を合わせた『用意している』は52.3%となっている。

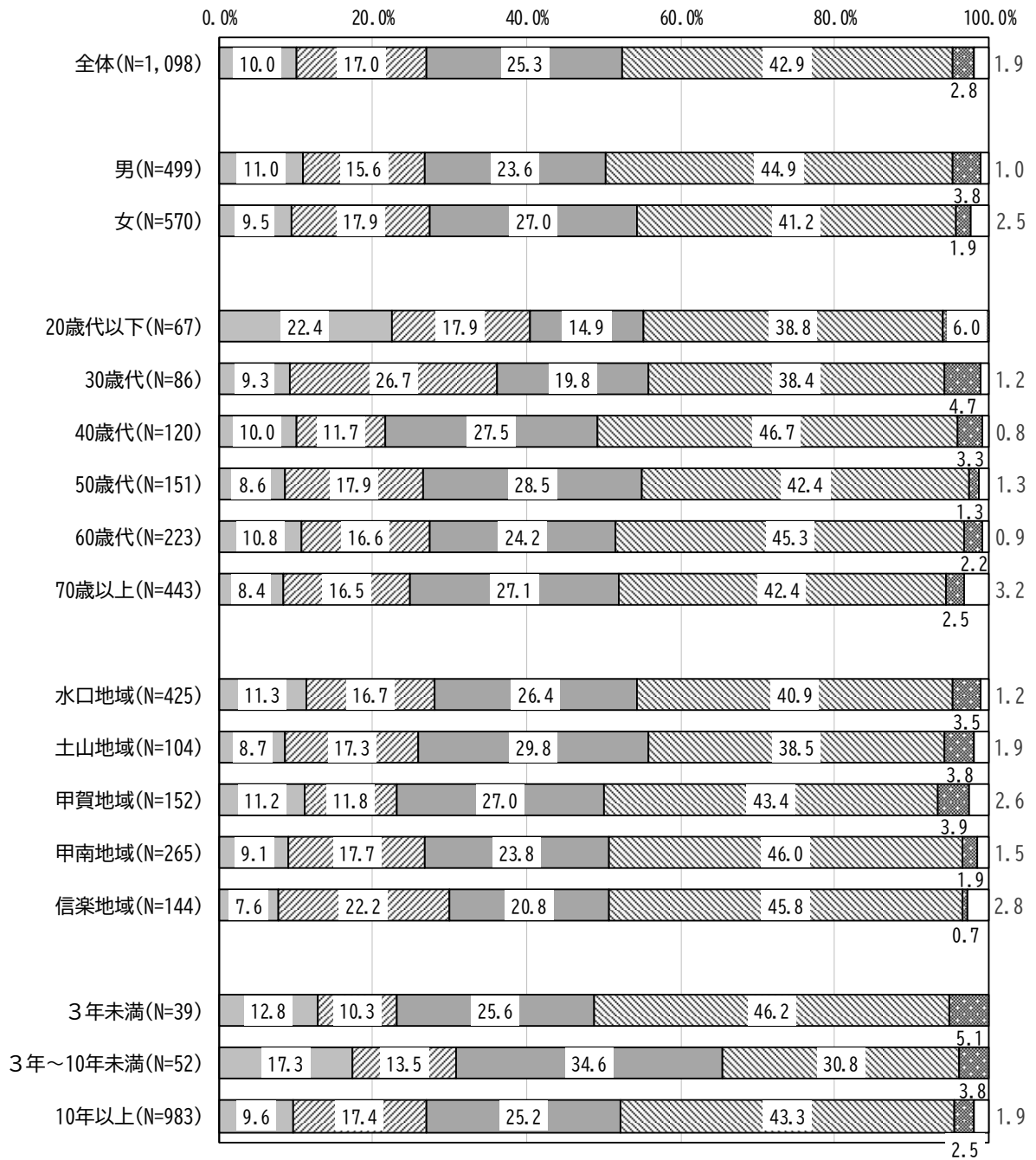
●性別にみると、男性、女性ともに「必要性はわかっているが、どちらも用意していない」が最も多くなっている。『用意している』の割合をみると、男性は50.2%、女性は54.4%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「必要性はわかっているが、どちらも用意していない」が最も多くなっている。『用意している』の割合をみると、最も多いのは30歳代で55.8%、以下、20歳代以下で55.2%、50歳代で55.0%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「必要性はわかっているが、どちらも用意していない」が最も多くなっている。『用意している』の割合をみると、最も多いのは土山地域で55.8%、以下、水口地域で54.4%、甲南地域、信楽地域で50.6%、甲賀地域で50.0%と続いている。

●居住年数別にみると、3年～10年未満は「家庭内備蓄のみ用意している」が、その他の年数は「必要性はわかっているが、どちらも用意していない」が最も多くなっている。『用意している』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で65.4%、以下、10年以上で52.2%、3年未満で48.7%と続いている。

■非常用持出品や家庭内備蓄の用意（単数回答）



□非常用持出品も家庭内備蓄も用意している

□非常用持出品のみ用意している

□家庭内備蓄のみ用意している

□必要性はわかっているが、どちらも用意していない

□必要でないため用意していない

□不明・無回答

(5) 家庭内備蓄は何日間過ごせる

「問 18」 災害が発生した場合、家庭内備蓄で何日間過ごせますか。(○は1つ)

●全体でみると、「3～7日（朝・昼・夕の3食として）」が38.2%で最も多くなっており、以下、「1～2日（朝・昼・夕の3食として）」が37.9%、「なし」が15.5%、「7日以上（朝・昼・夕の3食として）」が5.1%、「その他」が0.6%と続いている。

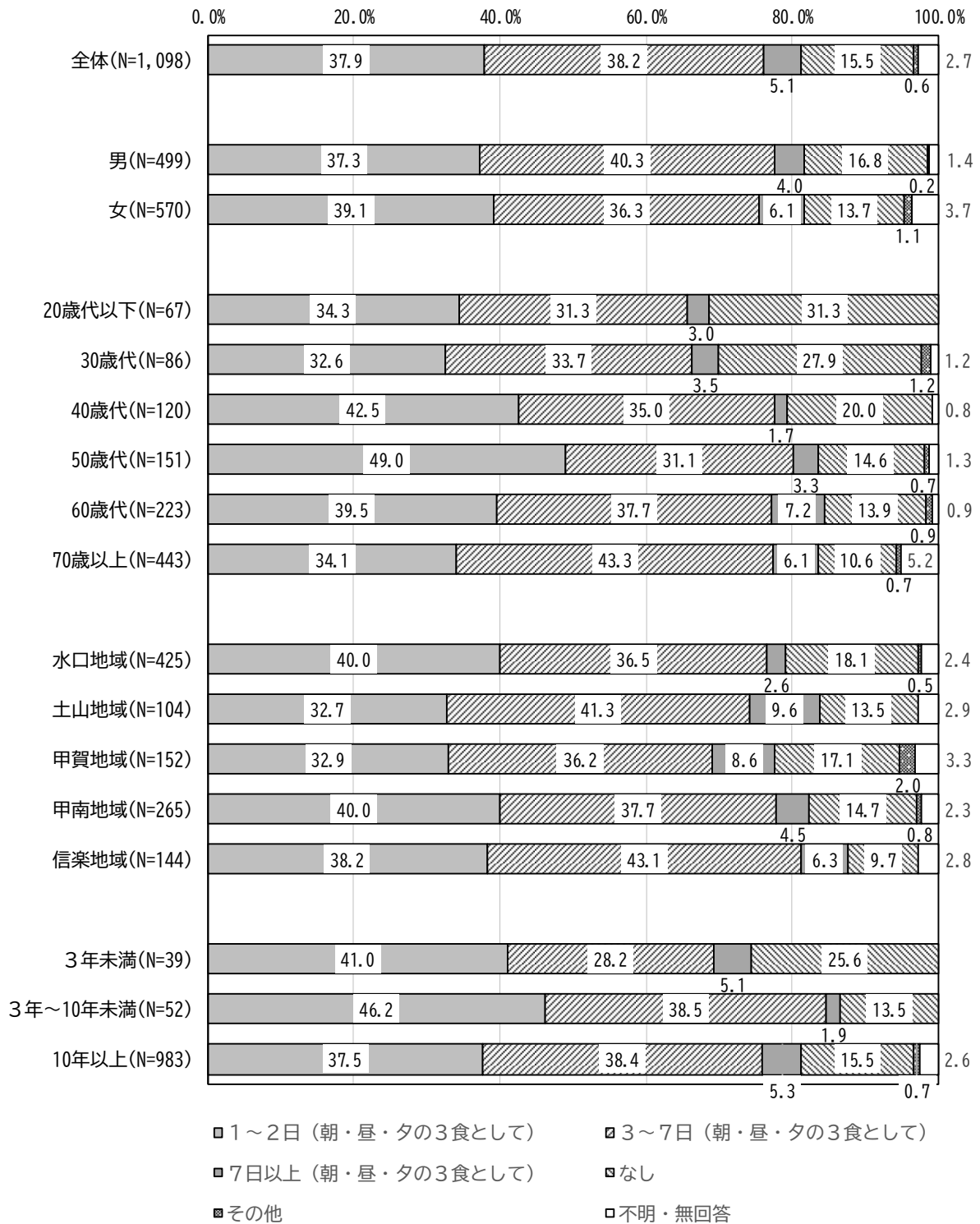
●性別にみると、男性は「3～7日（朝・昼・夕の3食として）」が、女性は「1～2日（朝・昼・夕の3食として）」が最も多くなっている。

●年代別にみると、30歳代、70歳以上は「3～7日（朝・昼・夕の3食として）」が、その他の年代は「1～2日（朝・昼・夕の3食として）」が最も多くなっている。一方で、「なし」の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で31.3%となっており、年代が下がるにつれて多くなっている。

●居住地域別にみると、水口地域、甲南地域は「1～2日（朝・昼・夕の3食として）」が、その他の地域は「3～7日（朝・昼・夕の3食として）」が最も多くなっている。一方で、「なし」の割合をみると、最も多いのは水口地域で18.1%、以下、甲賀地域で17.1%、甲南地域で14.7%、土山地域で13.5%、信楽地域で9.7%と続いている。

●居住年数別にみると、10年以上は「3～7日（朝・昼・夕の3食として）」が、その他の年数は「1～2日（朝・昼・夕の3食として）」が最も多くなっている。一方で、「なし」の割合をみると、最も多いのは3年未満で25.6%、以下、10年以上で15.5%、3年～10年未満で13.5%と続いている。

■家庭内備蓄は何日間過ごせる（単数回答）



(6) 感震ブレーカの設置状況

「問 19」 災害に備えて、あなたのお家では、感震ブレーカを設置していますか。(○は1つ)

●全体でみると、「必要性はわかっているが設置していない」が 66.8%で最も多くなっており、以下、「必要でないため、設置していない」が 14.4%、「設置している」が 12.2%と続いている。

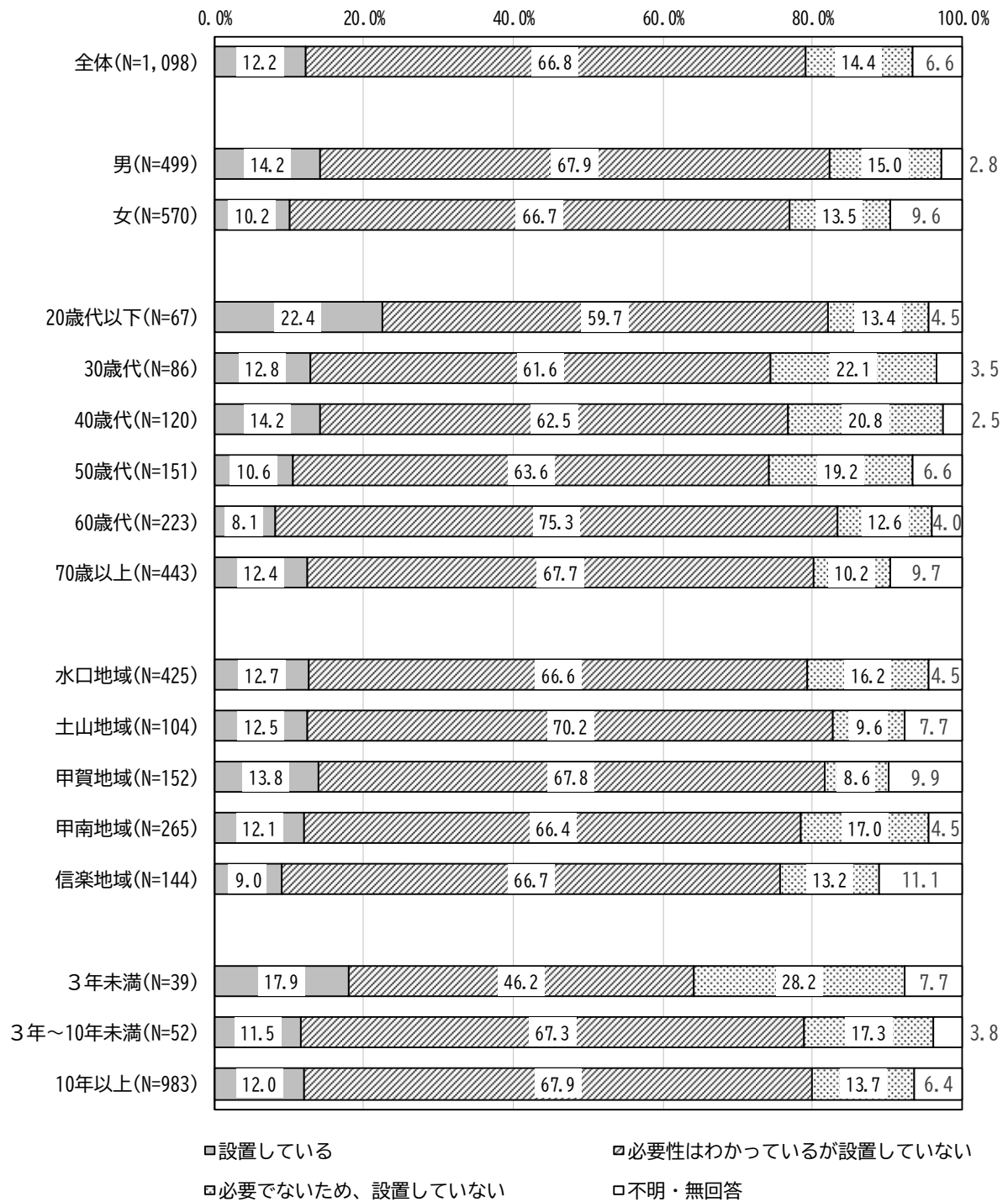
●性別にみると、男性、女性ともに「必要性はわかっているが設置していない」が最も多くなっている。「設置している」の割合をみると、男性は 14.2%、女性は 10.2%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「必要性はわかっているが設置していない」が最も多くなっている。「設置している」の割合をみると、最も多いのは 20 歳代以下で 22.4%、以下、40 歳代で 14.2%、30 歳代で 12.8%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「必要性はわかっているが設置していない」が最も多くなっている。「設置している」の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で 13.8%、以下、水口地域で 12.7%、土山地域で 12.5%、甲南地域で 12.1%、信楽地域で 9.0%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「必要性はわかっているが設置していない」が最も多くなっている。「設置している」の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 17.9%、以下、10 年以上で 12.0%、3 年～10 年未満で 11.5%と続いている。

■感震ブレーカの設置状況（単数回答）



3 市の情報発信について

「問 20」 市に関する次の情報を、どの程度読んだり、見たり、また音声等で聞いたりしておられますか。（それぞれ○は1つ）

市に関する情報の入手について、「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』の割合は、「広報紙「広報こうか」」で83.5%と最も多くなっており、以下、「区・自治会等を通じた各戸配布や回覧（文書、チラシ、ポスターなど）」で73.4%、「市議会だより」で55.1%と続いている。

「必ず読む、見る、聞く」が最も多いのは「区・自治会等を通じた各戸配布や回覧（文書、チラシ、ポスターなど）」で28.5%、以下、「広報紙「広報こうか」」で27.8%、「音声放送端末機」で10.0%と続いている。

「よく読む、見る、聞く」が最も多いのは「広報紙「広報こうか」」で24.0%、以下、「区・自治会等を通じた各戸配布や回覧（文書、チラシ、ポスターなど）」で21.6%、「音声放送端末機」で15.5%と続いている。

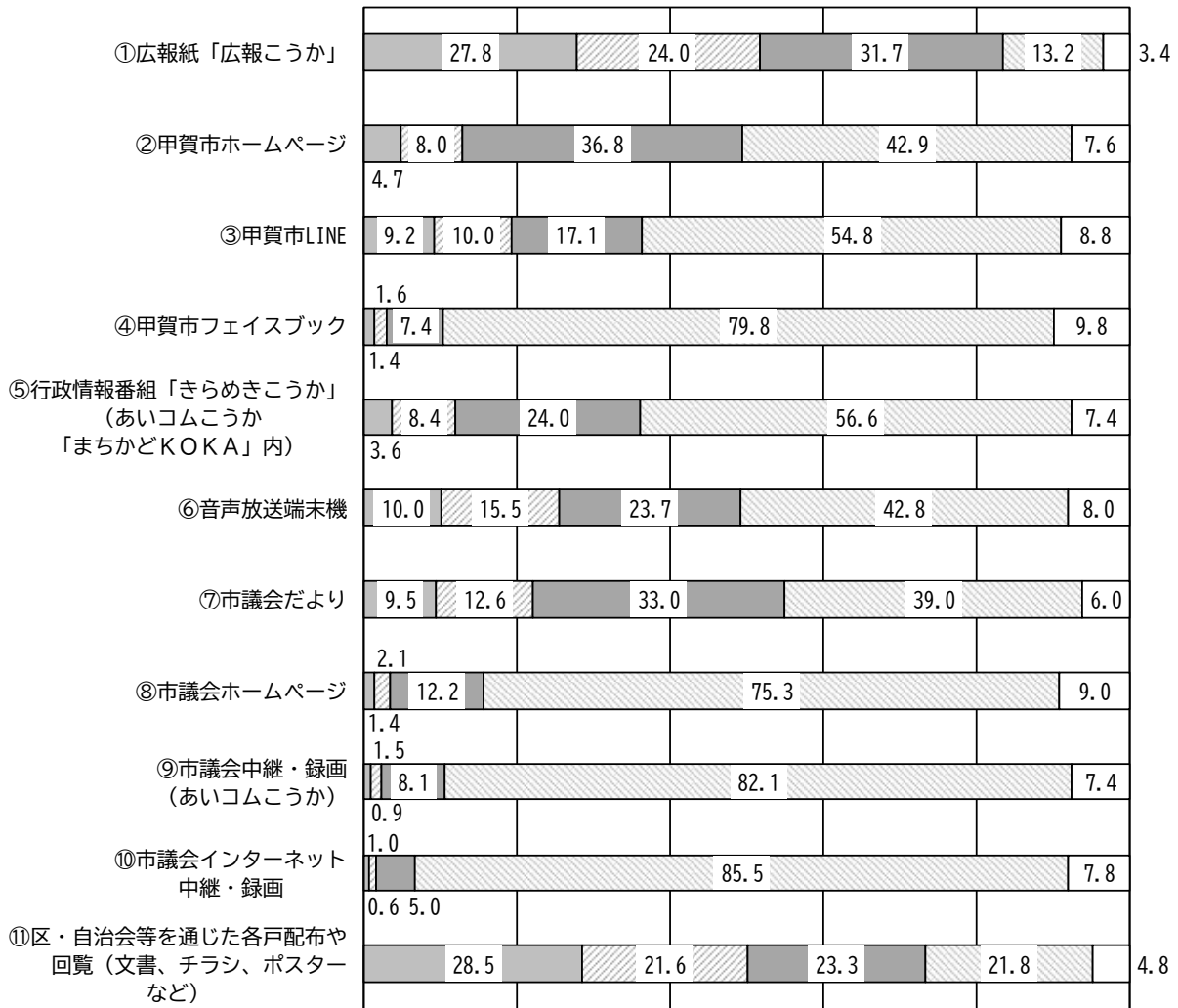
「たまに読む、見る、聞く」が最も多いのは「甲賀市ホームページ」で36.8%、以下、「市議会だより」で33.3%、「広報紙「広報こうか」」で31.7%と続いている。

「読まない、見ない、聞かない」が最も多いのは「市議会インターネット中継・録画」で85.5%、以下、「市議会中継・録画（あいコムこうか）」で82.1%、「甲賀市フェイスブック」で79.8%と続いている。

市に関する情報の入手

全体(N=1,098)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



必ず読む、見る、聞く

よく読む、見る、聞く

たまに読む、見る、聞く

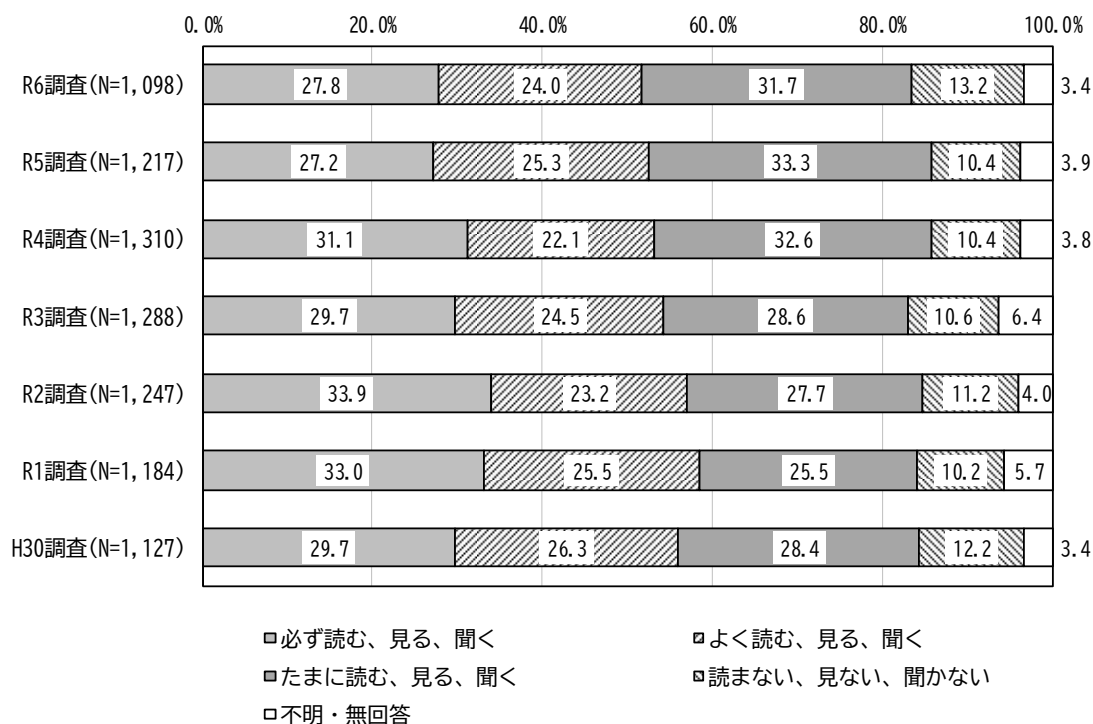
読まない、見ない、聞かない

不明・無回答

① 広報紙「広報こうか」

平成 30 年度調査からの推移をみると、総じて変化はみられない。

①広報紙「広報こうか」（単数回答）



●全体でみると、「たまに読む、見る、聞く」が31.7%で最も多くなっており、以下、「必ず読む、見る、聞く」が27.8%、「よく読む、見る、聞く」が24.0%、「読まない、見ない、聞かない」が13.2%と続いている。「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』は83.5%と続いている。

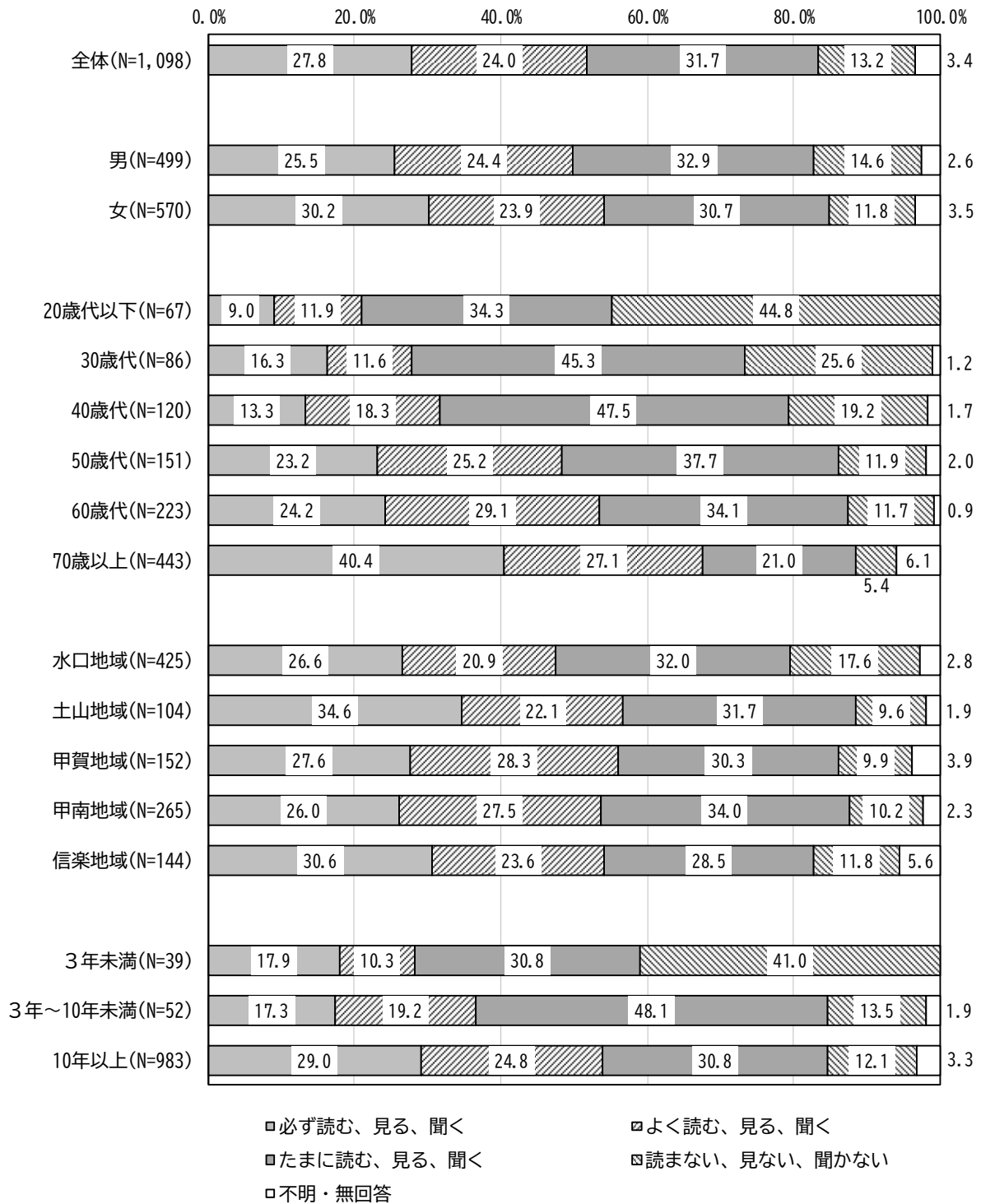
●性別にみると、男性、女性ともに「たまに読む、見る、聞く」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は82.8%、女性は84.8%となっている。

●年代別にみると、70歳以上は「必ず読む、見る、聞く」が、20歳代以下は「読まない、見ない、聞かない」が、その他の年代は「たまに読む、見る、聞く」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で88.5%、以下、60歳代で87.4%、50歳代で86.1%と続いており、年代が上がるにつれて多くなっている。

●居住地域別にみると、土山地域、信楽地域は「必ず読む、見る、聞く」が、その他の地域は「たまに読む、見る、聞く」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは土山地域で88.4%、以下、甲南地域で87.5%、甲賀地域で86.2%、信楽地域で82.7%、水口地域で79.5%と続いている。

●居住年数別にみると、3年未満は「読まない、見ない、聞かない」が、その他の年数は「たまに読む、見る、聞く」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で84.6%、10年以上で84.6%、以下、3年未満で59.0%と続いている。

①広報紙「広報こうか」（単数回答）



【広報紙「広報こうか」のわかりやすさ】

広報紙「広報こうか」を「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」と回答された方を対象に、わかりやすさ（読みやすい、見やすい、聞きやすい）についてたずねました。

●全体でみると、「どちらかといえば思う」が56.8%で最も多くなっており、以下、「思う」が21.6%、「わからない」が6.7%、「思わない」が5.1%と続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『わかりやすさ』は78.4%と続いている。

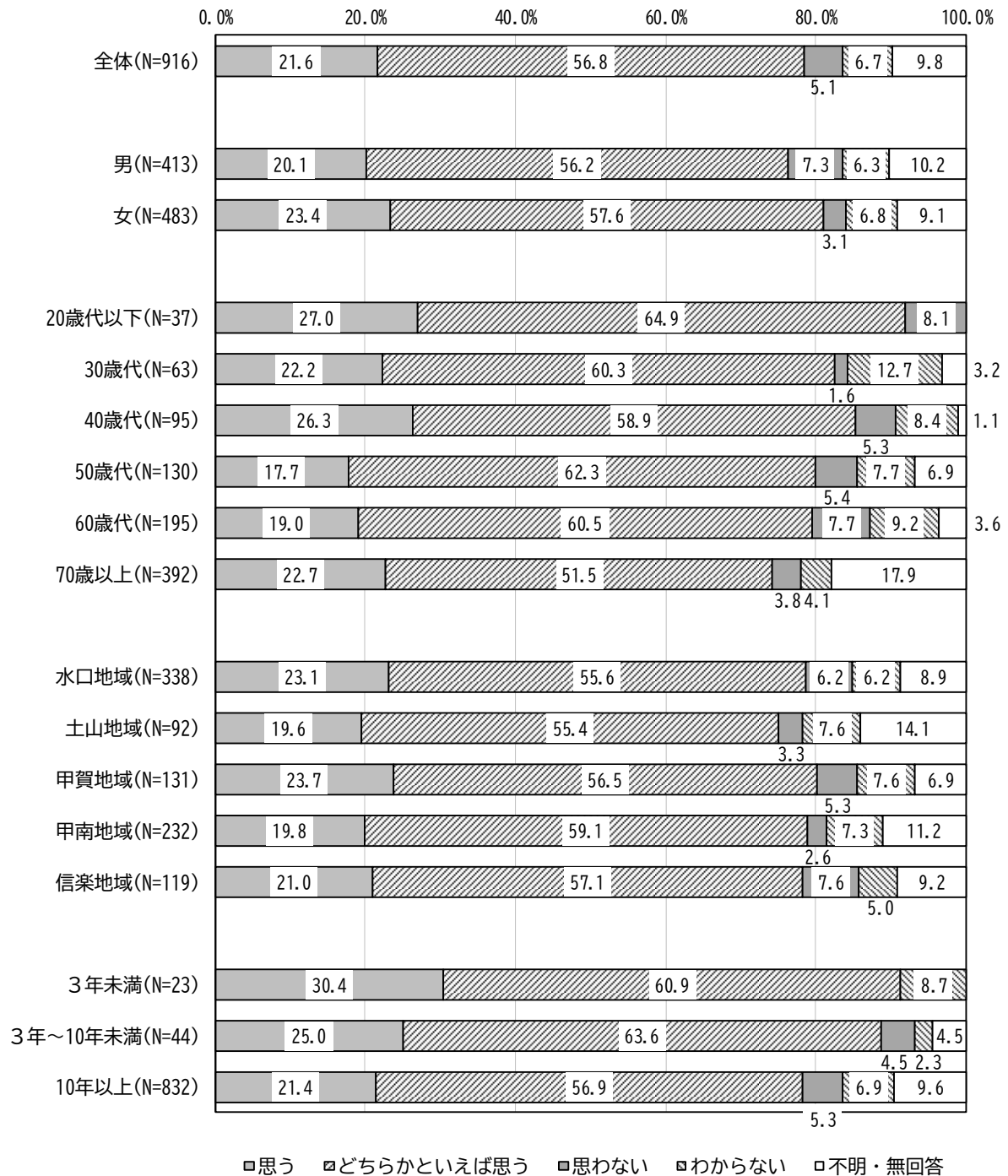
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、男性は76.3%、女性は81.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で91.9%、以下、40歳代で85.2%、30歳代で82.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で80.2%、以下、甲南地域で78.9%、水口地域で78.7%、信楽地域で78.1%、土山地域で75.0%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは3年未満で91.3%、以下、3年～10年未満で88.6%、10年以上で78.3%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

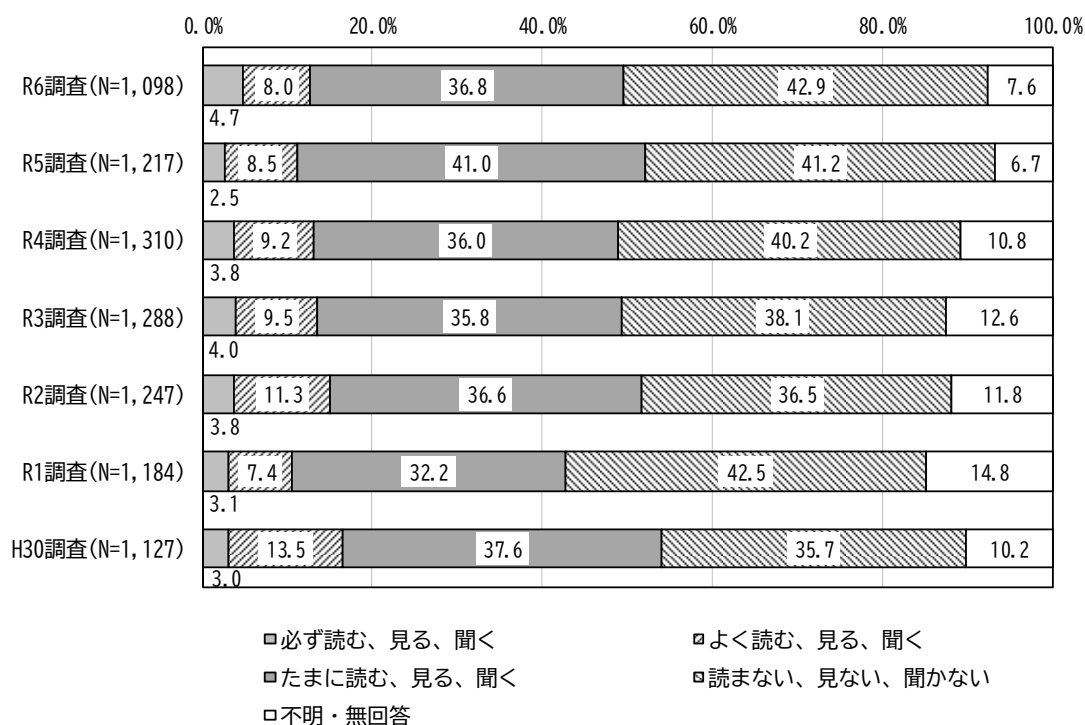
①広報紙「広報こうか」（単数回答）



② 甲賀市ホームページ

平成 30 年度調査からの推移をみると、令和 2 年度以降「読まない、見ない、聞かない」の割合が増加している。

②甲賀市ホームページ（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が42.9%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が36.8%、「よく読む、見る、聞く」が8.0%、「必ず読む、見る、聞く」が4.7%と続いている。「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』は49.5%となっている。

●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は53.5%、女性は46.4%となっている。

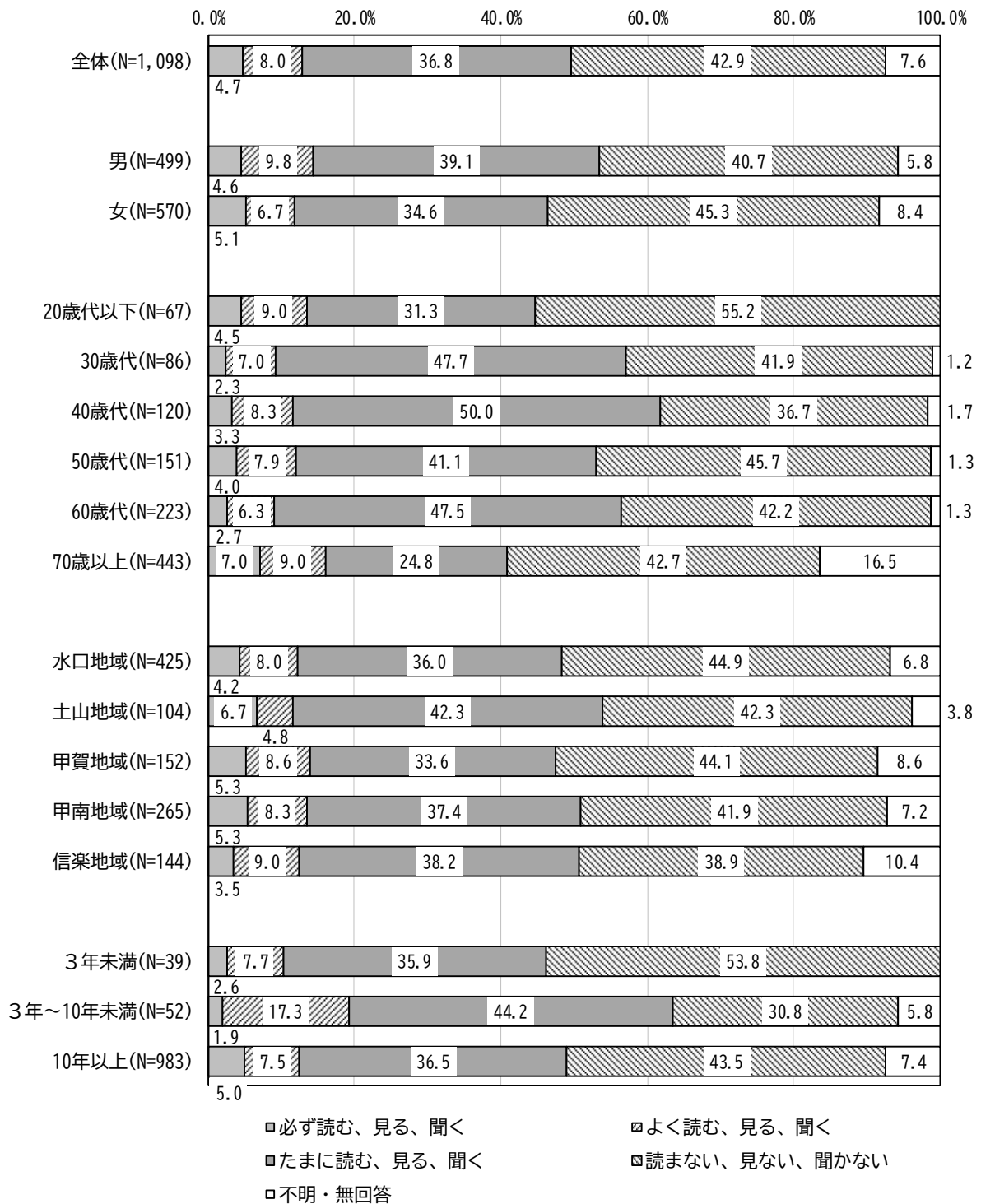
●年代別にみると、20歳代以下、50歳代、70歳以上は「読まない、見ない、聞かない」が、その他の年代は「たまに読む、見る、聞く」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは40歳代で61.6%、以下、30歳代で57.0%、60歳代で56.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている（土山地域は「たまに読む、見る、聞く」と同率）。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは土山地域で53.8%、以下、甲南地域で51.0%、信楽地域で50.7%、水口地域で48.2%、甲賀地域で47.5%と続いている。

●居住年数別にみると、3年～10年未満は「たまに読む、見る、聞く」が、その他の年数は「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で63.4%、以下、10年以上で49.0%、3年未満で46.2%と続いている。

いる。

②甲賀市ホームページ（単数回答）



【甲賀市ホームページのわかりやすさ】

甲賀市ホームページを「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」と回答された方を対象に、わかりやすさ（読みやすい、見やすい、聞きやすい）についてたずねました。

●全体でみると、「どちらかといえば思う」が 46.3%で最も多くなっており、以下、「思わない」が 20.8%、「わからない」が 13.2%、「思う」が 9.7%と続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『わかりやすさ』は 56.0%と続いている。

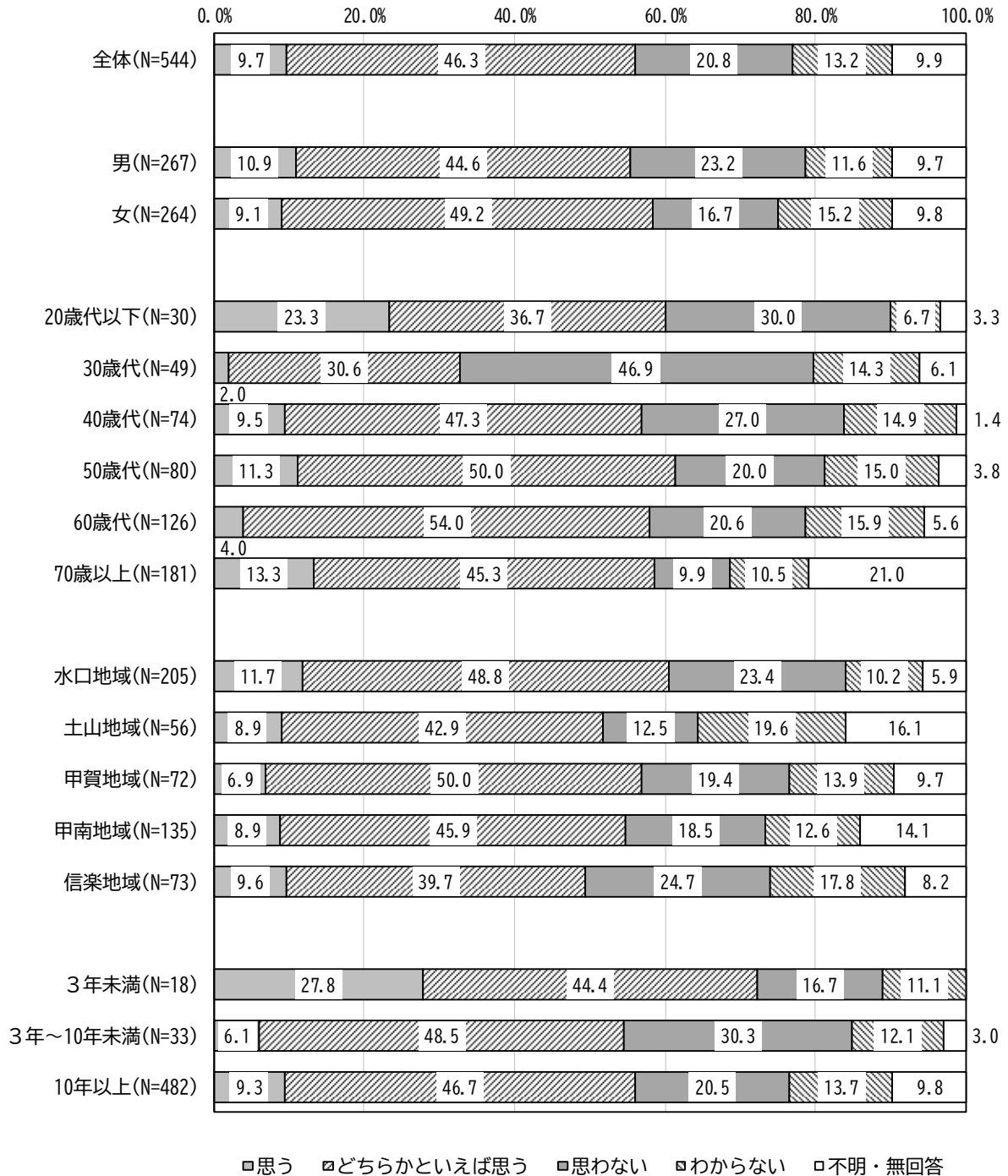
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、男性は 55.5%、女性は 58.3%となっている。

●年代別にみると、30 歳代は「思わない」が、その他の年代は「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは 50 歳代で 61.3%、以下、20 歳代以下で 60.0%、70 歳以上で 58.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは水口地域で 60.5%、以下、甲賀地域で 56.9%、甲南地域で 54.8%、土山地域で 51.8%、信楽地域で 49.3%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは 3 年未満で 72.2%、以下、10 年以上で 56.0%、3 年～10 年未満で 54.6%と続いている。

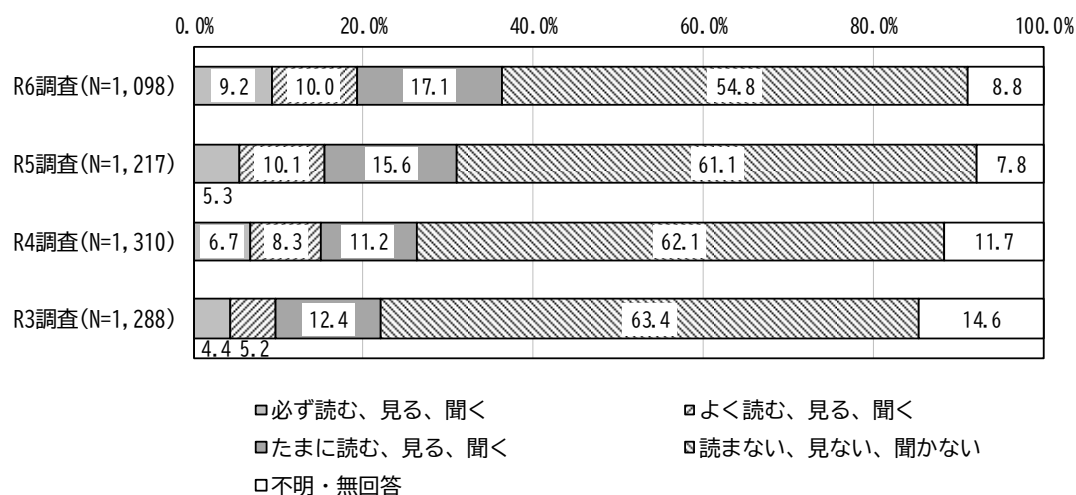
②甲賀市ホームページ（単数回答）



③ 甲賀市 LINE

令和3年度調査からの推移をみると、「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』の割合が増加している。

③甲賀市LINE（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が54.8%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が17.1%、「よく読む、見る、聞く」が10.0%、「必ず読む、見る、聞く」が9.2%と続いている。『読む、見る、聞く』は36.3%となっている。

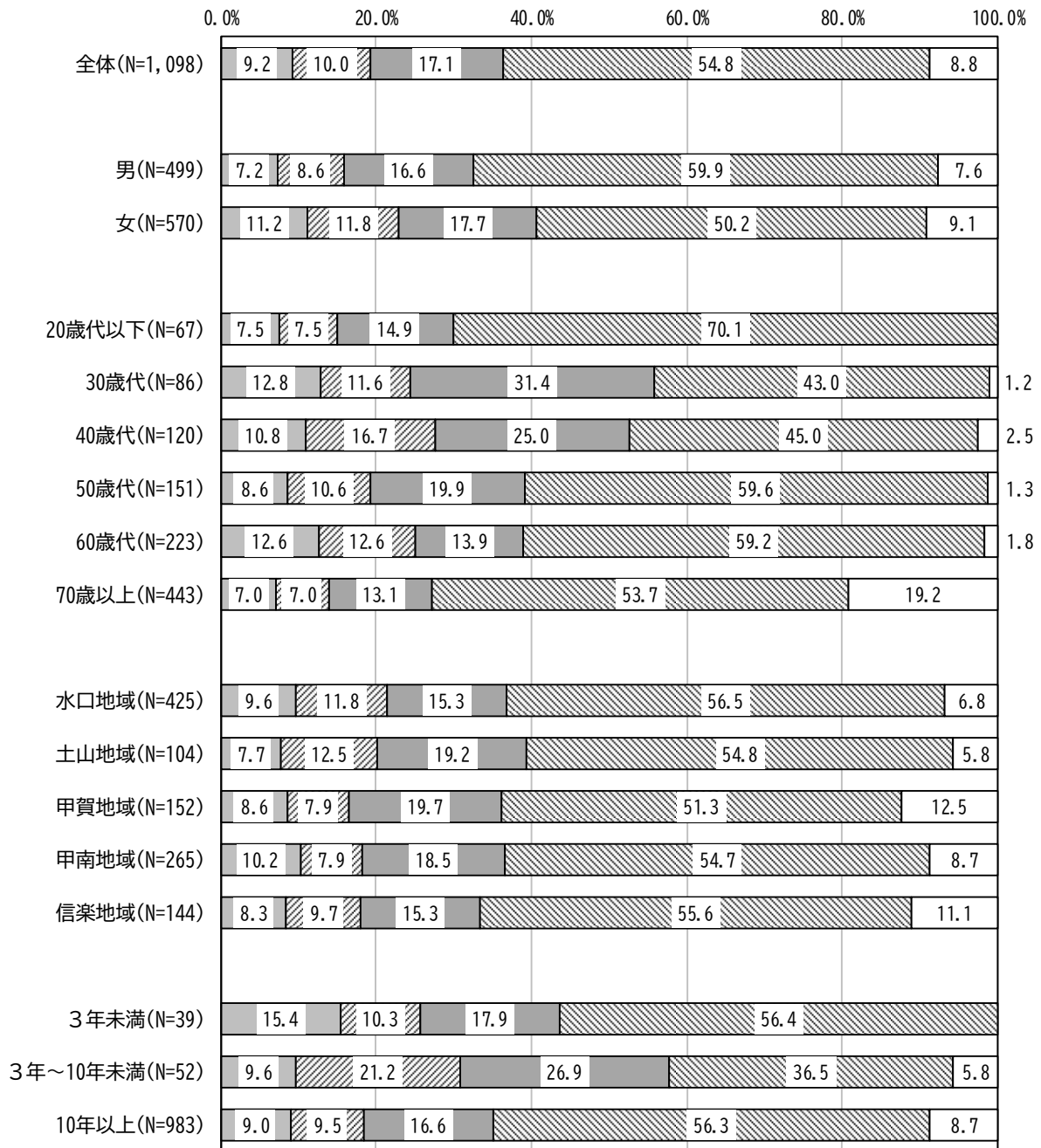
●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は32.4%、女性は40.7%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは30歳代で55.8%、以下、40歳代で52.5%、60歳代で39.1%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは土山地域で39.4%、以下、水口地域で36.7%、甲南地域で36.6%、甲賀地域で36.2%、信楽地域で33.3%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で57.7%、以下、3年未満で43.6%、10年以上で35.1%と続いている。

③甲賀市LINE（単数回答）



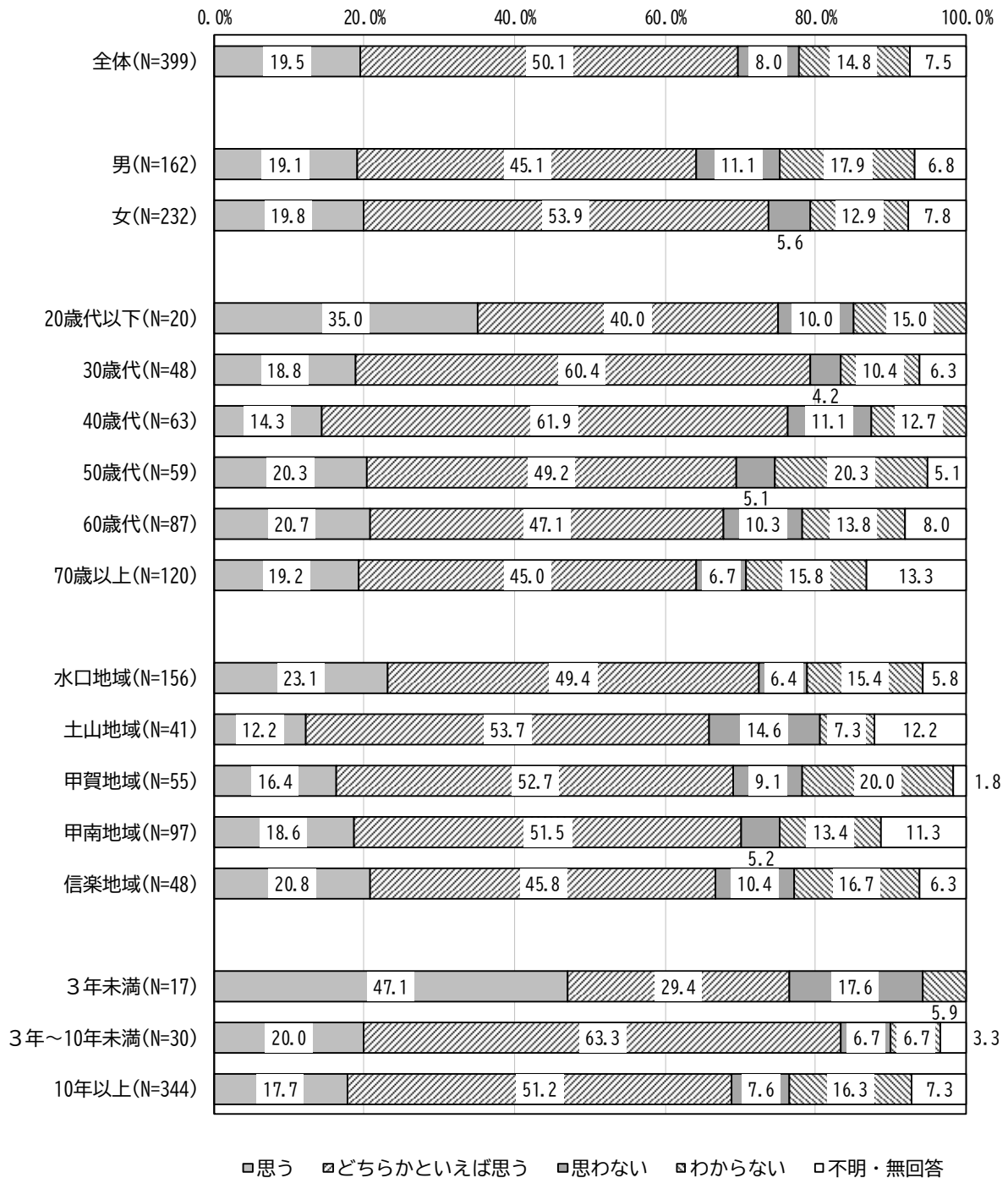
- 必ず読む、見る、聞く
- よく読む、見る、聞く
- たまに読む、見る、聞く
- 読まない、見ない、聞かない
- 不明・無回答

【甲賀市 LINE のわかりやすさ】

甲賀市 LINE を「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」と回答された方を対象に、わかりやすさ（読みやすい、見やすい、聞きやすい）についてたずねました。

- 全体でみると、「どちらかといえば思う」が50.1%で最も多くなっており、以下、「思う」が19.5%、「わからない」が14.8%、「思わない」が8.0%と続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『わかりやすさ』は69.6%と続いている。
- 性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、男性は64.2%、女性は73.7%となっている。
- 年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは30歳代で79.2%、以下、40歳代で76.2%、20歳代以下で75.0%と続いている。
- 居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは水口地域で72.5%、以下、甲南地域で70.1%、甲賀地域で69.1%、信楽地域で66.6%、土山地域で65.9%と続いている。
- 居住年数別にみると、3年未満は「思う」が、その他の年数は「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で83.3%、以下、3年未満で76.5%、10年以上で68.9%と続いている。

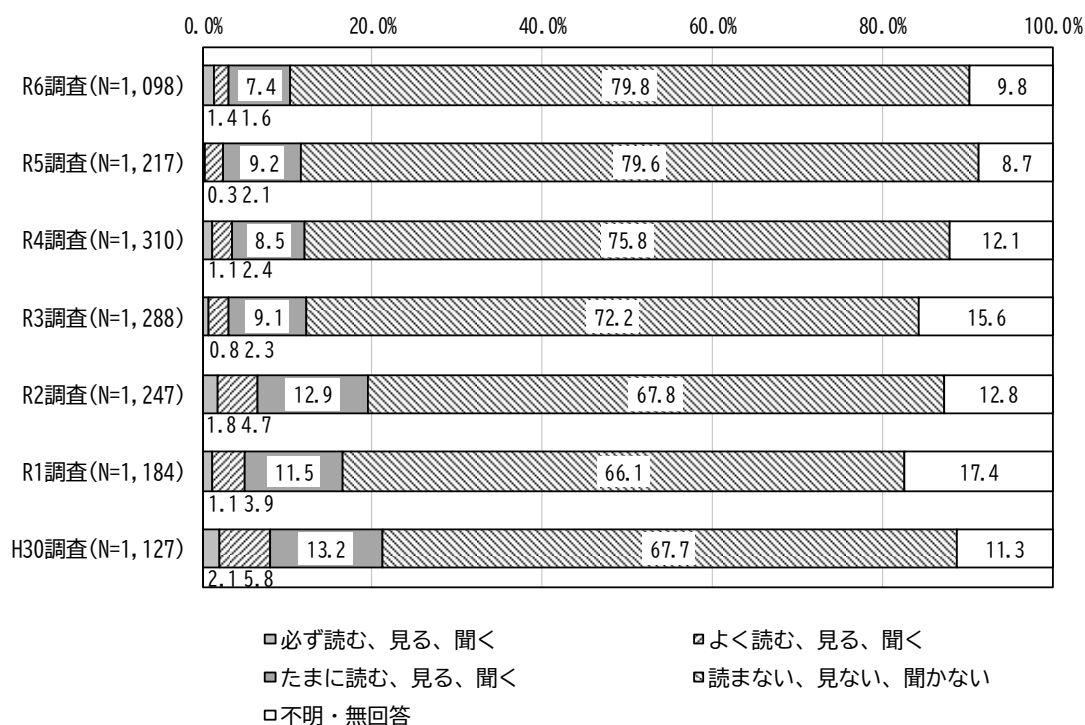
③甲賀市LINE（単数回答）



④ 甲賀市フェイスブック

平成 30 年度調査からの推移をみると、令和元年度以降「読まない、見ない、聞かない」の割合が増加している。

④甲賀市フェイスブック（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が79.8%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が7.4%、「よく読む、見る、聞く」が1.6%、「必ず読む、見る、聞く」が1.4%と続いている。「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』は10.4%となっている。

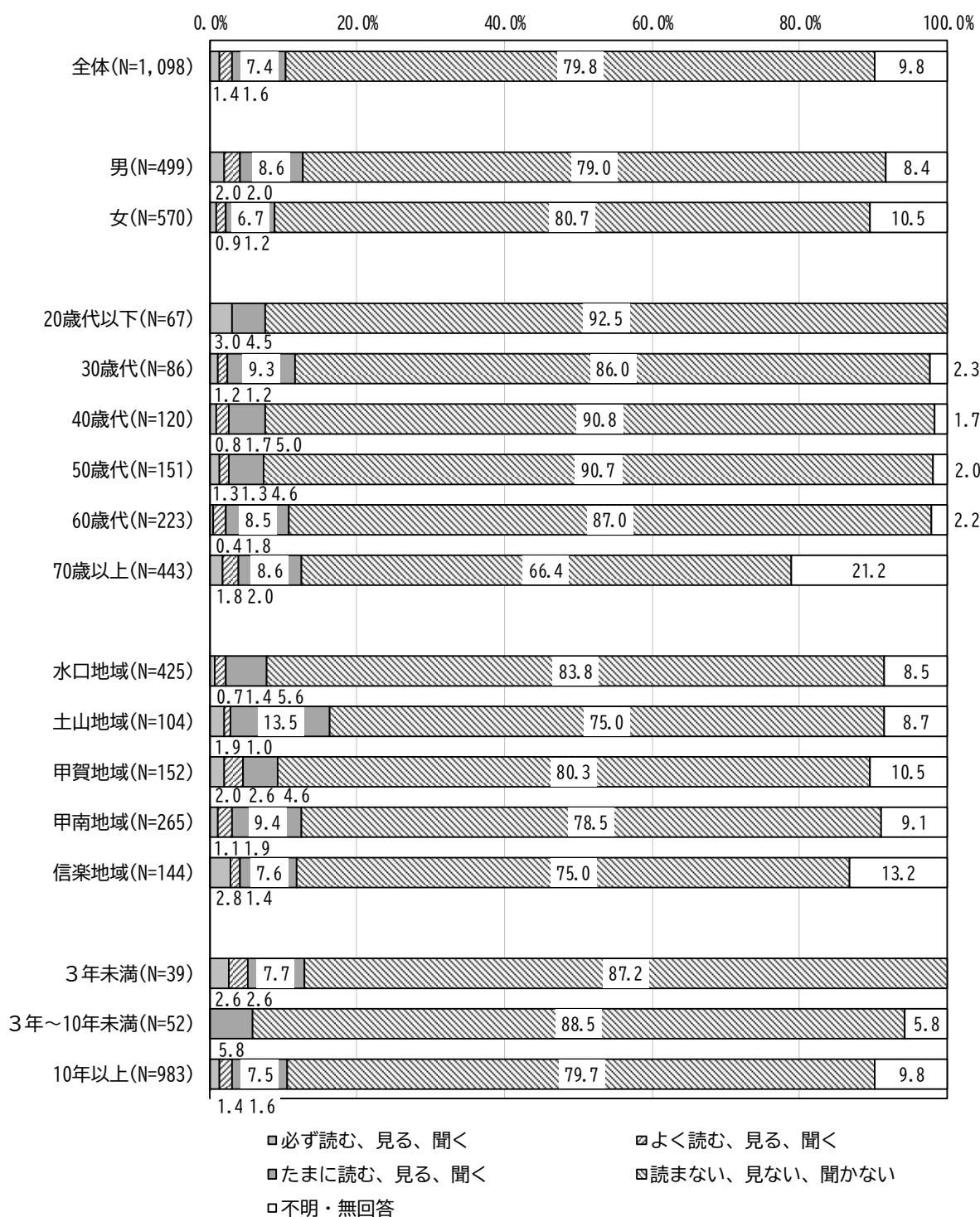
●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は12.6%、女性は8.8%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で12.4%、以下、30歳代で11.7%、60歳代で10.7%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは土山地域で16.4%、以下、甲南地域で12.4%、信楽地域で11.8%、甲賀地域で9.2%、水口地域で7.7%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは3年未満で12.9%、以下、10年以上で10.5%、3年～10年未満で5.8%と続いている。

④甲賀市フェイスブック（単数回答）



【甲賀市フェイスブックのわかりやすさ】

甲賀市フェイスブックを「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」と回答された方を対象に、わかりやすさ（読みやすい、見やすい、聞きやすい）についてたずねました。

●全体でみると、「どちらかといえば思う」が42.1%で最も多くなっており、以下、「思わない」、「わからない」が15.8%、「思う」が5.3%と続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『わかりやすさ』は47.4%と続いている。

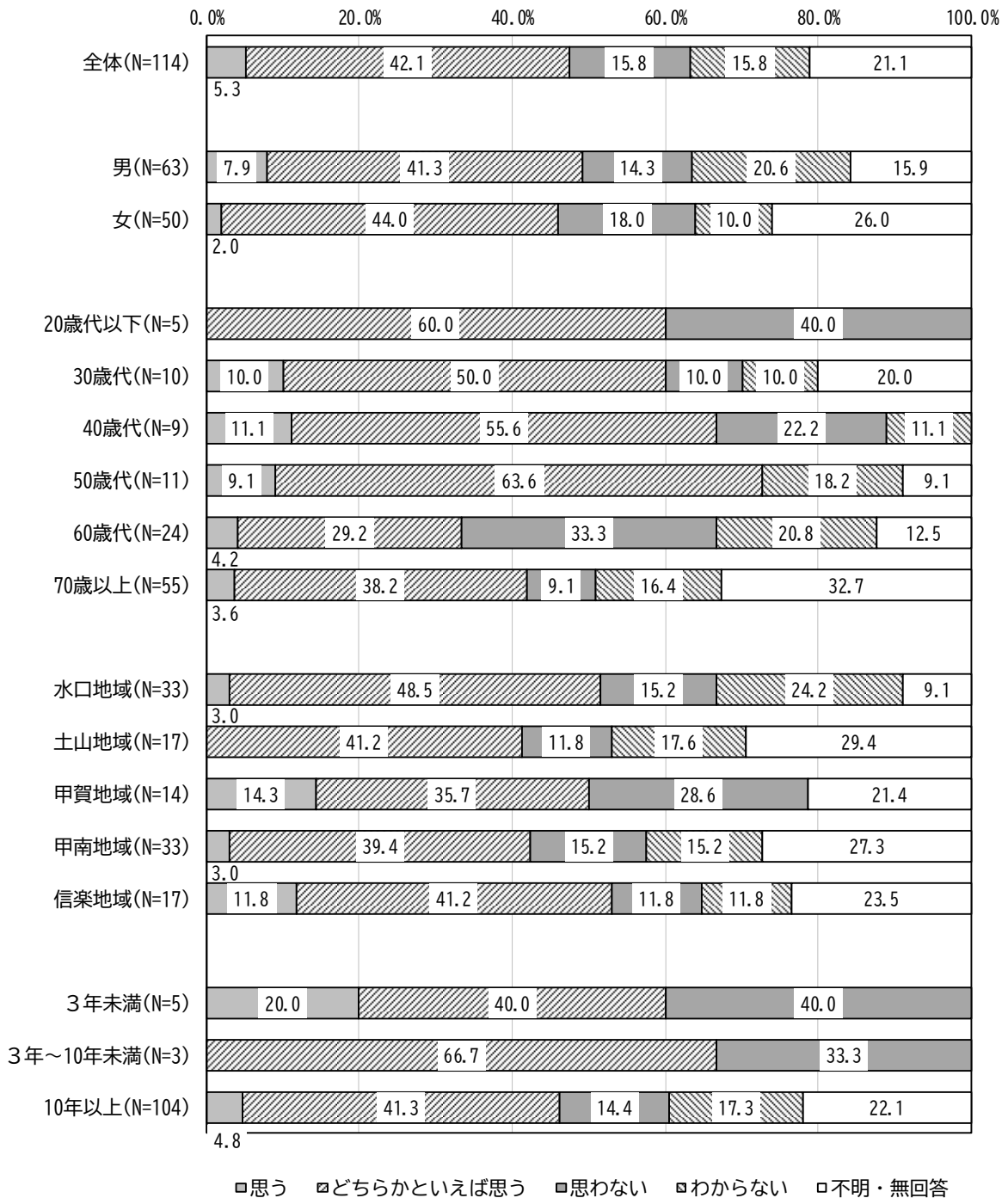
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、男性は49.2%、女性は46.0%となっている。

●年代別にみると、60歳代は「思わない」が、その他の年代は「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは50歳代で72.7%、以下、40歳代で66.7%、20歳代以下、30歳代で60.0%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で53.0%、以下、水口地域で51.5%、甲賀地域で50.0%、甲南地域で42.4%、土山地域で41.2%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている（3年未満は「思わない」と同率）。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で66.7%、以下、3年未満で60.0%、10年以上で46.1%と続いている。

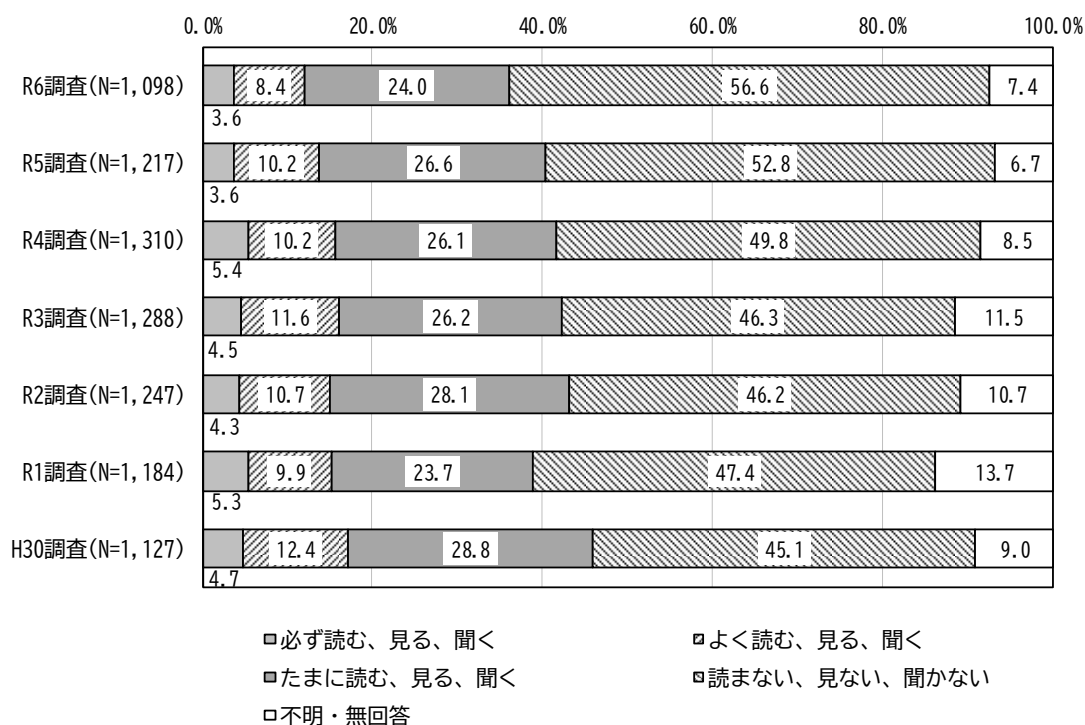
④甲賀市フェイスブック（単数回答）



⑤ 行政情報番組「きらめきこうか」（あいコムこうか「まちかどKOKA」内）

平成 30 年度調査からの推移をみると、令和 2 年度以降「読まない、見ない、聞かない」の割合が増加している。

⑤行政情報番組「きらめきこうか」（あいコムこうか）（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が56.6%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が24.0%、「よく読む、見る、聞く」が8.4%、「必ず読む、見る、聞く」が3.6%と続いている。『読む、見る、聞く』は36.0%となっている。

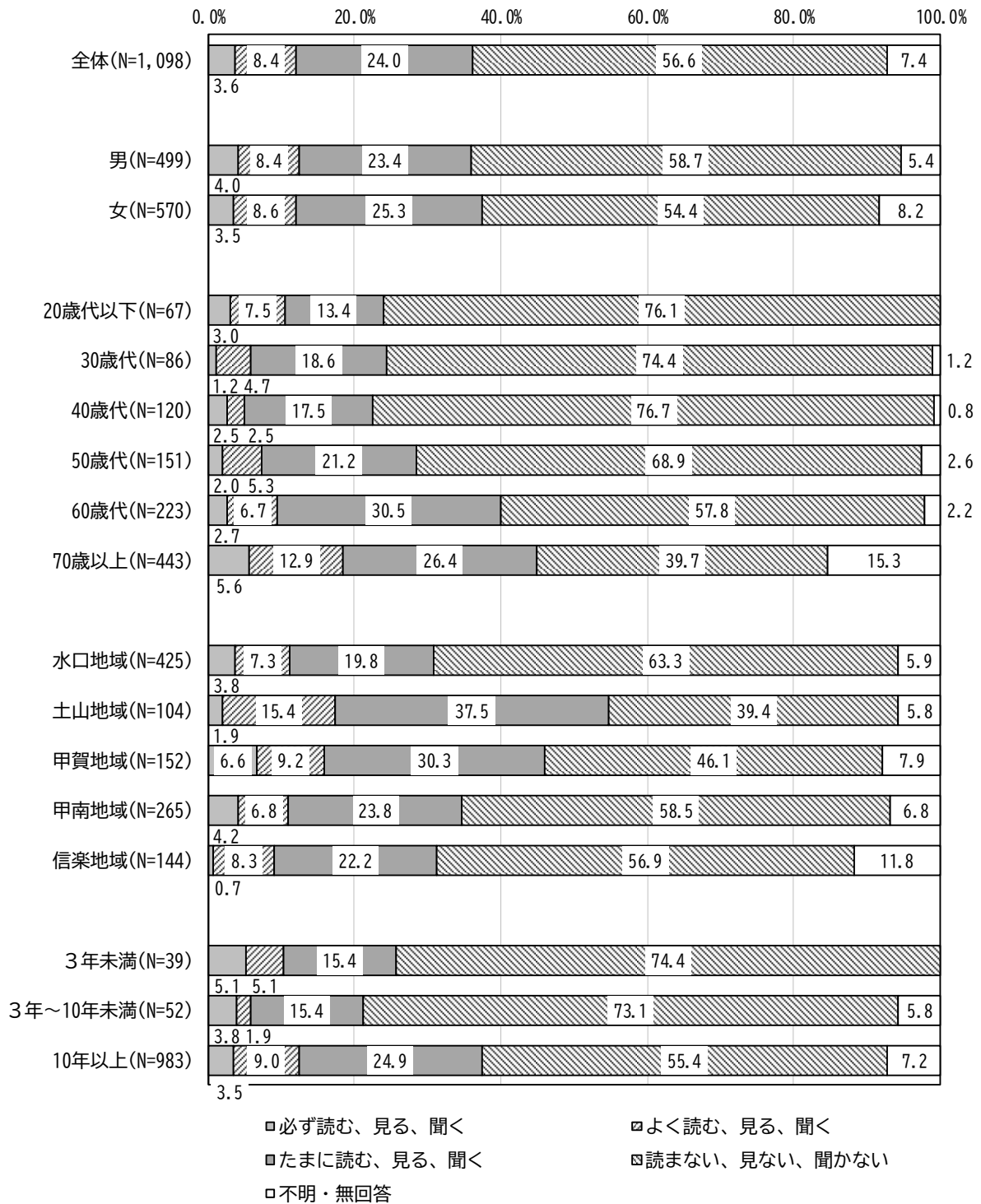
●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は35.8%、女性は37.4%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で44.9%、以下、60歳代で39.9%、50歳代以下で28.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは土山地域で54.8%、以下、甲賀地域で46.1%、甲南地域で34.8%、信楽地域で31.2%、水口地域で30.9%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは10年以上で37.4%、以下、3年未満で25.6%、3年～10年未満で21.1%と続いている。

⑤行政情報番組「きらめきこうか」（あいコムこうか）（単数回答）



【行政情報番組「きらめきこうか」（あいコムこうか「まちかどKOKA」内）のわかりやすさ】

行政情報番組「きらめきこうか」（あいコムこうか「まちかどKOKA」内）を「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」と回答された方を対象に、わかりやすさ（読みやすい、見やすい、聞きやすい）についてたずねました。

●全体でみると、「どちらかといえば思う」が46.2%で最も多くなっており、以下、「わからない」が15.4%、「思う」が13.6%、「思わない」が7.8%と続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『わかりやすさ』は59.8%と続いている。

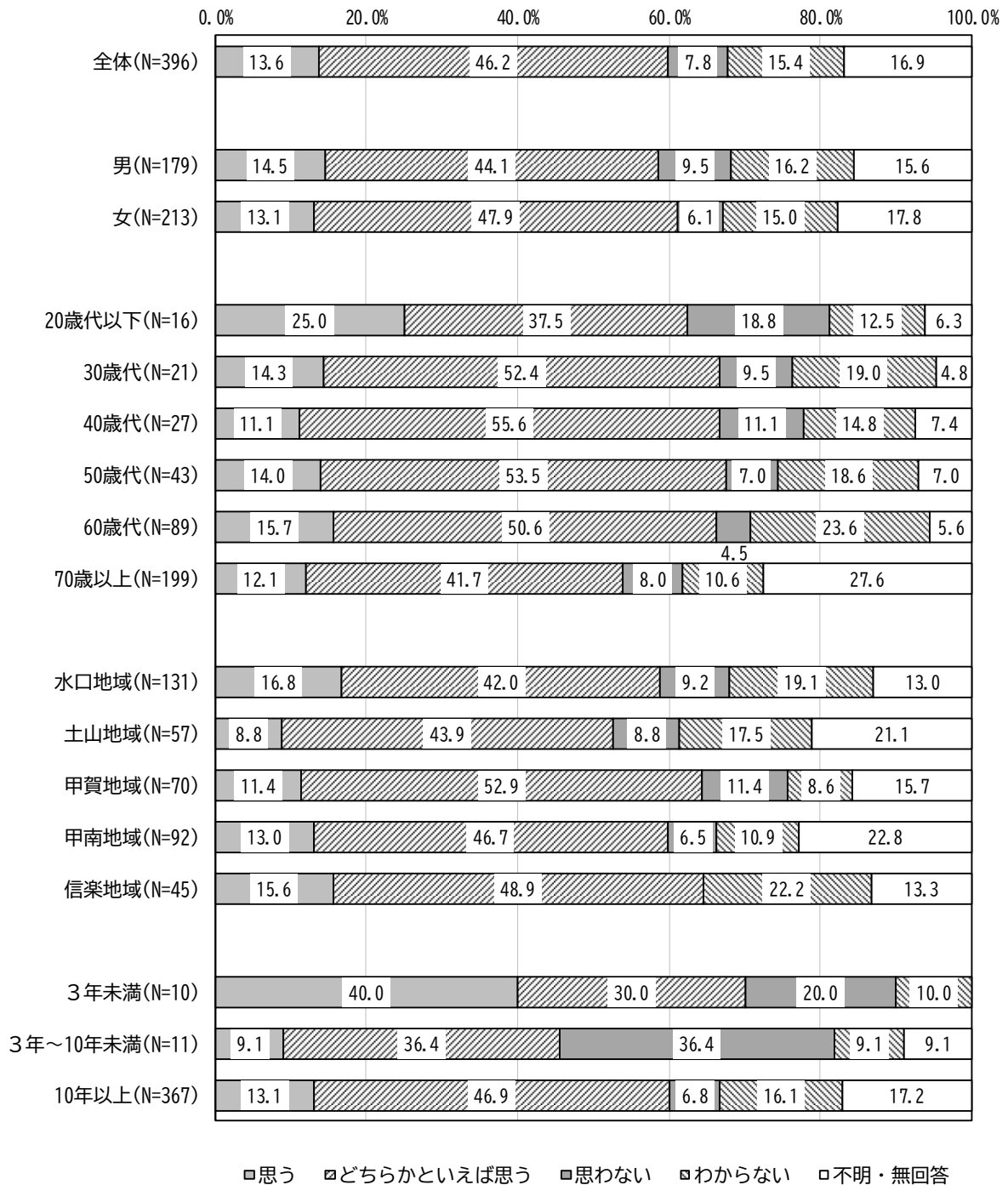
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、男性は58.6%、女性は61.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは50歳代で67.5%、以下、30歳代、40歳代で66.7%、60歳代で66.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で64.5%、以下、甲賀地域で64.3%、甲南地域で59.7%、水口地域で58.8%、土山地域で52.7%と続いている。

●居住年数別にみると、3年未満は「思う」が、その他の年数は「どちらかといえば思う」が最も多くなっている（3年～10年未満は「思わない」と同率）。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは3年未満で70.0%、以下、10年以上で60.0%、3年～10年未満で45.5%と続いている。

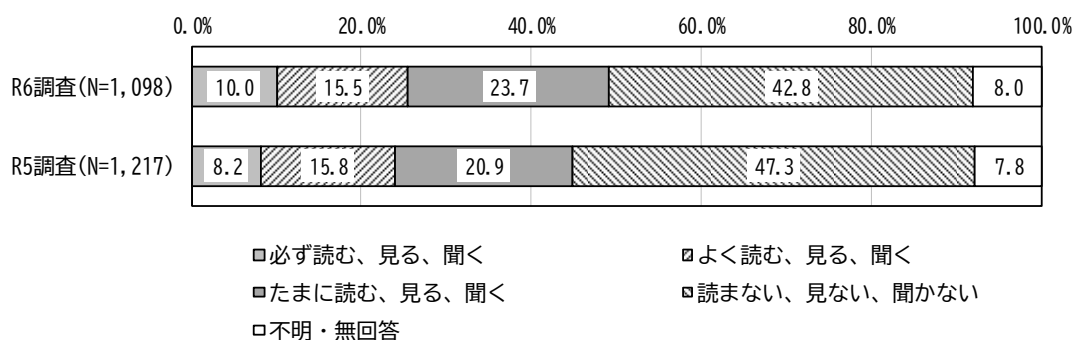
⑤行政情報番組「きらめきこうか」（あいコムこうか）（単数回答）



⑥ 音声放送端末機

令和5年度調査と比較すると、「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』の割合が増加している。

⑥音声放送端末機（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が42.8%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が23.7%、「よく読む、見る、聞く」が15.5%、「必ず読む、見る、聞く」が10.0%と続いている。『読む、見る、聞く』は49.2%となっている。

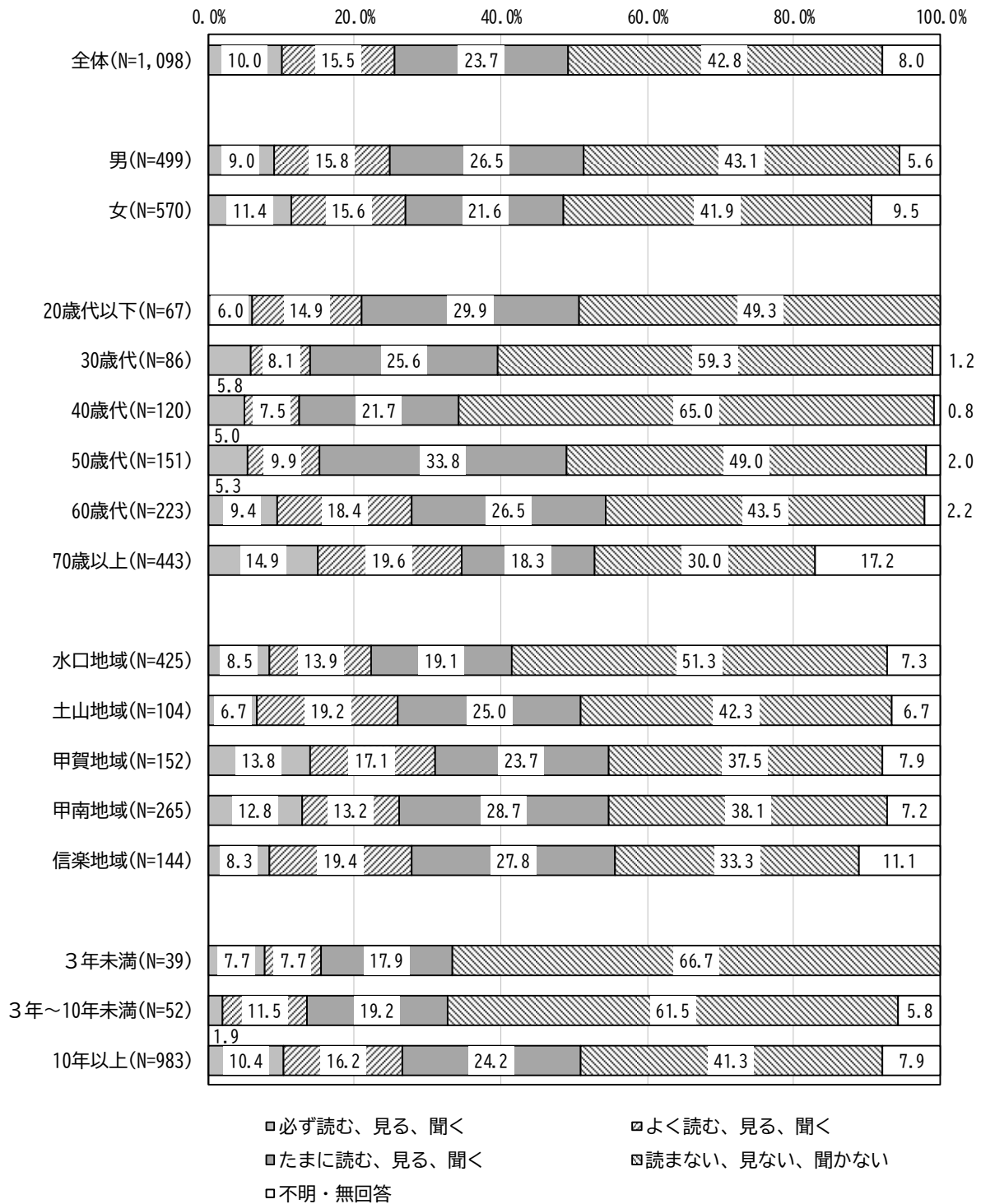
●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は51.3%、女性は48.6%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは60歳代で54.3%、以下、70歳以上で52.8%、20歳代以下で50.8%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは信楽地域で55.5%、以下、甲南地域で54.7%、甲賀地域で54.6%、土山地域で50.9%、水口地域で41.5%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは10年以上で50.8%、以下、3年未満で33.3%、3年～10年未満で32.6%と続いている。

⑥音声放送端末機（単数回答）



【音声放送端末機のわかりやすさ】

音声放送端末機を「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」と回答された方を対象に、わかりやすさ（読みやすい、見やすい、聞きやすい）についてたずねました。

●全体でみると、「どちらかといえば思う」が48.5%で最も多くなっており、以下、「思う」が17.6%、「わからない」が10.9%、「思わない」が8.3%と続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『わかりやすさ』は66.1%と続いている。

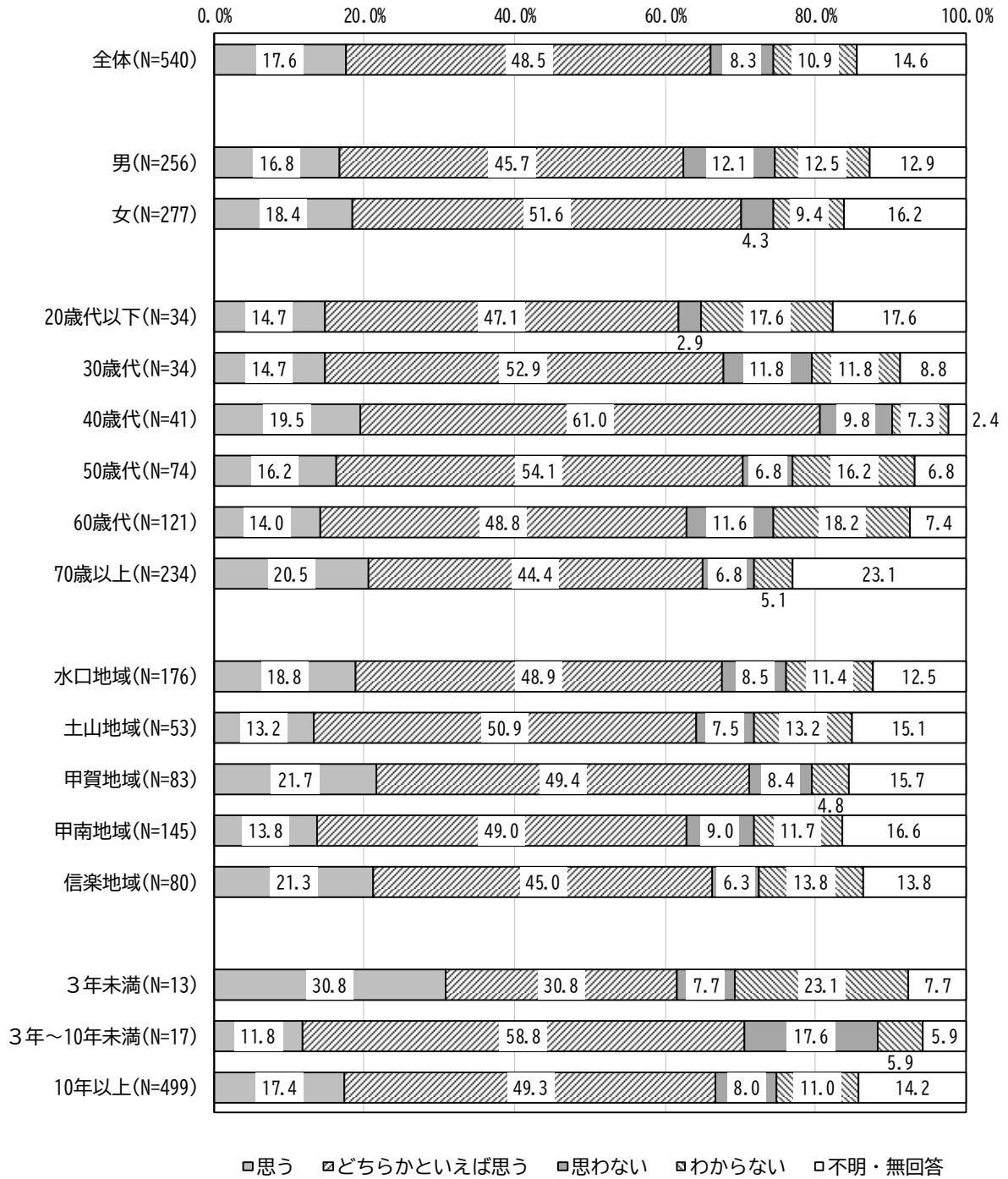
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、男性は62.5%、女性は70.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは40歳代で80.5%、以下、50歳代で70.3%、30歳代で67.6%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で71.1%、以下、水口地域で67.7%、信楽地域で66.3%、土山地域で64.1%、甲南地域で62.8%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている（3年未満は「思う」と同率）。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で70.6%、以下、10年以上で66.7%、3年未満で61.6%と続いている。

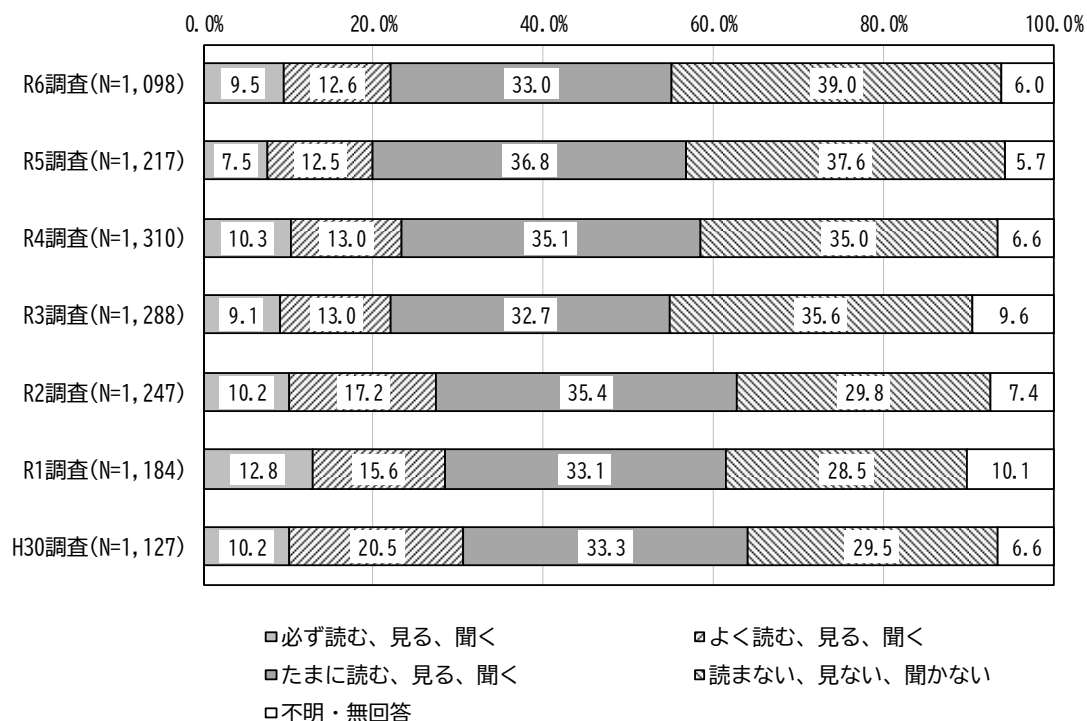
⑥音声放送端末機（単数回答）



⑦ 市議会だより

平成 30 年度調査からの推移をみると、令和 4 年度以降「読まない、見ない、聞かない」の割合が増加している。

⑦市議会だより（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が39.0%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が33.0%、「よく読む、見る、聞く」が12.6%、「必ず読む、見る、聞く」が9.5%と続いている。「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』は55.1%となっている。

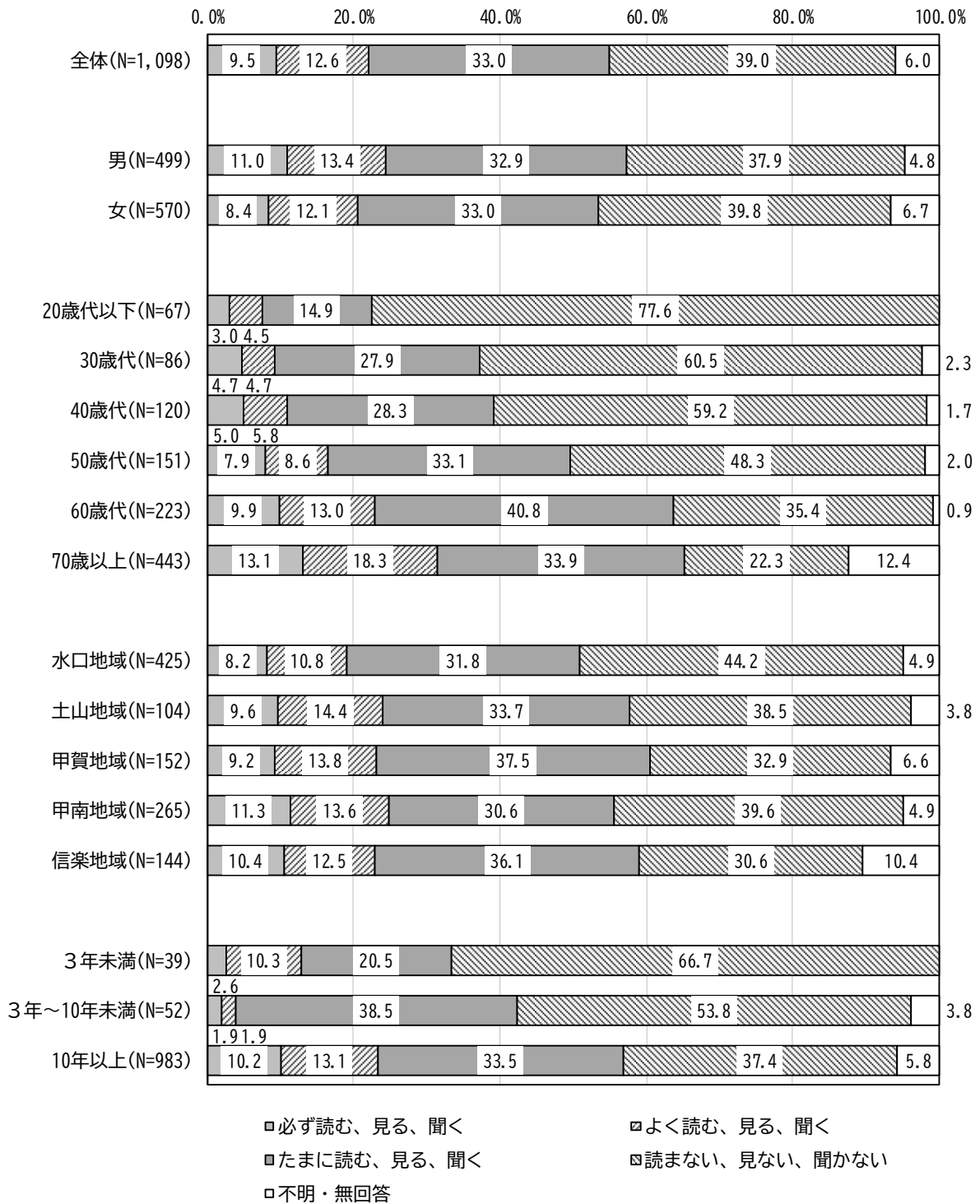
●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は57.3%、女性は53.5%となっている。

●年代別にみると、60歳代以上は「たまに読む、見る、聞く」が、その他の年代は「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で65.3%、以下、60歳代で63.7%、50歳代で49.6%と続いており、年代が上がるにつれて多くなっている。

●居住地域別にみると、甲賀地域、信楽地域は「たまに読む、見る、聞く」が、その他の地域は「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で60.5%、以下、信楽地域で59.0%、土山地域で57.7%、甲南地域で55.5%、水口地域で50.8%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは10年以上で56.8%、以下、3年～10年未満で42.3%、3年未満で33.4%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

⑦市議会だより（単数回答）



【市議会だよりのわかりやすさ】

市議会だよりを「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」と回答された方を対象に、わかりやすさ（読みやすい、見やすい、聞きやすい）についてたずねました。

●全体でみると、「どちらかといえば思う」が43.9%で最も多くなっており、以下、「わからない」が16.7%、「思わない」が12.6%、「思う」が9.9%と続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『わかりやすさ』は53.8%と続いている。

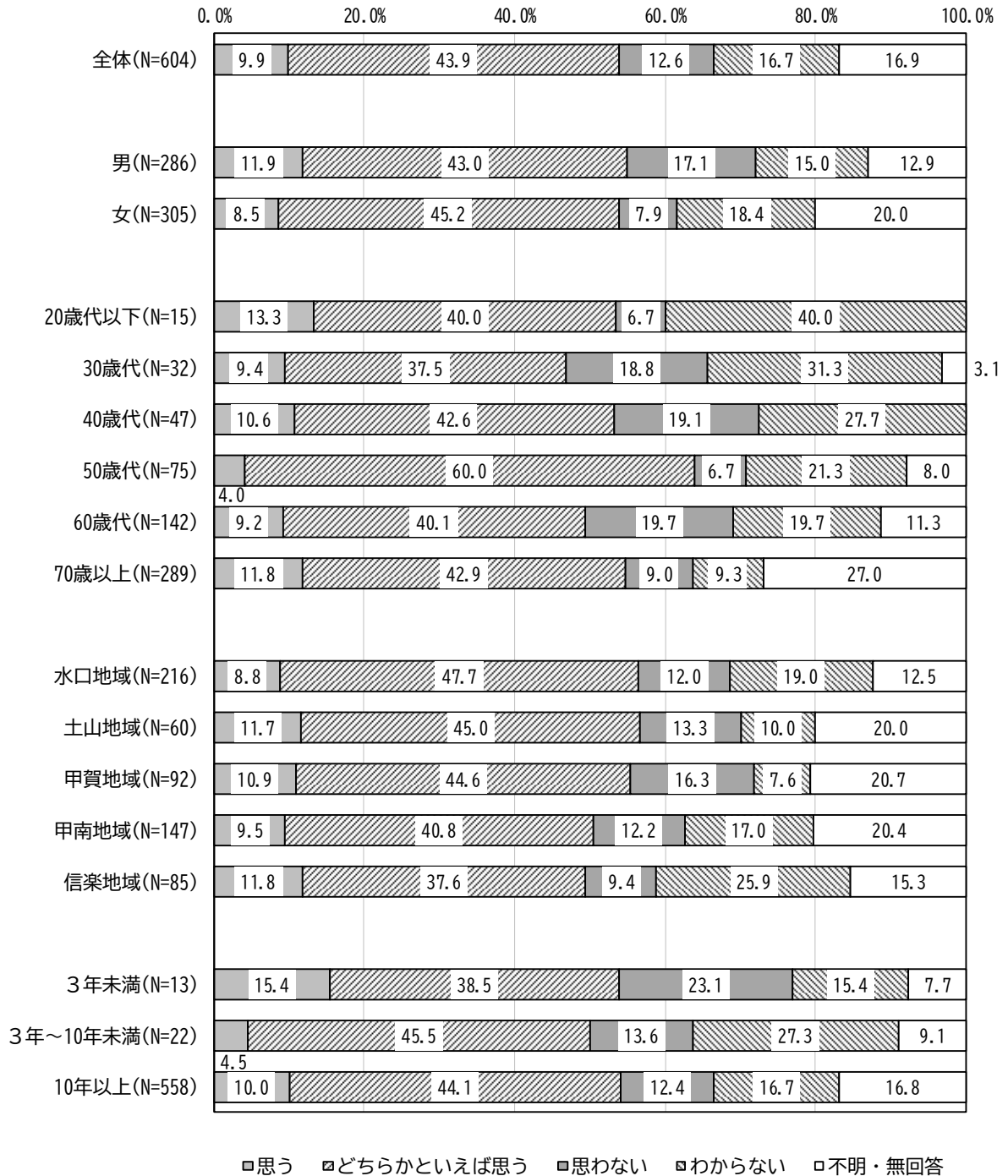
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、男性は54.9%、女性は53.7%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている（20歳代以下は「わからない」と同率）。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは50歳代で64.0%、以下、70歳以上で54.7%、20歳代以下で53.3%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは土山地域で56.7%、以下、水口地域で56.5%、甲賀地域で55.5%、甲南地域で50.3%、信楽地域で49.4%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは10年以上で54.1%、以下、3年未満で53.9%、3年～10年未満で50.0%と続いている。

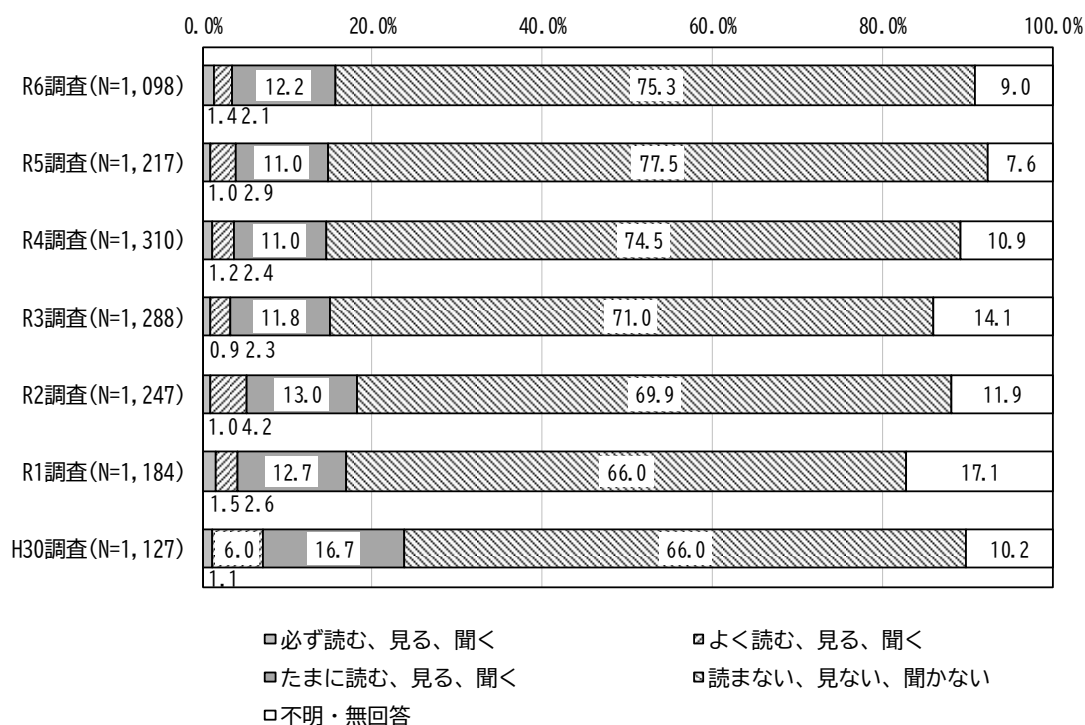
⑦市議会だより（単数回答）



⑧ 市議会ホームページ

平成 30 年度調査からの推移をみると、昨年まで増加傾向にあった「読まない、見ない、聞かない」の割合が減少している。

⑧市議会ホームページ（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が75.3%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が12.2%、「よく読む、見る、聞く」が2.1%、「必ず読む、見る、聞く」が1.4%と続いている。「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』は15.7%となっている。

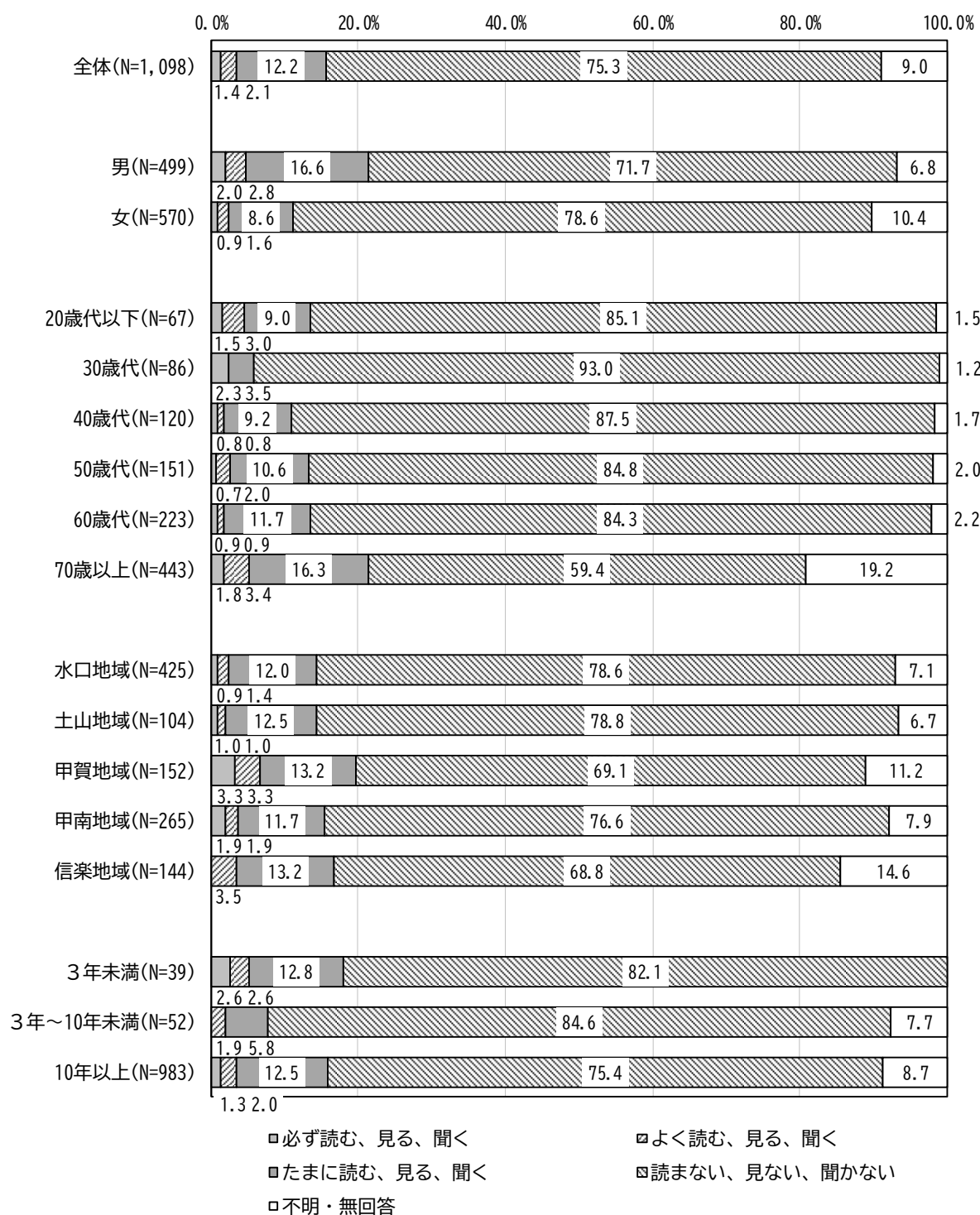
●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は21.4%、女性は11.1%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で21.5%、以下、20歳代以下、60歳代で13.5%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で19.8%、以下、信楽地域で16.7%、甲南地域で15.5%、土山地域で14.5%、水口地域で14.3%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは3年未満で18.0%、以下、10年以上で15.8%、3年～10年未満で7.7%と続いている。

⑧市議会ホームページ（単数回答）



【市議会ホームページのわかりやすさ】

市議会ホームページを「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」と回答された方を対象に、わかりやすさ（読みやすい、見やすい、聞きやすい）についてたずねました。

●全体でみると、「どちらかといえば思う」が34.9%で最も多くなっており、以下、「わからない」が22.1%、「思わない」が12.2%、「思う」が8.7%と続いている。「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『わかりやすさ』は43.6%と続いている。

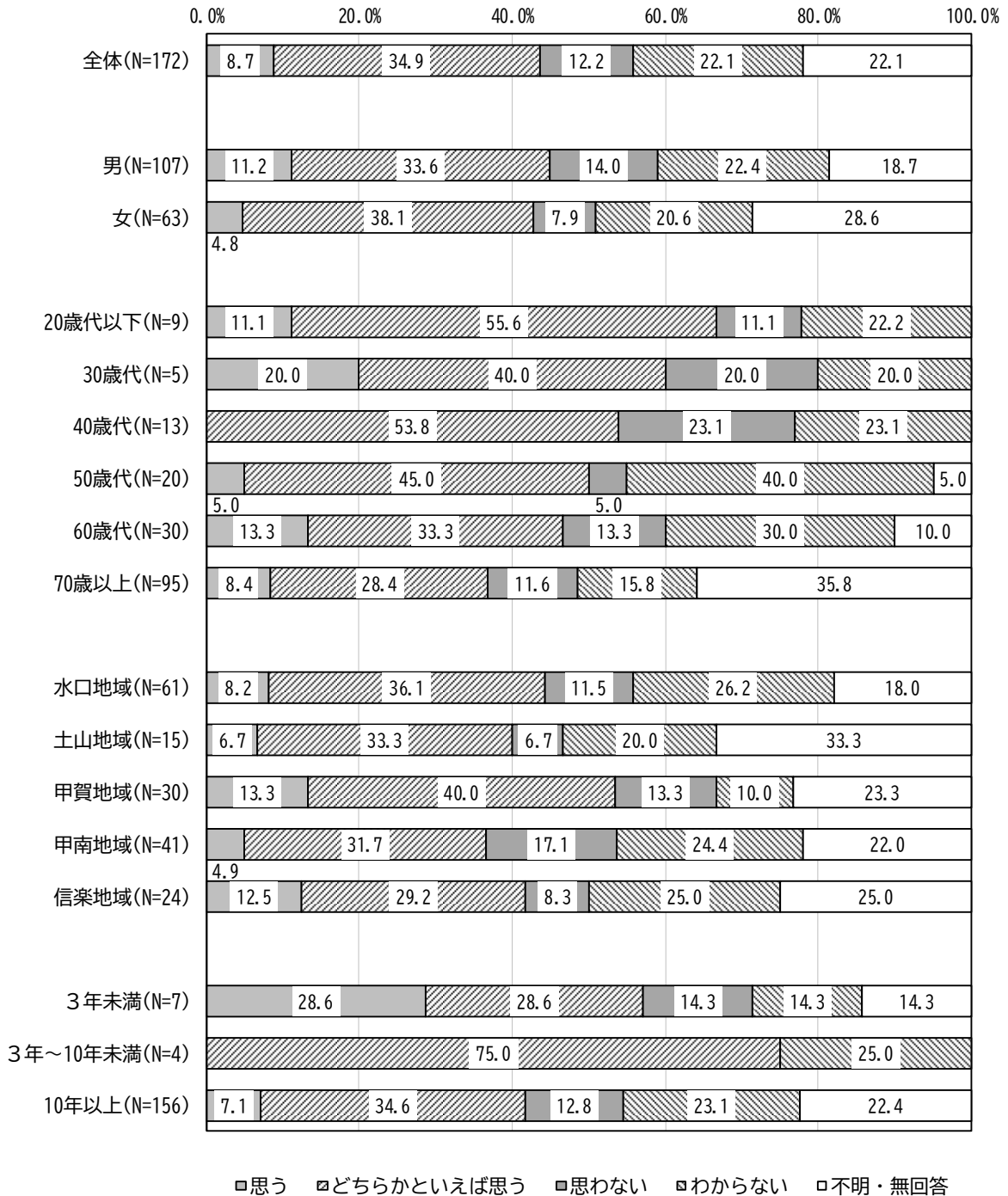
●性別にみると、男性、女性ともに「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、男性は44.8%、女性は42.9%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で66.7%、以下、30歳代で60.0%、40歳代で53.8%と続いており、年代が下がるにつれて多くなっている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で53.3%、以下、水口地域で44.3%、信楽地域で41.7%、土山地域で40.0%、甲南地域で36.6%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「どちらかといえば思う」が最も多くなっている（3年未満は「思う」と同率）。『わかりやすさ』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で75.0%、以下、3年未満で57.2%、10年以上で41.7%と続いている。

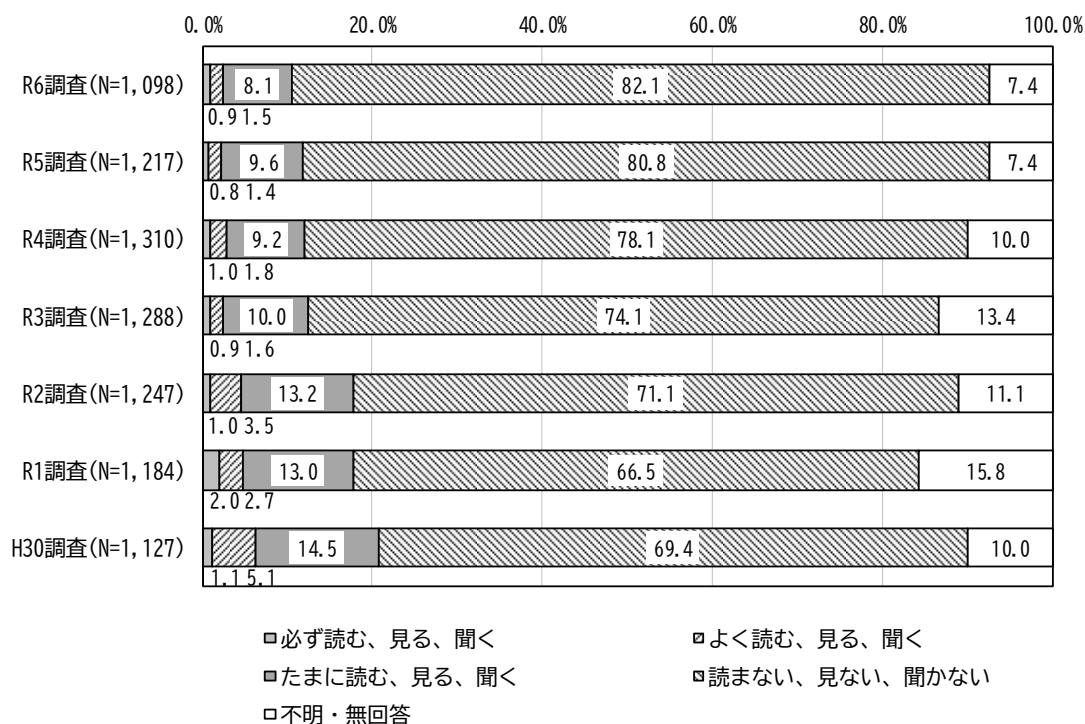
⑧市議会ホームページ（単数回答）



⑨ 市議会中継・録画（あいコムこうか）

平成 30 年度調査からの推移をみると、令和元年度以降「読まない、見ない、聞かない」の割合が増加している。

⑨市議会中継・録画（あいコムこうか）（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が82.1%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が8.1%、「よく読む、見る、聞く」が1.5%、「必ず読む、見る、聞く」が0.9%と続いている。『読む、見る、聞く』は10.5%となっている。

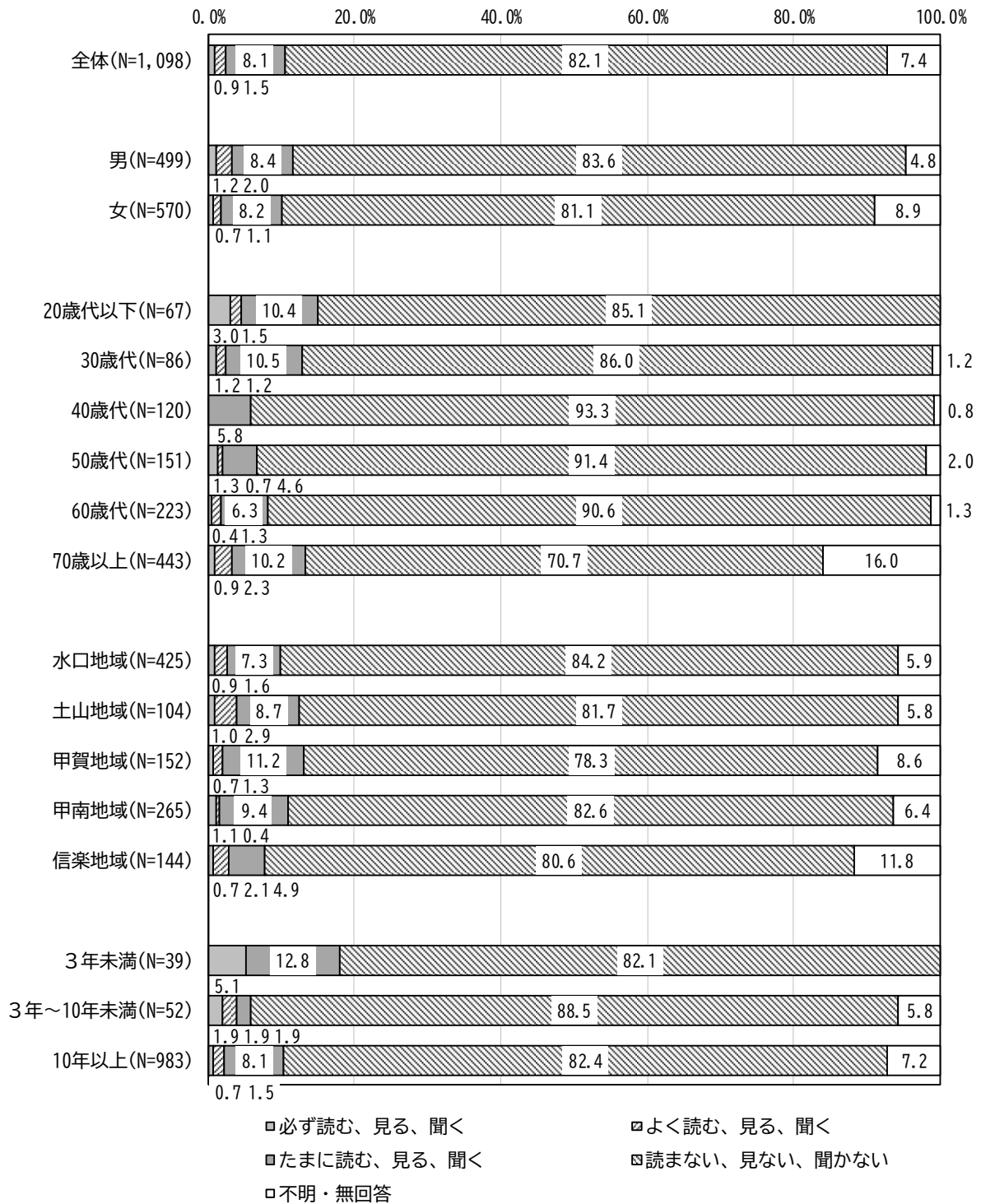
●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は11.6%、女性は10.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で14.9%、以下、70歳以上で13.4%、30歳代で12.9%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で13.2%、以下、土山地域で12.6%、甲南地域で10.9%、水口地域で9.8%、信楽地域で7.7%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは3年未満で17.9%、以下、10年以上で10.3%、3年～10年未満で5.7%と続いている。

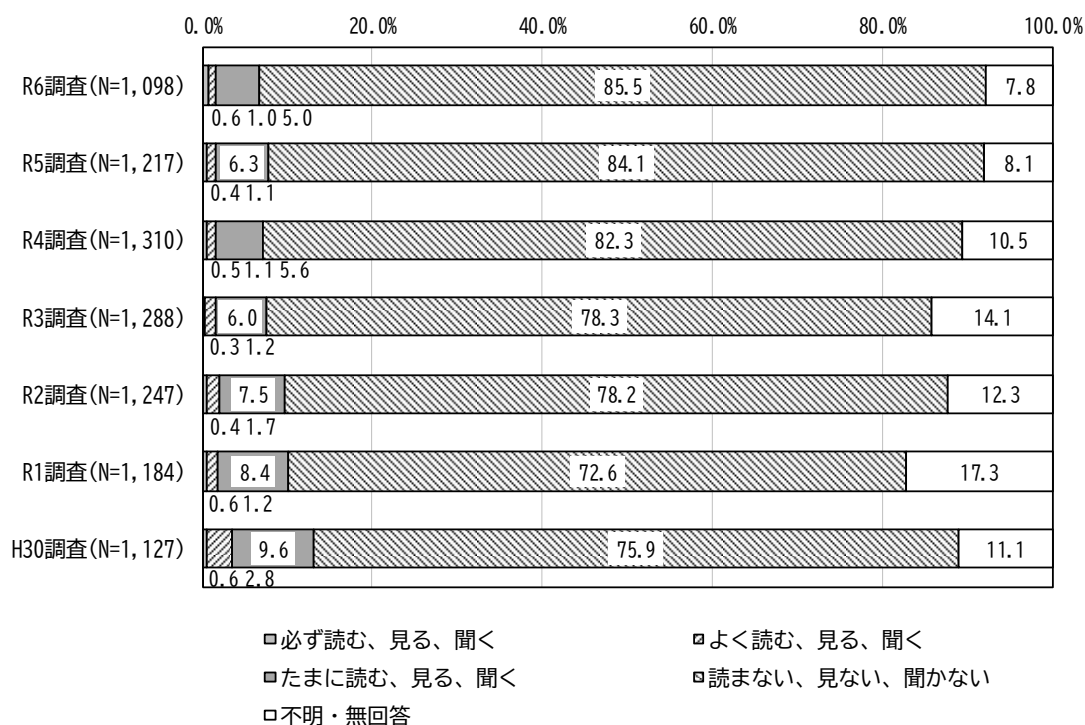
⑨市議会中継・録画（あいコムこうか）（単数回答）



⑩ 市議会インターネット中継・録画

平成 30 年度調査からの推移をみると、令和元年度以降「読まない、見ない、聞かない」の割合が増加している。

⑩市議会インターネット中継・録画（単数回答）



●全体でみると、「読まない、見ない、聞かない」が85.5%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が5.0%、「よく読む、見る、聞く」が1.0%、「必ず読む、見る、聞く」が0.6%と続いている。「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』は6.6%となっている。

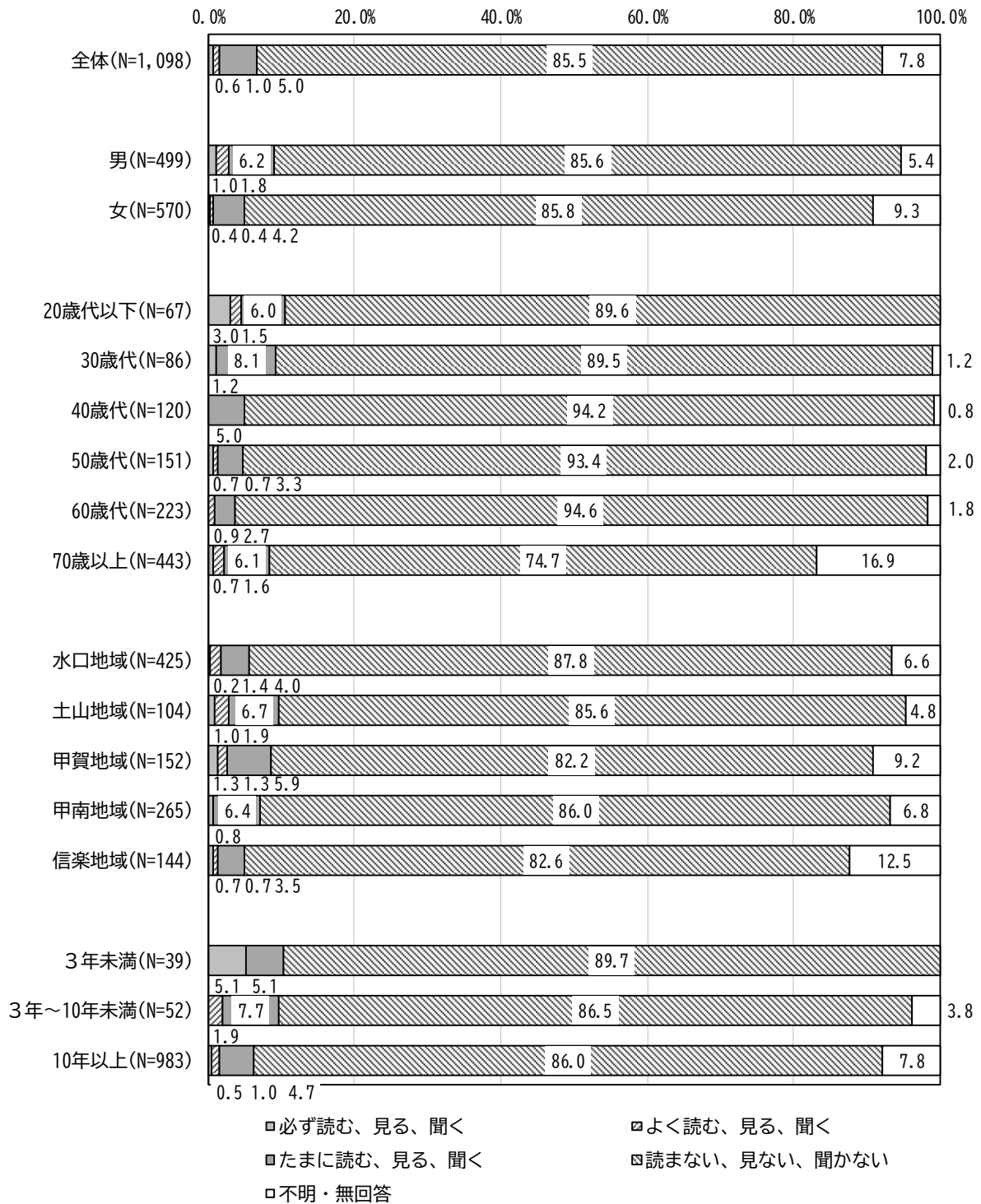
●性別にみると、男性、女性ともに「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は9.0%、女性は5.0%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で10.5%、以下、30歳代で9.3%、70歳以上で8.4%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは土山地域で9.6%、以下、甲賀地域で8.5%、甲南地域で7.2%、水口地域で5.6%、信楽地域で4.9%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは3年未満で10.2%、以下、3年～10年未満で9.6%、10年以上で6.2%と続いており、年数が長くなるにつれて少なくなっている。

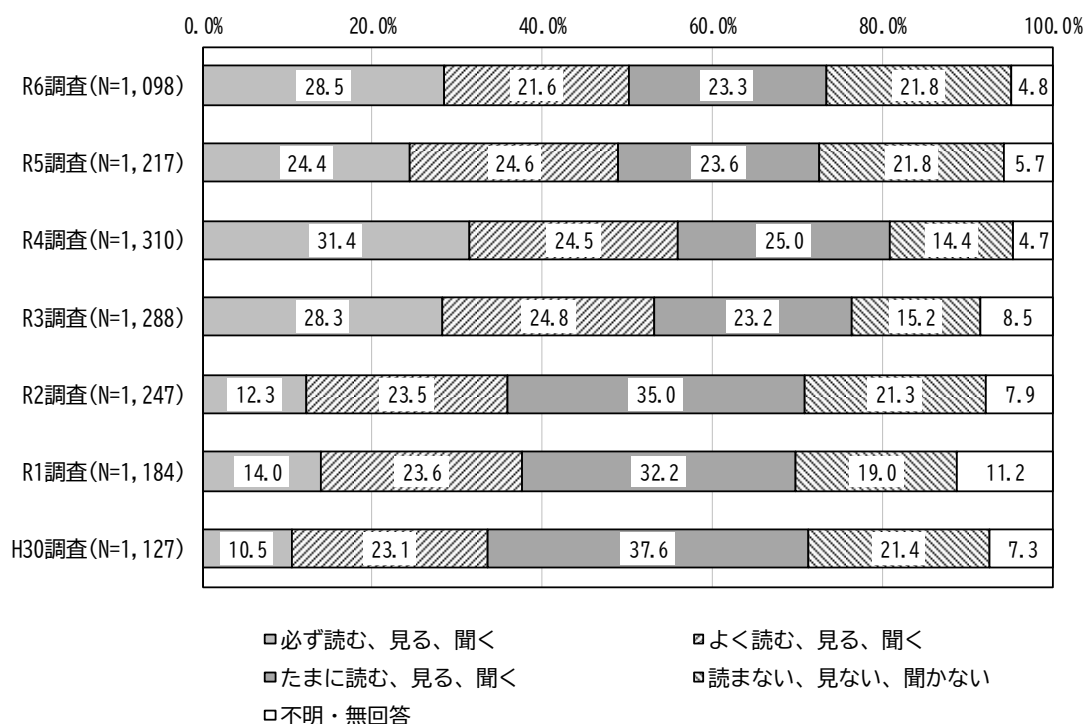
⑩市議会インターネット中継・録画（単数回答）



⑪ 区・自治会等を通じた各戸配布や回覧（文書、チラシ、ポスターなど）

平成 30 年度調査からの推移をみると、令和 3 年以降は概ね同じ傾向ではあるが、昨年と比較すると「必ず読む、見る、聞く」と「よく読む、見る、聞く」と「たまに読む、見る、聞く」を合わせた『読む、見る、聞く』の割合が増加している。

⑪区・自治会等を通じた各戸配布や回覧（単数回答）



※H30～R2 調査は「市の行事等のチラシ、ポスター（回覧、掲示、配布等）」の調査項目で実施しています。

●全体でみると、「必ず読む、見る、聞く」が28.5%で最も多くなっており、以下、「たまに読む、見る、聞く」が23.3%、「読まない、見ない、聞かない」が21.8%、「よく読む、見る、聞く」が21.6%と続いている。『読む、見る、聞く』は73.4%となっている。

●性別にみると、男性は「たまに読む、見る、聞く」が、女性は「必ず読む、見る、聞く」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、男性は73.2%、女性は74.3%となっている。

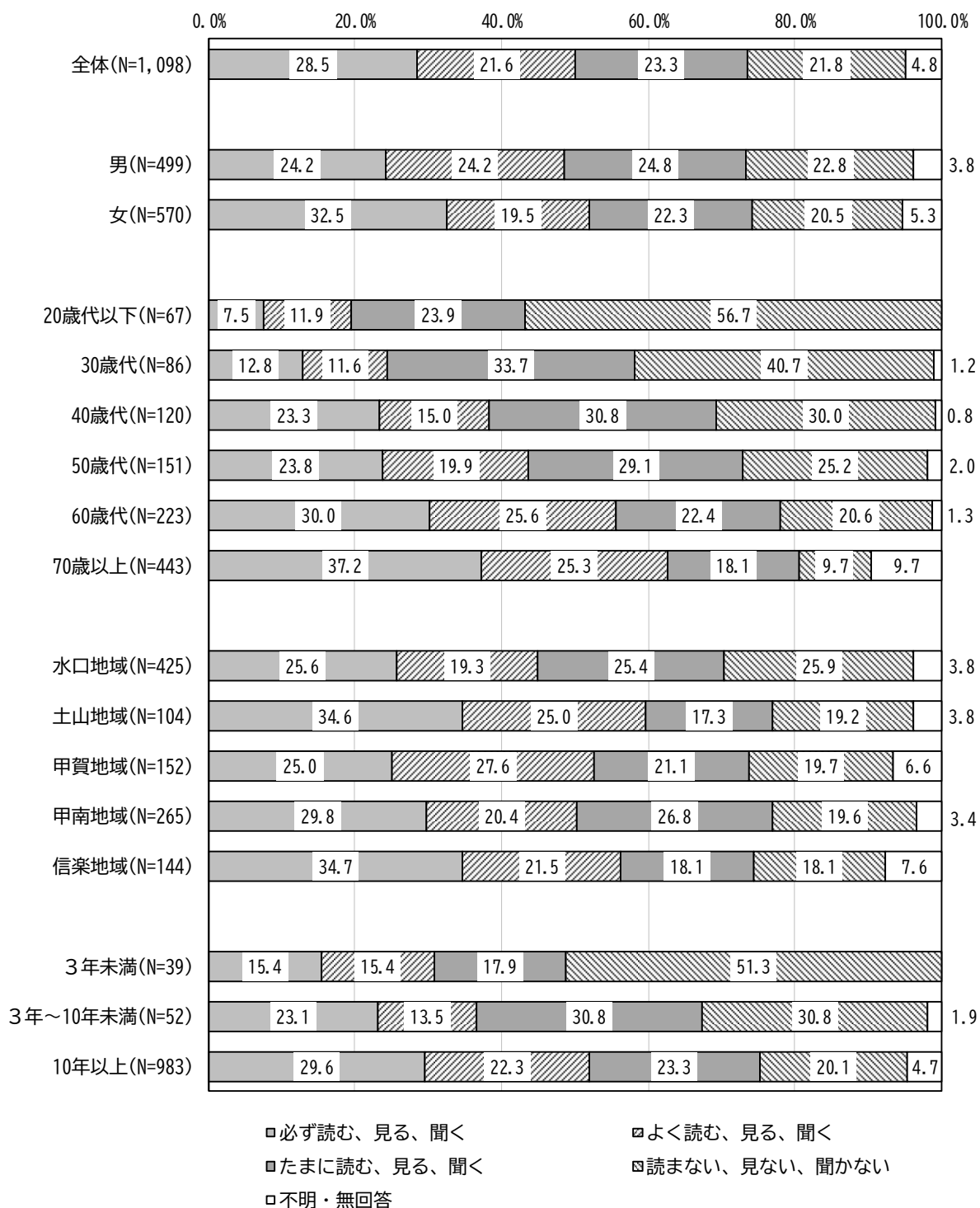
●年代別にみると、20歳代以下、30歳代は「読まない、見ない、聞かない」が、40歳代、50歳代は「たまに読む、見る、聞く」が、60歳代以上は「必ず読む、見る、聞く」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で80.6%、以下、60歳代で78.0%、50代で72.8%と続いており、年代が上がるにつれて多くなっている。

●居住地域別にみると、水口地域は「読まない、見ない、聞かない」が、甲賀地域は「よく読む、見る、聞く」が、その他の地域は「必ず読む、見る、聞く」が最も多くなっている。『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で77.0%、以下、土山地域で76.9%、信楽地域で74.3%、甲賀地域で73.7%、水口地域で70.3%と続いている。

●居住年数別にみると、10年以上は「必ず読む、見る、聞く」が、その他の年数は「読まない、見ない、聞かない」が最も多くなっている（3年～10年未満は「たまに読む、見る、聞く」と同率）。

『読む、見る、聞く』の割合をみると、最も多いのは10年以上で75.2%、以下、3年～10年未満で67.4%、3年未満で48.7%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

⑪区・自治会等を通じた各戸配布や回覧（単数回答）



4 スポーツについて

(1) 1回30分以上の運動頻度

《問21》 1回30分以上の運動※を、どの程度行っていますか。(○は1つ)

※ 運動とは散歩などを含みます。また、学校の体育の授業や職業として行ったものは除いてください。

●全体でみると、「ほとんどしない」が35.9%で最も多くなっており、以下、「週に3日以上」が23.6%、「週に2日」が13.2%、「週に1日」が12.2%と続いている。「週に3日以上」と「週に2日」と「週に1日」を合わせた『週に数日運動する』は49.0%となっている。

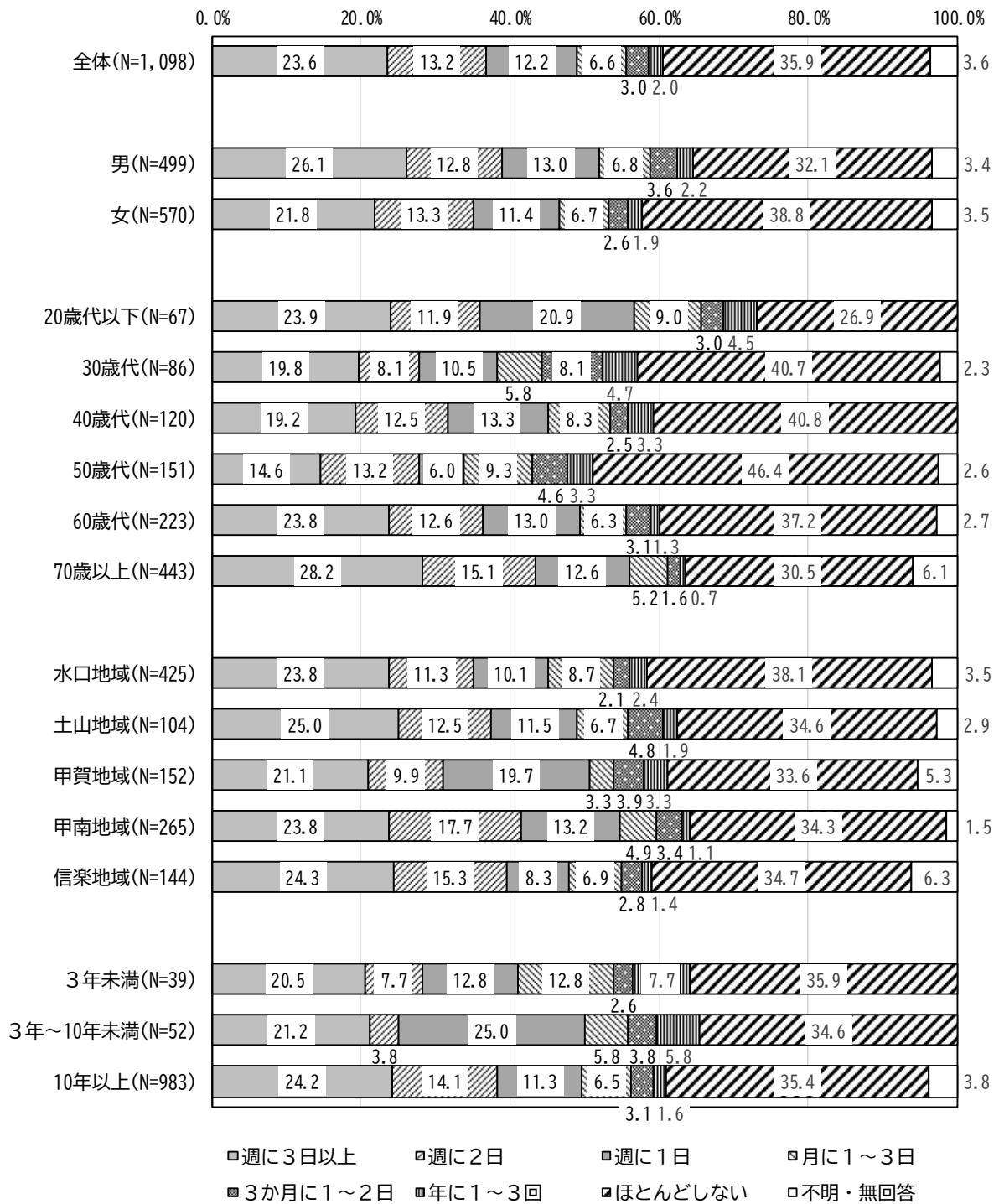
●性別にみると、男性、女性ともに「ほとんどしない」が最も多くなっており、次いで、「週に3日以上」が多くなっている。『週に数日運動する』の割合をみると、男性は51.9%、女性は46.5%となっている。

●年代別にみると、すべての年代において「ほとんどしない」が最も多くなっており、次いで、「週に3日以上」が多くなっている。『週に数日運動する』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で56.7%、以下、70歳以上で55.9%、60歳代で49.4%と続いている。

●居住地域別にみると、すべての地域において「ほとんどしない」が最も多くなっており、次いで、「週に3日以上」が多くなっている。『週に数日運動する』の割合をみると、最も多いのは甲南地域で54.7%、以下、甲賀地域で50.7%、土山地域で49.0%、信楽地域で47.9%、水口地域で45.2%と続いている。

●居住年数別にみると、すべての年数において「ほとんどしない」が最も多くなっており、次いで、3年未満、10年以上は「週に3日以上」が、3年～10年未満は「週に1日」が多くなっている。『週に数日運動する』の割合をみると、最も多いのは3年～10年未満で50.0%、以下、10年以上で49.6%、3年未満で41.0%と続いている。

■ 1回30分以上の運動頻度（単数回答）

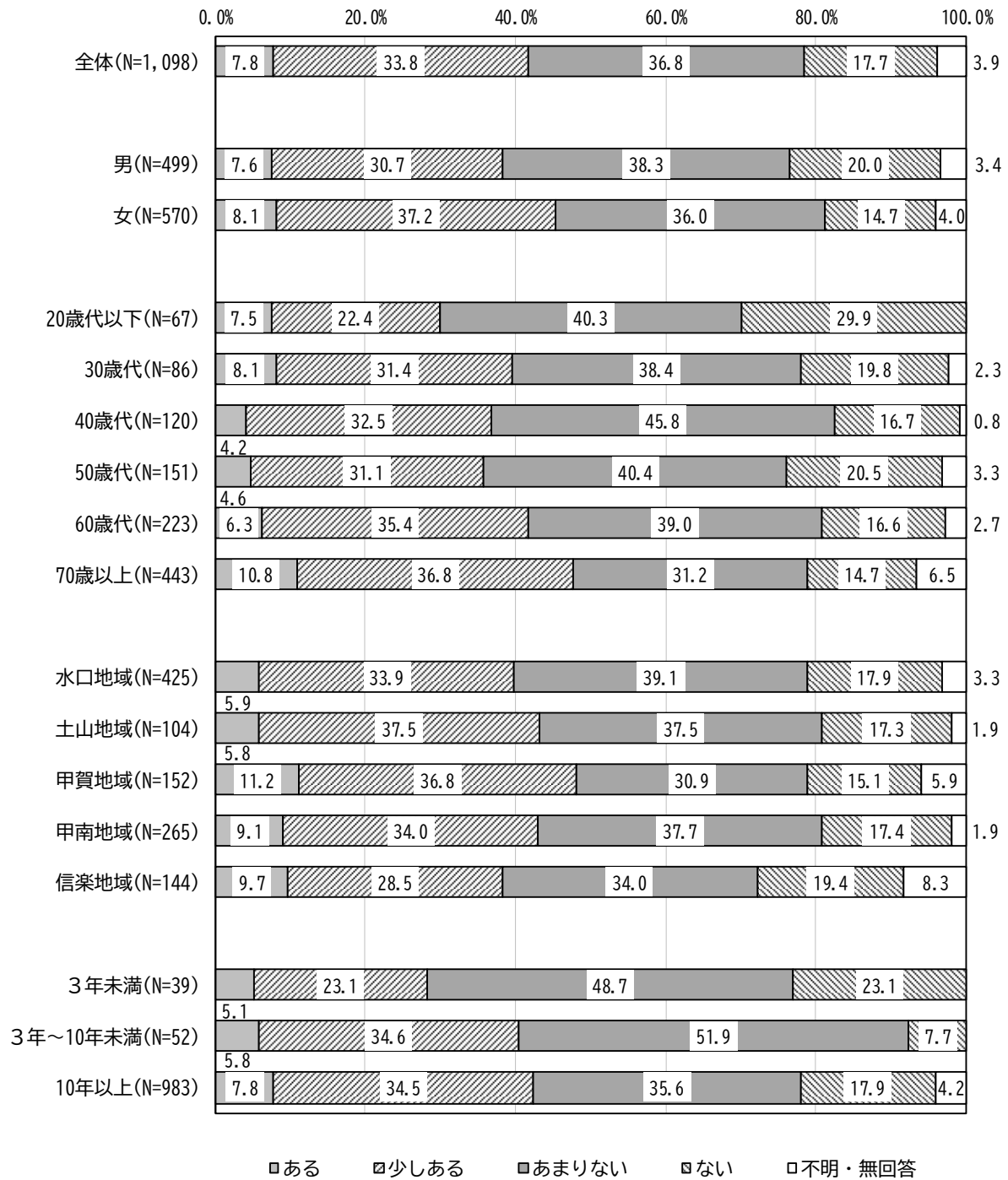


(2) パラスポーツ（障がい者スポーツ）の関心度

《問 22》 パラスポーツ（障がい者スポーツ）に関心がありますか。（○は1つ）

- 全体でみると、「あまりない」が36.8%で最も多くなっており、以下、「少しある」が33.8%、「ない」が17.7%、「ある」が7.8%と続いている。「ある」と「少しある」を合わせた『関心あり』は41.6%となっている。
- 性別にみると、男性は「あまりない」が、女性は「少しある」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、男性は38.3%、女性は45.3%となっている。
- 年代別にみると、70歳以上は「少しある」が、その他の年代は「あまりない」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは70歳以上で47.6%、以下、60歳代で41.7%、30歳代で39.5%と続いている。
- 居住地域別にみると、甲賀地域は「少しある」が、その他の地域は「あまりない」が最も多くなっている（土山地域は「少しある」と同率）。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは甲賀地域で48.0%、以下、土山地域で43.3%、甲南地域で43.1%、水口地域で39.8%、信楽地域で38.2%と続いている。
- 居住年数別にみると、すべての年数において「あまりない」が最も多くなっている。『関心あり』の割合をみると、最も多いのは10年以上で42.3%、以下、3年～10年未満で40.4%、3年未満で28.2%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

■パラスポーツ（障がい者スポーツ）の関心度（単数回答）

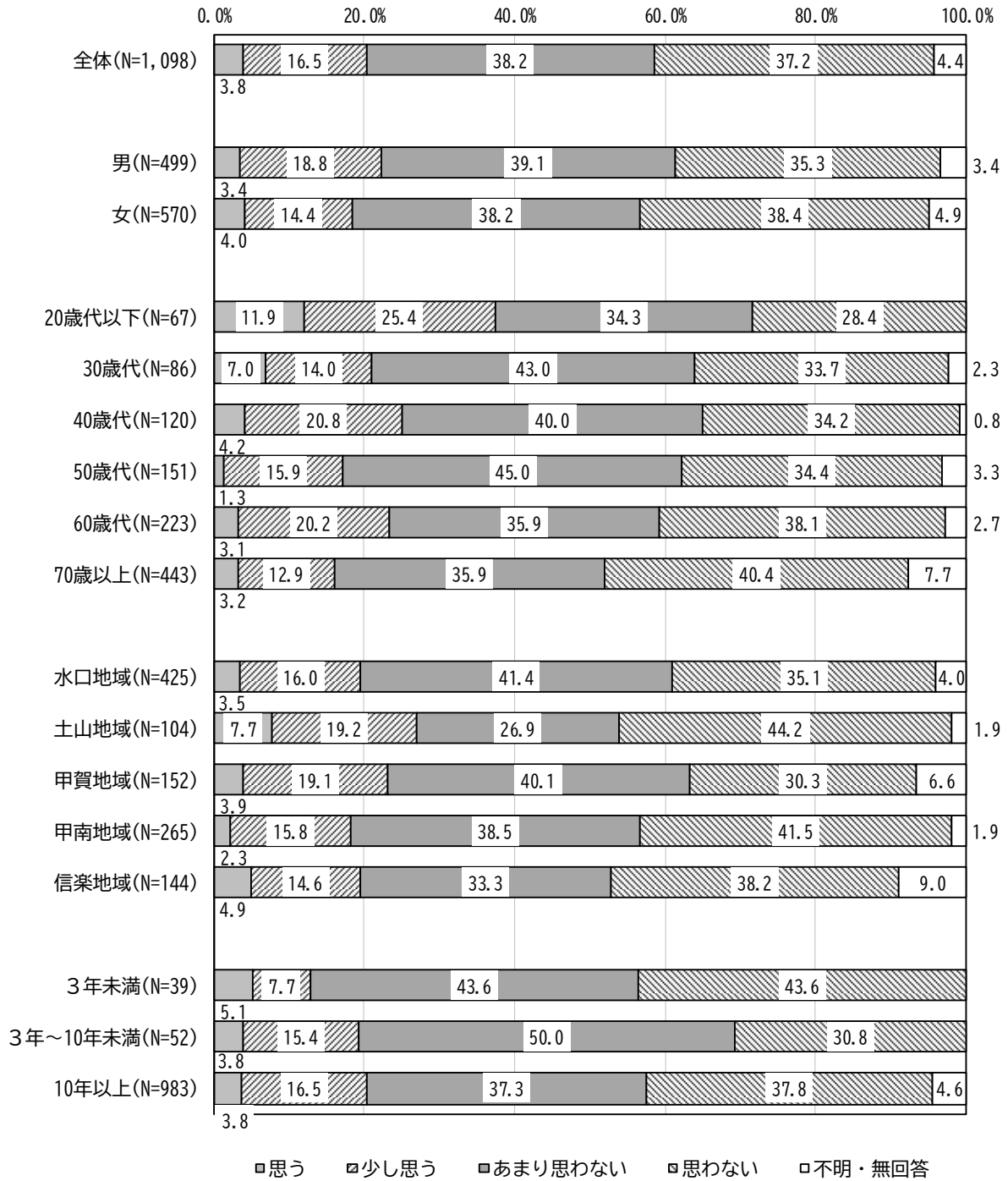


(3) スポーツボランティア活動の参加意向

「問 23」 スポーツボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

- 全体でみると、「あまり思わない」が38.2%で最も多くなっており、以下、「思わない」が37.2%、「少し思う」が16.5%、「思う」が3.8%と続いている。「思う」と「少し思う」を合わせた『意向あり』は20.3%となっている。
- 性別にみると、男性は「あまり思わない」が、女性は「思わない」が最も多くなっている。『意向あり』の割合をみると、男性は22.2%、女性は18.4%となっている。
- 年代別にみると、60歳代以上は「思わない」が、その他の年代は「あまり思わない」が最も多くなっている。『意向あり』の割合をみると、最も多いのは20歳代以下で37.3%、以下、40歳代で25.0%、60歳代で23.3%と続いている。
- 居住地域別にみると、水口地域、甲賀地域は「あまり思わない」が、その他の地域は「思わない」が最も多くなっている。『意向あり』の割合をみると、最も多いのは土山地域で26.9%、以下、甲賀地域で23.0%、水口地域、信楽地域で19.5%、甲南地域で18.1%と続いている。
- 居住年数別にみると、10年以上は「思わない」が、その他の年数は「あまり思わない」が最も多くなっている（3年未満は「思わない」と同率）。『意向あり』の割合をみると、最も多いのは10年以上で20.3%、以下、3年～10年未満で19.2%、3年未満で12.8%と続いており、年数が長くなるにつれて多くなっている。

■スポーツボランティア活動の参加意向（単数回答）



■ 資料：アンケート調査票

甲賀市市政に関する意識調査

アンケートID

= ご協力のお願い =

※上記のIDは無作為に割当てたものであり、個人を特定するものではありません。

日ごろから甲賀市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
市では、まちづくりの主役である市民の皆様の思いや願いをしっかりと受け止め、市政に活かしていくため、「市政に関する意識調査」を実施します。

いただいたご意見等は、高齢者から若者、子どもまで、健康でいきいきと活躍できる地域をつくるための大切な基礎資料とさせていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年(2024年)7月

甲賀市長

岩永裕貴

ご回答にあたってのお願い

■ 令和6年7月31日(水)までに、ご回答をお願いします。

- ご回答は、インターネット回答(同封のインターネット回答操作案内参照)または本調査票のどちらか一方のみにてお願いします。
- 調査票でのご回答の場合は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。
※返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- 今回の調査は、無作為に選ばせていただいた市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を対象に実施しています。
- この調査は、個人を対象としていますので、お送りした封筒に書かれているあて名の方 yourself がご回答ください。(ご本人による回答が困難な場合は、ご家族等の方がご本人から聞き取って代筆ください。)
- この調査の回答は、無記名でお願いしています。回答いただいた内容は、統計的に処理しますので、内容が外部にもれたりしてご迷惑をおかけすることはありません。安心してご回答ください。
- 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○印をつけてください。
- 回答したくない設問については、お答えいただくなくて結構です。

- 甲賀市をより良いまちにするために調査にご協力ください。わからない事があれば下記へご連絡ください。
- Please cooperate with our survey to make Koka City a better town. Please call this number as follows, if you have any questions.
- 고카시를 보다 좋은 도시로 만들기 위한 조사에 협력해 주십시오. 모르는 것이 있으시면 다음으로 연락해 주십시오.
- 为了把甲贺市变成更好的城市,请协助调查。如果有不明白的地方,请联系以下地址。
- Pedimos sua colaboração em relação a esta pesquisa, para fazer da Cidade de Koka uma cidade melhor. Em caso de dúvidas, favor entrar em contato pelo telefone descrito abaixo.
- Por favor coopere con la encuesta para hacer de la Ciudad de Koka una ciudad mejor. Si tuvieran alguna duda, pueden llamar al número de teléfono que figura en la parte de abajo.

【本調査に関する問合せ先】

甲賀市総合政策部 秘書広報課 TEL 0748-69-2101(直通) FAX 0748-63-4619

1. あなたご自身のことについておたずねします

《問1》 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1 おとこ 男	2 おんな 女	3 こた 答えたくない
------------	------------	----------------

《問2》 あなたの年齢は、7月1日現在でいくつですか。(○は1つ)

1 18～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～34歳
5 35～39歳	6 40～44歳	7 45～49歳	8 50～54歳
9 55～59歳	10 60～64歳	11 65～69歳	12 70～74歳
13 75歳以上			

《問3》 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

1 みなくちちいき 水口地域	2 つちやまちいき 土山地域	3 こうかちいき 甲賀地域
4 こうなんちいき 甲南地域	5 しがらきちいき 信楽地域	

《問4》 あなたは、いつから甲賀市にお住まいですか。(○は1つ)

1 う 生まれてからずっと甲賀市に住んでいる
2 こうかし う 甲賀市で生まれて、市外に転出後、再び転入した
3 しがい う 市外で生まれて甲賀市に転入した


 《問4-1》 問4で「2」または「3」と回答された方におたずねします。
 転入後、何年ぐらい甲賀市にお住まいですか。(○は1つ)

1 ねんみまん 3年未満	2 ねん ねんみまん 3年～10年未満	3 ねんいじょう 10年以上
-----------------	------------------------	-------------------

《問5》 あなたの世帯(同居)の構成はどれですか。(○は1つ)

1 単身	2 夫婦のみ	3 二世帯世帯
4 三世帯世帯	5 その他()	



《問5-1》 問5で「3・4・5」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたに、就学前または就学しているお子様・お孫様(同居)はおられますか。
(○はいくつでも) ※別居されているお子様・お孫様は含みません。

1 2歳以下	2 3歳～小学校入学前
3 小学生	4 中学生
5 高校生	6 専門学校生・短大生・予備校生・大学生(大学院生)
7 就学前または就学している子どもはいない	

《問6》 あなたの職業等は何ですか。(○は1つ)

1 会社員	2 公務員	3 自営業
4 パート・アルバイト	5 学生	6 専業主婦・主夫
7 無職	8 その他()	



《問6-1》 問6で「1～5」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたの勤務地(通学地)はどちらですか。(○は1つ)

1 自宅	2 甲賀市内
3 甲賀市以外の滋賀県内	4 県外

2. 市政全体に関する満足度等についておたずねします(市民意識)

《問7》 あなたは、甲賀市の住みやすさについてどのように感じておられますか。(○は1つ)

1 住みやすい	2 まあまあ住みやすい
3 どちらともいえない	4 あまり住みやすくない
5 住みにくい	

《問8》 あなたの甲賀市での暮らしの「満足度」と「重要度」についておたずねします。
 以下の①～②のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中から満足度合い、重要度
 合いに最も近いものを選んでください。(それぞれ○は1つ)

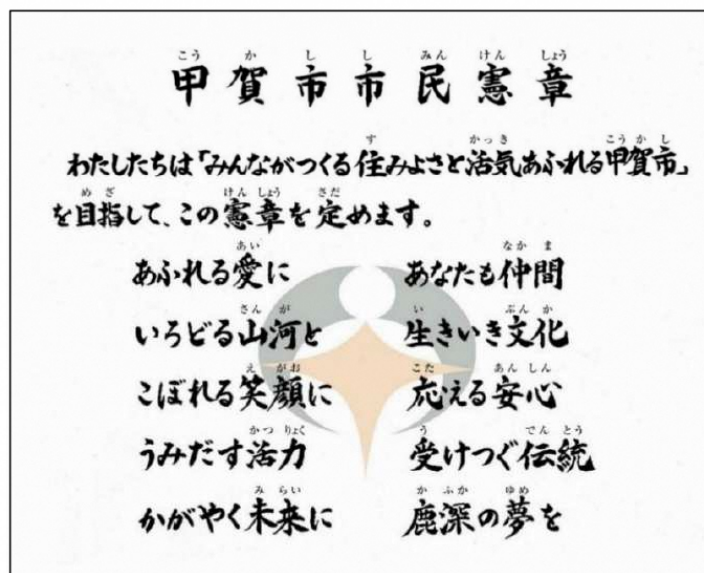
※ この調査項目は、「甲賀市市民憲章」で示している5つのまちづくりの方向性で分類しています。
 詳しくはP.5の「甲賀市市民憲章」をご覧ください。

	満足度						重要度					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	満 足	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら と も い え な い	不 満 ど ち ら か と い え ば	不 満	わ か ら な い	重 要	重 要 ど ち ら か と い え ば	ど ち ら と も い え な い	重 要 で は な い ど ち ら か と い え ば	重 要 で は な い	わ か ら な い
1. あふれる愛にあなたも仲間												
① 市民自治(区・自治会、 自治振興会、市民活動)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
② 市民共生 (人権、多文化共生)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
③ 男女共同参画	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
④ シティプロモーション (情報発信、広報広聴)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
2. いろどる山河と生きいき文化												
⑤ 環境・資源・エネルギー(生活 環境保全、脱炭素社会、廃棄 物処理)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑥ 自然・公園・緑地(自然保護、 自然共生、公園整備)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑦ 歴史・文化財・景観(文化財の 調査、保護、活用、景観の 保全)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑧ 生涯学習・文化・スポーツ (生涯学習、文化、芸術、 スポーツの振興)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

		満足度						重要度					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		満足	どちらかといえば	どちらともいえない	不満	どちらかといえば	不満	重要	どちらかといえば	どちらともいえない	重要ではない	どちらかといえば	重要ではない
3. こぼれる笑顔に応える安心													
⑨	地域福祉(高齢者の生きがい、障がい福祉、地域福祉団体、ボランティア、セーフティネット)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑩	保健・医療(健康、疾病の予防と早期対策、地域医療体制、国民健康保険、後期高齢者医療保険)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑪	住まい・ライフライン(良好な住環境、公営住宅、上下水道)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑫	安全・防災(事故予防、防犯、消防、地域の防災体制、土砂災害)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
4. うみだす活力受けつぐ伝統													
⑬	農林畜水産(農林畜水産業振興、地域ブランド、鳥獣害対策)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑭	商工観光(商業、地場産業、工業、観光振興)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑮	活躍・雇用(就労支援、女性の活躍、勤労者福祉)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑯	道路(広域幹線道路、道路整備)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑰	交通(鉄道、バス)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	満足度						重要度					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	満足	どちらかといえば	どちらともいえない	不満	不満	わからない	重要	重要	どちらかといえば	どちらともいえない	重要ではない	わからない
5. かがやく未来に鹿深の夢を												
⑮ 都市形成(市街地整備、土地の有効利用)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑯ 若者・こども・子育て(若者の活躍、子育て支援、就学前教育、保育、放課後児童クラブ、子育てネットワーク)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
⑳ 学校教育、社会教育(学校教育、社会教育、教育環境の充実)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
㉑ 行財政(職員の質、行政サービスの効率、財産管理、財政運営)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

※ 問8の調査項目は、下記の「甲賀市市民憲章」で示している5つのまちづくりの方向性で分類しています。



《問9》 あなたは、現在の暮らしに幸せを感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 そう感じる | 2 どちらかといえばそう感じる |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえばそう感じない |
| 5 感じない | |

➡ <問9-1> 問9で「1・2」のいずれかに回答された方におたずねします。
あなたは、どのようなことに幸せを感じますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 収入(お金) | 2 就業状況(仕事の有無・安定) |
| 3 健康 | 4 自由な時間、充実した余暇 |
| 5 社会貢献 | 6 家族関係 |
| 7 友人関係 | 8 職場や学校等での人間関係 |
| 9 地域コミュニティ、ご近所との関係 | 10 その他() |

《問10》 あなたは、甲賀市に愛着をお持ちですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 愛着がある | 2 まあまあ愛着がある |
| 3 あまり愛着がない | 4 愛着がない |

《問11》 あなたは、甲賀市の魅力を市外の人に自慢できますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 自慢できる | 2 まあまあ自慢できる |
| 3 あまり自慢できない | 4 自慢できない |

《問12》 あなたは、これからも甲賀市に住みつづけたいと思われませんか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------------|-------------|
| 1 住みつづけたい | 2 住みつづけたいとは思わない | 3 どちらともいえない |
|-----------|-----------------|-------------|

《問13》 あなたは、市政(市役所のしていること)に関心をお持ちですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 関心がある | 2 まあまあ関心がある |
| 3 あまり関心がない | 4 関心がない |

3. 防災対策についておたずねします

《問14》 甲賀市防災マップを見たことがありますか。(〇は1つ)

- 1 ある 2 ない

《問15》 あなたのお家(地域)には、どのような災害リスクがあるかを知っていますか。(〇は1つ)

- 1 地震・水害のどちらも知っている 2 地震・水害のどちらかを知っている
3 地震・水害のどちらも確認していない

《問16》 災害に備えた、防災マップ(P12)にある「マイ・タイムライン」を作っていますか。
(〇は1つ)

- 1 作っている
2 必要性はわかっているが作っていない
3 必要でないため作っていない

防災マップは市HP から→



《問17》 災害に備えた、非常用持出品や家庭内備蓄の用意はしていますか。(〇は1つ)

- 1 非常用持出品も家庭内備蓄も用意している
2 非常用持出品のみ用意している
3 家庭内備蓄のみ用意している
4 必要性はわかっているが、どちらも用意していない
5 必要でないため用意していない

《問18》 災害が発生した場合、家庭内備蓄で何日間過ごせますか。(〇は1つ)

- 1 1～2日(朝・昼・夕の3食として) 2 3～7日(朝・昼・夕の3食として)
3 7日以上(朝・昼・夕の3食として) 4 なし
5 その他()

《問19》 災害に備えて、あなたのお家では、感震ブレーカを設置していますか。(〇は1つ)

- 1 設置している 2 必要性はわかっているが設置していない
3 必要でないため、設置していない

4. 市の情報発信についておたずねします

「問20」市に関する次の情報を、どの程度読んだり、見たり、また音声等で聞いたりしておられますか。(それぞれ○は1つ)

					左記「1・2・3」のいずれかに回答された方におたずねします。 わかりやすい(読みやすい、見やすい、聞きやすい)内容になっていますか。(それぞれ5～8で○は1つ)			
					5 思う う	6 思う う どちらか といえ ば	7 思わ ない	8 わ か ら な い
1	読む、 必 ず 見 る、 聞 く	2 読む、 よ く 見 る、 聞 く	3 読む、 た ま に 見 る、 聞 く	4 読 ま な い、 聞 か な い、 見 な い、				
① 広報紙「広報こうか」	1	2	3	4	5	6	7	8
② 甲賀市ホームページ	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 甲賀市LINE	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 甲賀市フェイスブック	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ 行政情報番組「きらめきこうか」 (あいコムこうか 「まちかどKOKA」内)	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥ 音声放送端末機	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦ 市議会だより	1	2	3	4	5	6	7	8
⑧ 市議会ホームページ	1	2	3	4	5	6	7	8
⑨ 市議会中継・録画(あいコムこうか)	1	2	3	4				
⑩ 市議会インターネット中継・録画	1	2	3	4				
⑪ 区・自治会等を通じた各戸配布や 回覧(文書、チラシ、ポスターなど)	1	2	3	4				

5. スポーツについておたずねします

《問21》 1回30分以上の運動※を、どの程度行っていますか。(○は1つ)

※ 運動とは散歩などを含みます。また、学校の体育の授業や職業として行ったものは除いてください。

1 しゅう 週に 3 か いじょう 日以上	2 しゅう 週に 2 か 日	3 しゅう 週に 1 にち 日
4 つき 月に 1～3 か 日	5 3 げつ 月に 1～2 か 日	6 ねん 年に 1～3 かい 回
7 ほとんどしない		

《問22》 パラスポーツ(障がい者スポーツ)に関心がありますか。(○は1つ)

1 ある	2 すこ 少しある	3 あまりない	4 ない
------	-----------	---------	------

《問23》 スポーツボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つ)

1 おも 思う	2 すこ おも 少し思う	3 あまりおも 思わない	4 おも 思わない
---------	--------------	--------------	-----------

質問は以上です、ご協力ありがとうございました。

回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

令和6年7月31日(水)までに、ポストにご投函ください。

甲賀市市政に関する意識調査報告書

発 行 日：令和 6（2024）年 12 月

編集・発行：甲賀市総合政策部秘書広報課

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口 6053 番地

Tel:0748-69-2101／Fax:0748-63-4619